

主要地方道小杉婦中線臨時道路交付金事業(B)
に伴う埋蔵文化財発掘調査

針原西遺跡発掘調査報告書

2004年2月

富山県小杉町教育委員会



小杉町針原西遺跡発掘調査区（北より）



針原西遺跡下層全景（北より）道路を挟んだ向うは黒河・中老田遺跡



SD03出土 土器片錘



SD03出土 土器及び石製装飾品



SD03出土 土偶



SD03出土 漆塗土器片





1・2・3号貝層検出状況（東より）



4号貝層検出状況（南より）



1号貝層（東より）



1号貝層部分土層



2号貝層（東より）



2号貝層a南北断面



2号貝層a東西断面



2号貝層b東西断面



2号貝層b（南より）



2号貝層b南北断面



3号貝層（北より）



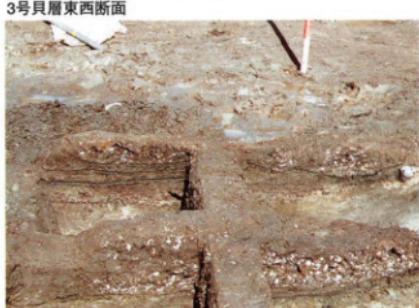
3号貝層南北断面



3号貝層東西断面



4号貝層部分土層（東より）



4号貝層c東西断面



5号貝層と貯藏穴（南より）



5号貝層b東西断面



5号貝層bとSK26断面（東より）

主要地方道小杉婦中線臨時道路交付金事業(B)
に伴う埋蔵文化財発掘調査

針原西遺跡発掘調査報告書

2004年2月

富山県小杉町教育委員会

序

小杉町は、東に富山市、西に高岡市、北に富山新港が位置し北陸自動車道小杉インターチェンジを有する交通の要所です。

この度、調査しました針原西遺跡は針原テクノパークと富山新港、小杉インターチェンジの利便性を図る県道小杉婦中線上にあり、同線建設に先立ち発掘調査を行いました。その結果、遺構では貝層、遺物では指輪状石製品という大変貴重な資料を得ることができました。

埋蔵文化財は、人類の歴史によって生み出され、過去から引き継がれた財産です。本来それは形をかえることなく今を生きる我々が保存し、そして未来の世代に引き継いでいくべき貴重な‘遺産’という名の預かりものです。

しかし、開発に伴い遺跡の存在が脅かされ、多くの場合はやむをえず記録保存というかたちで調査後破壊されます。このような、残念な結果から得た遺産を大切に保存するとともに新たな文化的活用の場を与えるのが我々教育委員会の役目ではないかと考えております。

この目的の一環として今回の成果をまとめた本書が、今後の調査研究を進める上で参考にして頂きますとともに埋蔵文化財のご理解に役立てて頂ければ幸いです。終わりに調査にご協力頂きました関係各位に深く感謝申し上げます。

平成16年2月

小杉町教育委員会
教育長 稲葉 茂樹

例　　言

- 1 本書は富山県射水郡小杉町黒河に所在する針原西遺跡の発掘調査報告である。
- 2 発掘調査は県道小杉婦中線建設に先立ち、富山県土木部の依頼を受け小杉町教育委員会が実施したものである。
- 3 調査主体は小杉町教育委員会であるが、調査の実施にあたり富山県埋蔵文化財センターより調査員の派遣を受けた。
- 4 調査事務局は小杉町教育委員会生涯学習課に置き、平成13年度は生涯学習課長御後庄司が総括し、調査事を生涯学習課主事稻垣尚美が担当した。平成14年度は生涯学習課長荻野恭一が総括し、調査事を生涯学習課主事稻垣尚美が担当した。平成15年度は生涯学習課長石黒信明が総括し、調査事を生涯学習課主査原田義範、主任稻垣尚美が行った。
- 5 調査担当者・調査期間・面積は次のとおりである。

分布調査	小杉町教育委員会主事 稲垣尚美
	平成10年11月13日（延べ1日間）
試掘調査	小杉町教育委員会主事 稲垣尚美
	平成11年11月15日～11月16日（延べ2日間）
	発掘面積 281m ²
本調査	A区 小杉町教育委員会主事 稲垣尚美
	B区 富山県埋蔵文化財センター 副主幹 斎藤隆 同主任 境 洋子
	平成13年6月4日～10月29日（延べ96日間）
	発掘面積 4,050m ²
- 6 本書の挿図・写真図版の表示は次のとおりである。
 - (1) 方位は真北、水平基準は海拔高である。
 - (2) 基準杭は調査区の南X78453.0000Y-4230.000（旧日本測地系 第VII系）をX0Y0地点とした。
 - (3) 調査区をX40列で南北に分け北側をA区、南側をB区とし、A区を小杉町教育委員会、B区を富山県埋蔵文化財センターが担当した。
 - (4) 本書の作成にあたっては、序から第2章までを小杉町教育委員会、第3章を富山県埋蔵文化財センターが担当した。
 - (5) 遺構の表記は次の記号を用いた。

溝：SD	土坑：SK
------	-------
- 7 略号は針；Hari、原；Wara、西；West（第II調査区）の頭文字を取りその後に出土区のAあるいはBを付け「HWW-II A、HWW-II B」とした。
- 8 出土品及び記録資料は小杉町教育委員会が保管している。
- 9 遺物の写真撮影は、奈良文化財研究所牛鶴 茂氏、西大寺フォト杉本直樹氏のご指導ご協力を得た。
- 10 瓷器分析・花粉分析・MRC測定はパリノ・サーヴェイ㈱へ委託した。

目 次

巻頭図版

序

例言

目次

序章 1

1 調査に至る経緯 1

2 試掘調査の概要 1

第1章 周辺の遺跡と環境 4

1 遺跡の地理的環境 4

2 遺跡の歴史的環境 6

【 A 区 】

第2章 調査方法と調査経過 12

1 調査の方法 12

(1)現地調査 12

(2)遺物整理 12

2 基本層序 12

3 近世の遺構 15

4 繩文時代の遺構 16

5 遺物 23

6 まとめ 62

参考文献 63

写真図版

【 B 区 】

第3章 B区の調査結果 87

1 B区の概要 87

2 遺構 87

(1)縄文時代の遺構 87

(2)古代～近世の遺構 95

3 遺物 96

(1)縄文時代の遺物 96

(2)弥生時代以降の遺物 108

4 まとめ 109

参考文献 114

遺物計測表 115

図版

写真図版

付図 縄文時代遺構全体図

第4章 鈴原西遺跡自然化学分析 247

序 章

1 調査に至る経緯

富山県は、昭和36年1月「第2次県勢総合計画」として射水地域総合開発計画を立て、富山新港建設と臨海工業地城造成計画を国に提出すると併にこの計画の一環とし予想される人口増加に対応するため、小杉町太閤山にニュータウン建設計画を立案し決議した。

小杉町は富山市・高岡市・新湊市の中心部から10数キロの距離にあり利便性が良いこと。また、当町の南部の丘陵は水に恵まれず一部の畠地でサツマイモやお茶のほか梨などの果樹がわずかに栽培されていたが、農地としての開発は遅れ、雜木林が大半を占めていたこと。このような状況に着目し安価に土地が買収でき大規模開発がたやすいという事情から小杉町太閤山がニュータウン建設地として選ばれた。

そして昭和41年4月に新湊市七美から小杉町太閤山をへて高岡市西広上を結ぶ都市計画街路七美・太閤山・高岡線建設が都市計画決定され、昭和48年に北陸自動車道小杉インターができ小杉流通業務団地の計画が進展したことから道路建設計画が具体化した。

工事に先立ち、富山県教育委員会が昭和51年12月に建設計画予定地の小杉町黒河から高岡市西広上間の分布調査を行ったところ19ヶ所の遺跡を確認し、昭和54年から昭和62年まで県教育委員会により発掘調査が行われ、高岡市西広上と小杉町黒河間が開通したが、これより南の工事計画は富山新港への工場誘致の失敗により頓挫した。

しかし、小杉町は県土本部に対し針原テクノパークと北陸自動車道を結びたいと強く要望した結果、平成10年に宮山戸出小矢部線から主要地方道富山高岡線側を「主要地方道小杉越中線」とし道路整備事業が行われることとなり、富山戸出小矢部線から針原テクノパーク間が平成15年度までに工事を完了する予定となった。

そこで、町教育委員会が高岡上木事務所の依頼を平成10年11月に受け同月に分布調査を実施したところ、全工区において縄文時代の土器片及び石器を多数採集したため全線試掘調査の必要ないと判断した。翌平成11年7月から11月にかけて試掘調査した結果2遺跡（遺跡名の変更により3遺跡になる）14,630m²について本調査が必要であると判断した。

2 試掘調査の概要

平成11年7月12日から7月19日と11月15日から11月16日までに試掘調査を行った。試掘調査は重機により幅約1mのトレンチを設け、その横面を人力により精査し、包含層と遺構の確認を行った。その結果、縄文土器や須恵器等を含む時期の確定できない溝数条を確認したため主要地方道小杉越中線における北側の調査対象地を黒河・中老田遺跡の包蔵地内であるとした。しかし、主要地方道小杉越中線と交差する町道東老田高岡線における針原西遺跡を平成12年度に町が本調査を行った結果、針原西遺跡の下層の川跡が黒河・中老田遺跡へ伸びていることが明らかとなつたため調査対象地の遺跡名を黒河・中老田遺跡から針原西遺跡へと変更した。

平成12年度の針原西遺跡本調査では当初文化層は1層であると判断していたが、実際には2層であった。平成11年度の試掘調査において文化層が複数ある場合見落とさないよう数箇所において深さ2m以上のトレンチを掘ったにもかかわらず文化層を1層しか確認できていなかつたため、本調査の円滑化のため表土除去前に数本のトレンチを入れ文化層の確認を行った結果、上層の文化層は時期の異なる遺物の混入する溝が数条あるほか特に遺構は認められなかつたが、下層には町が平成12年度に確認している縄文時代の川跡があり、その他に遺構はほとんどないのではないかと推定した。

この結果から、針原西遺跡の南に位置する縄文時代と考えていた黒河・中老田遺跡と針原西遺跡の下層部分は、同一遺跡であることが判明した。



図1 主要地方道小杉婦中線と町道東老田高岡線における調査位置図

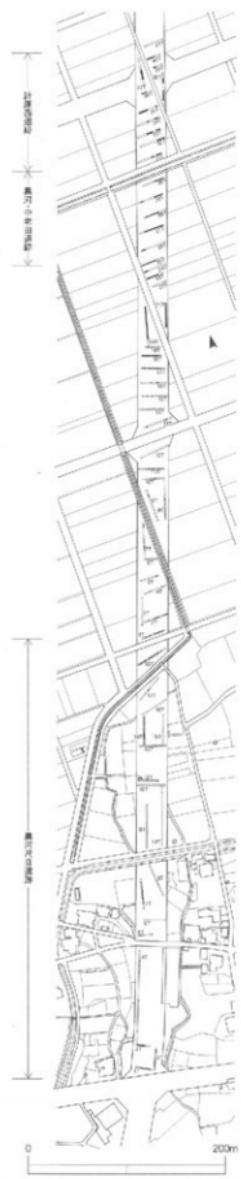


図2 平成11年度トレンチ配置図

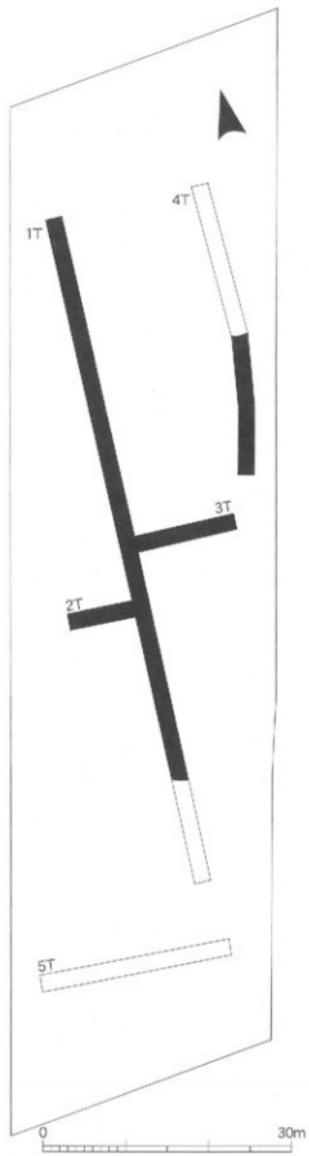


図3 平成13年度トレンチ配置図

第1章 周辺の遺跡と環境

1 遺跡の地理的環境

富山県は北に日本海、南に北アルプス立山連峰が屏風のように控える。この急峻な北アルプスに端を発する黒部川・片貝川・早月川・常願寺川・神通川・庄川・小矢部川の七大河川が扇状地・自然堤防帶・潟埋積平野を形成し、広義の富山平野を成す。広義の富山平野に対し、常願寺川と神通川により形成された狭義の富山平野が富山県のはば中央に位置し、その西に射水平野が位置する。射水平野は標高0～5mであるため最終氷期であった約2万年前の最大海退期には、現在の海面よりも100m以上も海面が低かったため低地であった。しかし温暖化に伴い海面が上昇し、潟や湖が形成され、さらに縄文海進時の6,000年前には現海面より2～3m海面が上昇し内陸にまで広がる大きな湾が形成された。その後海退により現在の海岸線となる過程で、汀線が少し海側に張り出しその付近に砂丘が形成されると共にその南側に後背湿地ができ、内陸部では埋積が進み上部泥層が堆積した。この過程で蛇行した河川の流路跡や埋積され残した低地には池沼が形成された。そしてそこに泥炭が堆積し、射水平野を形成したが、海岸線一帯に

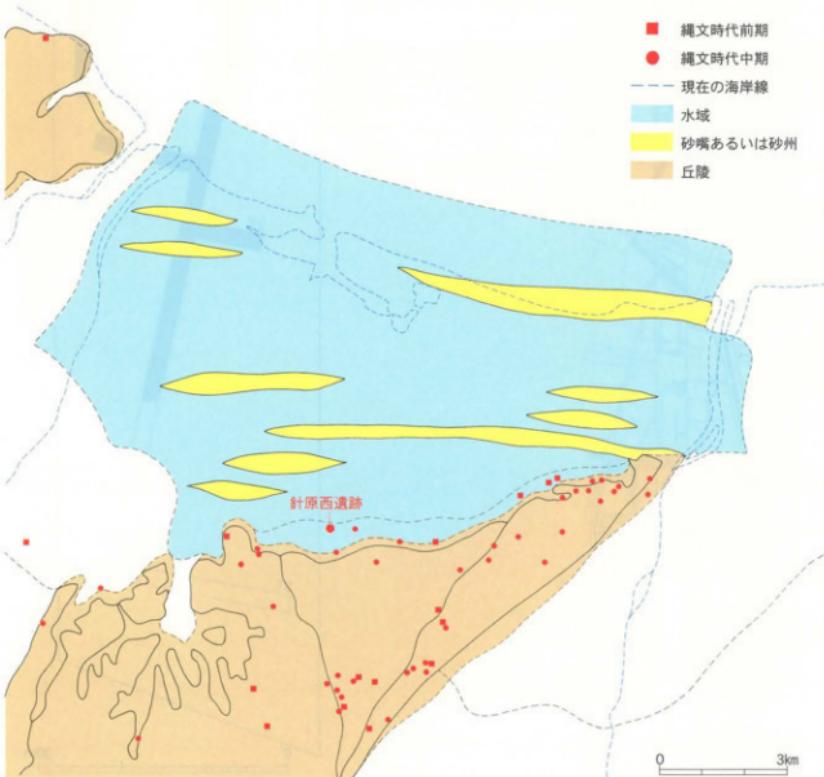


図4 縄文時代前期～中期の地形と遺跡分布

は埋積されない放生津潟をはじめとする潟が残された。

今回調査した、針原西遺跡は標高2.85m～3.0mに位置し、6,000年前の地図に針原西遺跡の位置を重ねるとちょうど汀線と丘陵部分の境目辺りに位置する（図4）。現在確認されている近隣の縄文時代前期から中期にかけての遺跡の分布（図4）についても丘陵部分や汀線と丘陵部分の境目辺りに集中し、砂嘴や砂州上に遺跡の分布は認められない。おそらく、汀線付近は水害に遭う危険性の高い砂嘴や砂州上よりも飲料水（真水）が得やすく、海と山の幸に恵まれ、水害の恐れがある時は裏山へ避難できる格好の居住エリアであったと考えられる。

縄文時代後期以降に気象変化と河川作用により湾は潟となりその規模もかなり小さくなり海岸線は現在の状況に近く。縄文時代後期から晩期にかけての遺跡の分布を見ると放生津潟周辺や海岸線にまで遺跡の分布が広がっているほか大型河川に隣接する遺跡もあることが分かる（図5）。

しかしながら、縄文時代後期においても前期・中期同様丘陵部の分布が顕著にみとめられ、従来縄文時代前期の遺跡は丘陵を中心に分布し、縄文海進の後、海退に応じ人々が丘陵を下り平野部に定着するといわれていたが、射水丘陵における遺跡の分布状況からはそれほど海退に伴う顕著な人の動きは認められない。

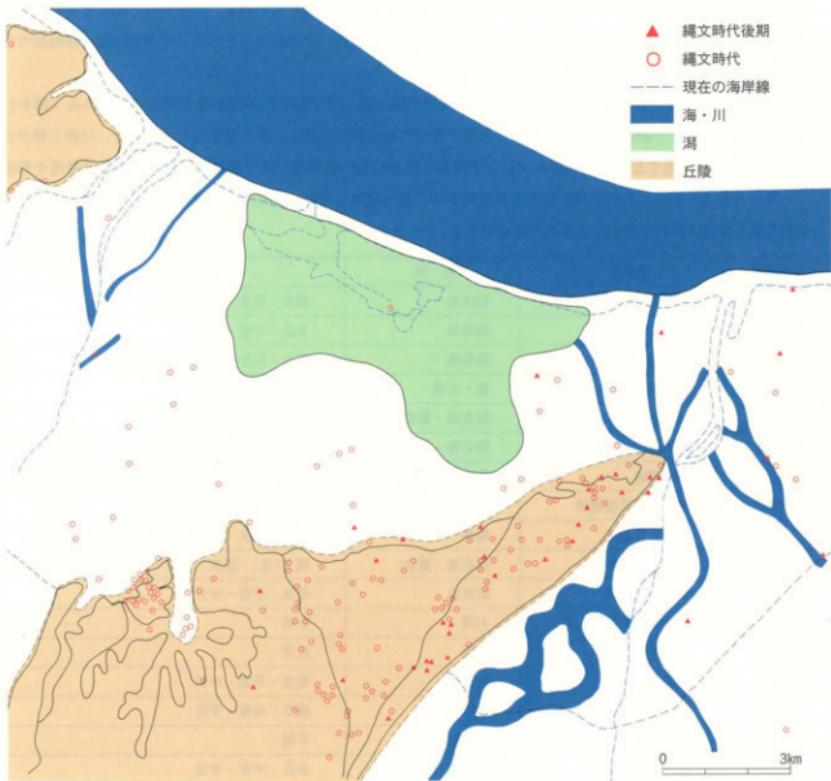


図5 縄文時代後期の地形と遺跡分布

2 遺跡の歴史的環境

針原西遺跡は射水郡小杉町黒河に所在する。イミズは当初「伊弥頭」「伊美都」「伊三豆」などの万葉仮名で表記されていたが、和銅6年(713年)5月に2文字で地名表記を統一する命令が出され(『続日本書紀』)越中の郡名として現在の高岡市・新湊市・氷見市と射水郡を含む地域を称して「射水」の表記が公的な文書で用いられるようになった。

イミズの語源は出水の意で、河口や湧水地から発生した地名(『全国地名辞典』)あるいは二上地方の湧水からイミズと称された(『日本地名基礎辞典』)等諸説ある。

黒河の地名は、南北朝時代が初見である。地名の意味は定かでないが、黒河地内を娶川が流れることなどが由来ではないかと考えられる。

針原西遺跡の近隣に認められる縄文時代の遺跡は少ないが、黒河・中老田遺跡(381043)、烟總No15遺跡(381046)、中老田Ⅳ遺跡(201074)、塚越貝塙遺跡(381045)、中老田遺跡(201270)、東老田Ⅲ遺跡(201071)、太閤山遺跡(381058)、大閣遺跡(381059)、岡山遺跡(381055)、十三塙(381091)などがある。なお、黒河・中老田遺跡については針原西遺跡と先にも述べたがいずれの遺跡も遺構面が2層あり下層の縄文面は遺構が続いており同一遺跡である。

小杉町における縄文時代遺跡の分布の中心は射水丘陵で数十遺跡が確認されている。丘陵では早期から前期の南太閤山Ⅰ遺跡、中期の中山中遺跡・上野遺跡・水上谷遺跡(県指定史跡)が確認されている。平野部では、後晩期の白石遺跡・針原東遺跡など数遺跡を数える。

圃場整備以前の地図と調査区を重ねてみると、等高線が張り出した位置に小杉姫中線が計画されている(図6)。この微高地は、おそらく調査区を縱断している川跡か娶川の自然堤防ではないかと考えられる。また、川跡と娶川が同一で、標高6.5m付近で丘陵の谷筋から一気に平野部の障害のない所に出た所で流量は少ないものの氾濫原を形成していたとも考えられる。この自然堤防が上流方向から下方へ発達していく過程で自然堤防を巻くよう流路をとったため等高線と流路の形状が類似したものと考えられる。

遺跡番号	遺跡名	種別	時代
381030	針原西遺跡	散布地	縄文・弥生・古墳・奈良
381025	針原東遺跡	散布地	奈良・平安・中世
381038	三谷遺跡	散布地	旧石・弥生・古墳・奈良・中世
381039	一ヶ山古墳群	墓・古墳	弥生・古墳・奈良
381040	黒河新Ⅰ遺跡	散布地・製鉄	古代・奈良・平安・近世
381041	黒河西山遺跡	散布地・製鉄	古代・奈良・平安・近世
381042	黒河遺跡	散布地	不明
381043	黒河・中老田遺跡	散布地	奈良・平安・中世
381044	黒河尺目遺跡	集落	旧石・縄文・弥生・奈良・中世・近世
381045	塚越貝塙遺跡	散布地・製鉄	縄文(中)・奈良・平安・中世
381046	烟總No15遺跡	散布地	奈良・平安・中世
381047	烟總No16遺跡	不明	不明
381048	黒河新二十三塙	不明	近世
381049	烟總No17遺跡	散布地	奈良・平安・中世
381065	黒河竹山遺跡	散布地	縄文・奈良・平安
381067	黒河南遺跡	散布地	不明
381068	黒河尺目西遺跡	散布地	奈良・平安・中世

表1 周辺の遺跡一覧

射水郡小杉町黒河実測図



図6 園場整備前の地形

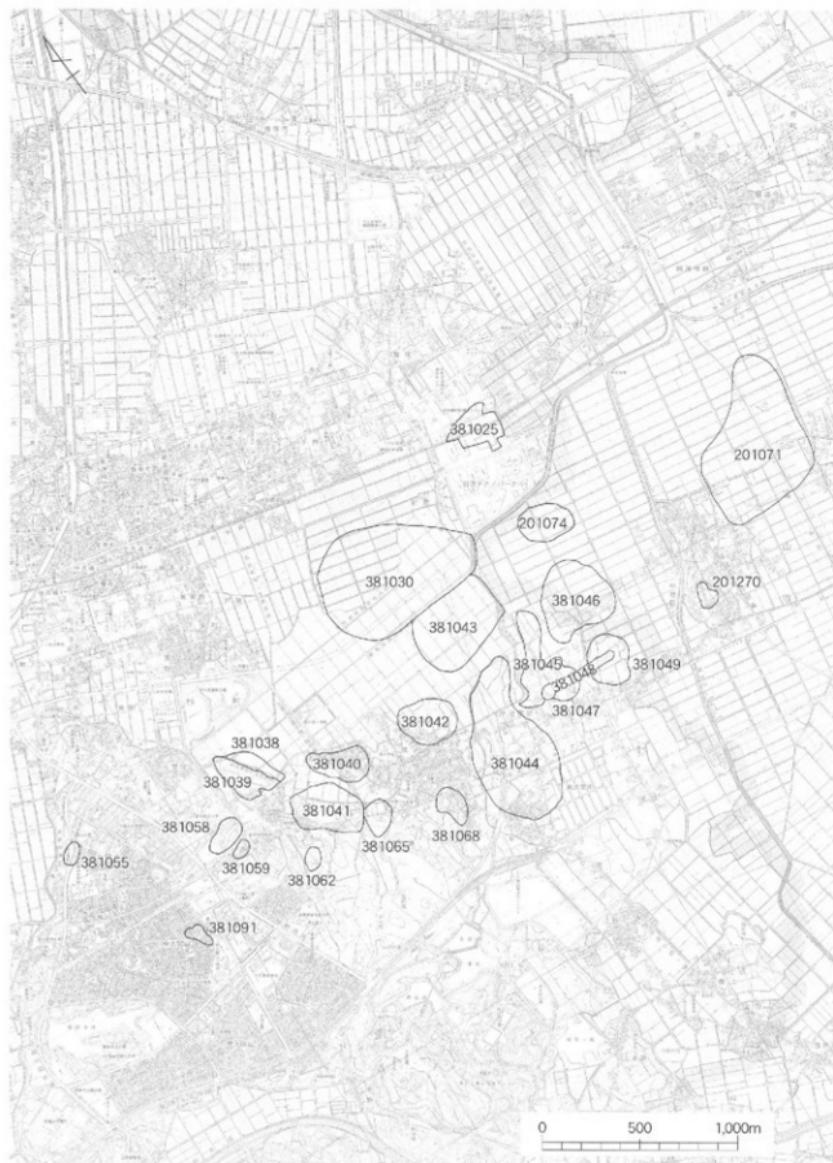


図7 遺跡の位置と周辺の遺跡

A

第2章 調査方法と調査経過

1 調査の方法

(1) 現地調査

発掘調査の基準であるグリッドは国家座標を用いX 78450.00、Y -4230.0000をX 0 Y 0 とし10mごとに基準杭を設定し1グリッドを2m四方とした。調査区はX45列を境に北と南に二分し北側をA区、南側をB区とした。A区は調査員1名体制で小杉町教育委員会、B区は調査員2名体制で富山県埋蔵文化財センターが担当した。

試掘調査は、平成11年に行った際、遺構面は1面であると考えていたが、平成12年度に小杉町教育委員会が行った西隣の調査区において遺構面が2面あることが確認されたため、まず図3のように再度試掘溝を設け断面確認した結果、やはり遺構面が2面あることが確認された。その後、重機で表土（耕作土）を除去し、10mごとの基準杭設定後、それに従いサブトレーナーを入れ断面観察を行い基本層序を決定するとともに上層の深度・面的広がりを確認した。以後遺物の取上げは基本層序にしたがった。次に人力により包含層除去、遺構検出及び遺構発掘、写真と図面による記録作業、空中写真測量・補足作業を行った。下層の遺構面についても同様の作業を行った。

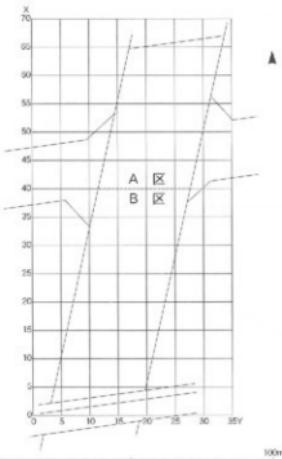
(2) 遺物整理

平成13年度は、現地発掘調査事務所において洗浄・注記を行い、注記が終了した遺物は順次県埋蔵文化財センターへ運び分類作業が行われた。現地発掘調査終了後小杉町埋蔵文化財整理室において引き続き注記作業を行い、作業終了後B区の遺物は県埋蔵文化財センターへ搬入した。A区は土器片鍤と石器の観察表の作成と石鍤の実測を行ったほか、石器の実測と写真撮影の一部を業務委託した。B区は分類・接合・復元作業・観察表の作成を行った後、遺物実測及び写真撮影を業者委託した。平成14年度A区は接合・分類・復元作業を行い観察表の作成と土器の一部実測を行ったほか、大型の土器実測及びトレースと写真撮影を業務委託した。

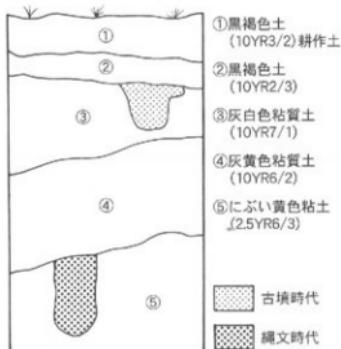
2 基本層序

基本層序は、重機による表土掘削後に10mグリッドに従い土層観察を行うために人力により設定したサブトレーナーの断面観察により決定した。

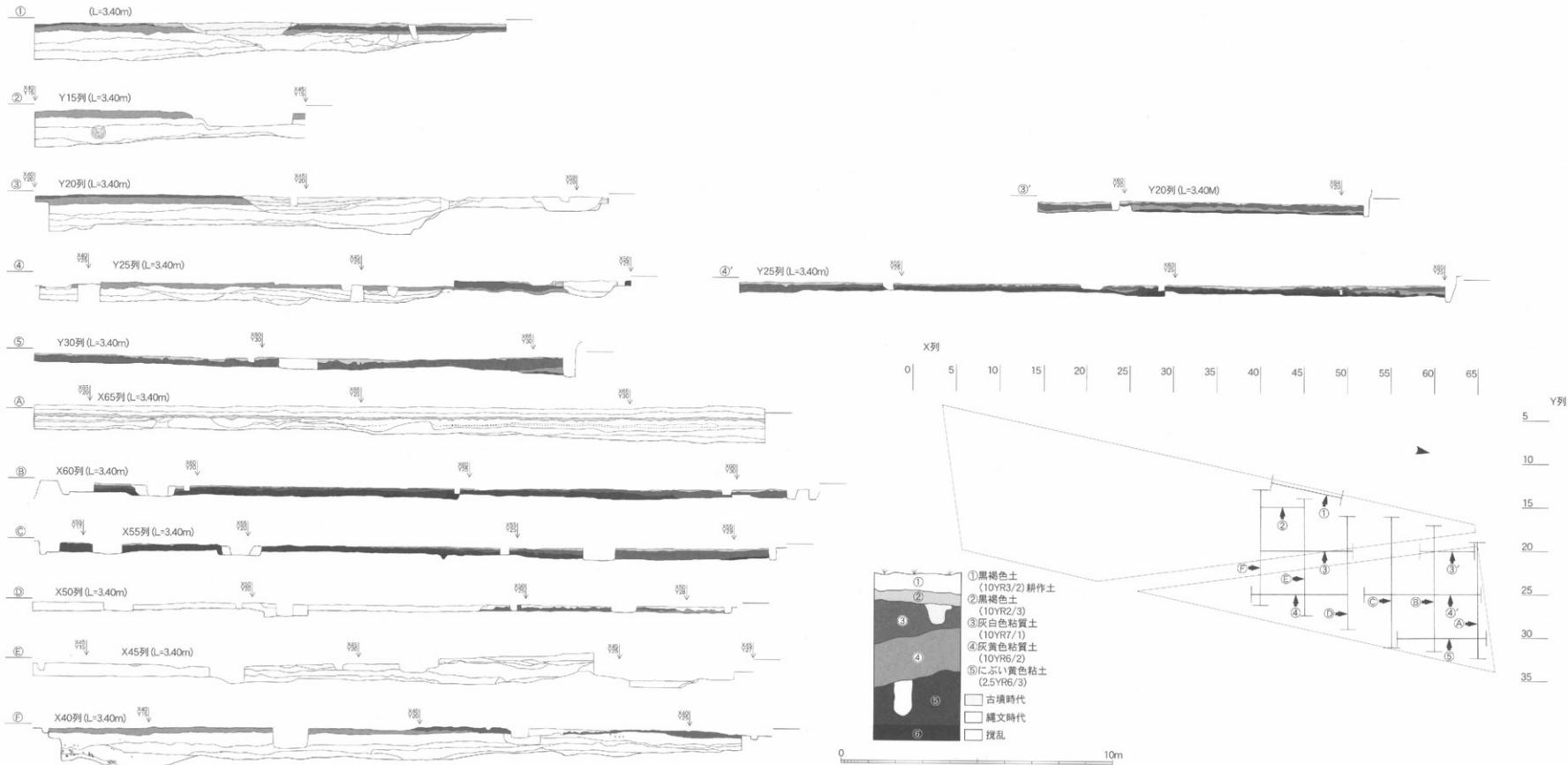
基本層序は4層に大別され、1層は現代の耕作土で厚さ15~20cmを測り、近代・現代の陶磁器類のほか繩文土器、土師器、須恵器などを含む。2層は黒褐色土で約10cmを測る。3層は20~40cmを測り、上層の遺構掘り込み面となる。遺構の時期については不明であるが、調査区の西側において平成12年度に行なった調査（針原西遺跡I）からおそらく古墳時代ではないかと推測される。4層は灰黄色粘質土で無遺物層である。5層は下層の遺構検出面となる。繩文土器が多量に出土した川跡はこの5層が遺構検出面となる。



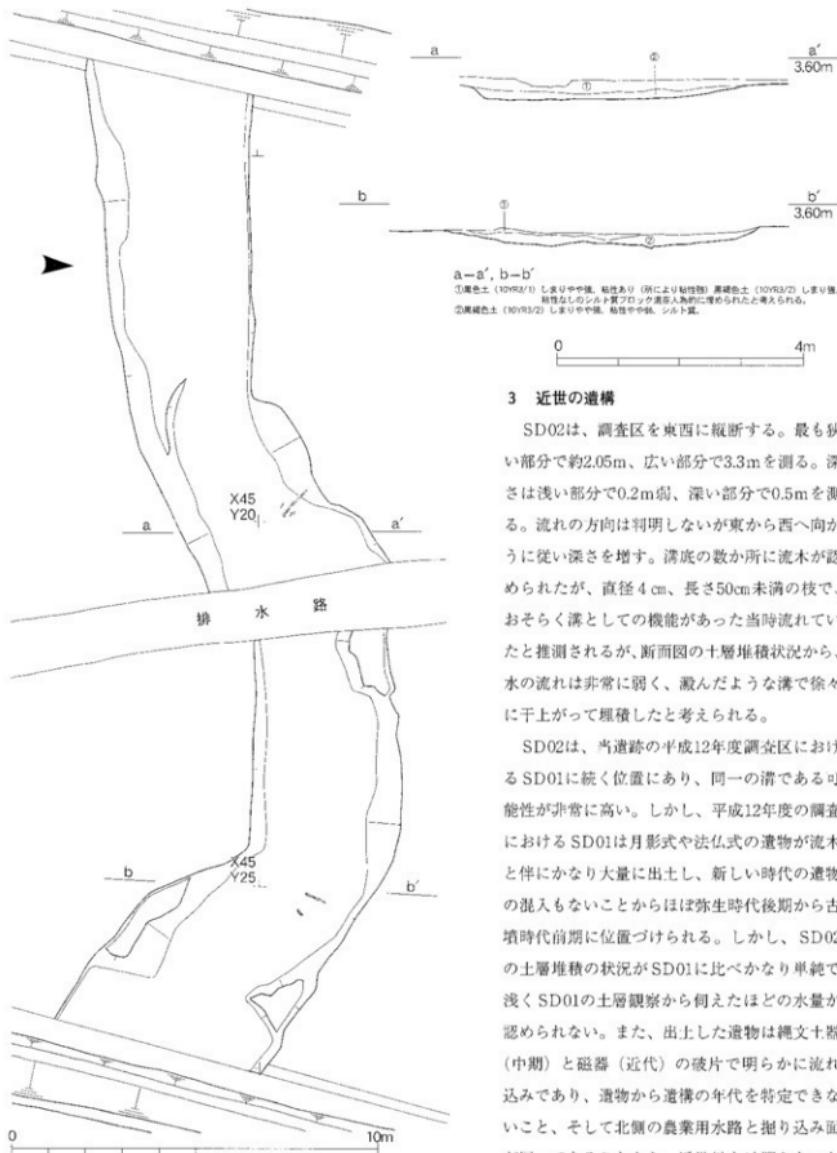
A区 図8 調査位置図



A区 図9 基本層序図



A区 図10 グリット断面図



3 近世の遺構

SD02は、調査区を東西に縦断する。最も狭い部分で約2.05m、広い部分で3.3mを測る。深さは浅い部分で0.2m弱、深い部分で0.5mを測る。流れの方向は判明しないが東から西へ向かうに従い深さを増す。溝底の数か所に流木が認められたが、直径4cm、長さ50cm未満の枝で、おそらく溝としての機能があった當時流れっていたと推測されるが、断面図の土層堆積状況から、水の流れは非常に弱く、澱んだような溝で徐々に干上がって埋積したと考えられる。

SD02は、当遺跡の平成12年度調査区におけるSD01に近く位置にあり、同一の溝である可能性が非常に高い。しかし、平成12年度の調査におけるSD01は月影式や法仏式の遺物が流木と共にかなり大量に出土し、新しい時代の遺物の混入もないことからほぼ弥生時代後期から古墳時代前期に位置づけられる。しかし、SD02の土層堆積の状況がSD01に比べかなり単純で浅くSD01の土層観察から伺えたほどの水量が認められない。また、出土した遺物は縄文土器(中期)と磁器(近代)の破片で明らかに流れ込みであり、遺物から遺構の年代を特定できること、そして北側の農業用水路と掘り込み面が同一であることから、近世以上は潮流がないと考えられ、同一の溝であるとは認めがたい。

A区 図11 SD02

4 縄文時代の遺構

縄文時代の遺構は特に認められない。自然流路であるSD03から多量の縄文土器が出土していることからここではSD03について記述する。また便宜上、針原西遺跡について平成12年度に行った町道東老田高岡線にかかる調査を針原西遺跡Ⅰ、平成13年度に行った主要地方道小杉鷲中線にかかる調査を針原西遺跡Ⅱ、同年町道東老田高岡線にかかる調査を針原西遺跡Ⅲと呼ぶ（図1）。

SD03は調査対象地の西に隣接する針原西遺跡Ⅰの川跡（遺物取上げ遺構名称）の上流にある。また平成13年度に調査した黒河・中老田遺跡のSD03の下流にある（A区図14）。

黒河・中老田遺跡においてSD03は蛇行しつつも北北東へ向かい流れしており、上流部の幅は約3m、深さ約0.25m、下流部は幅約10m、深さ約0.55mを測り下流部分ほど川幅・深さが増す。一部道路下となり針原西遺跡Ⅱへ続き、右岸は調査区外となるが一気に川幅・深さが増し、西へ屈曲する。針原西遺跡Ⅱ内における上流部の幅は推定16.5m、深さ約0.55m下流部の屈曲部分の幅は約51.5m、深さ1.4mを測る。A区が含まれるのはこの屈曲部分の外周部である。屈曲部分の川底の形状は外淵部がえぐられ最も深く中央部分が若干高く内淵部がやや深くなり馬の鞍状を呈す。特に内側部分には流木の堆積が著しい。

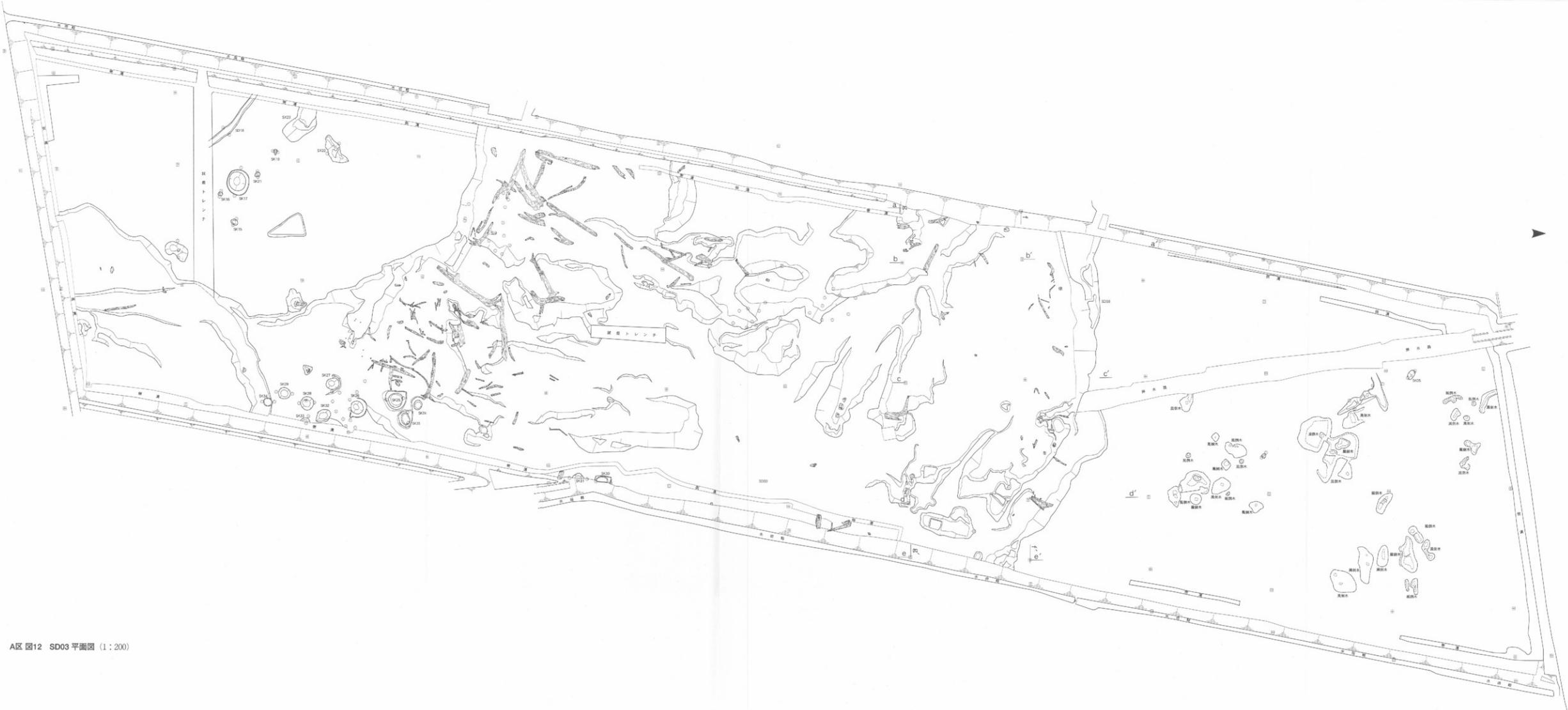
土層の堆積は大きく4層に分類することができる。2層以下はいずれも1層のなかに粗い砂・細かい砂・ビートの層が複雑に堆積することから、速い流れ、緩やかな流れを繰り返し、時には濁みながら流路を複雑に変えていたことが伺える。

また、B区からは数箇所のヤマトシジミを中心とする貝層が確認されているほか、針原西遺跡Ⅰからも1ヶ所貝層が確認されている。特に針原西遺跡ⅠではSD03の中央部の川底から貝層が確認されている。また、SD03の川底部や立ち上がり部分X14~15、Y15~16（針原西遺跡Ⅰ）やX46~47、Y15~16（針原西遺跡Ⅱ）付近においては直径7~15cmのトネリコの樹根がまとまってみとめられたことから右岸のところどころがトネリコの群生に覆われていたことが伺えるほか、花粉分析により湿地林を形成するトネリコ属やハンノキ属の花粉が多産している。以上のことから、SD03が埋蔵していく段階、あるいは季節的に干上がることにより、SD03の中央部分まで貝を捨てていくことができたり、トネリコの生育が可能な環境であったと考えられる。

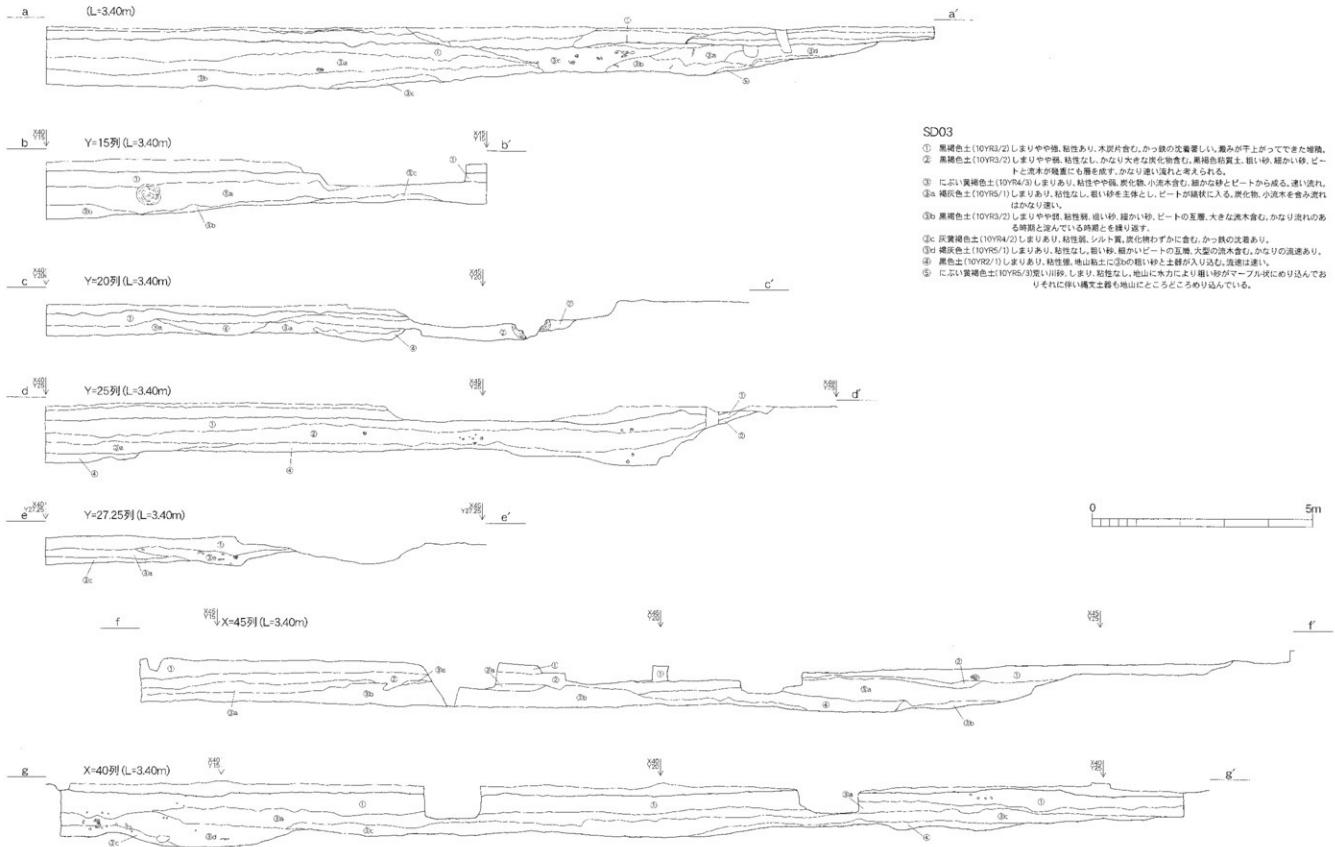
また、貝層の化学分析の結果ヤマトシジミを中心にカキ・カワニナなど汽水生域の貝から海生・淡水生の貝もわずかに含まれていた。これらの内ヤマトシジミの中には被熱により灰色を呈するものが確認された。いずれの種類の貝も茹でたかいなかについては分析できないが、付近に住む人々が食した後、川あるいは湿地へ破棄したと推測される。

流木のなかにはかなりの大木が認められ、土層の一部にもかなりの激しい流れが推測される部分があるが、比高差が小さいことや上流部分の川幅が狭く浅いことから常に豊かな水量があったとは推測しにくく長雨の時などに水嵩が増し一気に木や土砂を押し流したのではないかと推測される。しかし、SD03の検出範囲において後世の削平により川幅が狭くなったり、浅くなった痕跡は認められず、SD03の幅と深さから考えて上流からは流れ得ないような大木が特に屈曲部分の中層から下層にかけて多数認められた。周辺の状況を考えるとSD03の北側には大小の風倒木根が多数検出されていることから周辺には樹木が茂っていたことが判明しており、それらの木を何らかの目的のため人為的にSD03へ入れた可能性がある。

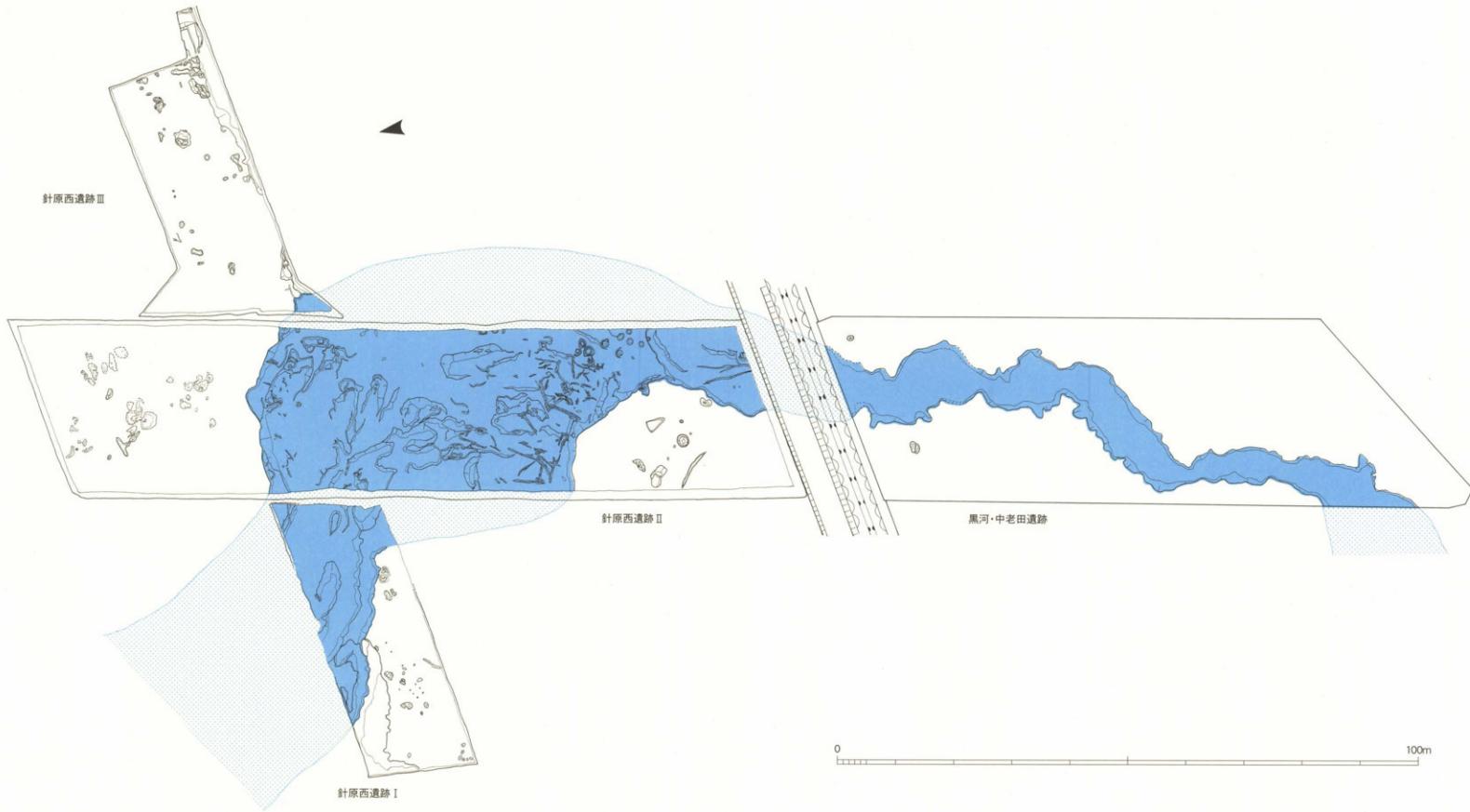
また、土器・石器の多くは3層以下の下層部分から集中して出土している。おそらくこれらの土器は破棄されたものと推測される。なお、当初出土する土器片錐や石錐は、SD03において漁労が営まれていたためと考えていたが、SD03の状況を考えると生息できる魚はおそらく沼などを好むフナやナマズで深みには流木がありアミが打てる状況ではないことからこれらの漁労具も土器と同様破棄された可能性が考えられる。



A区 図12 SD03 平面図 (1:200)



A区 図13 SD03 断面図



A区 図14 SD03 推定流路

5 遺物

出土遺物は包含及びSD02からの出土はごくわずかで、出土遺物の大半はSD03からである。包含層及びSD02から出土した遺物は後世の圃場整備や埋立により入り込んだもので、遺構の時期はまったく反映しない。ここではSD03から出土した遺物を中心に事実報告を行う。

まず、包含層から出土した遺物であるが、A区約1,800m²から出土し、固化できた遺物は1～4（A区図15）の4点である。1は近・現代と推測される花崗岩製の石臼で、8分角、正常臼の下臼である。2は9世紀代の杯身B、3は珠洲のすり鉢、4は10世紀代の越中瀬戸の灯明皿である。

5～8（A区図15）は圃場整備前の農業用用水路跡から出土したものである。気泡式の小型深鉢（5）、土器片鉢2点（6・7）、串田新式の深鉢（8）である。

9～11（A区図15）はSD02からの出土遺物で、この溝は、平成12年に調査を行った針原西遺跡Ⅰにおいて、川跡（本遺跡で言うSD03）上に重なっていた古代の溝と同一とは考えられない。上層の観察から1層は人為的に埋め立てられているようである。遺物は近代の染付け（9）、と繩文土器片が2点（10・11）すべて1層から出土している。

SD03からは繩文土器、石器が約150点出土した。SD03の蛇行と流速の関係か、針原西遺跡Ⅰの調査地点からは木製品が多数出土したが、針原西遺跡Ⅱの調査地点からは大量の流木を検出したものの木製品の出土はまったく認められなかった。しかし、土器片鉢や石錐、石斧などの石製品の出土量では針原西遺跡Ⅰをはるかに上回る。

SD03からの出土遺物はすべて繩文時代に属するもので、出土位置はSD03のほぼ全流域に均一に出土し、覆土の1・2層ではほとんど出土せず、3層以下の砂質層と腐植土層の互層が出土層位の中心となる。最も遺物を多く含む層は3層で4層以下は3層よりやや少ない。ただし、3・4・5層ともに流木に寄り止められたり、川の流れにより小さな土器溜まりを形成している地点が認められたほか、1個体が潰れて出土するものや川底の粘土質層に砂とともにめり込むように入り込んでいる土器片も多數あった。また、同一の層位にまったく埋滅していない土器片と米粒程度までローリングを受け埋滅した土器片などいろいろな埋滅度の土器片が混在しており、SD03の性格を理解することは困難である。

SD03から出土する土器の時期は繩文時代中期を中心であるが前期・晚期と思われるものも含まれる。ここでは層位ごとに出土した土器の形態・文様について概観したい。

3・4・5層出土深鉢—形態

- A 脇部がやや張り、口縁部が緩く外反あるいは双頭波状口縁のもの。
- B 脇部は底部からやや外傾し、口縁部は外反するもの。
- C 脇部は底部から外反あるいは脇部がやや張り、口縁部が双頭波状口縁のもの。
- D やや張り気味の脇部に外反する口縁部がつくもの。
- E やや張り気味の脇部に外反あるいは口縁端が直立するもの。
- F 頭部でくびれてから口縁部が内湾気味に立ち上がるもの。
- G 頭部でくびれてからゆるく外反するもの。
- H 口縁部が大きく外反し、脇部が大きく張るもの、わずかに張るもの。
- I やや張り気味の脇部から口縁部に向かって緩やかに内湾するもの。

3・4・5層出土深鉢—文様

- 1類 横走する口縁の沈線を縦の短い沈線1～3条で区切り工字状文風のもの。
- 2類 沈線でT字状文を描くもの。あるいは一点破綻風沈線を口縁に引くもの。
- 3類 口縁部に平行な貝殻文を施した隆帯を持ち、縦の短い沈線や蛇行沈線などで充填するもの。

- 4 類 口縁部に列点文・貝殻文を施し、縦の短い沈線や蛇行沈線、葉脈文などで充填するもの。
- 5 類 全体に繩文施文されたもの。
- 6 類 口縁部に平行沈線が引かれ、単位文様としてS字状沈線などが描かれ単位性を示すもの。
- 7 類 2条の平行沈線間に継引きの短沈線を引き並べるもの。
- 8 類 複数の平行沈線に列点を押し並べるもの。
- 9 類 2条の平行沈線に大きな蛇行状沈線を引くもの。
- 10 類 平行沈線間に網代状に隆帯を張り付け、脣部には継位の沈線を施す。
- 11 類 口縁部に末端刺突を持つ沈線を施す類。
- 12 類 口縁部の末端刺突を持つ沈線や曲線内に繩文や列点文を施す。
- 13 類 口縁部から脣部に2~3条の三角形刺突文を施し、口唇部に棒状具あるいは斜繩文を施す。三角形刺突文が形骸化し、沈縫状を呈するものもある。
- 14 類 口縁部無文。

分類

- A - 1 (A区図17・18 27・29・32・38・39) 脣部がやや張り、口縁部が緩く外反し、横走する口縁の沈線を縦の短い沈線1~3条で区切り丁字状文風のもの。
- A - 4 (A区図18 37) 脣部がやや張り、口縁が緩く外反し口縁部に平行な列点文・蛇行沈線が施され貝殻文で充填するもの。双頭波状口縁で口縁部は沈線と列点文で充填され脣部には葉脈文が施される。
- B - 3 (A区図17・18 30・31・33) 底部から口縁部に至るまで外傾し、口縁部は平行な貝殻文を施した隆帯を持ち、縦の短い沈線や蛇行沈線などで充填するもの。
- B - 5 (A区図16 15) 底部から脣部に至るまで外傾し、口縁部が立ち上がり、全体に繩文が施文されるもの。
- C - 3 (A区図17・18 28・34) 脣部は底部から外反し、口縁部が双頭波状口縁でブリッジを有するもの。口縁部に平行な貝殻文を施した隆帯を持ち、縦の短い沈線や蛇行沈線などで充填するもの。
- C - 4 (A区図18 40) 脣部は底部から外反し、口縁部が双頭波状口縁のもの。口縁部は沈線と列点文で充填され脣部には葉脈文が施される。
- D - 6 (A区図16 17~19・23~25) やや張り気味の脣部に口縁は外反する。平行沈線を区画して単位模様を施文するもの。平行沈線間に列点文が施されるものもある。
- D - 7 (A区図19 42) 口縁部は外反し、口縁部の平行沈線間に継位の沈線を引き並べるもの。
- D - 9 (A区図16 20~22) 平行沈線間に大きく蛇行する沈線を描きその間列点文を施すものもある。
- D - 10 (A区図18 35) 平行沈線間に隆帯を網代状に配し脣部には継位の沈線が施される。
- E - 8 (A区図17・19 26・43) やや直立する口縁の平行沈線間に列点文が押し並べられるもの。
- F - 11 (A区図19・20 47・54) 口縁部には末端刺突文の沈線、脣部には2条の三角形刺突文。
- F - 12 (A区図19 46) 曲線内に列点文や斜繩文を施す。
- F - 13 (A区図19・20 45・48~51・53) 脣部に2条の三角形刺突文、口唇部に棒状や斜繩文の圧痕が施される。
- G - 13 (A区図19・20 44・52) 口唇部に斜繩文あるいは小型の三角形刺突文を施したもの。
- H - 14 (A区図25 128・129) 口縁部が強く外反し、無文。脣部は確認できなかったため形態は不明。
- I - 14 (A区図25 131・132) 脣部から口縁部に向かい緩やかに内湾し、無文。
- 鈎付土器 (A区図25 137) 強く張り出した脣部から頭部にかけて強くすぼみ、口縁部が外反する。2カ所鈎を貼り付けている。

浅鉢（A区図24・25 115～118・124～127・130）は大別すると口縁が強く内湾するもの（A区図24 115～118）、無文で底部から外傾し器高の低いもの（A区図25 124～126）、口縁がくの字に立ち上がるるもの（A区図26 139）の3タイプになる。

このほか（A区図21・27 59・60・61）59は朱漆と推測される圓形物が付着しているほか、61・62は同一個体でおそらく浅鉢ではないかと推測され、外面には黒漆が塗られ、朱漆で藤子文が描かれている。内面にも黒漆が塗られていた痕跡が認められる。156はミニチュア土器であるが外面は無文で内面に朱漆が塗られている。そのほか朱塗りされた取手や錐状の土製品（巻頭写真）も出土している。

上器片については形態・文様から上記のように分類することができ、SD03の主体は串田式・前田式・気屋式の中期後葉から後期前葉にかけての遺物が最も多い。ただし、わずかではあるが中期前葉や後期後葉の上器片が見受けられるが、層位的に時期差を見出すことはできない。

1点出土している土偶（A区図27 157）は北陸地方特有の反りかえった板状のもので、頭部に穴が穿たれ、正面裏面と周縁に刺突文が施されている。SD03の下流の針原西遺跡Iで脚部が出土しているが別個体であった。

底部圧痕は網代状圧痕・スダレ状圧痕・カゴ状圧痕・木葉状圧痕の4種に大別される（A区図27・28・29 158～292）。網代状圧痕はタテ条・ヨコ条いずれも1本を用い、タテ条に対しヨコ条が2本越え2本並り1本ずれ、2本越え1本並り1本ずれ、1本越え1本並り1本ずれの3種類があり、網目はタテヨコいずれも角張った長方形パターン・梢円形パターンやタテヨコのいずれか一方が角張った長方形パターン・もう一方が梢円形パターンの4種類があり、いずれもしっかりと目の詰まつた編み方のものと編み方が緩く目と目の間に隙間があるものがある。中には、底部の縁辺部分の編み方が粗くなっているものや雑になりパターンを誤るものがあるほか、全体にねじれ（歪み）ているものや、ところどころ1本が2本にわけているものがある。また、タテ条・ヨコ条いずれも2本を1組としタテ条に対しヨコ条が4本越え（2本2組）4本（2本2組）並り2本（2本1組）ずれのものがわずかにある。また、網代状圧痕の種類は明確でないが網代状圧痕をヘラ状工具で削り落しているものがある。

また、スダレ状圧痕はタテ条・ヨコ条いずれもが撚がかかるていないものを寺間隔に編んで網目が正方形を呈するものと、どちらか一方の間隔が広く網目が長方形を呈するものの2種類がある。また、網目が長方形を呈するものの中にはヨコ条のみに撚りがかかるているもじり編みのものがある。カゴ状圧痕はカゴの底部の中央部分の編み始めが網代状圧痕に類似するが外周部分では目の詰まりが渦巻き状に纏められている。

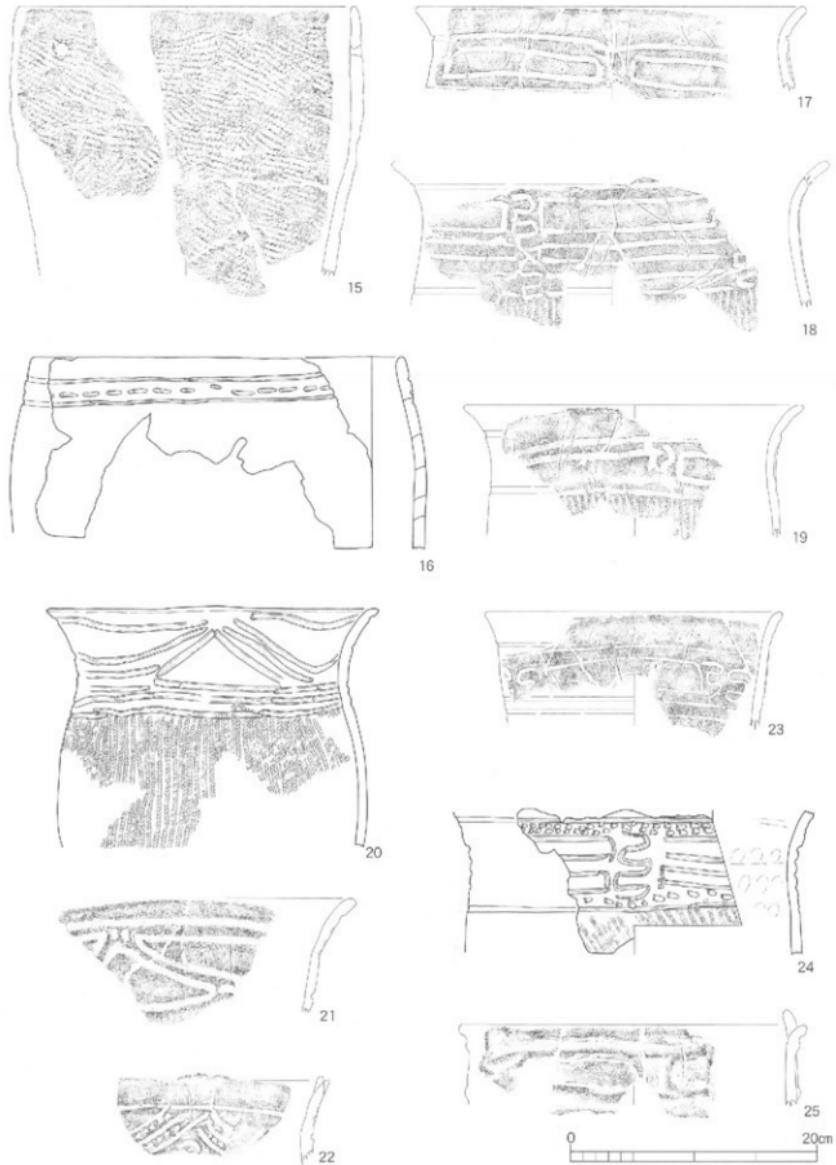
土器片鍤については土器の出土状況と同じで川道の屈曲する外側方向（X44～45、Y15～26）付近に若干集中するようだが、SD03の川道中心部のグリットに比べ著しく多く出土したという結果は得られなかった。また、出土層位は上器片と同様で3層を中心にして4・5層となる。また、多くの土器片鍤に網と結んだ紐の痕跡や漁労時の摩耗が認められないことから、作業中に外れたものではないとも考えられる。円盤状土製品についても出土状況は同じである。

石製品は種類としては装飾品2点、石鏸2点、敲石5点、磨製石斧1点（A区図37 508～518）、石錘109点（A区図37～42 519～628）でA区だけの出土割合ではおよそ93%が漁具である。

石鏸は凹基無茎鏸と柳葉形鏸がそれぞれ1点と、エンドスクレイバー1点、一部を欠損する磨製石斧と块状耳飾が1点、現状石製品が1点である。環状石製品は指輪あるいはペンダントヘッドと推測される。指輪と考えた場合現在のサイズで6号相當にあたり、現代の一般女性ではほとんどの人が小指にすらはまらないが、特別な人が幼少より装着していたものであろうか。また、ペンダントヘッドと考えた場合、環状に着く装飾部分にも穴が穿たれておりこの穴に紐を通した場合いわゆる正面を向いて自然なかたちで垂れ下がり、違和感がない。517は、敲石と凹石の複合石器である。



A区 図15 出土遺物 2・3層, SD01, SD02, SD03 1・2層



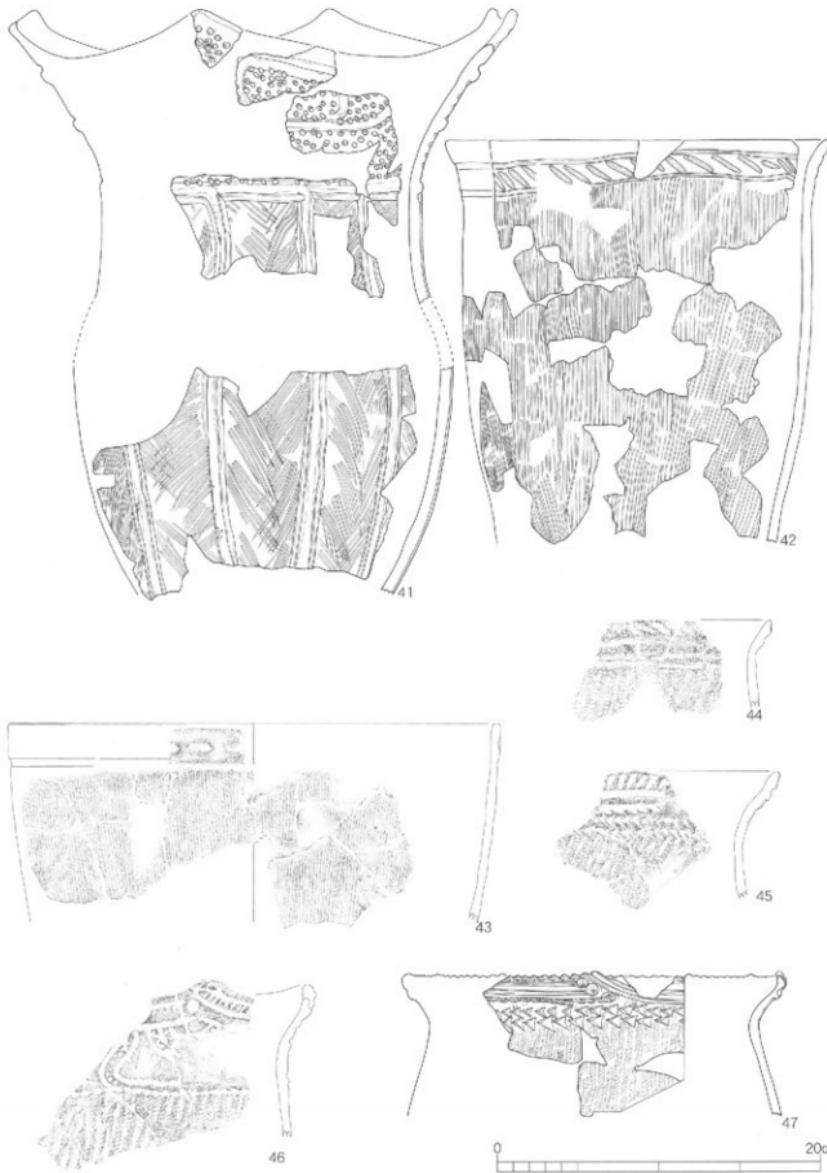
A区 図16 出土遺物 SD03 2・3層



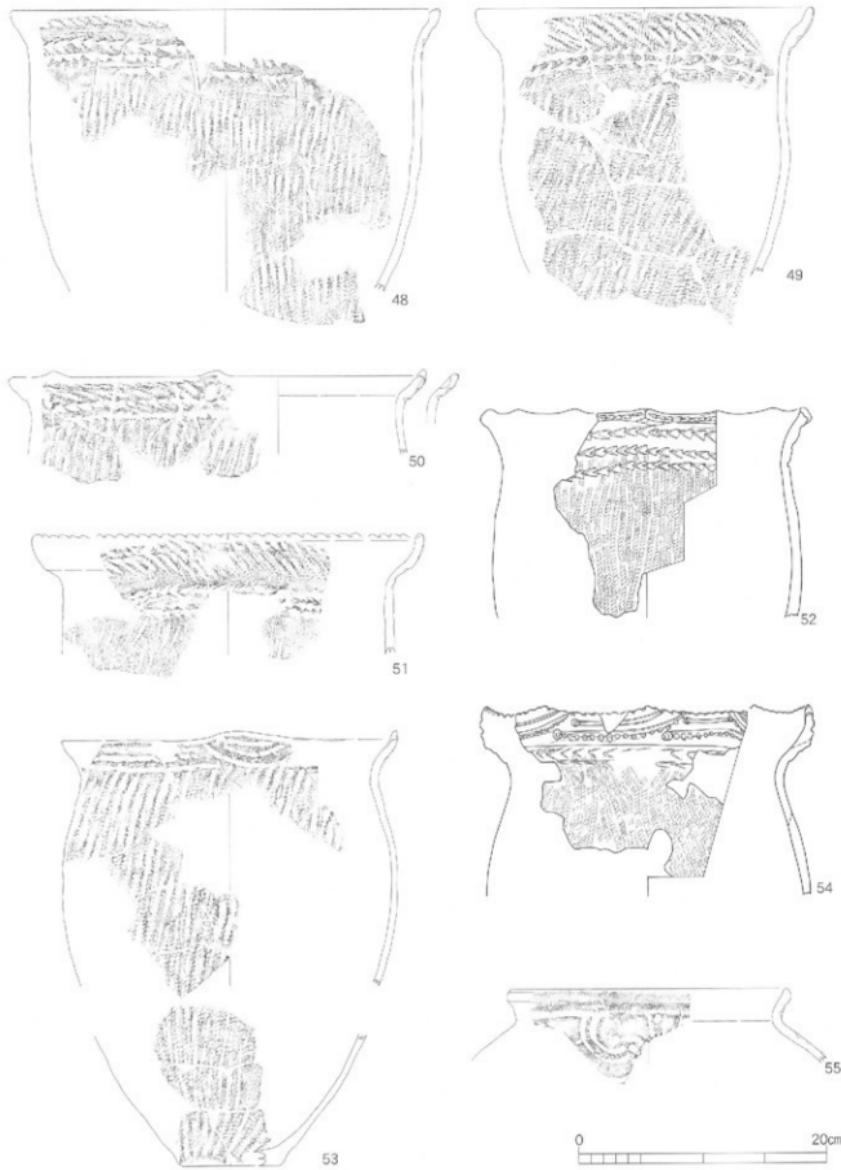
A区 図17 出土遺物 SD03 3層



A区 図18 出土遺物 SD03 3層



A区 図19 出土遺物 SD03 3層



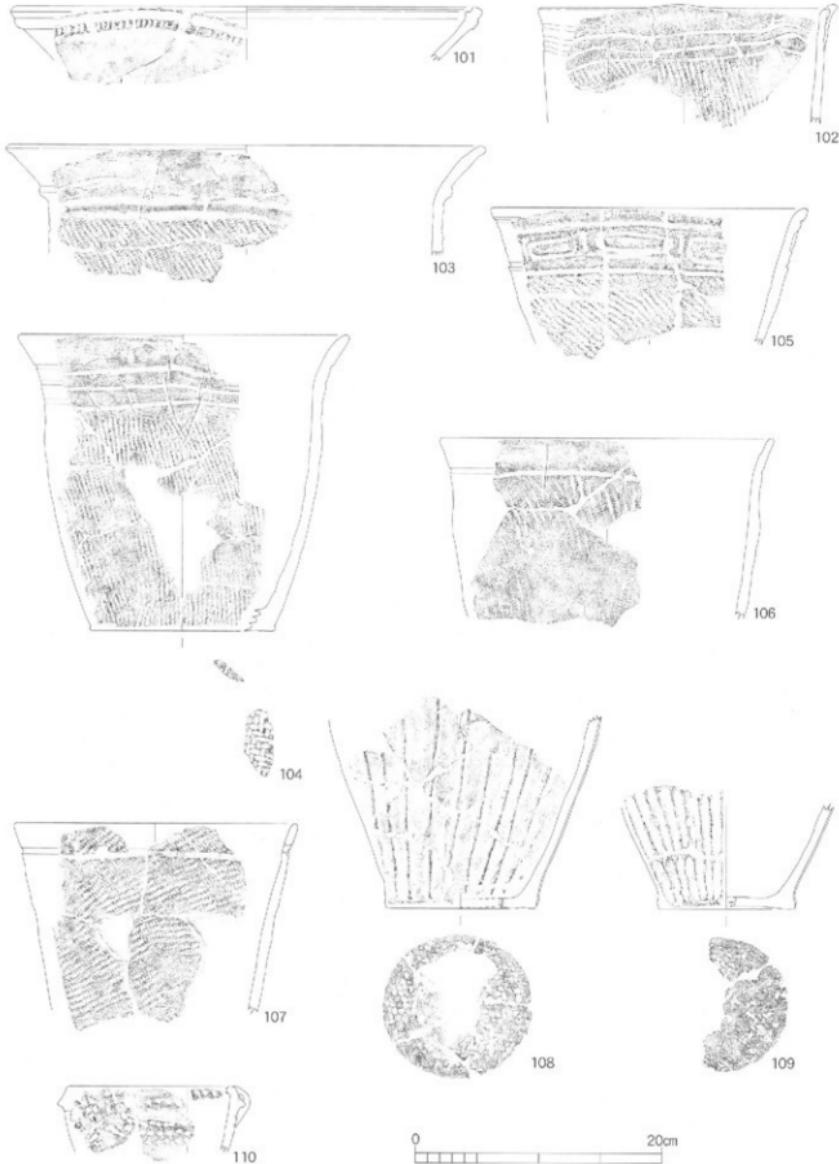
A区 図20 出土遺物 SD03 3層



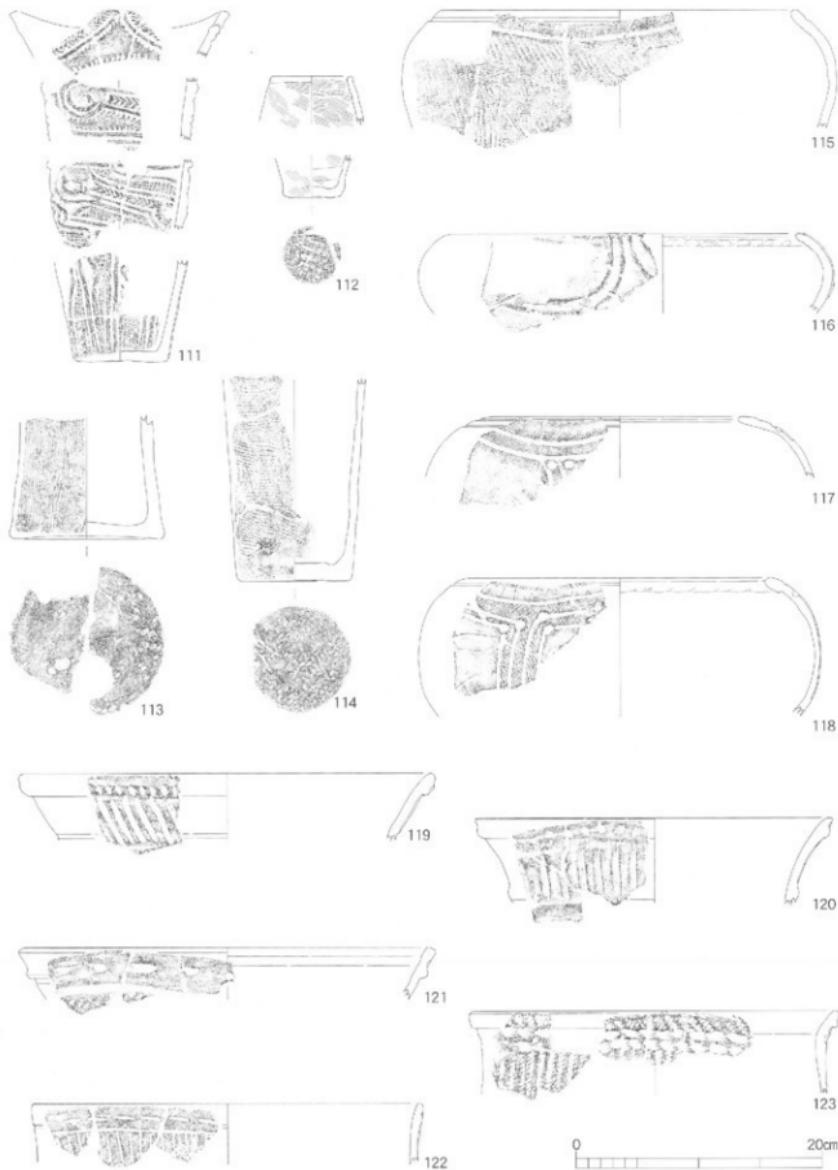
A区 図21 出土遺物 SD03 3層



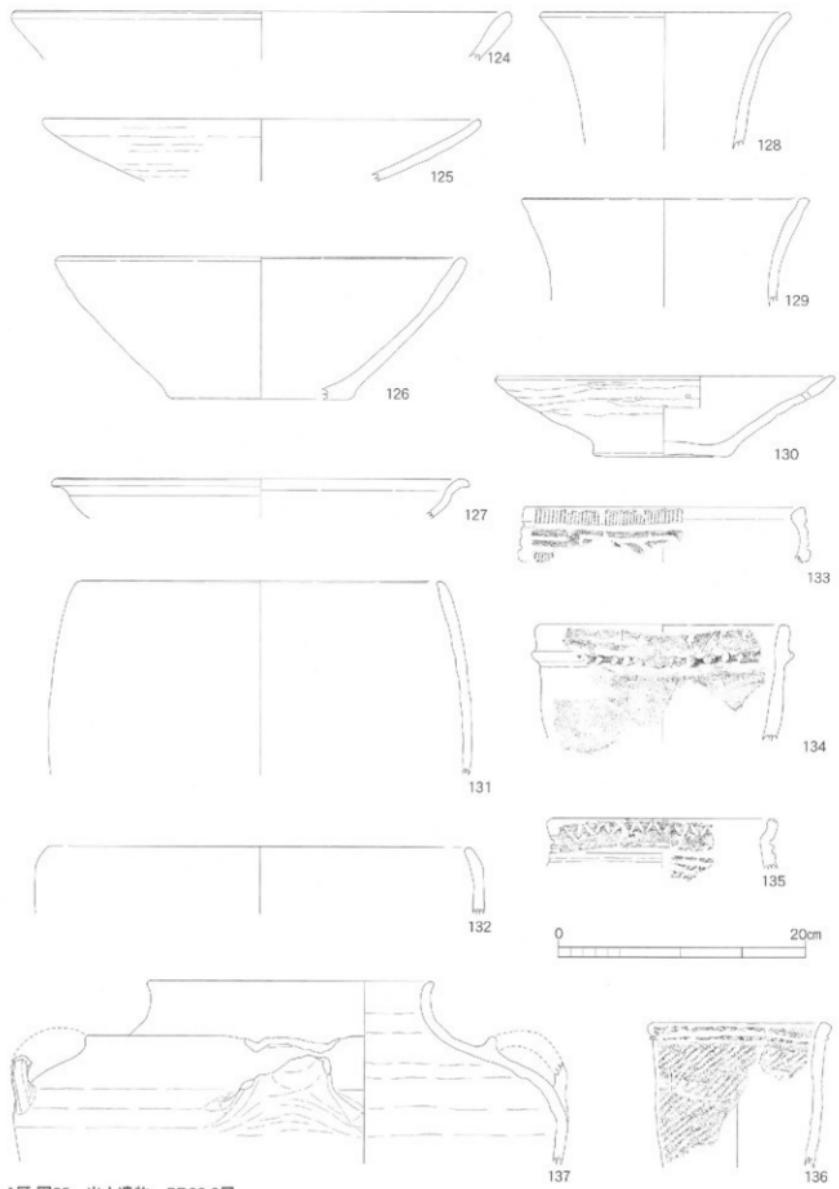
A区 図22 出土遺物 SD03 3層



A区 図23 出土遺物 SD03 3層



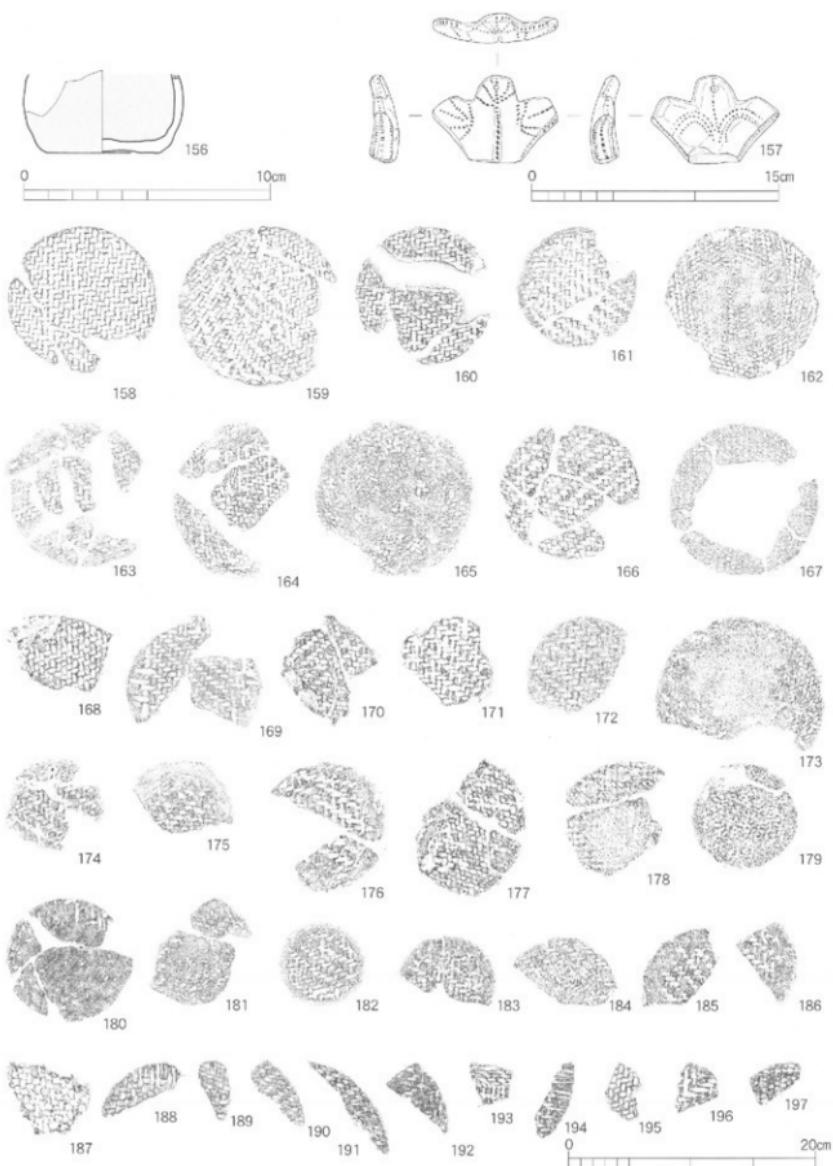
A区 図24 出土遺物 SD03 3層



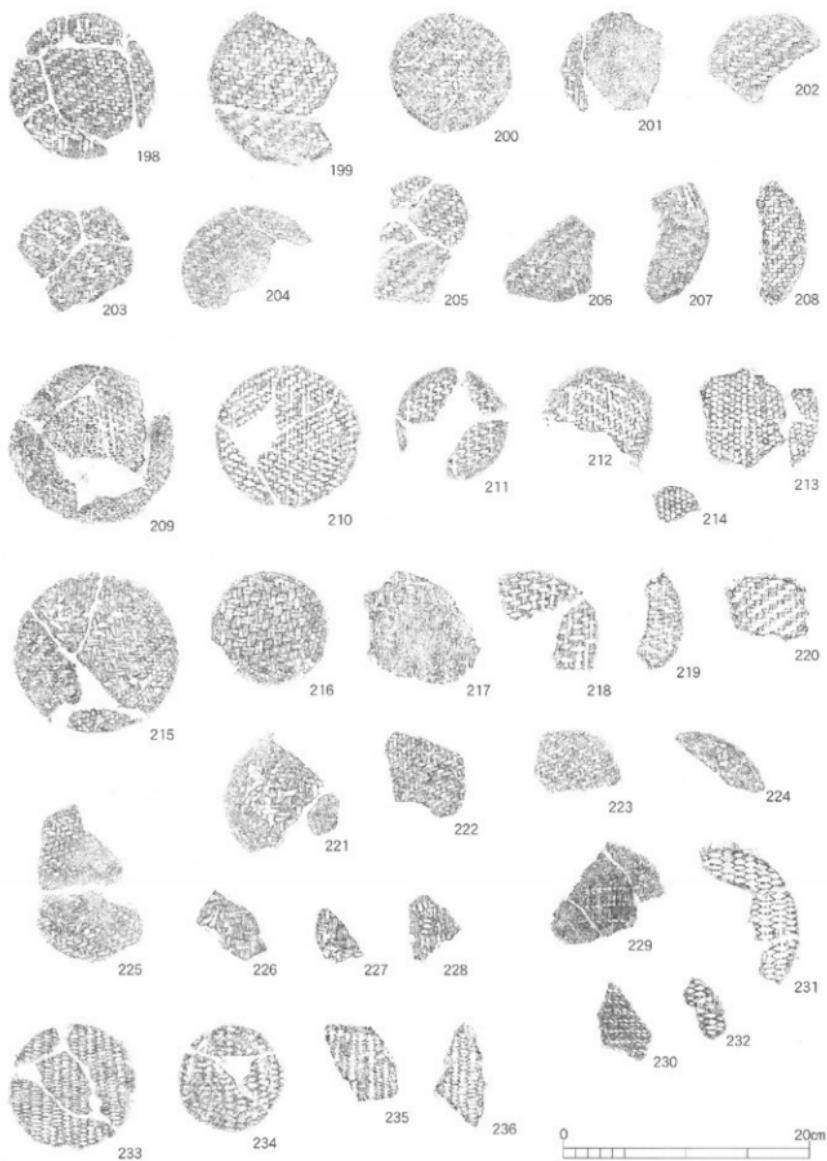
A区 図25 出土遺物 SD03 3層



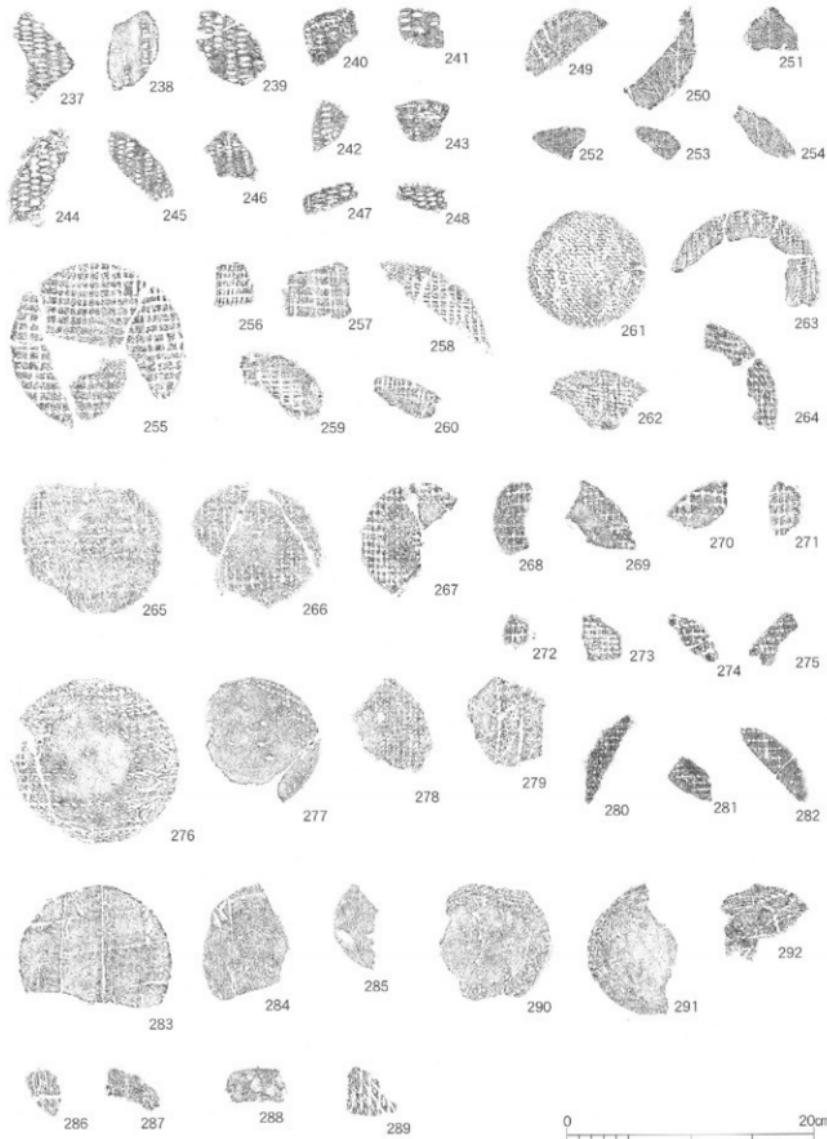
A区 図26 出土遺物 SD03 3~5層



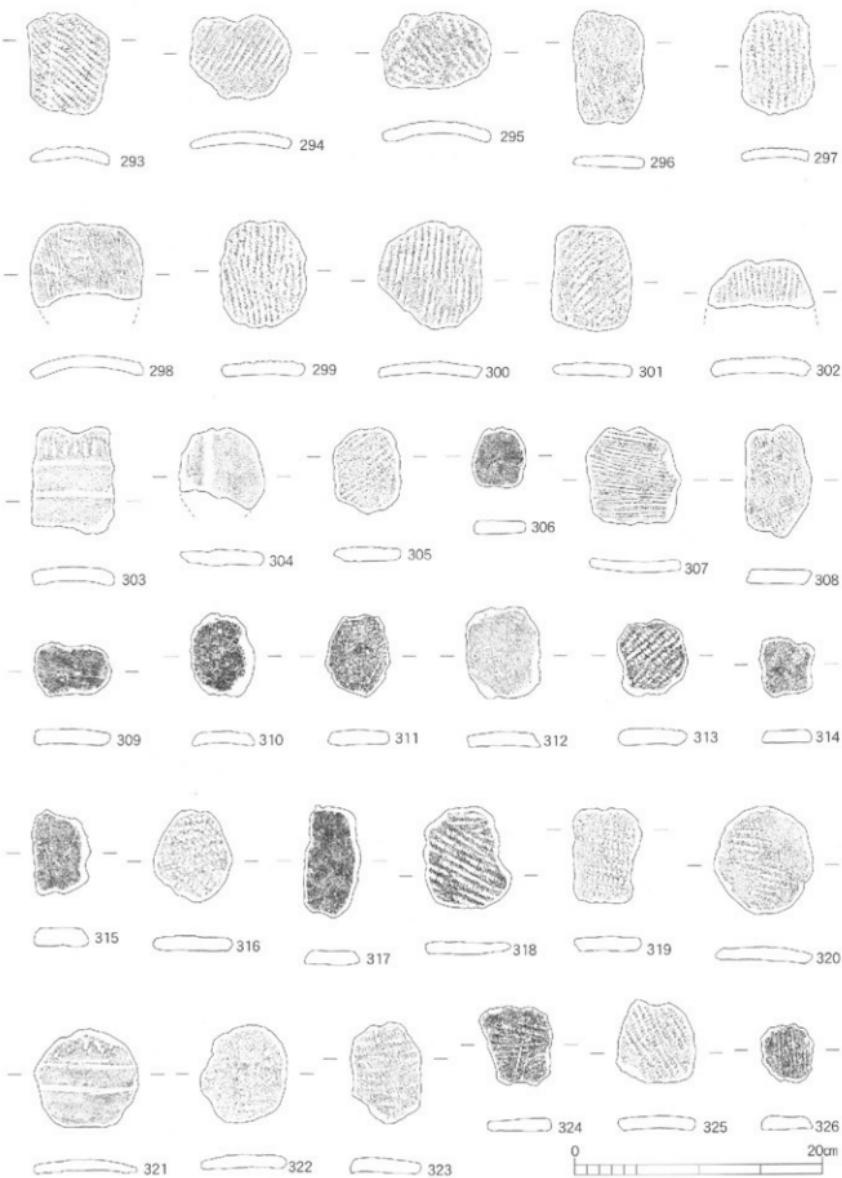
A区 図27 出土遺物 SD03 底部



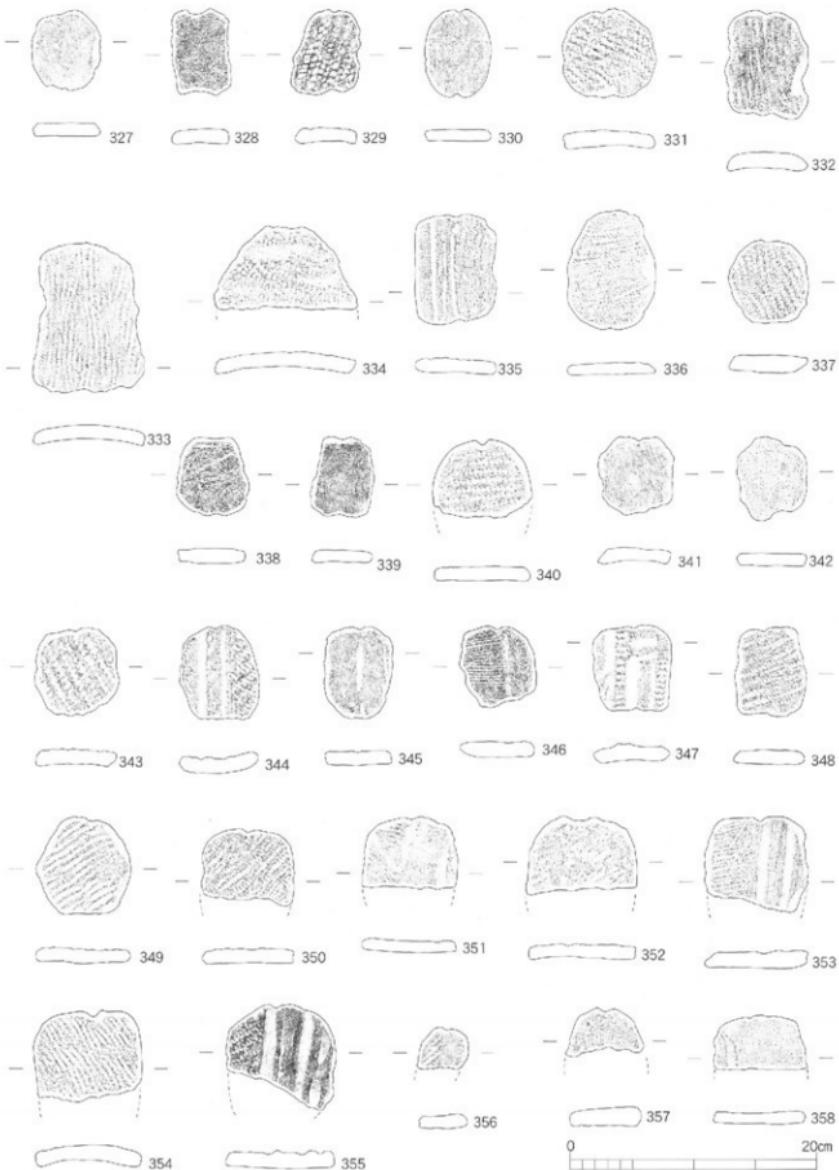
A区 図28 出土遺物 SD03 底部



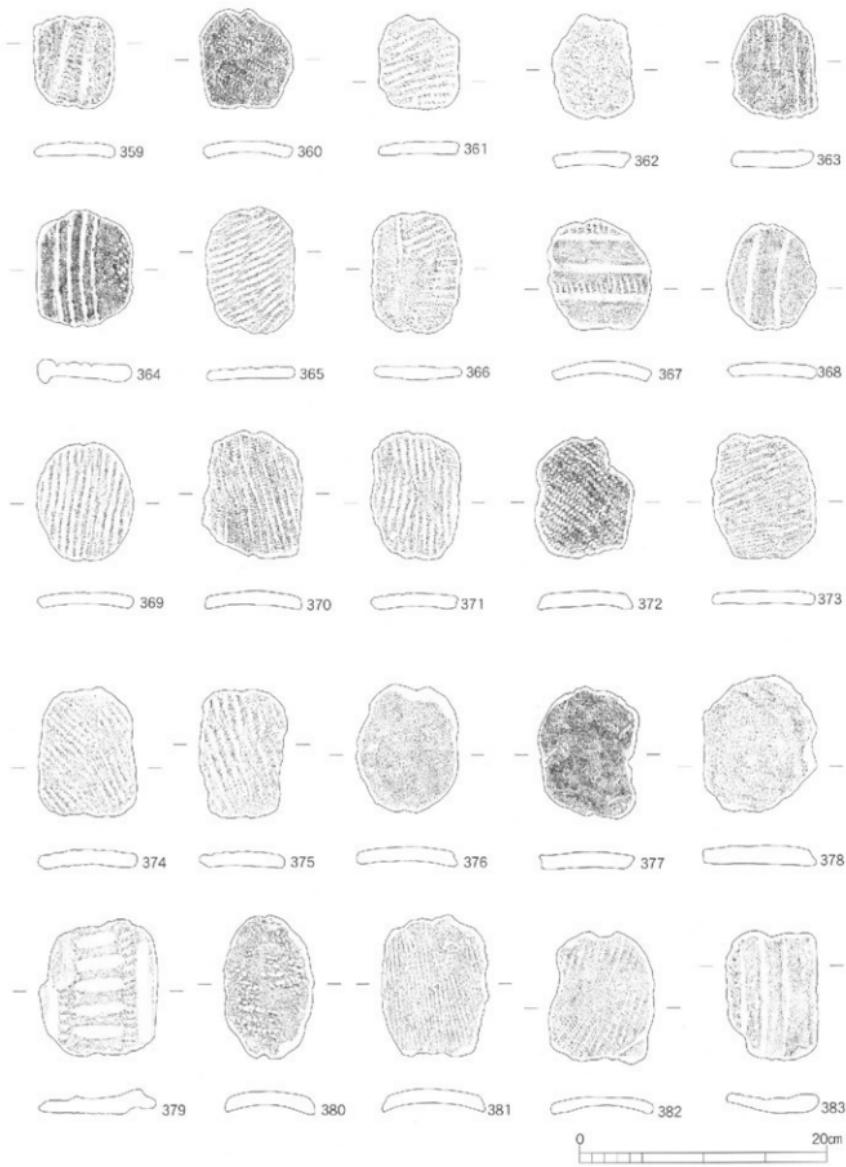
A区 図29 出土遺物 SD03 底部



A区 図30 出土遺物 SD03 土器片錐3層



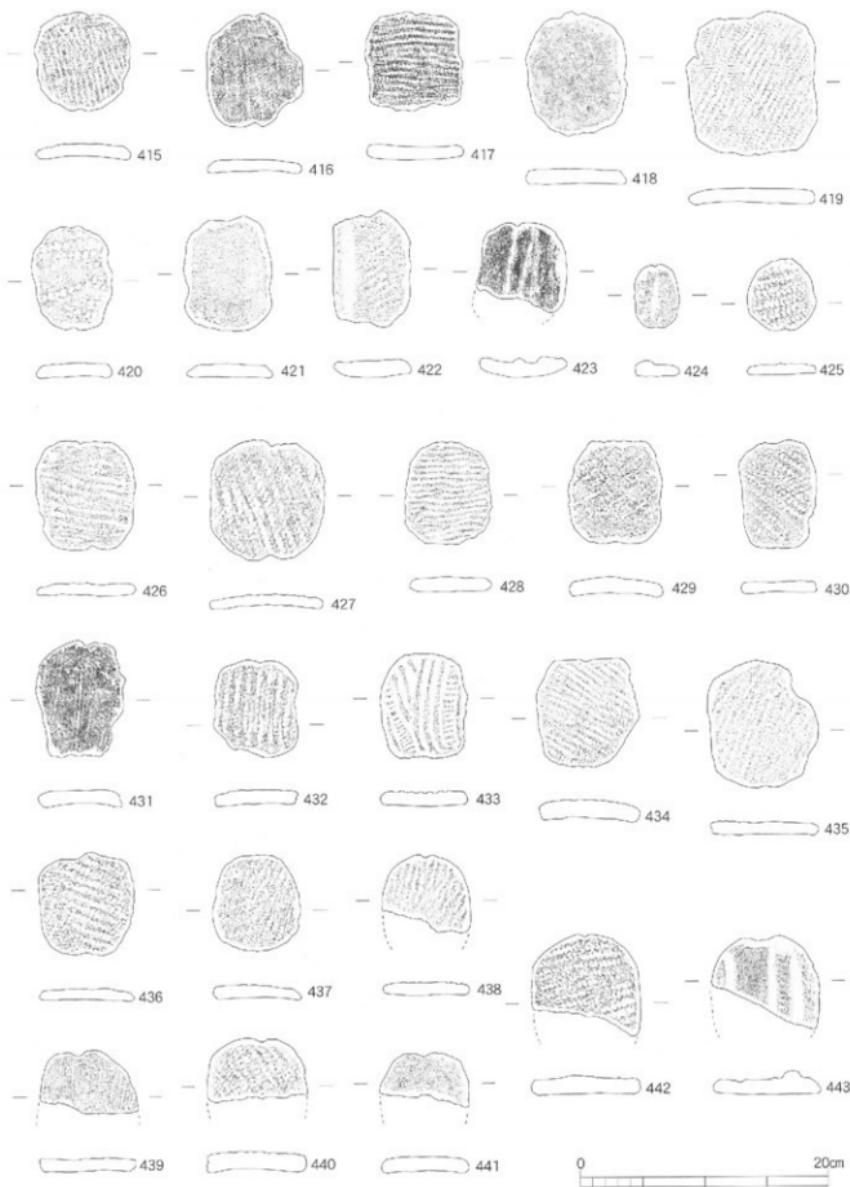
A区 図31 出土遺物 SD03 土器片錐 3層



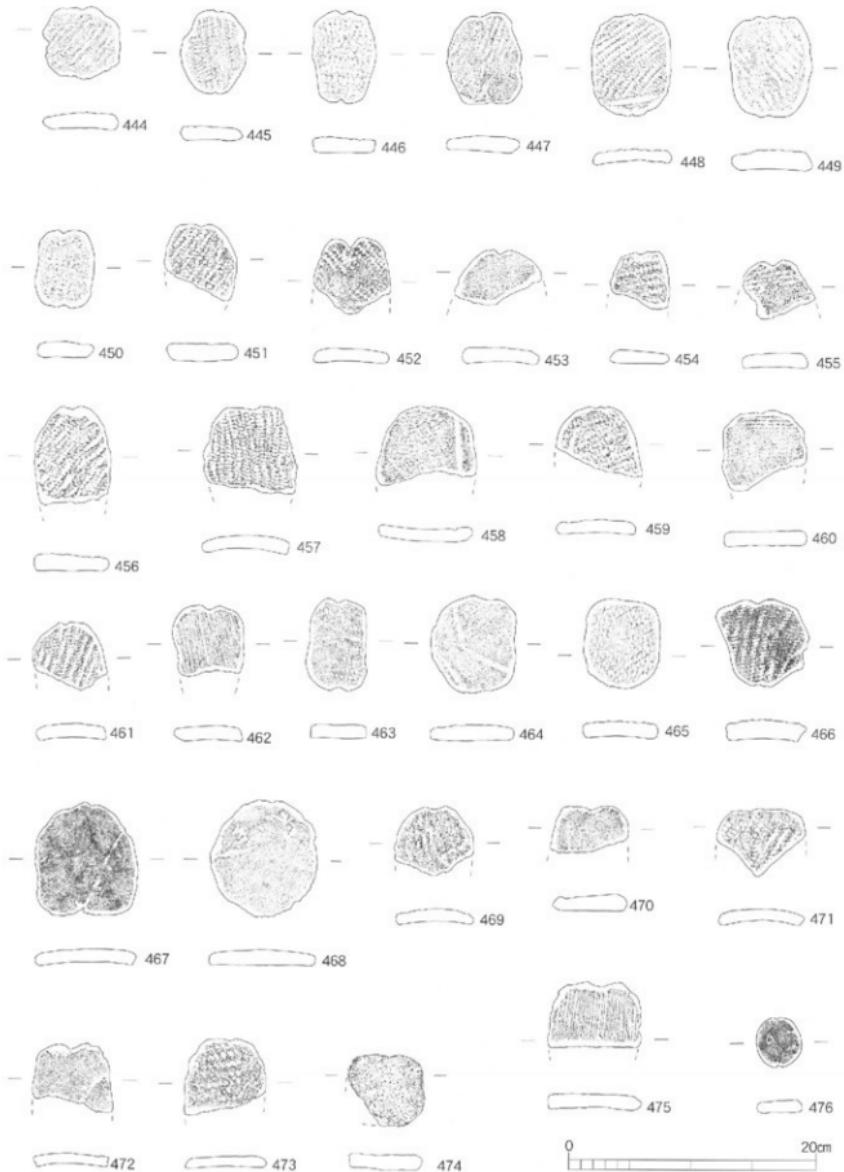
A区 図32 出土遺物 SD03 土器片錐3層



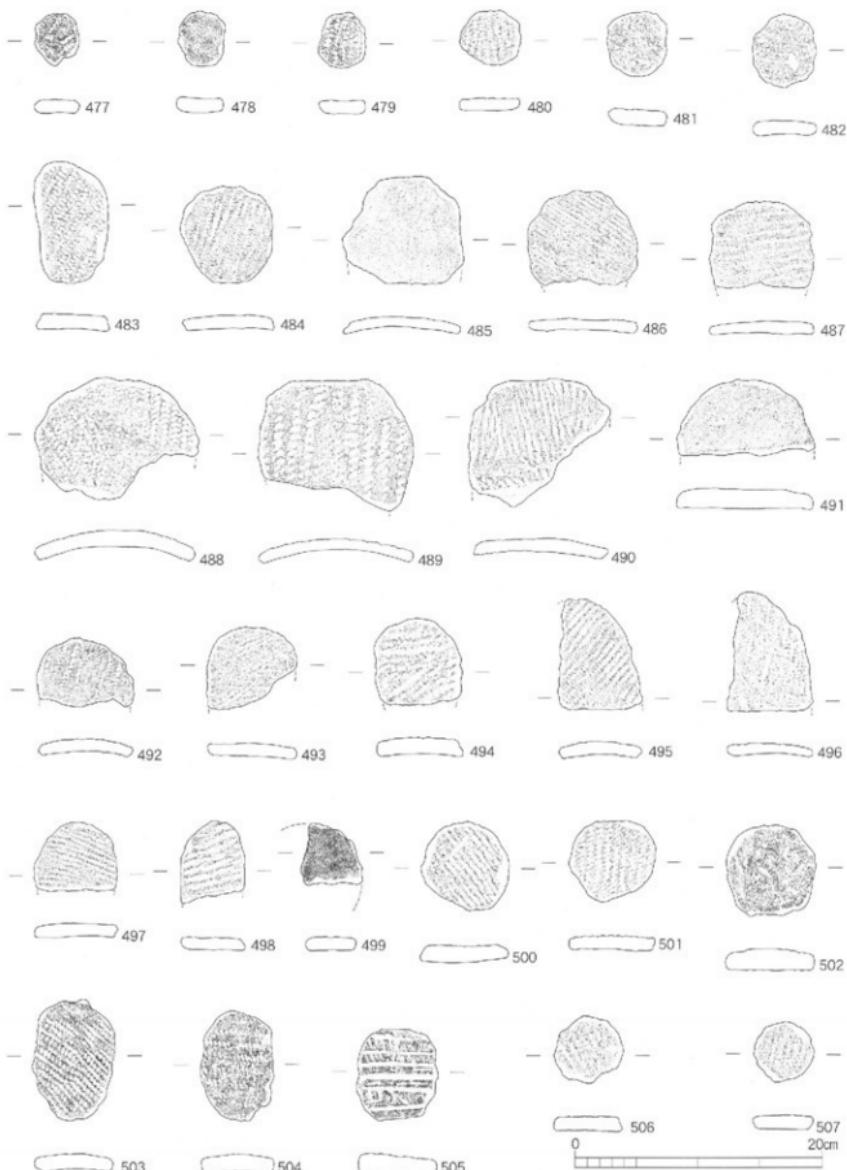
A区 図33 出土遺物 SD03 土器片錐 3層



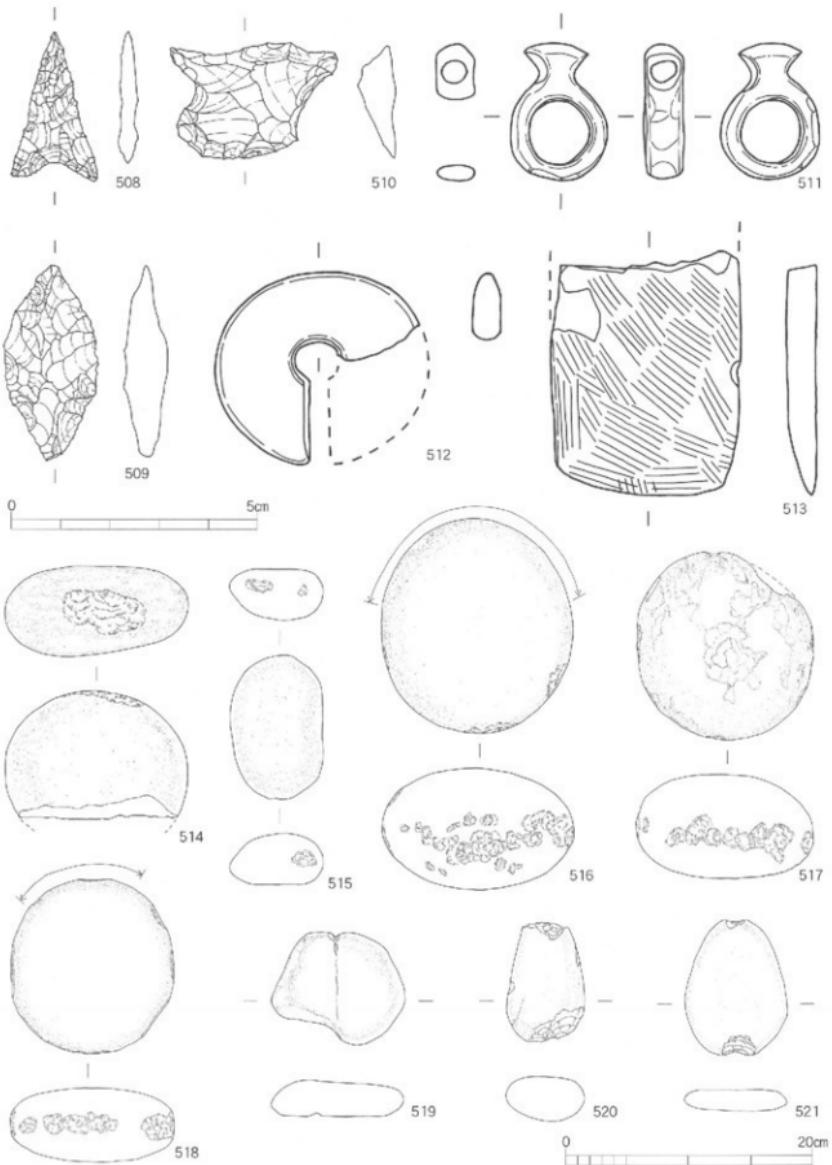
A区 図34 出土遺物 SD03 土器片錐 3・4層



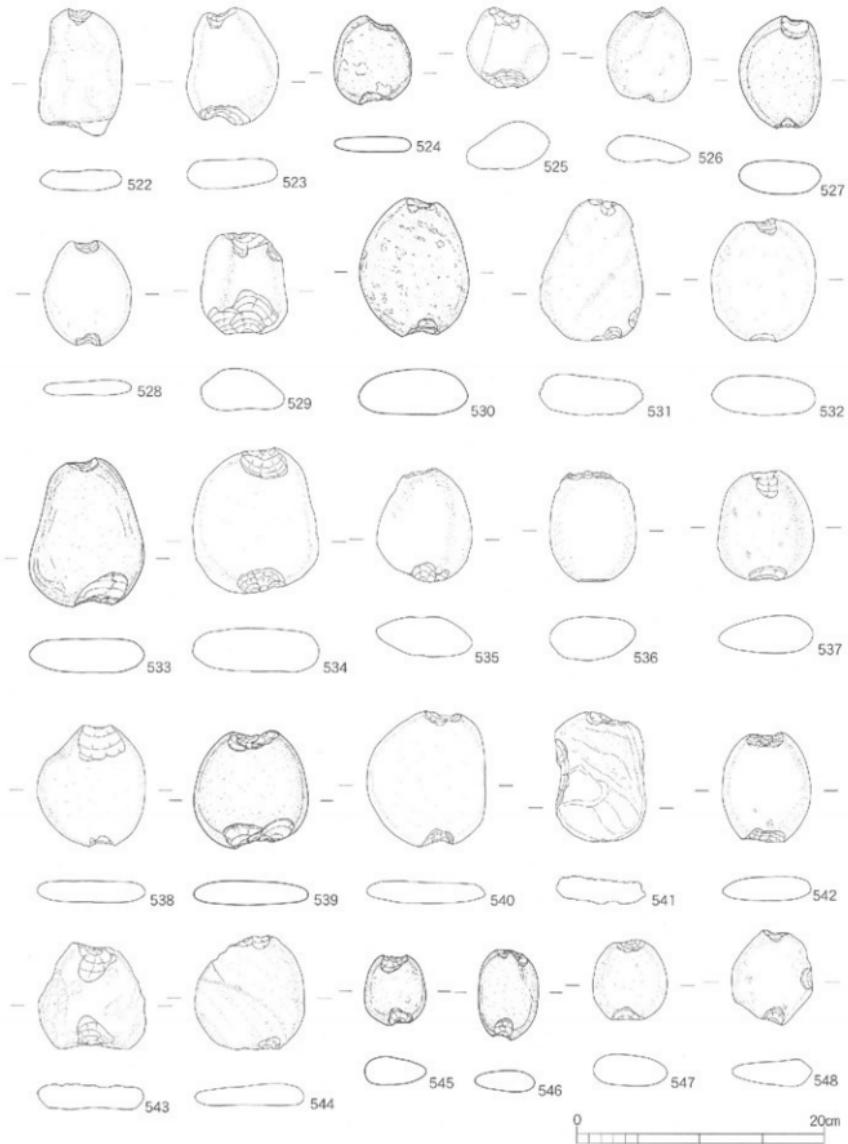
A区 図35 出土遺物 SD03 土器片錠 4・5層

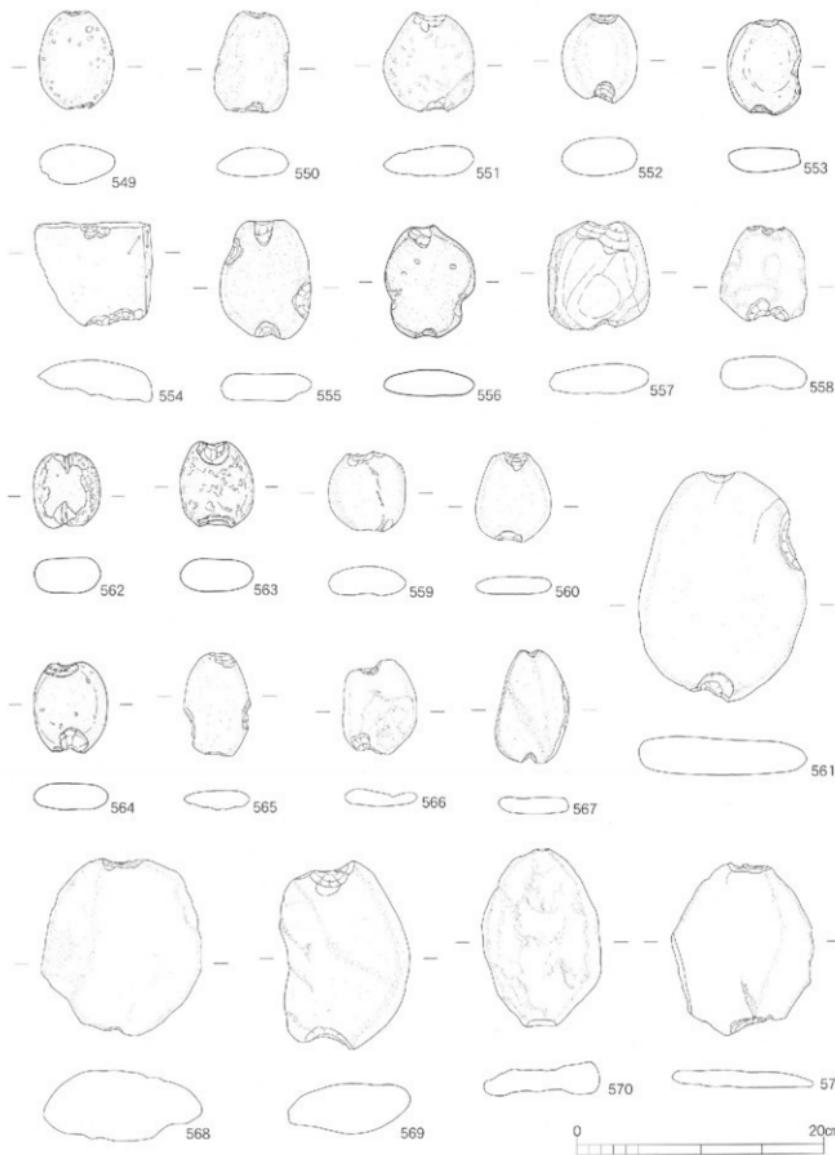


A区 図36 出土遺物 SD03 土器片錐 3層

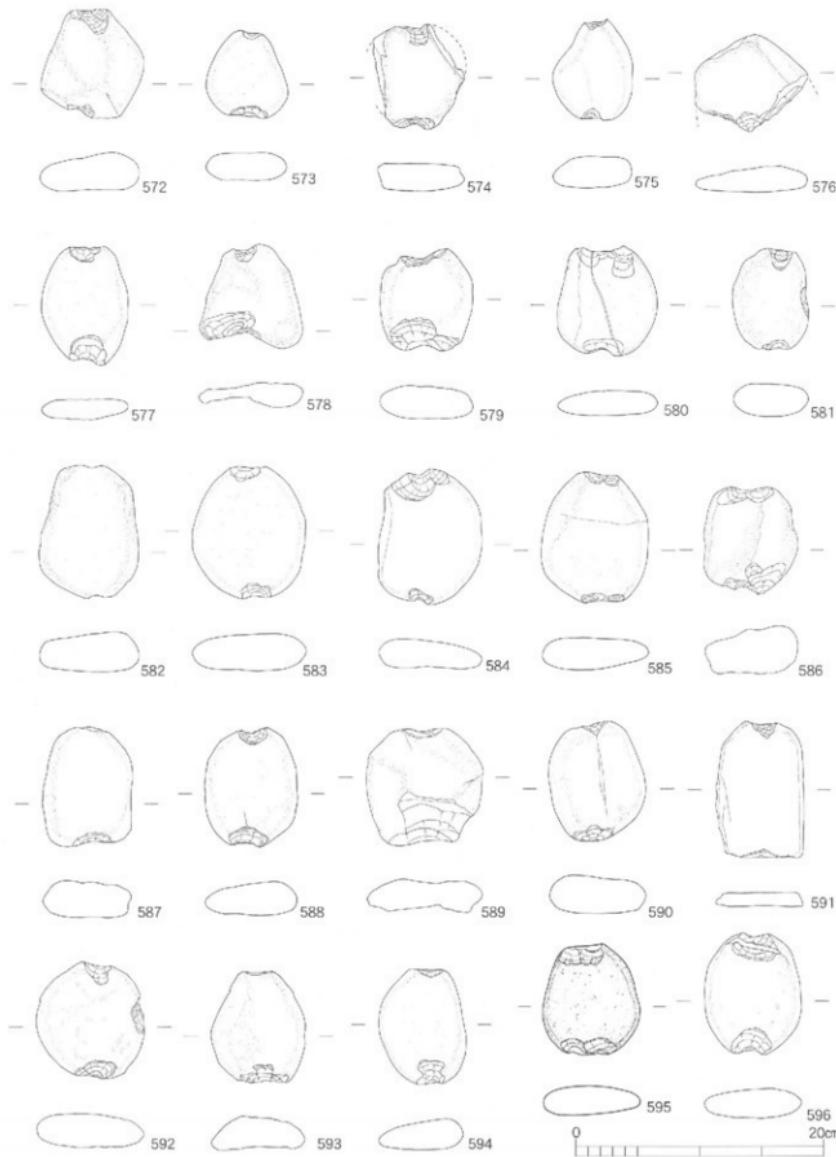


A区 図37 出土遺物 SD03 石器 1~5層

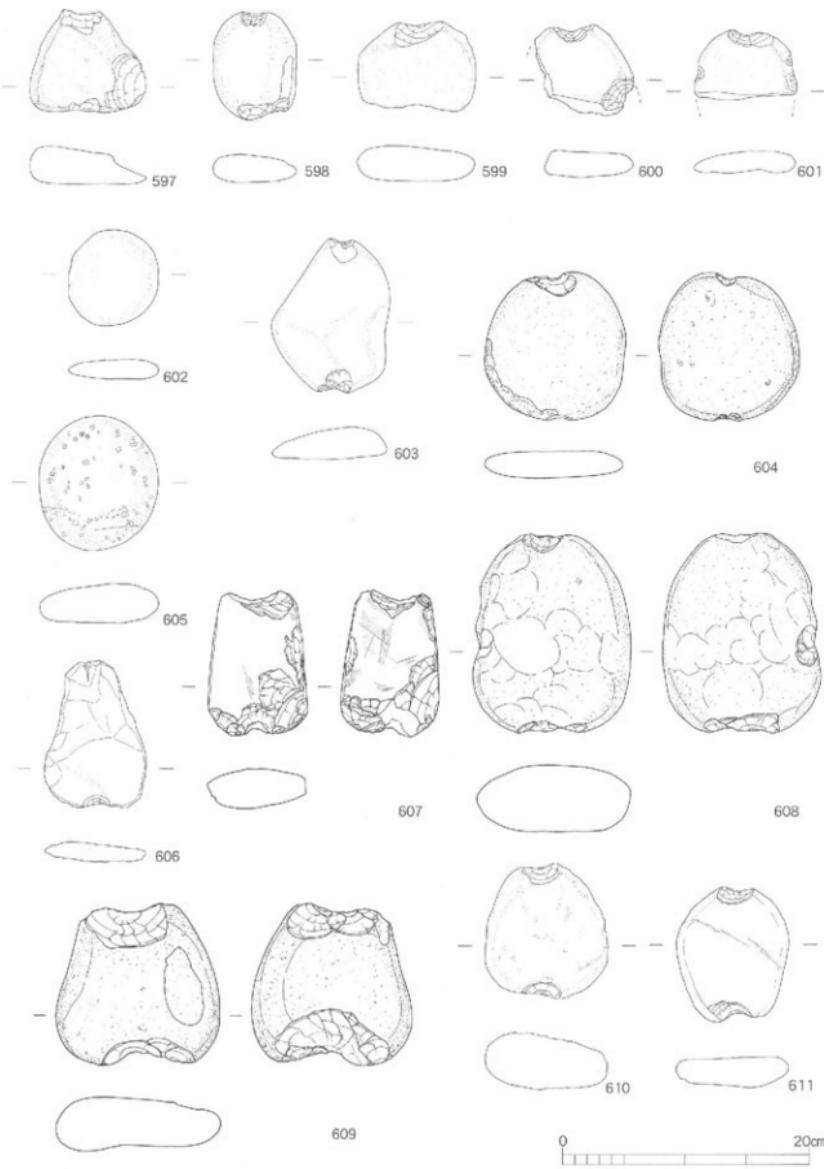




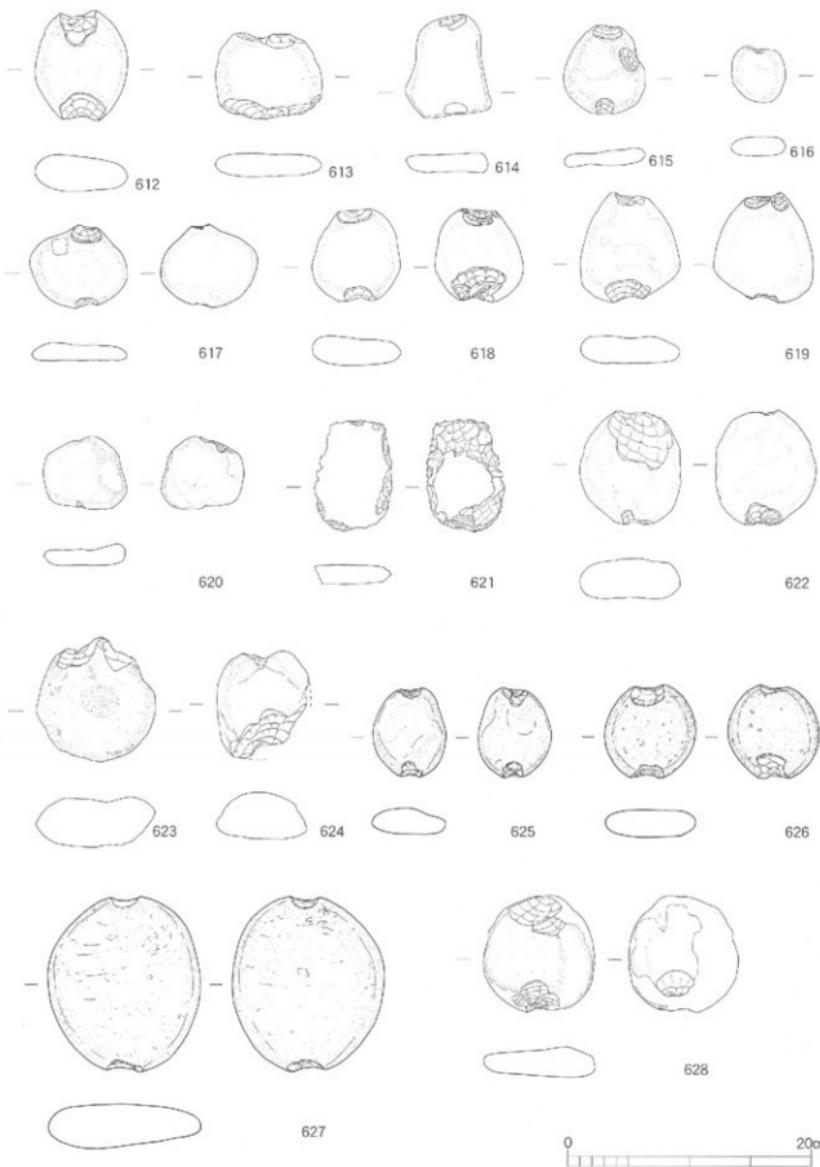
A区 図39 出土遺物 SD03 石錐 3層



A区 図40 出土遺物 SD03 石錘 3層



A区 図41 出土遺物 SD03 石錘 3・4層



A区 図42 出土遺物 SD03 石錘 4・5層

区段	番号	出土地点	X	Y	層位	器種	口径/底径	底/幅	周長/底径	備考
第15段	1		65	32	2層	石臼	13.5	6.7	39.0	
第15段	2		42	19	2層	須恵器	11.4	4.8	5.3	
第15段	3		41	20	2層	珠洲			12.8	
第15段	4		57	27	3層	越中繩刃	9.4	4.1	2.8	内保
第15段	5	SD01	45	15	3層	小型深井		6.7	8.0	
第15段	6	SD01	43	15	3層	十面片鋸	7.3	6.5	5.5	
第15段	7	SD01	41	18	3層	土器片鍼	6.0	8.2	4.2	内外保 内外保
第15段	8	SD01	41	17	3層	深井				
第15段	9	SD02			1層	碗				
第15段	10	SD02	45	26		深井				
第15段	11	SD02	46	26		圓鉢				
第15段	12	SD03	41	13	1層	深井			14.0	
第15段	13	SD03	41	17	1層	圓鉢			18.0	内外保
第15段	14	SD03	41	18	2層	深井			10.9	内外保
第16段	15	SD03	46	22	2層	深井			23.0	
第16段	16	SD03	46	23	2層	深井			15.0	
第16段	17	SD03	43	22	3層下	深井			7.0	内外保
第16段	18	SD03	42	19	3層中	深井			10.0	内外保
第16段	19	SD03	42	15	3層	深井			9.0	内外保
第16段	20	SD03	43	18	3層下	深井			21.0	内外保
第16段	21	SD03	43	19	3層下	深井			9.0	内外保
第16段	22	SD03	41	13	3層	深井			7.0	内外保
第16段	23	SD03	42	20	3層下	深井			10.0	内外保
第16段	24	SD03	41	25	3層	深井			12.0	外保
第16段	25	SD03	41	25	3層	深井			7.0	
第17段	26	SD03	40	15	3層下	深井			24.0	内外保
第17段	27	SD03	41	18	3層下	深井			25.0	内外保
第17段	28	SD03	42	18	3層下	深井			14.0	内外保
第17段	29	SD03	41	18	3層下	深井			30.0	内外保
第17段	30	SD03	41	20	3層下	深井			6.0	内外保
第17段	31	SD03	42	20	3層下	深井			10.0	内外保
第17段	32	SD03	41	18	3層下	深井			16.0	内外保
第18段	33	SD03	41	20	3層	深井			15.0	内外保
第18段	34	SD03	41	13	3層上	深井			10.0	内外保
第18段	35	SD03	44	15	3層下	深井			12.0	内外保
第18段	36	SD03	42	15	3層	深井			14.0	内外保
第18段	37	SD03	42	20	3層下	深井			10.0	内外保
第18段	38	SD03	41	21	3層下	深井			13.0	内外保
第18段	39	SD03	41	19	3層下	深井			17.0	外保
第18段	40	SD03	41	23	3層	深井			29.0	内外保
第19段	41	SD03	41	22	3層	深井			12.0	内外保
第19段	42	SD03	40	15	3層下	深井			32.0	内外保
第19段	43	SD03	41	22	3層	深井			14.0	内外保
第19段	44	SD03	41	23	3層	深井			9.0	
第19段	45	SD03	46	17	3層下	深井			10.0	内外保
第19段	46	SD03	46	21	3層下	深井			14.0	外保
第19段	47	SD03	42	18	5層	深井			11.0	内外保
第20段	48	SD03	46	22	3層	深井			23.0	内外保
第20段	49	SD03	44	23	3層下	深井			24.0	内外保
第20段	50	SD03	44	23	3層下	深井			8.0	
第20段	51	SD03	46	19	3層下	深井			11.0	
第20段	52	SD03	46	21	3層	深井			16.0	内外保
第20段	53	SD03	46	19	3層下	深井			20.0	内外保
第20段	54	SD03	42	25	3層	深井			17.0	内外保
第20段	55	SD03	44	23	3層下	深井			6.0	
第21段	56	SD03	42	21	3層	深井			29.0	内外保
第21段	57	SD03	45	22	3層	深井				
第21段	58	SD03	43	25	3層	深井				外保
第21段	59	SD03	45	21	3層	深井				虚線引(想・志)
第21段	60	SD03	43	20	3層下	香炉				
第21段	61	SD03				浅鉢		3.0		内外保虚引(想)
第21段	62	SD03	43	16	3層下	深井				外保虚引(想・志)
第21段	63	SD03	43	23	3層	不明				
第21段	64	SD03	44	24	3層	不明				
第21段	65	SD03	42	25	3層	不明				
第21段	66	SD03	42	24	3層	深井				内外保
第21段	67	SD03	43	16	3層	深井				
第21段	68	SD03	43	15	3層中	深井				外保
第21段	69	SD03	44	20	3層上	深井				内外保
第21段	70	SD03	42	15	3層下	深井				内外保
第21段	71	SD03	42	20	3層下	深井				
第21段	72	SD03	41	14	5層下	深井				内外保
第21段	73	SD03	46	22	3層下	深井				内外保
第21段	74	SD03	44	24	3層	深井				内外保
第21段	75	SD03	41	16	3層	深井				
第21段	76	SD03	44	25	3層	深井				内外保
第21段	77	SD03	42	22	3層	深井				内外保
第21段	78	SD03	42	15	3層下	深井				外保
第21段	79	SD03	46	24	3層	深井				

A表2 出土遺物一覧

版面	番号	出土地點	X	Y	層位	断面	口径/長さ	底/幅	器高/重さ	備考
第21回	80	SD03	41	19	3層下	深鉢			100	内外縁
第21回	81	SD03	45	23	3層下	浅鉢				内外縁
第21回	82	SD03	41	23	3層	深鉢				外縁
第21回	83	SD03	42	21	3層下	深鉢				内外縁
第22回	84	SD03	42	20	3層下	深鉢				外縁
第22回	85	SD03	42	25	3層	深鉢			7.0	内外縁
第22回	86	SD03	41	15	3層下	深鉢			4.5	外縁
第22回	87	SD03	41	20	3層下	深鉢				外縁
第22回	88	SD03	43	16	3層下	深鉢				外縁
第22回	89	SD03	41	15	3層下	深鉢			17.0	外縁
第22回	90	SD03	46	17	3層下	深鉢				外縁
第22回	91	SD03	43	19	3層下	深鉢				内外縁
第22回	92	SD03	41	25	3層下	深鉢				内外縁
第22回	93	SD03	46	23	3層下	深鉢				内外縁
第22回	94	SD03	45	17	3層	深鉢			3.4	内外縁
第22回	95	SD03	41	20	3層	深鉢				内縁
第22回	96	SD03	41	24	3層下	深鉢				内外縁
第22回	97	SD03	42	16	3層下	深鉢				内外縁
第22回	98	SD03	42	20	3層下	深鉢			13.0	内外縁
第22回	99	SD03	41	18	3層下	深鉢				内外縁
第22回	100	SD03	43	25	3層	浅鉢			13.0	内外縁
第23回	101	SD03	41	20	3層下	深鉢			4.5	内外縁
第23回	102	SD03	44	18	3層下	深鉢			9.5	内外縁
第23回	103	SD03	41	17	3層下	深鉢			10.0	外縁
第23回	104	SD03	45	20	3層下	深鉢			24.0	内外縁
第23回	105	SD03	41	19	3層下	深鉢				内外縁
第23回	106	SD03	42	24	3層	深鉢			14.0	内外縁
第23回	107	SD03	42	22	3層	深鉢			16.0	内外縁
第23回	108	SD03	42	21	3層	深鉢			13.5	内外縁
第23回	109	SD03	42	20	3層下	深鉢			9.5	内外縁
第23回	110	SD03	43	17	3層下	深鉢			4.5	外縁
第24回	111	SD03	41	24	3層下	深鉢			13.5	内外縁
第24回	112	SD03	41	18	3層	深鉢			3.0	内外縁
第24回	113	SD03	42	20	3層下	深鉢			10.0	内外縁
第24回	114	SD03	41	13	3層	深鉢			17.0	内外縁
第24回	115	SD03	41	20	3層下	深鉢			9.0	
第24回	116	SD03	43	15	3層	浅鉢				
第24回	117	SD03	43	25	3層下	浅鉢				
第24回	118	SD03	44	23	3層下	浅鉢			11.5	内外縁
第24回	119	SD03	41	13	3層	浅鉢				
第24回	120	SD03	41	23	3層	深鉢				内外縁
第24回	121	SD03	41	22	3層	深鉢				
第24回	122	SD03	44	15	3層下	深鉢				外縁
第24回	123	SD03	45	25	3層	深鉢				
第25回	124	SD03	41	24	3層	深鉢			5.0	内外縁
第25回	125	SD03	43	20	3層下	深鉢			5.5	
第25回	126	SD03	41	19	3層下	深鉢			12.2	
第25回	127	SD03	44	22	3層下	深鉢				
第25回	128	SD03	43	16	3層下	深鉢			11.5	
第25回	129	SD03	42	15	4層	深鉢			9.0	内外縁
第25回	130	SD03	45	15	3層	浅鉢			6.8	内外縁
第25回	131	SD03	42	17	2層下	深鉢			16.0	内外縁
第25回	132	SD03	42	21	2層	深鉢			5.5	外縁
第25回	133	SD03	41	18	5層	深鉢				
第25回	134	SD03	40	15	3層下	深鉢			10.0	
第25回	135	SD03	43	17	3層下	深鉢				外縁
第25回	136	SD03	42	22	3層	深鉢			12.0	外縁
第26回	137	SD03	44	19	3層下	深鉢			16.0	
第26回	138	SD03	43	24	4層	深鉢				内外縁
第26回	139	SD03	40	22	3層下	浅鉢			7.5	
第26回	140	SD03	42	17	4層下	深鉢				
第26回	141	SD03	42	15	4層	深鉢			15.0	内外縁
第26回	142	SD03	43	16	4層	深鉢			11.0	
第26回	143	SD03	41	20	4層	深鉢			13.0	外縁
第26回	144	SD03	43	16	4層	深鉢			9.0	内外縁
第26回	145	SD03	42	22	4層	深鉢				
第26回	146	SD03	44	19	4層	深鉢			12.0	内縁
第26回	147	SD03	43	21	4層	深鉢			12.0	外縁
第26回	148	SD03	42	19	3層下	深鉢				
第26回	149	SD03	43	20	3層下	深鉢				
第26回	150	SD03	43	21	4層下	深鉢				
第26回	151	SD03	45	22	54	深鉢				
第26回	152	SD03	43	15	5層	深鉢				外縁
第26回	153	SD03	41	22	5層	深鉢				外縁
第26回	154	SD03	41	22	5層	深鉢				
第26回	155	SD03	43	13	5層	深鉢				
第27回	156	SD03	40	18				3.6	4.6	34 漆塗り(墨・赤)
第27回	157	SD03	44	22	5層	土鍋		5.4	7.5	48
第27回	158	SD03	44	20	3層上	瓶				

A区 表3 出土遺物一覧

层段	番号	出土地点	X	Y	部位	层位	口径/长さ	底/幅	器高/重さ	備考
第27段	159	SD03	42	24	3層上	底部				内外塗
第27段	160	SD03	43	23	3層	底部				内外塗
第27段	161	SD03	43	21	3層	底部				内外塗
第27段	162	SD03	43	21	3層	底部				
第27段	163	SD03	45	23	3層下	底部				
第27段	164	SD03	42	24	3層	底部				
第27段	165	SD03	42	23	3層下	底部				
第27段	166	SD03	41	18	3層下	底部				
第27段	167	SD03	41	20	3層下	底部				内外塗
第27段	168	SD03	41	21	3層	底部				
第27段	169	SD03	42	19	3層中	底部				内塗
第27段	170	SD03	41	24	3層	底部				
第27段	171	SD03	45	15	5層	底部				内塗
第27段	172	SD03	41	17	1層	底部				
第27段	173	SD03	44	15	3層下	底部				内塗
第27段	174	SD03	44	25	3層	底部				内外塗
第27段	175	SD03	42	23	3層下	底部				
第27段	176	SD03	44	20	3層下	底部				
第27段	177				2層上					
第27段	178	SD03	41	17	3層	底部				
第27段	179	SD03	45	15	3層上	底部				
第27段	180	SD03	45	16	5層中	底部				
第27段	181	SD03	46	23	3層上	底部				
第27段	182	SD03	44	23	3層下	底部				
第27段	183	SD03	42	18	5層	底部				
第27段	184	SD03	47	20	3層下	底部				
第27段	185	SD03	47	20	4層	底部				
第27段	186	SD03	46	20	4層	底部				
第27段	187	SD03	43	24	3層	底部				
第27段	188	SD03	43	23	3層	底部				
第27段	189	SD03	41	24	3層	底部				内外塗
第27段	190	SD03	41	24	3層下	底部				
第27段	191	SD03	41	15	3層	底部				
第27段	192	SD03	41	25	3層下	底部				
第27段	193	SD03	42	24	3層	底部				
第27段	194	SD03	46	17	3層下	底部				
第27段	195	SD03	41	21	3層	底部				
第27段	196	SD03	44	25	3層	底部				
第27段	197	SD03	42	24	3層	底部				
第28段	198	SD03	41	18	2層	底部				
第28段	199	SD03	41	25	3層	底部				
第28段	200	SD03	45	24	4層	底部				
第28段	201	SD03	41	23	3層	底部				内外塗
第28段	202	SD03	44	17	2層上	底部				
第28段	203	SD03	44	15	3層下	底部				
第28段	204	SD03	42	23	3層下	底部				外塗
第28段	205	SD03	44	18	3層下	底部				内塗
第28段	206	SD03	44	15	3層下	底部				
第28段	207	SD03	43	25	3層下	底部				
第28段	208	SD03	42	16	3層上	底部				
第28段	209	SD03	43	23	3層	底部				内外塗
第28段	210	SD03	42	20	3層下	底部				
第28段	211	SD03	47	19	3層下	底部				
第28段	212	SD03	47	20	3層	底部				
第28段	213	SD03	46	25	3層下	底部				
第28段	214	SD03	42	25	3層	底部				
第28段	215	SD03	42	21	3層	底部				
第28段	216	SD03	42	23	5層上	底部				内外塗
第28段	217	SD03	42	23	3層上	底部				
第28段	218	SD03	46	17	3層下	底部				
第28段	219	SD03	47	19	3層上	底部				
第28段	220	SD03	42	26	3層	底部				
第28段	221	SD03	42	21	3層	底部				
第28段	222	SD03	43	18	4層	底部				
第28段	223	SD03	41	24	3層	底部				
第28段	224	SD03	41	23	3層	底部				内塗
第28段	225	SD03	43	18	4層	底部				
第28段	226	SD03	41	23	3層	底部				
第28段	227	SD03	42	23	3層下	底部				
第28段	228	SD03	42	20	3層下	底部				内塗
第28段	229	SD03	45	22	3層	底部				
第28段	230	SD03	41	21	3層中	底部				
第28段	231	SD03	42	24	3層	底部				内塗
第28段	232	SD03	44	22	3層	底部				
第28段	233	SD03	41	18	2層	底部				
第28段	234	SD03	41	18	3層下	底部				内外塗
第28段	235	SD03	42	16	3層上	底部				
第28段	236	SD03	41	25	3層	底部				
第28段	237	SD03	41	20	1層	底部				

A区 表4 出土遺物一覧

国版	番号	出土位置	X	Y	断面	器種	口径/長さ	底/頭	深さ/高さ	備考
第29周	238	SD03	42	20	3層下	底部				
第29周	239	SD03	43	16	3層下	底部				
第29周	240	SD03	43	16	3層下	底部				
第29周	241	SD03	43	16	3層下	底部				
第29周	242	SD03	42	15	3層下	底部				
第29周	243	SD03	43	24	3層	底部				
第29周	244	SD03	41	22	2層	底部				
第29周	245	SD03	41	24	3層下	底部				
第29周	246	SD03	41	26	3層	底部				
第29周	247	SD03	41	21	3層	底部				
第29周	248	SD03	42	22	3層下	底部				
第29周	249	SD03	44	2	3層	底部				
第29周	250	SD03	45	25	3層	底部				
第29周	251	SD03	43	25	3層	底部				
第29周	252	SD03	43	21	3層	底部				
第29周	253	SD03	43	25	3層	底部				
第29周	254	SD03	43	25	3層	底部				
第29周	255	SD03	41	21	3層	底部				
第29周	256	SD03	41	25	3層	底部				
第29周	257	SD03	42	24	5層	底部				
第29周	258	SD03	41	18	1層	底部				
第29周	259	SD03	45	23	3層	底部				
第29周	260	SD03	42	24	3層	底部				
第29周	261	SD03	46	17	3層下	底部				
第29周	262	SD03	42	23	3層	底部				
第29周	263	SD03	41	14	3層下	底部				
第29周	264	SD03	43	23	3層下	底部				
第29周	265	SD03	41	18	3層下	底部				
第29周	266	SD03	43	19	2層下	底部				内埋
第29周	267	SD03	45	5	2層下	底部				
第29周	268	SD03	41	25	3層	底部				
第29周	269	SD03	46	24	3層	底部				
第29周	270	SD03	41	14	3層下	底部				
第29周	271	SD03	42	15	3層下	底部				内埋
第29周	272	SD03	52	25	3層	底部				
第29周	273	SD03	41	22	3層	底部				
第29周	274	SD03	41	20	3層下	底部				
第29周	275	SD03	43	25	3層	底部				
第29周	276	SD03	42	17	4層下	底部				内埋
第29周	277	SD03	42	17	4層下	底部				外埋
第29周	278	SD03	42	19	3層上	底部				内埋
第29周	279	SD03	41	24	3層下	底部				内埋
第29周	280	SD03	43	16	3層	底部				内埋
第29周	281	SD03	41	21	3層下	底部				
第29周	282	SD03	42	20	3層下	底部				
第29周	283	SD01	43	15	3層	底部				
第29周	284	SD03	41	23	3層	底部				
第29周	285	SD03	46	26	2層	底部				
第29周	286	SD03	41	25	3層	底部				
第29周	287	SD03			3層上	底部				
第29周	288	SD03	42	15	4層	底部				
第29周	289	SD03	47	22	2層	底部				
第29周	290	SD03	41	23	3層	底部				
第29周	291	SD03	42	15	3層下	底部				
第29周	292	SD03	46	26	2層	底部				
第30周	293	SD03	36	17	砂層	土器片疊	6.3	4.8	30	
第30周	294	SD03	41	13	3層上	土器片疊	5.2	6.2	27	
第30周	295	SD03	41	15	3層	土器片疊	4.8	6.5	35	
第30周	296	SD03	41	15	3層	土器片疊	6.9	4.3	27	
第30周	297	SD03	41	16	3層	土器片疊	6.3	4.4	23	
第30周	298	SD03	41	16	3層	土器片疊	5.1	6.8	35	
第30周	299	SD03	41	20	3層	土器片疊	6.6	5.1	39	
第30周	300	SD03	41	20	3層	土器片疊	6.6	6.4	37	
第30周	301	SD03	41	21	3層	土器片疊	6.5	4.9	31	
第30周	302	SD03	41	21	3層	土器片疊	3.0	6.4	21	
第30周	303	SD03	41	23	3層	土器片疊	6.5	5.1	38	
第30周	304	SD03	41	24	3層	土器片疊	4.5	5.2	28	
第30周	305	SD03	41	25	3層	土器片疊	5.2	4.1	21	
第30周	306	SD03	41	26	3層	土器片疊	3.8	3.3	11	
第30周	307	SD03	42	15	3層	土器片疊	6.0	5.4	30	
第30周	308	SD03	42	15	3層	土器片疊	6.8	3.9	32	
第30周	309	SD03	42	24	3層下	土器片疊	3.3	4.6	18	
第30周	310	SD03	42	23	3層下	土器片疊	5.1	3.9	17	
第30周	311	SD03	42	24	3層	土器片疊	5.0	3.8	19	
第30周	312	SD03	42	25	3層	土器片疊	5.6	4.5	29	
第30周	313	SD03	42	23	3層	土器片疊	4.7	4.2	20	
第30周	314	SD03	42	25	3層	土器片疊	3.6	3.3	12	
第30周	315	SD03	42	26	3層	土器片疊	3.4	3.8	23	
第30周	316	SD03	42	23	3層	土器片疊	5.5	4.8	27	

A区 表5 出土遺物一覧

図版	番号	出土位置	X	Y	局位	器種	口径 / 高さ	成 / 横	都高 / 直さ	備考
第30回	317	SD03	42	24	3層	土器片疊	69	53	26	
第30回	318	SD03	42	25	3層	土器片疊	62	53	32	
第30回	319	SD03	42	25	3層	土器片疊	53	41	29	
第30回	320	SD03	42	14	3層	土器片疊	59	63	37	
第30回	321	SD03	43	15	3層	土器片疊	60	63	28	
第30回	322	SD03	43	16	3層	土器片疊	60	52	28	
第30回	323	SD03	43	15	3層	土器片疊	62	43	30	
第30回	324	SD03	43	22	3層	土器片疊	49	46	17	
第30回	325	SD03	43	25	3層	土器片疊	50	47	24	
第30回	326	SD03	43	24	3層	土器片疊	36	31	12	
第31回	327	SD03	43	23	3層	土器片疊	48	43	23	
第31回	328	SD03	43	23	3層	土器片疊	53	36	20	
第31回	329	SD03	43	26	3層	土器片疊	52	42	20	
第31回	330	SD03	43	23	3層	土器片疊	53	38	20	
第31回	331	SD03	43	17	3層	土器片疊	54	57	37	
第31回	332	SD03	43	23	3層	土器片疊	67	51	40	
第31回	333	SD03	43	23	3層	土器片疊	90	69	74	
第31回	334	SD03	43	16	3層	土器片疊	49	86	49	
第31回	335	SD03	43	16	3層	土器片疊	66	50	41	
第31回	336	SD03	44	25	3層	土器片疊	72	54	35	
第31回	337	SD03	44	25	3層	土器片疊	54	50	35	
第31回	338	SD03	44	23	3層	土器片疊	48	45	22	
第31回	339	SD03	44	24	3層	土器片疊	48	38	17	
第31回	340	SD03	45	23	3層	土器片疊	47	60	29	
第31回	341	SD03	45	23	3層	土器片疊	48	45	19	
第31回	342	SD03	45	20	3層	土器片疊	51	45	21	
第31回	343	SD03	41	18	3層下	土器片疊	52	52	27	
第31回	344	SD03	41	16	3層下	土器片疊	57	47	30	
第31回	345	SD03	41	20	3層下	土器片疊	55	42	27	
第31回	346	SD03	41	24	3層下	土器片疊	50	47	25	
第31回	347	SD03	41	19	3層下	土器片疊	52	48	36	
第31回	348	SD03	41	18	3層下	土器片疊	54	44	25	
第31回	349	SD03	41	13	3層下	土器片疊	60	58	35	
第31回	350	SD03	41	18	3層下	土器片疊	43	55	27	
第31回	351	SD03	41	20	3層下	土器片疊	44	57	24	
第31回	352	SD03	41	19	3層下	土器片疊	47	67	30	
第31回	353	SD03	41	20	3層下	土器片疊	60	63	46	
第31回	354	SD03	41	18	3層下	土器片疊	55	65	41	
第31回	355	SD03	41	21	3層下	土器片疊	65	66	40	
第31回	356	SD03	41	20	3層下	土器片疊	25	30	9	
第31回	357	SD03	41	18	3層下	土器片疊	36	45	14	
第31回	358	SD03	41	21	3層下	土器片疊	32	57	17	
第32回	359	SD03	41	17	3層下	土器片疊	57	48	28	
第32回	360	SD03	41	15	3層下	土器片疊	61	56	33	
第32回	361	SD03	41	24	3層下	土器片疊	56	48	31	
第32回	362	SD03	41	18	3層下	土器片疊	69	46	32	
第32回	363	SD03	41	19	3層下	土器片疊	63	51	41	
第32回	364	SD03	41	18	3層下	土器片疊	72	59	51	
第32回	365	SD03	41	19	3層下	土器片疊	78	54	38	
第32回	366	SD03	41	18	3層下	土器片疊	75	53	40	
第32回	367	SD03	41	20	3層下	土器片疊	68	60	47	
第32回	368	SD03	41	20	3層下	土器片疊	65	53	34	
第32回	369	SD03	41	21	3層下	土器片疊	72	53	43	
第32回	370	SD03	41	21	3層下	土器片疊	79	61	49	
第32回	371	SD03	41	21	3層下	土器片疊	77	55	47	
第32回	372	SD03	41	16	3層下	土器片疊	74	59	53	
第32回	373	SD03	41	19	3層下	土器片疊	80	63	55	
第32回	374	SD03	41	18	3層下	土器片疊	80	69	63	
第32回	375	SD03	41	19	3層下	土器片疊	78	53	47	
第32回	376	SD03	41	24	3層下	土器片疊	78	62	63	
第32回	377	SD03	41	25	3層下	土器片疊	82	61	54	
第32回	378	SD03	41	20	3層下	土器片疊	88	75	81	
第32回	379	SD03	41	18	3層下	土器片疊	82	74	86	
第32回	380	SD03	42	23	3層下	土器片疊	87	55	52	
第32回	381	SD03	42	20	3層下	土器片疊	87	65	67	
第32回	382	SD03	21	20	3層下	土器片疊	79	63	44	
第32回	383	SD03	42	15	3層下	土器片疊	80	57	51	
第32回	384	SD03	42	20	3層下	土器片疊	43	30	11	
第33回	385	SD03	42	23	3層下	土器片疊	47	35	17	
第33回	386	SD03	42	20	3層下	土器片疊	58	46	22	
第33回	387	SD03	42	15	3層下	土器片疊	57	48	34	
第33回	388	SD03	42	19	3層下	土器片疊	55	52	24	
第33回	389	SD03	42	14	3層下	土器片疊	61	47	36	
第33回	390	SD03	42	22	3層下	土器片疊	60	45	27	
第33回	391	SD03	42	19	3層下	土器片疊	59	45	32	
第33回	392	SD03	42	15	3層下	土器片疊	60	44	33	
第33回	393	SD03	42	14	3層下	土器片疊	61	49	40	
第33回	394	SD03	42	23	3層下	土器片疊	60	50	32	
第33回	395	SD03	42	23	3層下	土器片疊	62	37	37	

A区 表6 出土遺物一覧

版面	番号	出土地点	X	Y	部位	器種	口径/長さ	底 幅	器高 重さ	備考
第33回	396	SD03	42	15	3層下	土器片疊	5.4	—	31	
第33回	397	SD03	42	20	3層下	土器片疊	5.8	5.1	25	
第33回	398	SD03	42	16	3層下	土器片疊	6.2	4.9	34	
第33回	399	SD03	42	15	3層下	土器片疊	6.3	5.0	36	
第33回	400	SD03	42	15	3層下	土器片疊	6.7	5.7	41	
第33回	401	SD03	42	20	3層下	土器片疊	6.7	5.3	41	
第33回	402	SD03	42	15	3層下	土器片疊	6.0	6.5	36	
第33回	403	SD03	42	20	3層下	土器片疊	5.2	6.2	40	
第33回	404	SD03	42	20	3層下	土器片疊	5.0	6.6	40	
第33回	405	SD03	42	15	3層下	土器片疊	4.0	4.5	20	
第33回	406	SD03	42	19	3層下	土器片疊	3.7	5.3	23	
第33回	407	SD03	43	16	3層下	土器片疊	5.4	4.9	29	
第33回	408	SD03	43	18	3層下	土器片疊	4.5	3.8	19	
第33回	409	SD03	43	22	3層下	土器片疊	5.3	5.0	34	
第33回	410	SD03	43	16	3層下	土器片疊	6.0	5.3	40	
第33回	411	SD03	43	19	3層下	土器片疊	6.0	4.1	38	
第33回	412	SD03	43	18	3層下	土器片疊	5.9	4.3	25	
第33回	413	SD03	43	24	3層下	土器片疊	4.8	4.0	22	
第33回	414	SD03	43	23	3層下	土器片疊	3.7	3.5	16	
第33回	415	SD03	43	23	3層下	土器片疊	6.0	5.6	34	
第33回	416	SD03	43	19	3層下	土器片疊	7.0	5.8	36	
第33回	417	SD03	43	19	3層下	土器片疊	6.1	6.0	37	
第33回	418	SD03	43	19	3層下	土器片疊	7.5	6.0	60	
第33回	419	SD03	43	15	3層下	土器片疊	8.5	7.7	78	
第33回	420	SD03	43	20	3層下	土器片疊	6.4	4.6	27	
第33回	421	SD03	43	17	3層下	土器片疊	6.7	5.3	38	
第33回	422	SD03	43	19	3層下	土器片疊	7.0	4.6	45	
第33回	423	SD03	43	20	3層下	土器片疊	5.5	5.5	33	
第33回	424	SD03	44	22	3層下	土器片疊	3.8	2.7	10	
第33回	425	SD03	44	16	3層下	土器片疊	4.3	4.1	16	
第33回	426	SD03	45	15	3層下	土器片疊	6.8	5.9	39	
第33回	427	SD03	46	17	3層下	土器片疊	7.5	6.9	46	
第33回	428	SD03	42	17	4層	土器片疊	6.3	5.0	40	
第33回	429	SD03	43	20	4層下	土器片疊	6.4	5.4	44	
第33回	430	SD03	41	17	4層	土器片疊	6.7	4.5	33	
第33回	431	SD03	43	16	4層	土器片疊	7.2	5.1	42	
第33回	432	SD03	41	17	4層	土器片疊	5.8	4.7	32	
第33回	433	SD03	41	17	4層	土器片疊	6.9	5.3	40	
第33回	434	SD03	41	17	4層	土器片疊	6.5	6.1	59	
第33回	435	SD03	41	17	4層	土器片疊	7.9	6.6	54	
第33回	436	SD03	43	16	4層	土器片疊	6.3	5.7	32	
第33回	437	SD03	42	17	4層	土器片疊	5.9	5.2	34	
第33回	438	SD03	43	20	4層下	土器片疊	4.6	5.5	23	
第33回	439	SD03	43	18	4層	土器片疊	3.9	6.0	21	
第34回	440	SD03	42	20	4層下	土器片疊	4.7	6.0	34	
第34回	441	SD03	43	16	4層	土器片疊	3.0	5.3	17	
第34回	442	SD03	41	17	4層	土器片疊	6.3	6.6	48	
第34回	443	SD03	41	20	4層	土器片疊	5.2	6.1	36	
第35回	444	SD03	46	16	4層	土器片疊	4.4	4.7	23	
第35回	445	SD03	46	16	4層	土器片疊	5.0	4.0	18	
第35回	446	SD03	46	16	4層	土器片疊	3.5	3.8	21	
第35回	447	SD03	41	17	4層	土器片疊	3.7	4.3	30	
第35回	448	SD03	43	18	4層	土器片疊	6.3	4.6	31	
第35回	449	SD03	43	16	4層	土器片疊	6.1	1.8	46	
第35回	450	SD03	43	21	4層下	土器片疊	4.7	3.5	18	
第35回	451	SD03	42	15	4層	土器片疊	4.3	2.3	23	
第35回	452	SD03	47	20	4層	土器片疊	4.7	1.8	18	
第35回	453	SD03	45	16	4層	土器片疊	5.3	1.5	12	
第35回	454	SD03	42	19	4層	土器片疊	3.7	1.2	12	
第35回	455	SD03	46	16	4層	土器片疊	—	—	13	
第35回	456	SD03	43	15	4層	土器片疊	4.6	3.7	37	
第35回	457	SD03	43	15	4層	土器片疊	5.8	3.2	32	
第35回	458	SD03	43	16	4層	土器片疊	6.0	2.6	26	
第35回	459	SD03	42	15	4層	土器片疊	5.1	1.9	19	
第35回	460	SD03	44	25	4層	土器片疊	4.7	5.0	18	
第35回	461	SD03	42	17	4層下	土器片疊	4.2	4.2	16	
第35回	462	SD03	46	16	4層	土器片疊	4.2	4.2	21	
第35回	463	SD03	45	25	5層	土器片疊	5.5	3.1	23	
第35回	464	SD03	47	23	5層	土器片疊	5.8	5.2	36	
第35回	465	SD03	43	15	5層	土器片疊	5.3	4.7	29	
第35回	466	SD03	41	24	5層	土器片疊	5.4	5.2	31	
第35回	467	SD03	45	22	5層	土器片疊	7.0	6.4	46	
第35回	468	SD03	43	15	5層	土器片疊	7.0	6.5	49	
第35回	469	SD03	42	23	5層上	土器片疊	4.8	—	17	
第35回	470	SD03	42	23	5層上	土器片疊	4.8	—	17	
第35回	471	SD03	42	19	5層	土器片疊	5.2	—	15	
第35回	472	SD03	42	18	5層	土器片疊	4.8	—	16	
第35回	473	SD03	41	22	5層	土器片疊	5.2	—	18	
第35回	474	SD03	43	17	5層	土器片疊	4.8	5.3	30	

A区 表7 出土遺物一覧

箇所	番号	出土地点	X	Y	層位	形種	口径	長さ	底／幅	器高／重さ	備考
第33回	475		41	17		土器片残	40	56		25	
第33回	476					土器片残	30	25		7	
第36回	477	SD03	43	25	3層	円盤状土製品	31	29		8	
第36回	478	SD03	43	25	3層	円盤状土製品	34	29		10	
第36回	479	SD03	43	23	3層	円盤状土製品	31	29		12	
第36回	480	SD03	42	24	3層	円盤状土製品	36	35		11	
第36回	481	SD03	42	25	3層	円盤状土製品	40	38		17	
第36回	482	SD03	43	25	3層	円盤状土製品	45	38		18	
第36回	483	SD03	42	25	3層	円盤状土製品	75	45		43	
第36回	484	SD03	42	15	3層	円盤状土製品	59	57		32	
第36回	485	SD03	44	25	3層	円盤状土製品	66	75		42	
第36回	486	SD03	42	15	3層	円盤状土製品	55	68		27	
第36回	487	SD03	42	24	3層	円盤状土製品	52	62		31	
第36回	488	SD03	42	24	3層	円盤状土製品	74	96		73	
第36回	489	SD03	42	26	3層	円盤状土製品	72	95		60	
第36回	490	SD03	42	24	3層	円盤状土製品	76	88		64	
第36回	491	SD03	41	23	3層	円盤状土製品	44	82		57	
第36回	492	SD03	42	21	3層	円盤状土製品	42	58		23	
第36回	493	SD03	46	24	3層	円盤状土製品	48	55		25	
第36回	494	SD03	42	15	3層	円盤状土製品	51	52		40	
第36回	495	SD03	42	25	3層	円盤状土製品	68	50		39	
第36回	496	SD03	41	24	3層	円盤状土製品	72	51		31	
第36回	497	SD03	42	23	3層	円盤状土製品	40	51		23	
第36回	498	SD03	41	22	3層	円盤状土製品	45	40		36	
第36回	499	SD03	42	20	3層下	円盤状土製品	38	37		12	
第36回	500	SD03	41	20	3層下	円盤状土製品	53	50		33	
第36回	501	SD03	41	21	3層下	円盤状土製品	54	48		25	
第36回	502	SD03	41	24	3層下	円盤状土製品	56	54		41	
第36回	503	SD03	42	20	3層下	円盤状土製品	74	51		35	
第36回	504	SD03	41	18	3層下	円盤状土製品	68	46		39	
第36回	505	SD03	42	15	3層下	円盤状土製品	56	50		38	
第36回	506	SD03	41	20	3層下	円盤状土製品	40	40		16	
第37回	507	SD03	41	16	3層下	円盤状土製品	35	35		13	
第37回	508	SD03	41	22	3層	石盤	30	18		1	チャート
第37回	509	SD03	41	16	3層下	石頭	49	19		0.9	チャート
第37回	510	SD03	42	18	3層下	エンドスクリーバー	24	34		0.8	真岩
第37回	511	SD03				河底	28	20		0.8	能紋岩
第37回	512	SD03	41	22	3層	块状石製品(地勘)	17	14		9	蛇紋岩
第37回	513	SD03	42	16	3層下	磨製石斧	50	48		0.6	蛇紋岩
第37回	514	SD03	41	13	3層	霰石	107	75		636	花崗岩
第37回	515	SD03	41	24	3層下	霰石	83	53		205	花崗岩
第37回	516	SD03	41	21	3層下	霰石	125	112		1485	
第37回	517	SD03	41	17	4層	霰石・西石	112	101		57	花崗岩
第37回	518	SD03	47	20	4層	霰石	103	95		559	
第37回	519	SD03	41	23	1層	石錐	62	71		137	
第37回	520	SD03	41	18	1層	石錐	70	45		119	花崗岩
第37回	521	SD03	41	26	2層	石錐	77	55		87	
第38回	522	SD03	41	26	2層	石錐	70	46		60	
第38回	523	SD03	45	26	2層	石錐	67	51		88	花崗岩
第38回	524	SD03	41	26	2層	石錐	55	46		39	砂岩
第38回	525	SD03	48	23	2層	石錐	45	47		69	花崗岩
第38回	526	SD03	45	26	2層	石錐	54	47		42	
第38回	527	SD03	43	26	2層	石錐	70	48		103	
第38回	528	SD03	48	21	2層	石錐	60	47		37	
第38回	529	SD03	46	24	2層	石錐	58	49		94	
第38回	530	SD03	47	24	2層	石錐	87	66		227	花崗岩
第38回	531	SD03	42	24	3層	石錐	83	58		142	
第38回	532	SD03	41	25	3層	石錐	70	59		135	
第38回	533	SD03	41	22	3層	石錐	92	71		198	花崗岩
第38回	534	SD03	42	24	3層	石錐	84	73		246	砂岩
第38回	535	SD03	42	22	3層	石錐	66	54		106	
第38回	536	SD03	46	22	3層	石錐	65	50		123	砂岩
第38回	537	SD03	41	13	3層	石錐	65	53		115	花崗岩
第38回	538	SD03	44	25	3層	石錐	71	61		93	砂岩
第38回	539	SD03	45	23	3層	石錐	72	70		111	砂岩
第38回	540	SD03	46	23	3層	石錐	77	67		89	
第38回	541	SD03	39	17	砂層	石錐	75	51		92	粘板岩
第38回	542	SD03				石錐	63	49		71	
第38回	543	SD03	42	22	3層	石錐	62	61		96	
第38回	544	SD03	42	23	3層	石錐	65	64		72	
第38回	545	SD03	43	21	3層	石錐	43	36		40	砂岩
第38回	546	SD03	41	27	3層	石錐	56	35		43	
第38回	547	SD03	42	23	3層	石錐	45	42		57	
第38回	548	SD03	41	22	3層	石錐	52	44		51	
第39回	549	SD03	42	27	3層	石錐	57	42		80	
第39回	550	SD03	42	25	3層	石錐	57	41		61	
第39回	551	SD03	43	23	3層	石錐	57	52		78	花崗岩
第39回	552	SD03	41	13	3層	石錐	48	41		73	
第39回	553	SD03	41	22	3層	石錐	58	44		56	砂岩

A区 表8 出土遺物一覧

层号	分号	出土地点	X	Y	层位	器种	口径/长径	底/腹	壁高/重さ	编号
第39层	554	SD03	43	23	3层下	石钵	6.3	6.7	122	
第39层	555	SD03	44	25	3层	石钵	6.7	5.1	55	砂岩
第39层	556	SD03	42	23	3层	石钵	7.0	5.5	80	
第39层	557	SD03	46	21	3层	石钵	6.2	5.8	99	粘板岩
第39层	558	SD03	41	25	3层	石钵	5.6	4.9	70	花岗岩
第39层	559	SD03	44	25	3层	石钵	4.7	4.1	49	
第39层	560	SD03	39	17	砂层	石钵	5.0	4.3	27	
第39层	561	SD03	40	17	砂层	石钵	13.1	9.7	280	砂岩
第39层	562	SD03	46	24	3层下	石钵	4.5	3.9	61	
第39层	563	SD03	43	22	3层下	石钵	5.5	4.3	80	花岗岩
第39层	564	SD03	44	17	3层下	石钵	3.7	4.5	67	
第39层	565	SD03	41	19	3层下	石钵	5.9	3.6	27	
第39层	566	SD03	46	23	3层下	石钵	5.2	4.3	26	
第39层	567	SD03	46	24	3层下	石钵	6.7	4.0	28	砂岩
第39层	568	SD03	41	25	3层下	石钵	10.3	9.3	402	
第39层	569	SD03	41	15	3层下	石钵	11.0	7.8	301	石头斑岩
第39层	570	SD03	41	18	3层下	石钵	10.1	7.1	139	
第39层	571	SD03	41	18	3层下	石钵	10.0	8.2	106	
第40层	572	SD03	41	15	3层下	石钵	6.0	5.1	84	
第40层	573	SD03	41	24	3层下	石钵	3.0	4.7	63	花岗岩
第40层	574	SD03	41	16	3层下	石钵	6.0	5.3	56	
第40层	575	SD03	41	25	3层下	石钵	5.6	4.4	67	
第40层	576	SD03	41	15	3层下	石钵	5.0	5.6	50	砂岩
第40层	577	SD03	45	15	3层下	石钵	6.8	4.9	57	砂岩
第40层	578	SD03	46	20	3层下	石钵	5.8	5.9	63	
第40层	579	SD03	46	20	3层下	石钵	5.9	5.2	89	花岗岩
第40层	580	SD03	47	20	3层下	石钵	6.4	5.3	94	
第40层	581	SD03	44	16	3层下	石钵	5.8	4.3	71	砂岩
第40层	582	SD03	43	23	3层下	石钵	7.2	5.7	141	
第40层	583	SD03	41	20	3层下	石钵	7.7	6.5	169	砂岩
第40层	584	SD03	41	14	3层下	石钵	7.5	5.7	107	
第40层	585	SD03	44	17	3层下	石钵	7.5	6.0	144	花岗岩
第40层	586	SD03	41	18	3层下	石钵	6.5	5.8	156	花岗岩
第40层	587	SD03	41	15	3层下	石钵	6.8	5.3	117	
第40层	588	SD03	44	15	3层下	石钵	6.8	5.2	111	花岗岩
第40层	589	SD03	42	19	3层下	石钵	6.8	6.7	110	
第40层	590	SD03	41	17	3层下	石钵	6.7	5.4	136	
第40层	591	SD03	42	18	3层下	石钵	7.9	5.0	59	
第40层	592	SD03	41	18	3层下	石钵	6.7	6.1	110	
第40层	593	SD03	45	23	3层下	石钵	6.3	5.3	83	
第40层	594	SD03	41	19	3层下	石钵	6.7	4.8	83	
第40层	595	SD03	45	20	3层下	石钵	6.8	5.9	107	
第40层	596	SD03	43	23	3层下	石钵	7.0	5.5	98	
第41层	597	SD03	41	21	3层下	石钵	6.0	6.8	115	砂岩
第41层	598	SD03	41	24	3层下	石钵	6.3	4.7	83	
第41层	599	SD03	46	20	3层下	石钵	5.1	6.7	96	花岗岩
第41层	600	SD03	46	22	3层下	石钵	5.2	4.9	48	
第41层	601	SD03	43	23	3层下	石钵	4.0	5.7	34	砂岩
第41层	602	SD03	41	19	3层下	石钵	5.7	5.1	47	
第41层	603	SD03	43	24	2层下	石钵	9.0	6.8	100	
第41层	604	SD03	41	21	3层下	石钵	9.3	8.5	184	砂岩
第41层	605	SD03	41	19	3层下	石钵	7.9	7.0	197	
第41层	606	SD03	42	22	3层下	石钵	8.6	5.8	72	粘板岩
第41层	607	SD03	41	21	3层下	石钵	9.2	6.1	200	粘板岩
第41层	608	SD03	41	15	3层下	石钵	12.7	9.6	712	
第41层	609	SD03	42	19	3层下	石钵	10.4	9.5	359	
第41层	610	SD03	41	20	2层下	石钵	7.7	7.0	255	
第41层	611	SD03	47	26	4层下	石钵	7.7	6.4	139	
第42层	612	SD03	42	17	4层下	石钵	6.3	5.2	105	花岗岩
第42层	613	SD03	47	24	4层下	石钵	5.1	6.2	68	砂岩
第42层	614	SD03	42	22	4层下	石钵	5.7	4.7	44	
第42层	615	SD03	41	17	4层下	石钵	5.0	4.6	27	
第42层	616	SD03	45	26	5层	石钵	3.0	3.0	14	
第42层	617	SD03	45	15	5层	石钵	4.7	5.3	28	砂岩
第42层	618	SD03	45	21	5层	石钵	6.2	5.0	72	花岗岩
第42层	619	SD03	42	18	5层	石钵	6.3	5.7	86	
第42层	620	SD03	47	20	5层	石钵	4.7	4.2	32	砂岩
第42层	621	SD03	43	15	5层	石钵	6.4	4.5	42	
第42层	622	SD03	41	21	5层上	石钵	6.6	5.8	140	花岗岩
第42层	623	SD03 ²	46	25	5层	石钵	7.9	6.6	152	花岗岩
第42层	624	SD03	44	24	5层	石钵	6.0	5.3	108	粘板岩
第42层	625	SD03	44	22	5层	石钵	5.6	4.5	44	砂岩
第42层	626	SD03	46	21	5层	石钵	5.6	5.6	86	花岗岩
第42层	627	SD03	40	13	5层	石钵	11.1	9.1	424	砂岩
第42层	628						6.6	6.4	84	粘板岩

A区 表9 出土遗物一覽

6 まとめ

遺構

A区における遺構は古代の溝と縄文時代の川跡および風削木跡である。SD02は、出土する遺物が時代を反映しないことから、遺構検出層位や周辺の状況から古代の溝で、東西に調査区を分断しており、おそらく東方向へ流れていたと考えられる。

縄文時代の遺構は川跡のSD03である。SD03は平成13年度に調査を行った黒河・中老田遺跡から針原西遺跡（針原西遺跡Ⅱ）の中央部分まで北流し、平成12年に調査を行った針原西遺跡（針原西遺跡Ⅰ）へ向かって西側方向へと流れを変える。B区におけるSD03はちょうど西へと流れを変える蛇行部分の外側にある。

今回の調査区において測りうる川幅は、約51.5m、深さ1.4mで、A区図13 SD03断面図の土層図は土層を大別したものである。実際にこの計測値で河川としての機能を持っていたのは、縄文時代中期の土器片が最も多く川底にめり込んでいたことから、縄文時代中期と考えられる。大きな河川としての機能を失った後は、1条あるいは数条の流れ（幅1m～10m前後、深さ数cm～60cm程度）によって運ばれる土砂により徐々に川底が上がる過程で、周辺に住む人々は中程まで入ってシジミの殻や土器片の捨て場として利用し、所によってはトネリコなどの樹木が茂り、その後完全に埋没したと考えられる。

SD03の北に広がる平地には遺構はまったく認められず、大型の風削木跡が30か所ほど確認できたことからSD03の北側には林が広がっていたと推測される。

遺物

遺物は、包埋層およびSD02・03から出土している。SD02から出土した遺物は溝の上層部から出土しており、溝が自然埋没する過程と岡場整備などの後世の擾乱により入り込んだと考えられる。

SD03から出土した遺物は、縄文時代前期から後期で中期の遺物量が最も多く、土器は前田式・気屋式・串田式を中心で、米粒程度に摩滅したものから、まったく摩滅していないものまであるが、完形品やそれに近いものはまったく認められなかった。出土遺物の中には土器片を転用した鍤が多数あったが、鍤として使用されたために摩滅した痕跡は認められなかった。また、土器片鍤と石鍤、その他の土器片や石器との出土分布および出土層位に違いは認められなかった。

石器は、装飾品や生活道具である石斧や戸石、擦石は出土石器の7%で残りはすべて石鍤である。石器として用いられた石材は安山岩が主体で当町の遺跡から出土する石器と類似するが、このような石材が入手可能な河川は、当遺跡から数百メートル以内にはないことから、神通川や庄川から運ばれたものかと考えられる。

石鍤および土器片鍤について

当遺跡からは104点の石鍤と完形土器片鍤145点、完形円盤状土製品47点が出土した。以下これの完形品を対象に考えてみたい。

石鍤の多くは安山岩を利用しているが、わずかに粘板岩や砂岩を用いている。中には蛇紋岩の磨製石斧から転用されたものが1点確認された。

最小の石鍤の大きさはA区図42（616）で長さ3.0cm、幅3.0cm、厚さ1.0cm、重さ14gを測り、最大の石鍤はA区図39（561）で長さ13.1cm、幅9.7cm、厚さ2.2cm、重さ280gを測る。平均は長さ6.7cm、幅5.6cm、厚さ1.8cm、重さ110.2gである。もっとも重い石鍤はA区図41（608）で長さ12.7cm、幅9.6cm、厚さ4.0cm、重さ712gを測り、次に重いA区図42（627）の424gとかなりの違いがある。A区図41（608）は、長さや幅は他の大型石鍤と大差がないが、厚みがあることから重量が2倍近くとなる。

今回の調査と前年に行った調査では、サンプルとして採集したにとどまったが、SD03からは石材および大きさ形

状が類似するが加工痕が認められない円礫が多數出土した。このような円礫は、石錘の石材同様遺跡周辺では採取不可能であり、かなり大きな河川の河口付近、あるいは海岸のみ採取可能なものであることから、何らかの目的で当遺跡まで持ち込まれ、利用されずに破棄されたかあるいは埋没したと考えられる。

土器片錘はA区においてはすべて土器片からの転用で、錘としての目的で焼かれたものは検出されなかった。文様から時代を推測すると、出土した土器同様、縄文中期のものが圧倒的に多い。

最小の土器片錘はA区図35(476)で長さ3.0cm、幅2.6cm、厚さ0.7cm、重さ7gを測り、最大の土器片錘は図32(381)の長さ8.7cm、幅6.5cm、厚さ1.0cm、重さ67gやA区図34(419)の長さ8.5cm、幅7.7cm、厚さ0.7cm、重さ78gなどである。平均は長さ6.0cm、幅5.0cm、厚さ0.9cm、重さ34.4gである。

石錘と土器片錘の長さと幅の比率はいずれも1:1.2である。

円盤状土製品の平均は長さ4.5cm、幅4.1cm、厚さ0.85cm、重さ21.2gで、土器片錘よりも小さいことから、土器片錘への加工途中であるとは考えにくく、別の用途があったものと考えられる。

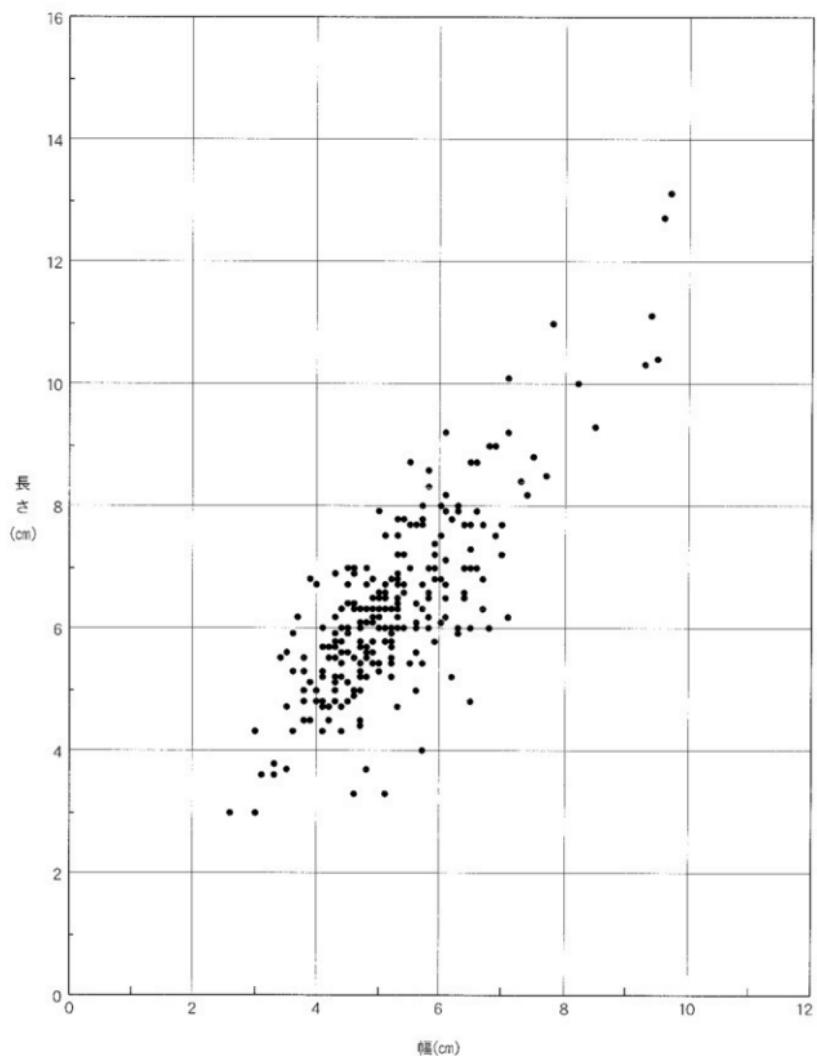
土器片錘と石錘の平均値を比較すると長さと幅は石錘が1割ほど大きく厚さは2倍で、縦横の比率はいずれも1:1.2で同様、重さは約3倍である。土器片錘については乾燥後、バインダー処理した重さを資料としているが、バインダー処理前に約20点について24時間浸水後と、乾燥後の重さについて比較したところ、浸水後は0.7~1.25倍に重さが増した。以上のことから土器片錘が水中で錘として利用されたときに、水を含み重量が増しても石錘ほどの重さにならないことから代用品にならないと考えられるが、3点あるいは2点セットとした場合その総重量は石錘1点に匹敵する。A区表4を見ると石錘は11~720gの間に分布し、土器片錘に比べて分布範囲が広いが、712gの石錘は特異なものと考えられ、21~170gのものが全体の87.5%をしめる。土器片錘は1~90gの間に分布し、11~60gのものが全体の88.2%をしめる。材料が現地調達可能（再利用）な土器片錘に比べ石錘の場合、採取後加工することによりやや重さにばらつきが生じたか、あるいは土器片錘以上に重さにバリエーションが必要な用途があったと考えられる。

参考文献

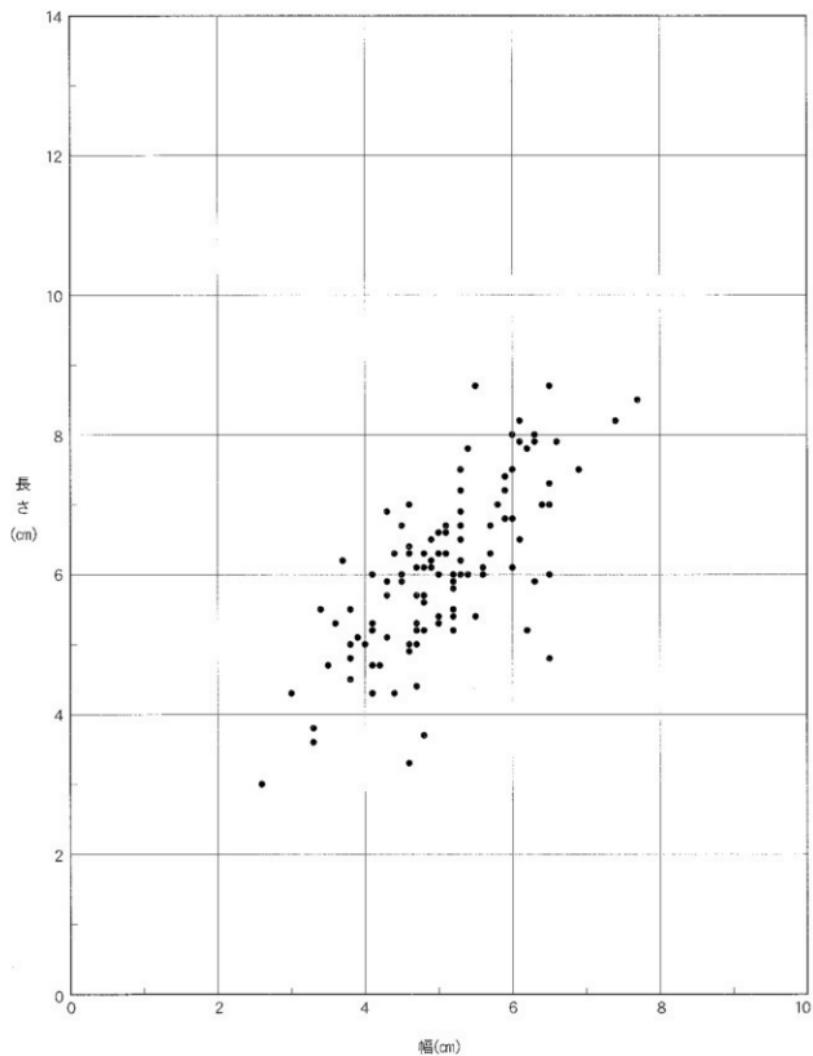
大門町教育委員会 1983 「串田新遺跡整備事業概要」

富山県教育委員会・富山県埋蔵文化財センター編 1987 「北陸自動車道遺跡調査報告—朝日町編3—馬場山D遺跡・馬場山G遺跡・馬場山H遺跡」

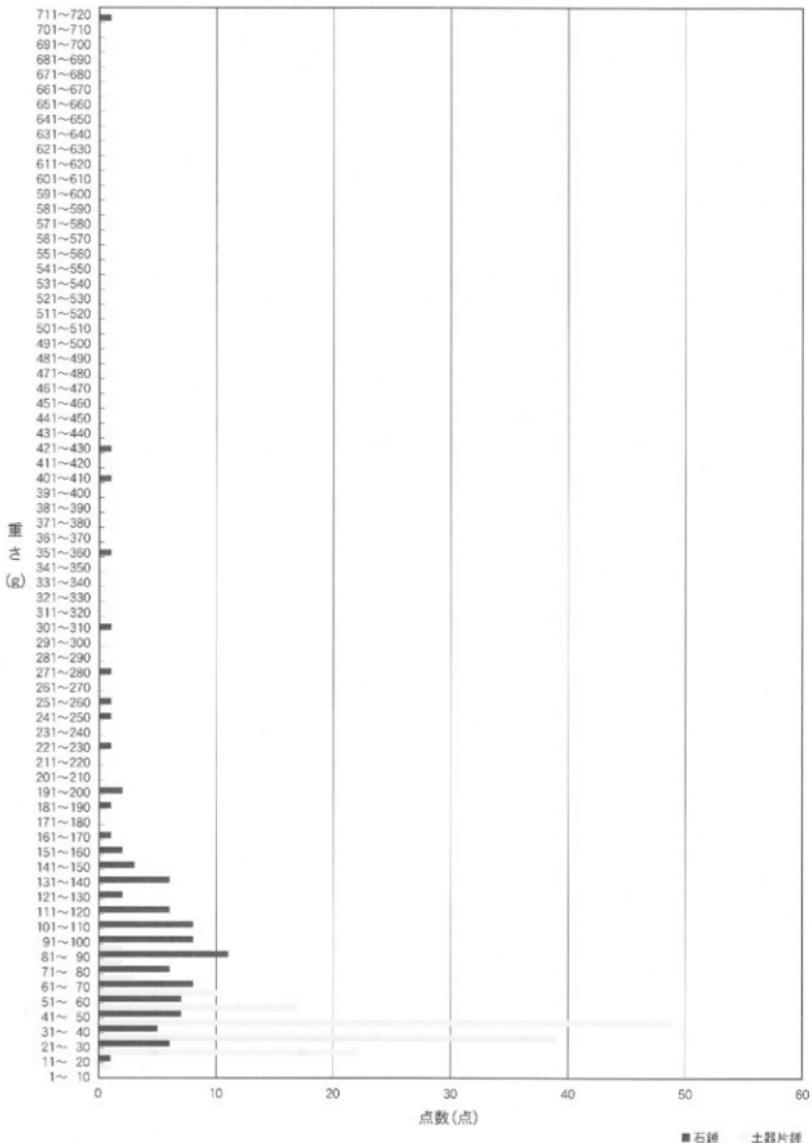
能都町教育委員会・真脇遺跡発掘調査団 1986 「真脇遺跡」



A区 表10 石錐の長さと幅



A区 表11 土器片錐の長さと幅



A区 表12 錘の重さ分布



1



2



3



4



5

A区 図版 1・2・3・4. SD03 5. SD02



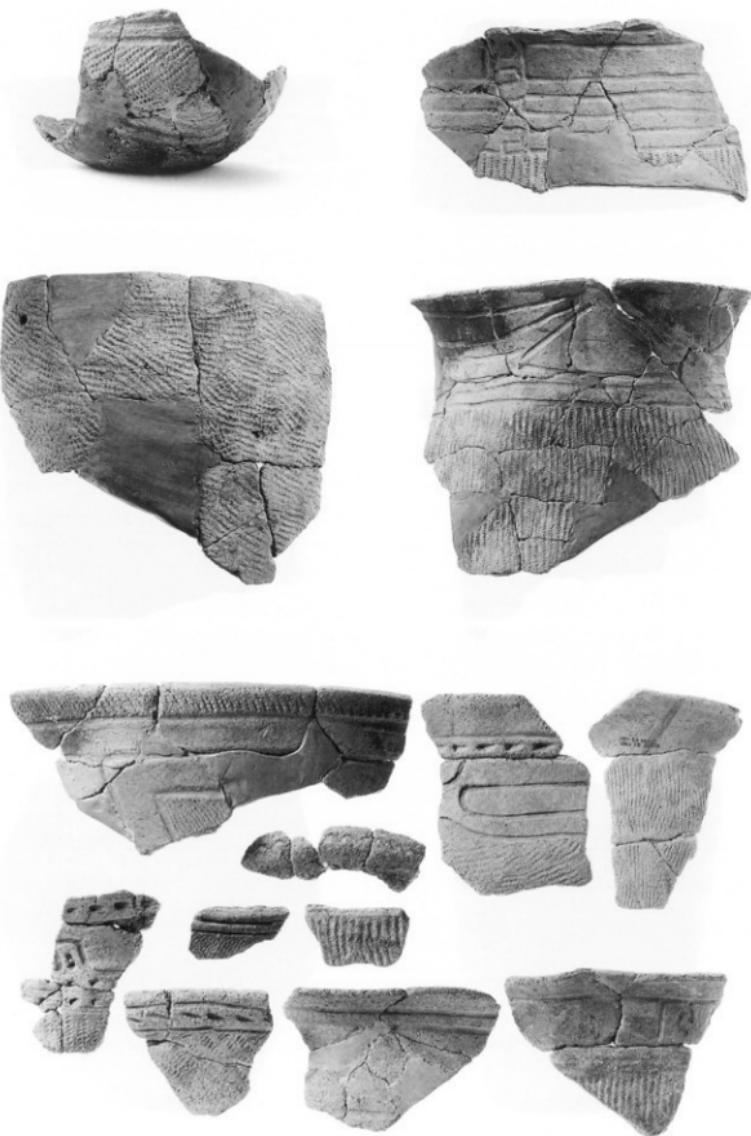
A区 図版2 SD03出土遺物



A区 図版3 SD03出土遺物



A区 図版4 SD03出土遺物



A区 図版5 SD03出土遺物





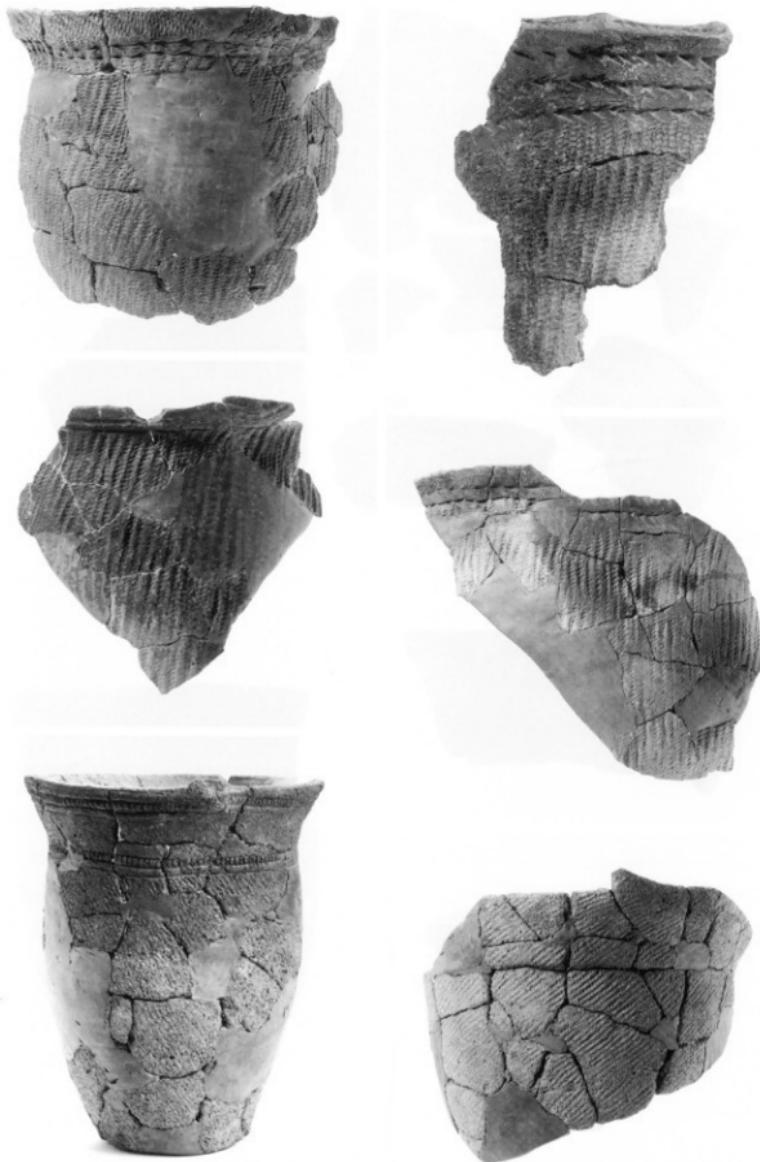
A区 図版7 SD03出土遺物



A区 図版8 SD03出土遺物



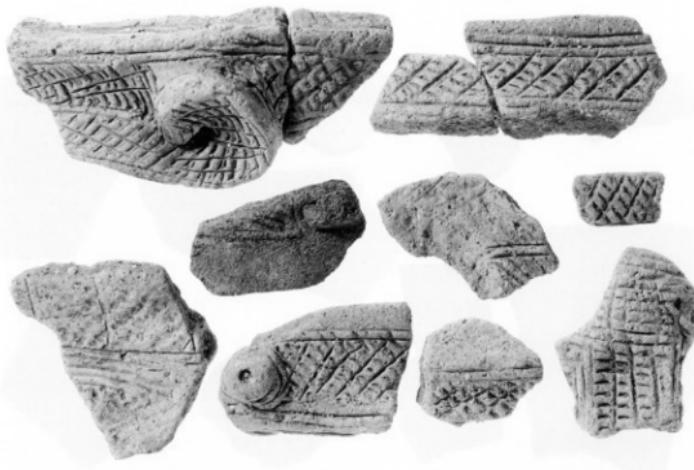
A区 図版9 SD03出土遺物



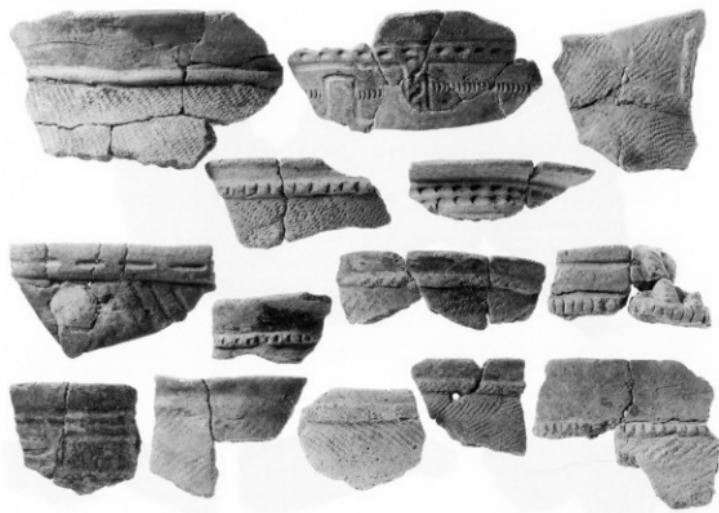
A区 図版10 SD03出土遺物



A区 図版11 SD03出土遺物



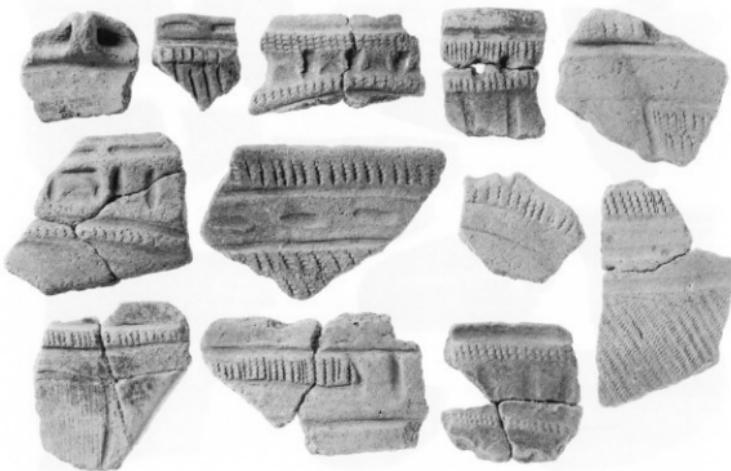
A区 図版12 SD03出土遺物



A区 図版13 SD03出土遺物



A区 図版14 SD03出土遺物



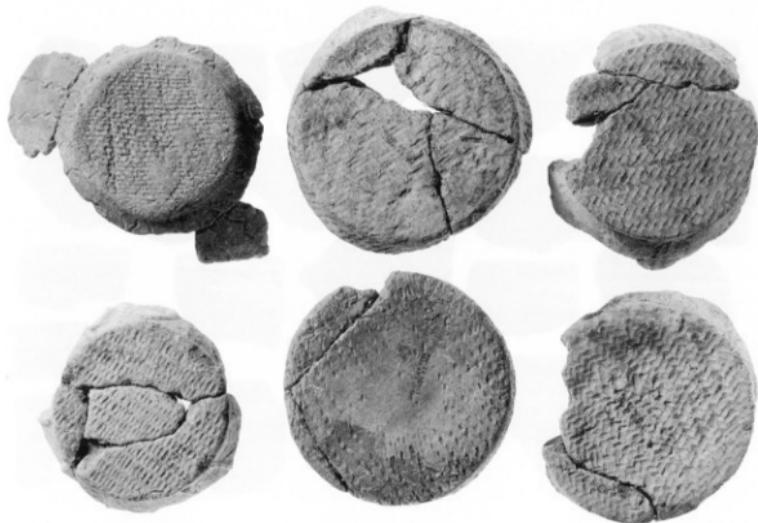
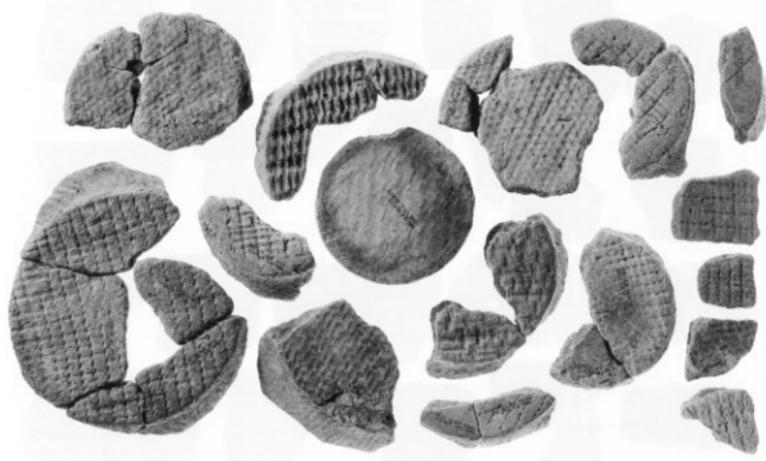
A区 図版15 SD03出土遺物



A区 図版16 SD03出土遺物



A区 図版17 SD03出土遺物



A区 図版18 SD03出土遺物

B 区

第3章 B区の調査結果

1 B区の概要

針原西遺跡平成13年度次の発掘調査においてB区とした範囲は、発掘調査範囲におけるX40列以南である（A区図8参照）。検出した遺構は、縄文時代に属するものとして川跡とその中に位置する貝層を5地点、貯蔵穴と考える土坑、古代の溝が1条である。

出土遺物の大半を占める縄文時代遺物のほとんどが、この川跡から出土し、土器片錐・石錐が大量に出土した。また、鍬として用いた可能性の高い石器や海沿いで採取される石が散見する。

2 遺構

(1) 縄文時代の遺構 (B区 図1～3・8～10・付図、図版1～7)

A 川跡

今回の発掘調査の主たる成果はこの縄文時代の川跡の検出にある。今回の発掘調査の西側に直行する平成12年度の町道部分の発掘調査範囲においては東西方向の流路とその中に貝層を検出している。その流路の続きとして今回検出した川跡がある（A区 図14参照）。

B区の発掘調査範囲の西側の概ねX5～X22Y5～Y17の範囲が部部分となり、それ以外は全て川跡となる。平面積としては、B区調査範囲約2,200m²の内、約1,600m²を川跡が占める。その深さは最も深い地点で標高1.8m、陸部分の最も高い所は標高3.1mを測り、その比高差は1.3mになる。検出規模は、最も幅の広い南北方向の幅が約55mにも及ぶが、縄文時代前期～後期前葉にかけて存在したと考えられ、流路は時期により移動していたものと考えられる。

土層は、長年にわたりわり続けた流路のひとつひとつを特定することができなかつたために、グリッドに沿った土層を観察し、記録にとった（B区 図1～3）。概ね褐色から灰白色の土壤化した痕跡のみられない粘質土が標高2.5mより上に堆積する。粘質土の下は、それぞれの時期の川の流れが運んだ砂土や有機物が堆積する。後述する貝層は、川の堆積の中の一つの層として存在する。それぞれの時期の川岸から廃棄したもののうち流されなかつたものが堆積したと考える。また、多数検出した樹木は、流木ではなく川の周間に形成されていた林が流路の変化により浸食され倒木したものと考える。

図5に時期別の土器の分布状況を表した。これを見ると、前期から中期前葉にかけては東西方向の流れ、中期後葉には、南北方向の流れが出現した後に再び埋まり、そこに貯蔵穴を作り、後期前葉には再び南北方向の小規模な流れになり、やがては消滅したものと考える。

出土遺物としては、縄文土器・土器片錐・石錐（砾石錐）・石器・石製装飾品などの他にクルミ・クリ・トチ・ドングリ等の食用の木の実が多く出土した。また、X16・17Y18～19の川岸が張り出した部分に杭が打ち込んであるほか、土留めを施した箇所もあることから、意図的に川岸の水流を変えていたと考えられる。これらの目的としては、木の実の水さらし場としての利用や、あるいは船に関連する施設を想定することもできる。この川は漁撈の場・廃棄の場・加工・貯蔵の場・交通路として利用され続けた生活に密着した川として位置づけられる。

B 貝 層 (B区 図8・9、図版5～7、図版6・7)

川の中に5個所の貝が堆積する部分があった。貝層に関しては、その広がりを平面図として記録した後に、十

字もしくはキ字状に畦を設定し、断面観察を行った。貝は、畦で区切られた区画にそれぞれ①から順に番号を付し、区画毎に全て採集した。貝の種類としては分析結果にもあるとおり、ほとんどがシジミ類であり、5号貝層にのみカキ類が混在する。骨角器の出土はなかった。

1号貝層 X34・35Y19に広がる。検出した標高は2.25m～2.42mである。まとまった広がりや厚みがないため、平面的な広がりのみを記録し、小さなまとまりごとにa～fの記号を付し、貝を採集した。1号貝層部分は、分析委託にあたって、先に土層観察のための試掘を実施した箇所であり、同部分の土層図は図8に示した。

2号貝層 X33～35Y17・18に広がる。1・2号貝層は調査開始前に確認のために設けた試掘トレンドで既に確認していたものである。2号貝層の広がりは、上層と下層の2度の堆積が見られ、上層の北寄りのものをa、下層の南寄りのものをbとした。検出面の標高はaが2.30m～2.36m、bが2.1m～2.22mであり、aが地山よりも10cm～36cm、bが3cm～10cm上に堆積する。また、同貝層のa・bを通した断面は図8に見るA-A'であり、bの方が先の堆積であることが明瞭である。貝及び堆積土は北から南に向かって傾斜して堆積することが分かる。貝層の厚さはaが最も厚いところで14cm薄いところで4cm、bが最も厚いところで20cm薄いところで4cmを測る。

3号貝層 X37・38Y17・18に広がる。検出した標高は2.20m～2.28mであり、地山よりも20～30cm上に堆積する。貝層の厚さは最も厚いところで18cm、薄いところで4cmを測る。

4号貝層 X23・24Y12～15にかけて広がる。3つのまとまりが見られたことから、西から順にa・b・cとした。検出した標高はaが2.15m～2.2m、bが2.19m～2.26m、cが2.06m～2.15mである。cについては上層と下層の2度の堆積がある。a・b及びcの上層が地山よりも20cm上に、cの下層が地山直上から6cm上に堆積する。貝層の最も厚い部分はそれぞれ、aは14cm、bは15cm、cは上層が14cm下層が10cmを測る。

5号貝層 X17・18Y20～22にかけて広がる。3つのまとまりが見られたことから、西から順にa・b・cとした。検出した標高はaが2.19m～2.26m、bが2.32m～2.46m、cが2.34m～2.42mである。a・cは地山よりも4～6cm上に堆積し、bは4cm～14cm上に堆積する。bでは貝層中にカキ類の殻が混じり、カキ類が混じるのは、この5号貝層のみである。貝層の厚さは、最も厚い部分でaが6cm、bが20cm、cが10cmを測る。

これらの貝層の時期については、貝層が広がる部分から出土した土器から（B区 図13・14）、1号・2号貝層が前期末～中期前葉、3号貝層が中期前葉、4号貝層が中期前葉～中葉、5号貝層が中期後葉～中期末にそれぞれの場所に廃棄されたものと考える。

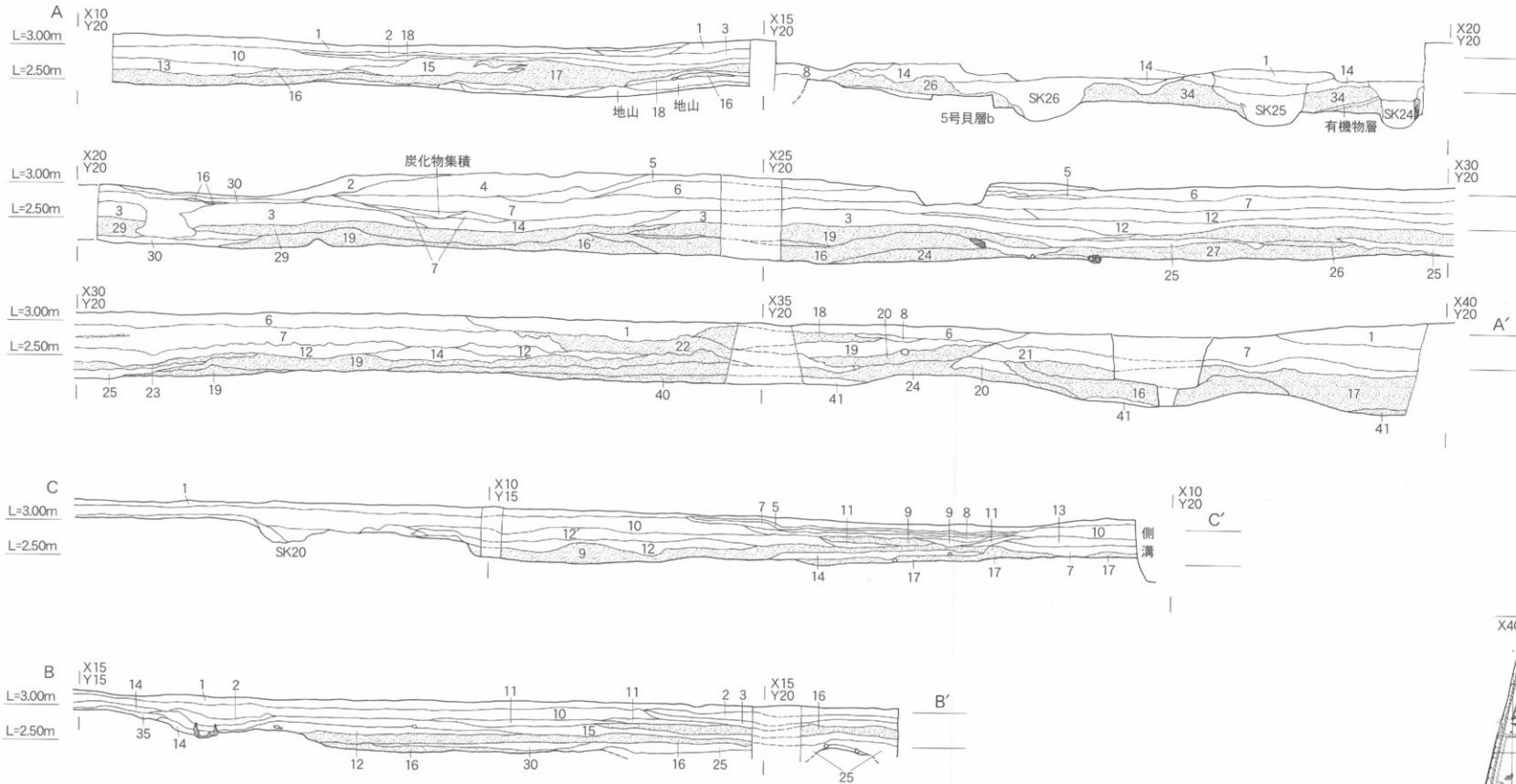
当時の川岸から貝を廃棄したものと想定すると、河道の変遷は、平成12年度に検出した河道から続く東西方向の流路がその後南側に移動し、中期後葉には南から流れ込む河道が出現したと推察する。

また、5号貝層中からのみカキ類が出土したことは、当遺跡において中期後葉～末葉にかけてカキ類の捕食を始めたものか。県内では、大境洞窟遺跡・朝日貝塚・小竹貝塚・北代遺跡からカキ類が出土している（山崎1998）。

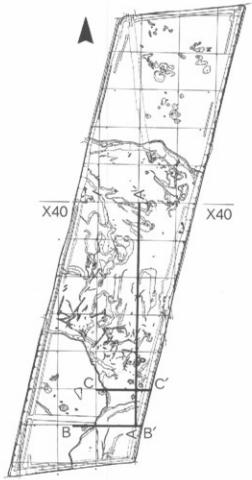
C 土 坑（B区 図10、図版1～4）

検出できた土坑は、16箇所ある。このうちSK15・16・19・21を除いたものは、貯蔵穴と考える。これらのうちほとんどが調査区東側の埋没後の河道上に作られている。1箇所のみを陸地で検出した。また、調査開始前に設定した試掘坑5T中にも土坑を検出した。土坑の時期は、SK25～35は中期末～後期前葉に属すると考えられ、SK17及び5T西側に検出したものが後期前葉に属すると考えられる。

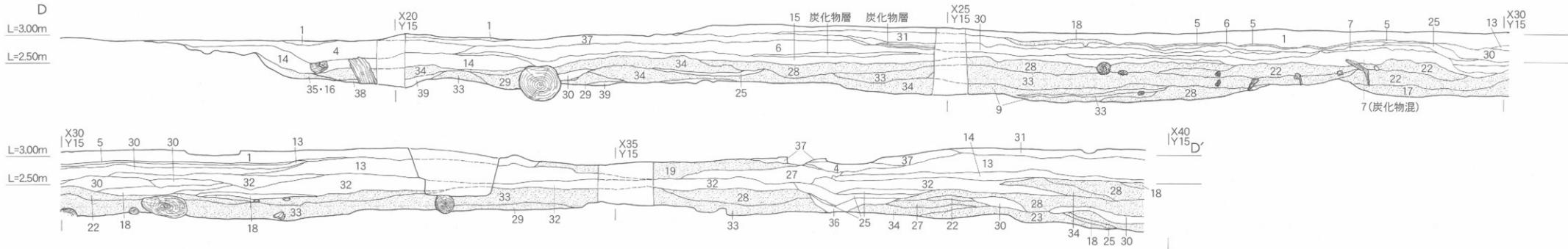
SK15・16 SK17の傍に検出した土坑である。それぞれの規模は検出面において、SK15は径38cm深さ10cm、SK16は径28cm深さ16cmを測る。覆土はSK17の1層と同様である。



0 1:50
2 4m



B区 図1 縄文時代川土層図(1) (1/50)

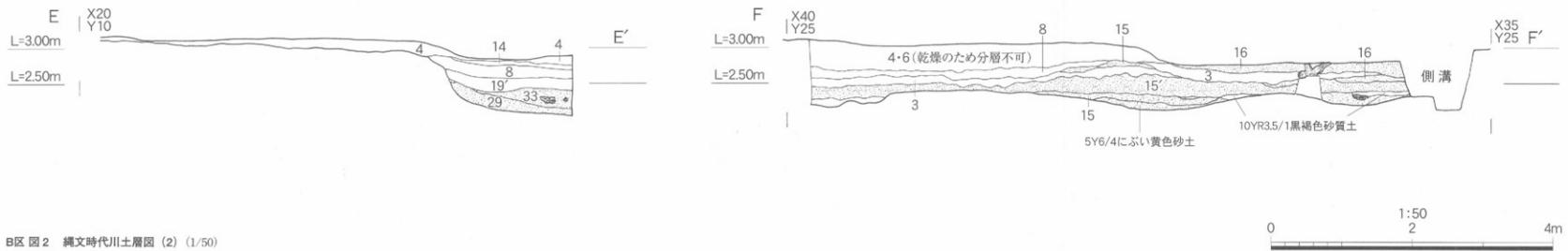


- 1 10YR4/1・5/1 褐灰色粘質土（炭化物は目立たない）
- 2 10YR5/1 褐灰色シルト
- 3 10YR3.5/1・4/1・5/1 褐灰色シルト（砂土の率高い）
- 4 10YR4/2・5/2 灰褐色粘質土
- 5 10YR4/1・5/1・5/2 灰褐色粘質土に
7.5Y6/1 灰色粘質土のブロック粒状に混じる
- 6 10YR4.5/1・5/1・5.5/1 褐灰色粘質土
- 7 10YR4/1 褐灰色粘質土（6に比べて土色が暗い）
- 8 10YR4/1・4/15・45/1・5/1 褐灰色・灰褐色粘質土（炭化物混）
- 9 10YR4.5/1・5/1・6/1 褐灰色砂土（中砂～粗砂）
- 10 10YR4/15 黑褐色粘質土（炭化物混）
- 11 10YR5/1・5/2・6/1 褐灰色粘質土
- 12 10YR4/1・4/1 褐灰色粘質土
- 13 10YR4/1・4.5/1 褐灰色粘質土（炭化物混）
- 14 10YR4/1・4.5/1 褐灰色粘質土（炭化物混）
- 15 10YR4/15・4/1 褐灰色砂質土
- 16 粗砂（主に褐灰色）
- 17 細砂～粗砂の砂土+シルト・植物質・炭化物（互層）
土色は10YR4.5/1・5/1・6/1・7/1の褐灰色

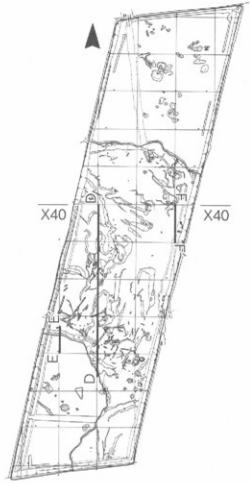
- 18 10YR4/1・4.5/1 褐灰色シルト+10YR7/1灰白色砂土（細砂～粗砂）（互層）
- 19 10YR3.5/1・4/1・5/1 黒褐色・褐灰色シルト+砂土（細砂～粗砂）（マーブル状）
- 20 10YR3.5/1・4/1 褐灰色砂質土+砂土
- 21 10YR4/1 褐灰色砂質土+中砂
- 22 10YR4/1・5/1 褐灰色シルト・粘質土+砂土（マーブル状）
- 22' 10YR3/3・6/4・7/1 にぶい黄褐色砂土（細砂～中砂）
+植物質・炭化物（マーブル状）
- 23 10YR7/1・7/2 灰白色・にぶい黄褐色砂土（細砂～中砂）（マーブル状）
- 24 10YR6/1・6.5/1・6/3・6/4・7/2 褐灰色～にぶい黄褐色粗砂
- 25 10YR2.5/1・3/1・3.5/1 黑褐色粘質土（有機物・炭化物層）
- 26 10YR7/1・7/2・6/4 灰白色・にぶい黄褐色中砂
(互層付近の層はオリーブ色になる)
- 27 10YR3.5/1 褐灰色シルト+有機物・炭化物・砂土（細砂～中砂）（マーブル状）
- 28 10YR4/1・5/1 褐灰色シルト+有機物・炭化物・砂土（細砂～中砂）（マーブル状）
- 27に比べて土色が明るる
- 29 10YR3/1・3.5/1・4/1 黑褐色・褐灰色砂質土
+粘質土・有機物・炭化物・砂土（互層）
- 30 10YR3/1・3.5/1・3/15・3/2 黑褐色粘質土（有機物・炭化物混）
- 31 10YR6/1・7/1、10Y7/1 褐灰色・灰白色粘質土

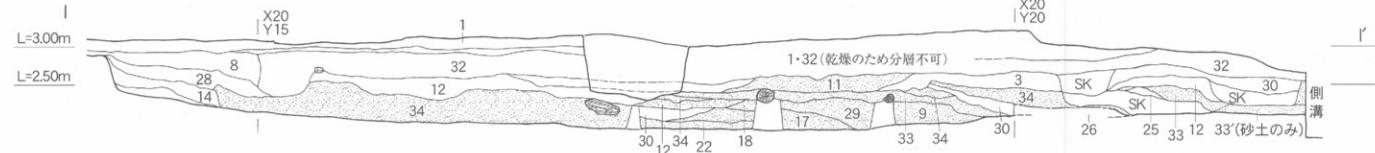
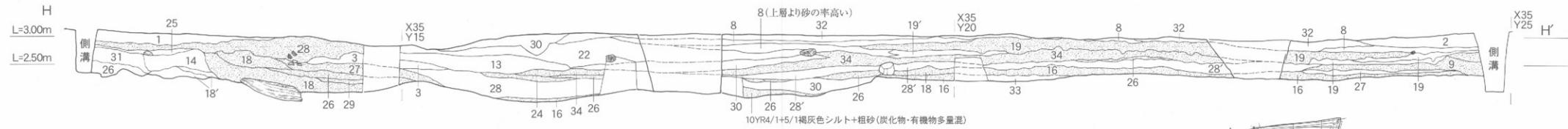
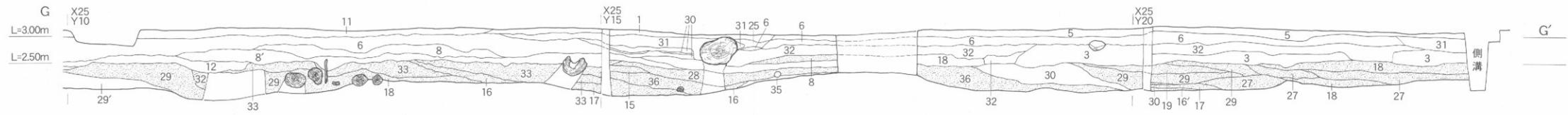
- 32 10YR3.5/1～4/1 黑褐色粘質土（炭化物が目立つ）
- 33 10YR4/1・4.5/1・5/1 褐灰色シルト・粘質土
+10YR6/3 にぶい黄褐色砂土（細砂～粗砂）・有機物・炭化物（互層）
- 34 10YR6/3 にぶい黄褐色砂土（細砂～粗砂）
+10YR3.5/1・4/1・5/1 褐灰色シルト（互層）（炭化物・有機物混）
- 35 10YR4/1・5/1 褐灰色と25Y6/3・6/4にぶい黄色粘質土がブロック状に混ざり合う
(細砂～粗砂)
- 36 10YR3.5/1 褐灰色粘質土+10YR6/1・6.5/2 褐灰色・灰褐色砂土
- 37 10YR5/1 褐灰色粘質土
- 38 10YR4/1 褐灰色粘質土
- 39 10YR3/1 黑褐色砂質土（しまりなし）
- 40 7.5Y4/3 離オリーブ色粗砂
- 41 10YR3.5/1 褐灰色粘質土+植物質+中砂（互層）

土性の表記に関しては、現地では1層ずつの記録をとったが、本図中においては煩雑になることを避け、
新旧・上下を無視して同様もしくは類似の土性を示すものについて共通の番号を付した。

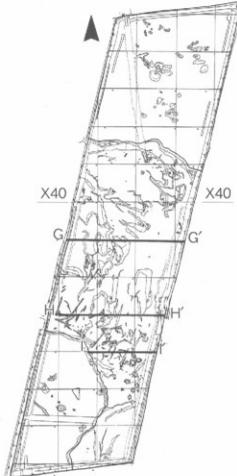


B区 図2 漢文時代川土層図(2) (1/50)





0 1:50 2 4m



B区 図3 桜文時代川土層図 (3) (1/50)

SK17 X13Y11・12において検出した土坑である。検出面における径は2m6cm、深さは84cmを測る大型の土坑である。底の方からは、数点のドングリが出土した。気厚式土器が出土することから後期前葉に属すると考える。ドングリの出土から貯蔵穴として利用したものと考える。

SK19・21 SK17の周辺において検出した土坑である。それぞれの規模は検出面において、SK19は径28cm深さ8cm、SK21は径24cm深さ14cmである。

SK25 検出面における規模は径1m16cm、深さ32cmを測る。覆土は黒褐色粘質土であり、ドングリが混じる。

SK26 5号貝層bの北側に位置し、5号貝層の上に砂土が堆積した後に作られた土坑であることが基本上層の観察から明確に分かる。検出面における規模は径1m30cm、深さ60cmを測る。覆土は黒褐色粘質土である。

SK27 検出面における規模は径94cm、深さ36cmである。覆土は1層が黒褐色粘質土2層が黒褐色砂質土である。2層にはドングリが混じる。

SK28 検出面における規模は径1m5cm、深さ36cmを測る。覆土は1～3層までが黒褐色粘質土（図10参照）。

SK29 検出面における規模は径1m、深さ30cmを測り、覆土は黒褐色粘質土でドングリが混じる。

SK30 SK31と並んで調査区外に延びる形で検出した土坑である。検出面における規模は径80cm深さ16cm覆土は黒褐色粘質土である。

SK31 検出面における規模は径90cm深さ32cmである。覆土は1層が黒褐色粘質土、2層が灰色砂土である。

SK33 東側が側溝に切られる土坑である。検出面における径は1m、深さは35cmを測る。覆土は黒褐色粘質土でしまりがない。樹木の幹の一部分が混じる。

SK34 地山面でようやく検出できた土坑である。検出面における規模は径60cm、深さは18cmを測る。覆土は黒褐色粘質土でしまりがない。

SK35 検出面における規模は径1m30cm、深さは20cmを測る。覆土は黒褐色粘質土でしまっている。

D 溝状遺構（B区 図10、図版2）

SD18 X12～14Y8～10の範囲で検出した溝状の遺構である。最も残りのいいところで幅60cm、深さ12cmを測り、覆土はSK17の1層と同じく灰黄褐色粘質土であり、同時期に属すると考える。

(2) 古代～近世の遺構（B区 図11、図版8）

SD01 調査区南端を東西方向に横断する溝である。検出面における最大幅1m14cm、深さ15cmを測る。覆土は黒褐色粘質土であり、須恵器坏（1081～1083）・甕（1084）・壺（1085）のほか、鉄滓が出土した。古代に属すると考える。

SD02・03 X32～39の範囲で調査区を東西方向に横断する溝である。最も幅の広いところで3mを測り、調査区西側では2本であったものが合流する。南側に分かれている方を便宜上SD03とした。SD02・SD03とともに最大幅は3.8mを測る。深さは最も深いところで30cmを測る。倒木や樹根を検出した。実際に水流があったとするよりも、下層に繩文時代の川跡がある軟弱な地盤が沈んだ部分に覆土が堆積したと見ると適当と考える。

出土した遺物は須恵器坏蓋（1086・1087）、同坏（1088）、上師器椀（1089）、同皿（1090）、同内面黒色土器（1091）、同長柄甕（1092）、中世土師器皿（1093）、越中瀬戸皿（1094）、近世陶器（1095）の他、鉛様の柔らかい金属片（1215）が出土した。古代以降に堆積したと考えられる。

SD04・07・14 いずれも溝状遺構としたが、明瞭ではない。SD14からは須恵器高台付坏（1096）、珠洲甕（1097）が出土した。

3 遺物

(1) 縄文時代の遺物

縄文時代の遺物は、川跡から出土した縄文土器がそのほとんどを占める。今回の調査の成果として数千点に及ぶ大量の土器片鱗が出土したことが挙げられる。石錐も確認できた総点数は433点を数える。それに比して打製石斧・磨製石斧・石皿などの出土点数は少ない。この他に前期の窓状石器やブレード状の石器2点、石製垂飾1点、碇に用いたと考えられる石器4点、漆製品1点、環状土製品1点などが出土した。

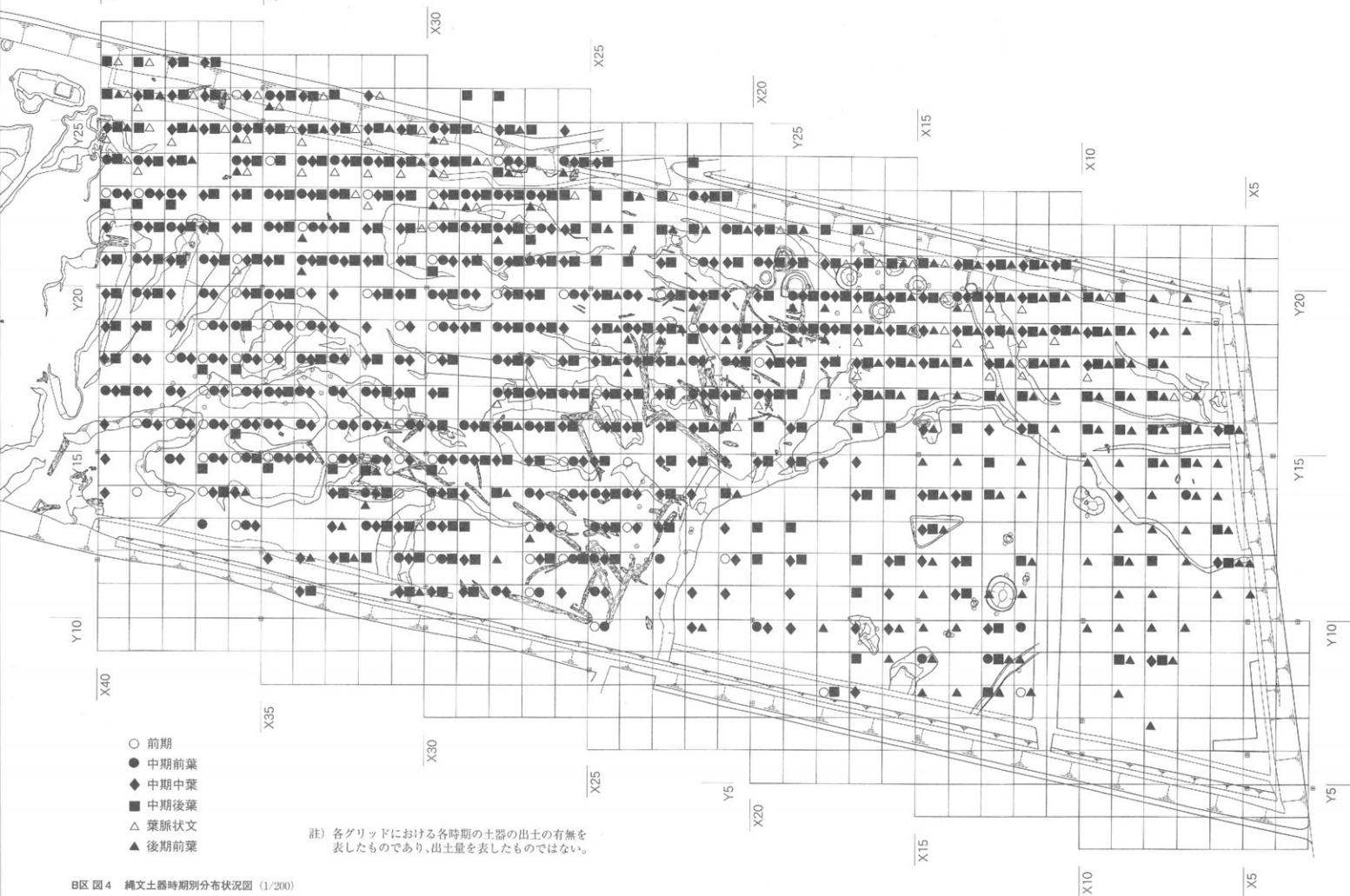
A 縄文土器

貝層 (B区 図12・13、図版9・10) 1~10は1号貝層部分から出土したものである。1はRL・LRの羽状縄文、7はLの木目状撲糸文である。11~30は2号貝層部分から出土したものである。11は口径20cm、地文はRの撲糸文で、胴部から口縁部に向かって直線的に外反する器形で、半截竹管による紋様を施す。12は前期に属する土器で、刺突文を施す。30は半截竹管を横に連続して押しつけた下に鷹嘴状工具で条痕文を施す。2号貝層部分から出土した土器の主体は、中期前葉に属するものである。31~44は3号貝層部分から出土したものである。31は木目状撲糸文、44は小型の土器の底部であり、その底径は6.5cmを測る。全般的に細い半截した管状工具で紋様を施し、底部付近には横位の爪形を1周施し、胴部と底部を区切る。3号貝層から出土した土器も中期前葉が主体を占めるが、中期中葉に属するものも見られる。45~62は4号貝層部分から出土したものである。61は口径28cm、底径7cmの無文の浅鉢である。62は口径25.5cm、底径7cmの同じく無文の浅鉢である。4号貝層から出土した土器は中期前葉に属するものと中期中葉のものが見られる。63~78は5号貝層から出土したものである。70は地文に条痕文を施し、棒状の工具で綫長の二重の梢円形を描く。75・76は同一側面と考える。78は口径33cm、胴部は緩やかに膨らみ、口縁部が外反する。口縁部下に竹管状の丸い工具で沈線と押し引いた列点を施し、その下に無節し縄文を施す。5号貝層部分から出土した土器は中期後葉～末に属するものが主体を占める。

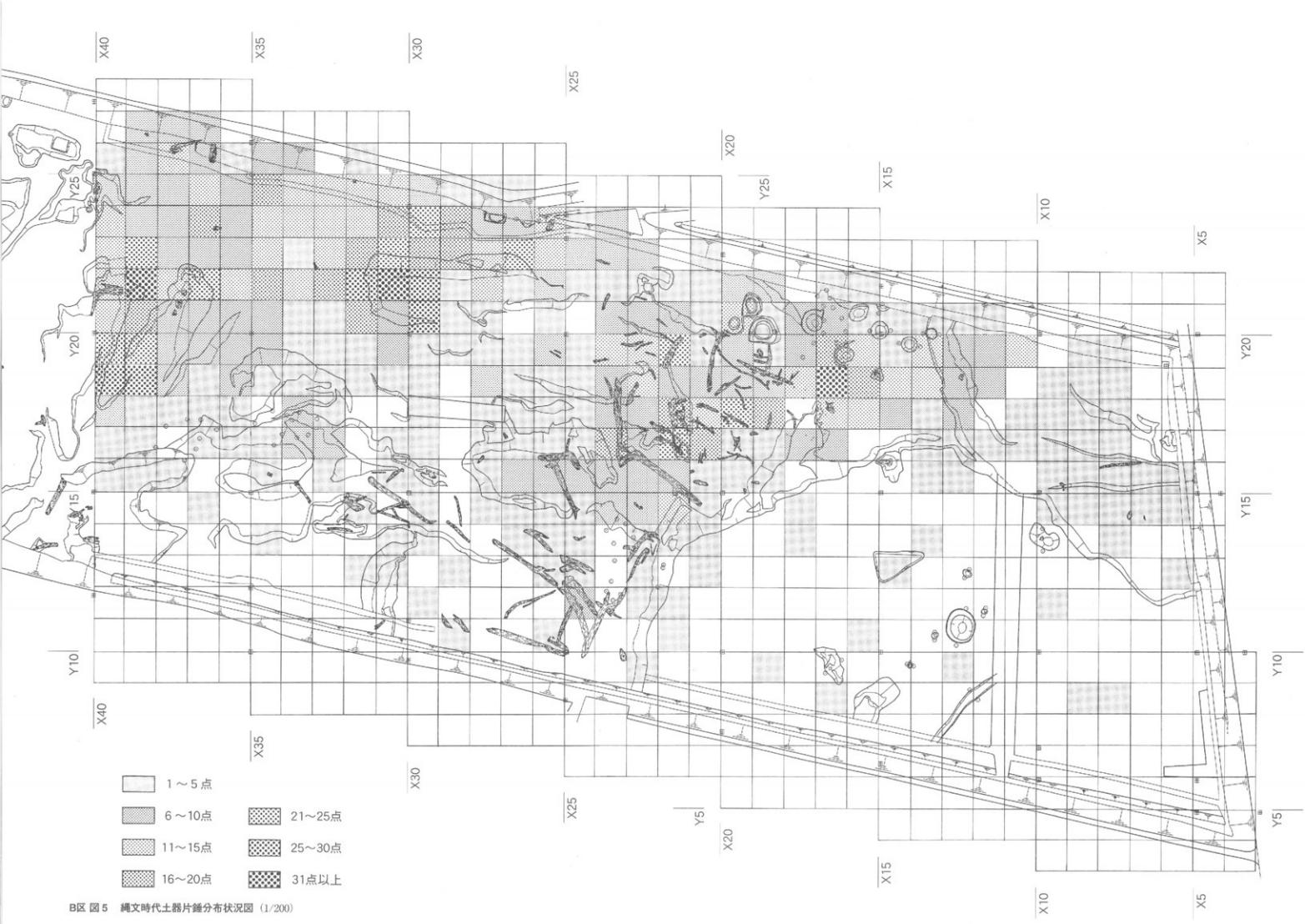
土坑 (B区 図14、図版10・11) 79~83は、SK17から出土した土器である。79は、粗製深鉢で口径21cm、口縁部下からRLのタテ縄文を施す。80は深鉢、沈線の下にRLのタテ縄文を施す。81は気屋式の深鉢口縁部で沈線を施す。82・83は浅鉢口縁部。84~86はSK25から出土した土器である。84は鉛付土器で口径19.5cm。85は突線文を施す深鉢。86は深鉢で外反する口縁部の下に沈線を施す。87・88はSK29から出土した上器である。87は鉢、波状口縁で口縁部の下に二条の太い沈線間に同じ工具による梢円状の刺突文を施す。胴部にはRLの縄文を施す。88は深鉢、口径は21.5cm口縁部が内湾し頭部に二条の沈線を施し、その下にタテ縄文を施すと思われる。89はSK27から出土した土器である。葉脈状文を施した深鉢であり、底径11.5cm底面には木葉压痕がある。90・91はSK29から出土した土器である。90は気屋式の深鉢で波状口縫、細い沈線を施す。91は前田式の深鉢で、口径28cm。外反する口縫部の下に沈線を施し、その沈線間に刺突文を施し胴部はRLのタテ縄文。92はSK35からの出土で気屋式の深鉢、三角形刺突文の下にタテ縄文を施す。

前期の土器 (B区 図15・27~29、図版12・16・23) 前期の土器の出土量は浅鉢にして1箱程度と少ない。X20以前にも散見するが、集中するのはX30~40のY20以西であろう。93~95・187は底面に同心円状に刺突文を施すものである。96・97・180~182・238は爪形文を施すもの。99は羽状縄文の口縁部下の隆帯上に刺突文を施す。98は刺突文とコンパス文を繰り返す。100・232~236も口縫部等に刺突文を施すものである。101・102は木目状撲糸文。207~211・216~219はループ文、224~230は羽状縄文を施すものである。

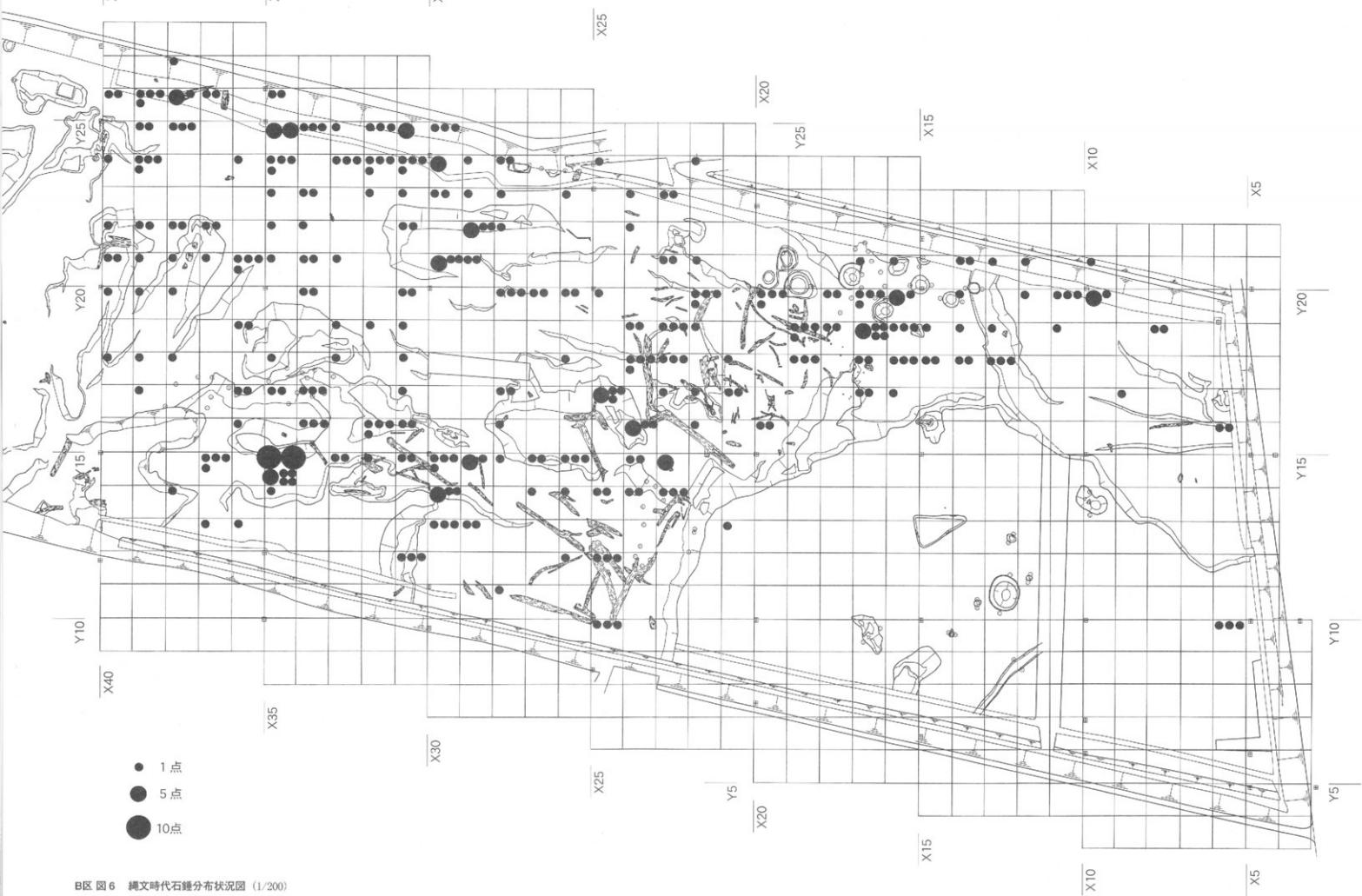
中期前葉の土器 (B区 図16・17・30・31、図版12・16~18・24・25) 103~112・240~271は中期前葉の土器である。106・108は新保式、106は深鉢で口径23cm地文の縄文はRLRである。108は口径16cm底径7cm器高17.5cmで無文、内面には煤が付着する。103~105・107は新崎式、103は口径28cm、104は口径29cmで平縫、半降起線



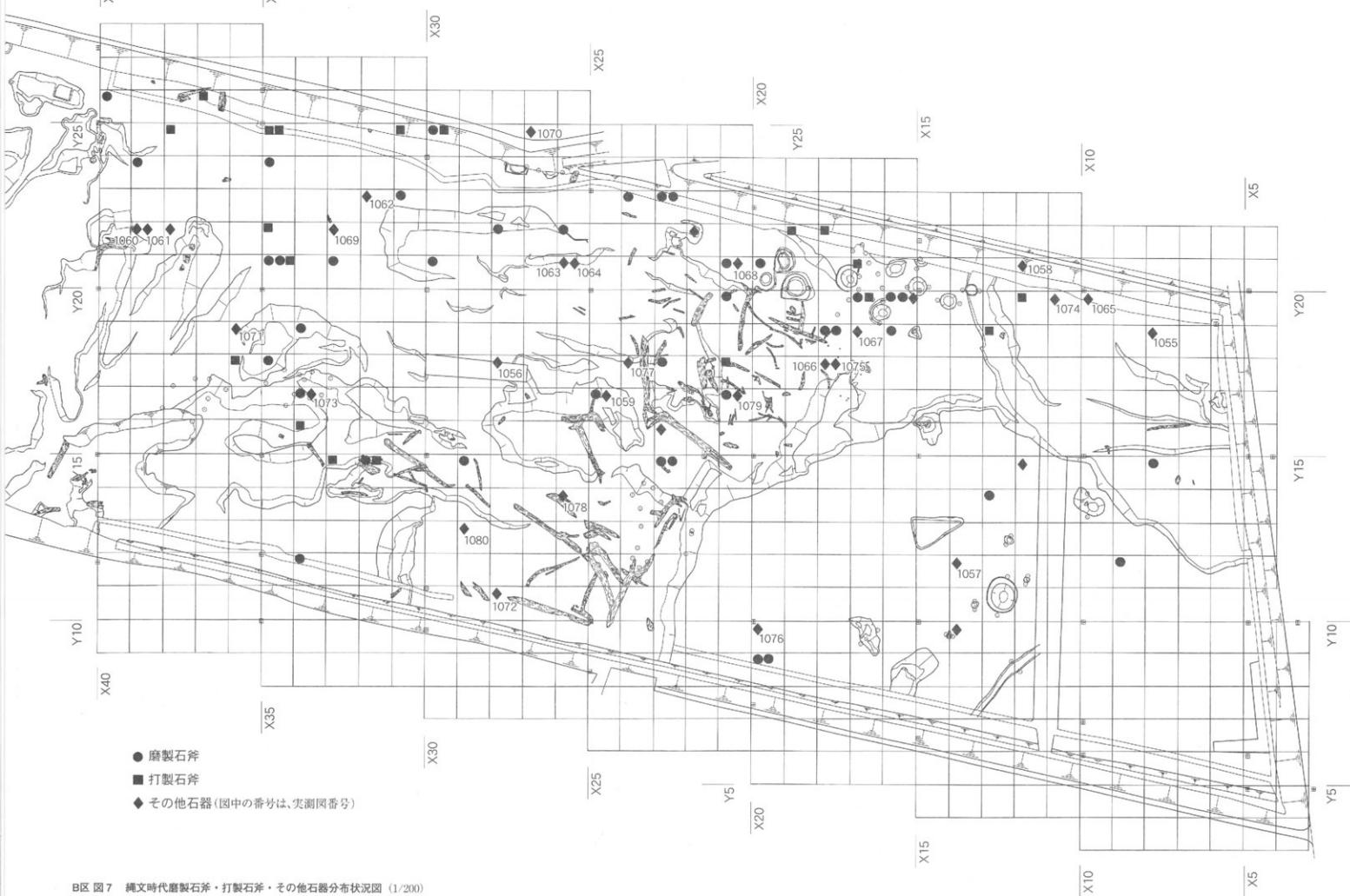
B区 図4 純文土器時期別分布状況図 (1/200)



B区 図 5 縄文時代土器片鱗分布状況図 (1/200)



B区 図6 繩文時代石錐分布状況図 (1/200)



B区 図7 桜文時代磨製石斧・打製石斧・その他石器分布状況図 (1/200)

の間の地文の縄文を消さずには残す。105は口径36cmで平縁、地文の縄文はLR。107は口径27cmで波状口縁、地文の縄文はLR。109～117は粗製深鉢。109～110は新略式。109は口縁部に入字状突起が付き胴部はLRの斜縄文を施す、口径17cm。110は口径35cm、RLR縄文を施す。111は口径26.5cm LR縄文を施す。112は上山田式で口径30cm、LR縄文を施す。113は口径23cm、1条の半隆起線を巡らし、RLの斜縄文を施す。115は口径23cm LRの斜縄文を施す。口縁部に隆帯を貼り付け、その上にも縄文を施す。114は口径37cm口縁部に3条の半隆起線を施し、胴部にはLRの斜縄文を施す。117は口径34cm、RLの斜縄文を施す。116は口径15.5cm底径8cm器高13cmで縄文を施す。

中期中葉の土器（B区 図18・32・33、岡版18・25） 118～121・272～306は中期中葉の土器である。118・119・1142は口縁部が楕円形になる台付深鉢になるものと思われる。118は長軸37.5cm渦巻きの中央の半隆起線上を工具で刻む。地文の縄文はRL。119は長軸38cm、口縁部を外側に肥厚させその上に刻みを入れる。胴部の渦巻きは同様に断面三角の隆帯の上を刻む。地文の縄文はRL。120も台付深鉢で口縁部が4単位の花介状になる口縁部である。花弁状の口縁端部は外側に折り返して肥厚する。胴部渦巻き上には薄いヘラ状工具で刻みを入れる。121は深鉢、口径40.5cm口縁部と隆帯上に刻みを入れる。地文の縄文はLRである。波頂部は半截竹管で3つの半隆起線を施す。

中期後葉の土器（B区 図19～22・25、岡版18～20） 中期後葉の土器が出上量として最もボリュームのある時期である。122は口径30cm、側面に紐を捻った装飾を付ける。半隆起線上には貝殻腹縁による刻みを入れる。また、胴部の紋様も沈線で囲んだ中は貝殻腹縁文、口縁部の隆線で区切られた間には縦方向の沈線を施す。口縁部内面には波状口縁に沿って2条の沈線を入れる。123は口径38.5cm波状口縁で降線の上には櫛歯状の工具で刻みを入れる。124は筒形の胴部にラッパ状に大きく開く口縁部が付く器形の深鉢である。蛇行する沈線間に櫛波状工具で刻む。側面にも細い蛇行した沈線を描き、その両脇を工具で縦方向に刻み、中に二重の半円状の紐で装飾する。底径は13cm。125は「く」字状に屈曲する口縁部を有する。口縁部と隆帯上には櫛歯状工具で刻み、その他は沈線を施す。横位の沈線で区切られた胴部にはRLの縄文を施す。126は波状口縁の深鉢であり、口径21cm底径10.6cm器高30.6cm。胴部には4単位の二重の横円が綫長に沈線で描かれ、地文の縄文は消される。口縁部下にはその形状に沿って隆帯を付け波頂下には円状の裝飾を施す。127は外傾して立ち上がる器形に平縁の口縁が付く。隆帯により横に細長い紋様を施し、その周囲は沈線を引く。隆帯上には貝殻腹縁文を施し、沈線で区切った胴部にはRLの斜縄文に沈線で綫長の横円文を施す。また、口縁部内面にも隆帯を貼り付け、その上方に4単位の沈線を施す。128は波状口縁の上器で口径29cm、波頂下の隆帯との間に沈線で三つ又状の紋様を施す。口縁部と隆帯間に沈線を施す。内面には口縁部器形に沿って二条の沈線を巡らし、波長部には棒を押し当てて丸い深い溝を付ける。129は、胴部が緩やかに膨らんでしまった後に口縁部が外反する器形になる。横位と縦位の隆帯上には貝殻腹縁文がほどこされ、隆帯の間は縦の沈線を施す。胴部は、貝殻腹縁による条痕文である。133は串田新式土器の胴部下半から底部の部分である。底径10cm、LRの斜縄文を施す。131は深鉢で口径28cm、波状口縁で口縁部の隆帯の上方に断続する沈線を施す。隆帯上と沈線で囲んだ紋様の中には貝殻腹縁文を施し、胴部は貝殻腹縁による条痕文を施す。132は波状口縁、隆帯で囲んだ紋様の中に刺突文を施し、隆帯上と体部には無節しの斜縄文を施す。130は肩部が張り出して口縁部が外反する。口縁部は無文で、口縁部下から垂下する隆帯と肩の部分の横位の隆帯、そこから垂下する隆帯の中には刺突文を施す。134は口径25cm、口縁部に貝殻復縁文を施し、その下に1条の沈線を巡らせる。胴部は貝殻腹縁による条痕文を施す。135は平縁に突起が付く。隆帯上と紋様の中には貝殻腹縁文を施し、口縁部内面には沈線を施す。136は深鉢、口縁部と沈線で囲んだ紋様内に貝殻腹縁文を施す。137は深鉢、粘土紐による半円状の装飾を付け、隆帯の上に貝殻腹縁文を施し、四角く隆帯で囲んだ

中にタテの沈線を施す。胴部は、撚糸Rの斜繩文を施す。138は波状口縁の深鉢、隆帯と沈線で紋様を施し、胴部には貝殻腹縁による条痕文を施す。139は深鉢で平縁、沈線で紋様を施し、口縁部と隆帯上には貝殻腹縁文を施す。地文はRLの斜繩文である。140は深鉢底部で底径14cm、底部付近に沈線を巡らし、逆さU字を沈線で施す。沈線で区切った下方には地文の縄文に貝殻腹縁文を施す。141は平縁の深鉢口縁部の2条の隆帯の上に貝殻腹縁文を施す。胴部には沈線で紋様を施す。地文はLRの斜繩文。142は口縁部が半たい環状になり、端部は外側に折り返した形に張り出す。胴部は算盤玉状になると思われる。口縁部にできた幅広の面には4個の輪状の突起をつけ、その突起の間に2条の隆帯で繋ぐ。口径は内側で20cm、最も張り出した部分で33cmである。142と同様に、口縁部に幅広の面を持つ器形であるが、口縁端部が立ち上がり、円形の装飾を付ける。144は浅鉢、口径32cm底径7cm器高10.6cm、内外面を磨き、口縁部には把手が付き、その把手から一方向にのみ隆帯がのびる。把手の数は不明。145は浅鉢、口縁部に把手が付き、把手からU字状と2条の隆帯がのびる。図上では、この装飾を対照的なものとして復元した。148は小型の鍔付土器、口径7cm底径9cm器高8.5cm、頭部に隆帯を巡らせU字状と継長の逆さU字状の隆帯をつなげた装飾を1対と半円状の隆帯を1対付ける。川の堆積の最下層からの出土である。149～154は葉脈状文の深鉢である。149は波状口縁の深鉢で口縁部は隆帯で装飾を施し、波頂部には渦巻き状の装飾を施す。150は頭部に隆帯を巡らせそこから半円状に垂下する隆帯と隆帯の窮屈目にボタン状の装飾を付す。胴部のタテの隆帯上には刺突文を施す。151は頭部の隆帯上方に刺突文を施し、胴部の葉脈状文は棒状工具により、極浅く紋様を描く。152は頭部のくびれが比較的緩やかなものである。隆帯上には刺突文を施し、斜行する沈線が細く鋭い。153は波状口縁の深鉢で胴部に葉脈状文を施すものである。154は深鉢底部である。底径11cm。155は深鉢で口縁部の隆帯とそこから垂下する半円状の隆帯の際に丸い刺突文を施す。胴部にはタテ方向に隆帯を施し、無文である。156は波状口縁になると思われるもの。弧を描く隆帯上には刺突文を施し、胴部にはRLの斜繩文を施す。166は口縁部下に1条の隆帯を巡らせ、RLの原体を押し付ける。胴部にはRLの斜繩文を施し、沈線で紋様を描く。167は135と重なって出土した相製の深鉢である。バケツ型の口縁部がすばまり、全面にRLの斜繩文を施す。

中期末～後期初頭の土器 (B区 図24・25・35・36、図版18～20) 157は深鉢で口縁部に竹管による刻みを入れ、沈線で紋様を施し、胴部にはRLの斜繩文を施す。口縁部内面に沈線を施す。158は深鉢で口縁部に1条の沈線と胴部との区切りに2条の沈線を巡らせその間に右下がりに斜行する沈線を施し、胴部にはRLのタテ繩文を施す。159は平縁の深鉢で口縁部に巡る隆帯上に無筋しの縄文を施す。その下には3条の沈線を4単位で描きそのとぎれた箇所にタテの短い2列と1列の沈線を施す。160は深鉢、口縁部の沈線と胴部との境の沈線の間を三角形と弧を描く沈線で埋め、横方向の短い沈線も施す。胴部にはLRの斜繩文を施す。161は深鉢、文様帶は沈線で区切り、長方形の間に上向きと下向きの半円を配置する紋様を沈線で描く。胴部にはRLの斜繩文を施す。162は深鉢、文様帶には長方形と半円を組み合わせた沈線による紋様を描く。163は深鉢で口縁部の1箇所を内側に凹ませる。沈線で紋様帶を区切り、長方形と逆S字を沈線で施す下に雨垂れ状の刺突文を巡らせる。胴部にはRLのタテ繩文を施す。164は口縁部が大きく屈曲して外反する。その下に7状の沈線を施し、その間にタテ法光に蛇行する沈線を施す。胴部にはRLのタテ繩文を施す。165は4条の沈線がとぎれた部分に縱方向の沈線の間を斜行する沈線でつなぐ。胴部にはRLのタテ繩文を施す。168は口縁部の1箇所を凹ませる。沈線を1条のみ巡らせ、胴部にはRLのタテ繩文を施す。169は胴部が膨らむ器形である。口縁部には隆帯を巡らせ、その上にLRの縄文を施す。隆帯の上方には横方向の短い沈線を施す。胴部は全面LRの斜繩文。170は口縁部に2条の沈線を施し、それぞれの上方に右下がりに斜行する沈線を施す。胴部はRLの斜繩文。171は4条の沈線の間に刺突文を施す。胴部はRLの斜繩文。173は気屋式の深鉢である。川ではなく、陸の部分の粘質土内から出土した。紋

様は9単位。沈線と刺突文により胴部上半までを文様帯とし、張り出した胴部の下は全面RLのタテ縄文である。174は気泡式の浅鉢、内傾して面を設けた口縁部に沈線と丸い刺突文で紋様を描く。175は口径20cm底径17.5cm器高9.5cmで無文。176は粗製深鉢口径31cmを測り外面は削ったような痕跡があり、無文。177は口縁部が内側に内傾する。指頭でなでたような痕跡があり、無文。403~406は撇入品と思われる上器。

晚期の土器（B区 図24・25・35・36、図版18~20） 178は口径39cm口縁端部を繰り返し押さえて細かい波形になる。胴部は無文。179は口径23cm、口縁部は頭部で屈曲し外反する。無文で頭部に2条の沈線が巡る。

B 赤彩・漆塗土器（B区 図40、図版30） 481~486は赤彩土器であり、486以外は赤漆塗りの製品と思われる。481は中期前葉の平縁深鉢の口縁部、482・483は錫付上器の胴部、484・485は有孔錫付土器、484は口径10cm、485は口径12cmである。486は晚期の浅鉢口縁部。

C 土製品（B区 図40、図版11） 487は土製の鉢、長さ7.5cm幅5.7cm、厚さ1.9cm重量80gである。488は厚い円盤状土製品で、焼成後にその上方に穿孔する。側面は角は無いが面取りの意識が窺え、穿孔した側の上方側面だけは特に押さえた痕跡がある。長さ7.5cm幅7.3cm厚さ3.3cm重量175gを測る。489は上器の胴部片を正円状に整えたもので上下にU字状の切れ込みを入れる。幅7.3cm長さ7cm厚さ0.6cmを測る。周縁の調整は極めて丁寧である。縄文はRL、川上層の粘質土内からの出土であり、後期前葉に属すると考える。490は環状土製品、長さ7.7cm幅7.5cm厚さ4.2cm、中の輪の大きさは径2.5cmである。全面に指圧痕がある。平成12年度の調査でも同様のものが1点出土した。491は獸の四本足に相当する部分と考えて動物形土製品とした。内面は破損しておらず、中空であった可能性が高い。長さ3.8cm最大幅3.8cm残存高2cm、厚さは中央部で0.9cmを測る。492は耳栓で表面径4.7cm裏面径3.5cm厚さ2.8cmを測る。くびれた部分の径は2.8cmである。

D 土器片鍾（B区 図41~50、図版31~39） 土器片鍾に関しては、切れ目や周縁の加工が認められたものだけでも、数千点に上る。このうち、図には時期が分かるものと、大きさ形状から抜粋したものを掲載した。時期・大きさの傾向はグラフに表した。また、集計のためにデータを探った1,000点に関しては観察表を掲載し、図5に分布状況を示した。1188（図版39）は羽状縄文を施す前期の土器片を利用したものである。半分以上が欠損する。周縁の処理は中期前葉のものよりむしろ丁寧であり、橢円に整形する。切れ目はU字状。

E 土製円盤（B区 図50、図版39） 883~891は切れ目の認められない、正円状に整形された土器片である。切れ目が認められない点と形状から土器片鍾とは区別した。

F 石 器（B区 図51~61、図版40~49）

a 石鍾（疊石鍾）（B区 図51~54、図版40~43） 石鍾は確認できただけで総点数433点である。出土した円標を現地において水洗いした後に選別し、疊石鍾と認められたもののみを資料とした。大きさ等の傾向はグラフに表した。

892~920までがX35Y15の区画の1地点から一括して出土したものであり、921~930までがX35Y25から出土したものである。図7に分布状況を示した。また、切目石鍾は出土していない。

b 打製石斧（B区 図57、図版44） 打製石斧は20点出土した。1021~1023・1027・1028は上下端中央を打欠き、石鍾に転用する。図8に分布状況を示した。

c 磨製石斧（B区 図56・57、図版45） 磨製石斧は小類の1034も含めて42点出土した。1042・1043・1047~1054・1203・1204・1206・1207は上下端中央を打欠き、石鍾に転用する。

d その他の石器（B区 図57~61、図版46~49）

石 鍔（1055） X 8 Y19から出土した。先端は欠損、残存長3cm最大幅2cm、厚さ0.5cm、チャート。

垂 飾 (1056) X28Y18から出土した。長さ5.3cm幅2.5cm厚さ1.4cmを測る。石材は蛇紋岩である。

砥 石 (1057) X14Y12から出土した。長さ26cm幅10.5cm厚さ5.5cmを測る。

石 鍤 (1058) 球状の石鍤であり、一周する溝を付けるもの。径7cm厚さ4.5cm重量331gである。

笠状石器 (1059) X25Y17から出土した。長さ11cm幅4.5cm厚さ2.5cmを測る。石材は頁岩である。

ブレード状石器 (1060・1061) X39Y22から出土した。1060は長さ16cm幅5.5cm厚さ2cm、1061は長さ15cm幅5cm厚さ2.5cmを測る。同一石材である。

石 核 (1062) X32Y23から出土した。8cm×7cm×6cmを測る。石材はチャートである。

有孔石 (1063・1064) 中央に孔を有する自然石である。X26Y21の川の上層の粘質土内から出土した。

浮 子 (1065) X10Y20から出土した軽石製の浮子。破損しており、残存長さ5cm幅3.5cm厚さ0.8cm。

不明石器 (1066) X18Y18から出土した。円錐の半分を棒状になるまで打欠いた石器。長さ9.7cm幅6cm厚さ2.4cmで裏面の中央が窪む。ちょうど掌に収まり作業のし易い大きさである。

碇？ (1067～1070) 船の碇に用いたものか。いずれも大きく、上下端を打ち欠く。1067はX17Y19からの出土で長さ19cm幅12.5cm厚さ5cm、1068はX21Y21の粘質土内からの出土で長さ20cm幅14.5cm厚さ6cm、1069はX33Y22からの出土で長さ21cm幅19cm厚さ7cmを測る。1070はX28Y25の粘質土内からの出土で長さ25cm幅20cm厚さ10cmを測る。

台 石 (1071・1072) 1071はX36Y19からの出土で長さ27cm幅26cm厚さ4cm、1072はX28Y11からの出土で長さ25cm幅18cm厚さ3.5cmを測る。扁平な石であり、作業用の台か。

凹石・敲石・磨石 (1073～1078・1213) 1073は2号貝殻中から出土した凹石、長さ8cm幅6cm厚さ3.5cmを測る。1074はX11Y20からの出土で残存長さ7.5cm幅6cm厚さ5cmを測る。1075・1076は敲石であるが、凹石としても使用する。1075はX18Y18からの出土で残存長さ11cm幅8cm厚さ6.5cmを測る。1076はX20Y10からの出土で長さ18cm幅8cm厚さ5.5cmを測る。1077はX24Y18からの出土で長さ16cm幅6cm厚さ4cmを測る。1078は磨石、X26Y14からの出土で長さ11cm幅10cm厚さ3.5cmを測る。

石 盆 (1079・1080・1214) 1079はX21Y17からの出土で細長い形状である。残存長さ17cm幅12cm厚さ5.5cmを測る。1080はX29Y13からの出土で残存長さ23cm幅15cm最大厚さ5cmを測る。

(2) 弥生時代以降の遺物

縄文時代以外の出土遺物として、弥生時代・古代～近世の遺物がある。遺構から出土したものは主に古代・中世のものである。

A 遺構出土の遺物（B図版62、図版50）

SD01 1081は須恵器の壺の口縁部である。1082・1083は須恵器の高台付壺の底部であり、1082は底径6cm、ヘラ切り、1083は底径7cmヘラ切りである。高台はどちらも内傾するものである。1084は須恵器壺の破片である。1085は須恵器の壺の肩部の破片であり、外面にカキメを施す。

SD02・03 1086・1087は須恵器の壺蓋である。1086は口径16.5cm、頂部はヘラ切り後にナデで仕上げる。1088は須恵器の壺であり、口径は14cm程度。高台は欠損してしまっているが器形から、高台付壺であると思われる。

1089は土師器の壺である。口径は推定で11cm程度、口縁部で一端内湾し、口唇部が薄くなり外反する。1090は土師器の壺であり、口径12.3cm口唇部は若干外に折り返して玉縁状に膨らむ。1091は内面黒色壺である。口径は15cm程度か。1092は土師器の長胴壺の口縁部である。口唇部を内側に折り返すために口縁部が若干肥厚するものである。1093は中世土師器壺で、口径8.4cm器高1.5cmを測る。1094は越中瀬戸の壺で、底径5cmを測る。1095は近

世の陶器である。1215は、1.5cm×3cmの長方形の金属片であり、厚さは1～2mm、重量は8.9gを測る。軟らかく容易に曲げられ、鉛か。

SD04 1096は須恵器の高台付坏の底部であり、底径は10.7cmを測る。

SD14 1097は珠洲の壺胴部破片である。

B 包含層出土の土器（B区図62・63、図版50）

1098・1099は弥生中期～後期の土器。1098は壺もしくは壺の底部で、推定底径7cm、外面にはタテ方向のハケメ、内面には横方向のハケメがある。1099は、口縁部下から押引きの辻模を施すもの、口径は15cm程度か。

1100～1102は、須恵器の壺蓋である。1100は口径14cmを測り、頂部はヘラ切り、口縁端部は丸めに三角形に立ち上がるるものである。1101は推定口径18.5cm、後円端部は丸めずに、立ち上がりは僅かである。焼成は極めて不良。1102は口縁部で一旦反り返った後、口縁端部をやや内側に丸め、口縁部内面は工具を用いて溝状にする。1111は須恵器壺の肩部破片である。1103は高台付坏の底部であり、底径6.2cm、外面をケズって整形する。1104～1107は須恵器の壺である。1104は推定口径12cm、外面には自然釉がかかる。1105は推定口径13cmを測る。1106は無台の壺で口径12.8cm器高2.5cm、底部はヘラ切りで焼成は不良である。1108～1110は須恵器の壺である。1108は壺の肩部、1109は壺の底部で底径8.5cm、1110は壺の胴部である。1111は須恵器壺の肩部の破片である。1112・1119・1120は土師器の長胴壺の口縁部であり、1112は推定口径23.5cm、口縁端部は内側に折り曲げて丸め、外面はカキメ調整を施す。1119は口縁端部を内側に折り曲げるため、壺部の内面が丸くなるもの、1120は口縁端部を外側に折り曲げて外面側がやや肥厚するものである。1113～1115は土師器の鍋である。1113は推定口径33.3cm口縁端部を内側に折り曲げ、さらに内面にはカキメを施し、口縁部の断面はやや四角くなる。内面全体に煤が付着する。1114は推定口径36.5cmで口縁端部を外側に折り曲げて丸めるため口縁端部外面が玉縁状になる。1115は推定口径37.5cm、口縁端部を内側に折り曲げるが、その際に生じる内側の段を丁寧に消し、口縁部が分厚い。1116は土師器の底部、底径は4.2cm回転糸切りである。1117は内面黒色土器、口径は15cm程度か。1118は土師器の小型壺底部、底径6cm、底面・外面ともにケズり調整を施す。1121は中世土師器皿であり、口径7cm器高1.5cmである。1122・1123・1125は珠洲の片口鉢である。1122は推定口径24cm、吉岡編年のI期に属するものとする。鉢目の有無は不明。1123は推定口径40cm、口縁部内面に柳目波状文を施す。吉岡編年のVI期に属するものとする。1124は珠洲壺の口縁部であり、口径は14cm程度か。吉岡編年II期に属するものとする。1126は珠洲壺の肩部破片である。1127は珠洲壺の底部近くの破片である。1216は越前と思われる壺器系陶器壺の破片である。1128は越中瀬戸皿であり、口径10.3cm底径4.5cm器高1.9cmである。1129は伊万里の白磁小杯である。口径5.6cm底径2.4cm器高3.7cmである。高台に砂土が付着する。1130は伊万里の染付皿であり、底径9cm、見込みは蛇の目に釉ハギをする。1217は寛永通宝であり、重量は3.4gである。

4まとめ

針原西遺跡の調査は平成12年度から続いたが、平成13年度の調査の成果としては、①これまで県内で認識されていなかった標高3m（検出面）の地点に縄文時代前期の遺物を確認した点、②貝殻を検出した点、③大量の土器片錐・石錐が出土した点が挙げられよう。当初、朝日・小竹・規ヶ森貝塚に次ぐ県内未知見の貝塚として期待されたが、その検出は川中の層状の堆積に留まった。発掘された貝のほとんどは流失したと考えられる。

大部分を占める川跡の最盛期は中期後葉から後期初頭であるが、川自体は前期には既に存在したと考えられる。住居址は調査区内には存在しないものの、近接して集落が立地する可能性は極めて高く、その発見が期待される。これまで、当遺跡が縄文時代遺跡として重要視されてこなかった理由としては、後期前葉を過ぎて長期間に亘り同地区に

あつた潜水が粘質土を厚く堆積させ縄文時代の地形の起伏を覆い尽くすことになり、かつまた、同じ理由により同時代遺物の発見を困難にしてしまったためと考えられる。

次に今回の調査を特徴づける大量の土器片錐・石錐について一考する。次ページ以降にグラフを掲載した。

土器片錐

- ・長さ6.1～6.5cmのものが最も多く、最小値は835の2.9cm、最大値は721の10.7cmである。
- ・重量31～40gのものが最も多く、最小値は834の8g、最大値は723の105gである。
- ・長短比（134ページ図参照）は1.01～1.30に集中し、1.11～1.20の間のものが最も多い。
- ・完形品1000点のうち口縁部片を利用するものが127点（12.7%）、底部片を利用するものが112点（1.1%）、残りの862点（86.2%）が胴部片を利用する。口縁部片を利用する場合、その1辺を整える手間が省けるため多用されてもいいようであるが、結果は上述のとおり9割近くが胴部片であった。
- ・時期が判る265点に関しては、出土点数は中期末～後期初頭としたものが最も多く、次いで中期後葉に属するものが多い。形状に関しては、中期前葉においては周縁と切れ目の処理の双方が打欠いたままで雑である。統く時期の切れ目の形態の違いは工具により分かれるものと思われる。また、3cmを下回るものについては、必然的に切れ目がすじ状に細くならざるを得ないものと考えられる。ここでは印象として述べるに留まるが、周縁の処理が丁寧なものは切れ目も丁寧につけているようである。時間の制約から資料を見直すことはできなかったが、留意点を再考した上で見直した場合、傾向がもっとはっきりと見えてくるであろう。

石錐

- ・長さ6.1～6.5cmのものが最も多く、最小値は1007の4.1cm、最大値は987の12.6cmである。
 - ・重量61～70gのものが最も多く最小値は944の15g、最大値は987の491gである。
 - ・長短比は1.01～1.40に集中し、1.21～1.30の間のものが最も多い。
- これら土器片錐・石錐に関しては、漁撈以外への利用が論じられることもあるが、今回川跡から大量出土したことを考えると漁撈を主たる目的とした道具と見るのが妥当ではなかろうか。

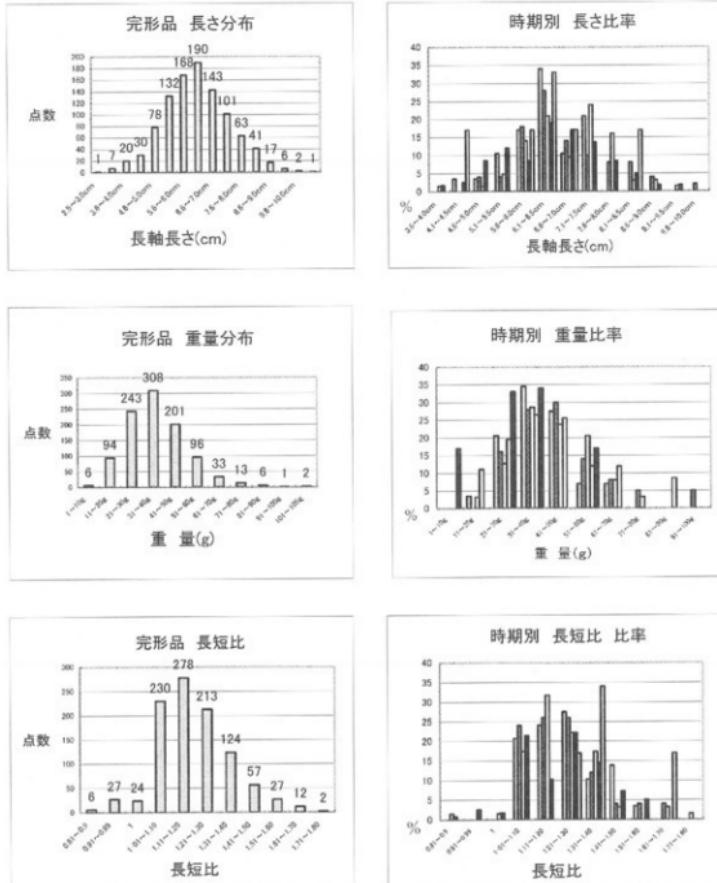
協力者

B区の報告の作成は、県埋蔵文化財センター所員の協力を得ながら斎藤と境がこれにあたった。また、遺物の実測に関しては同センター調査課 係長 橋本正春の協力を得た。

なお、報告作成にあたり下記の方々から御指導・御助言をいただいた。記して感謝の意を表する。（五十音順）

網谷克彦・越前慶祐・大塚達朗・岡本淳一郎・金子浩昌・木下哲夫・工藤俊樹・古谷雅彦・渋谷昌彦・島田修一・神保孝造・鈴木正博・高橋真実・田中耕作・戸田哲也・長澤辰生・中村五郎・新津 健・西野秀和・邊見 端・麻柄一志・松井政信・松浦宥一郎・宮田進一・山内賢一・山崎京美・山本直人・横川美雪・渡辺 誠

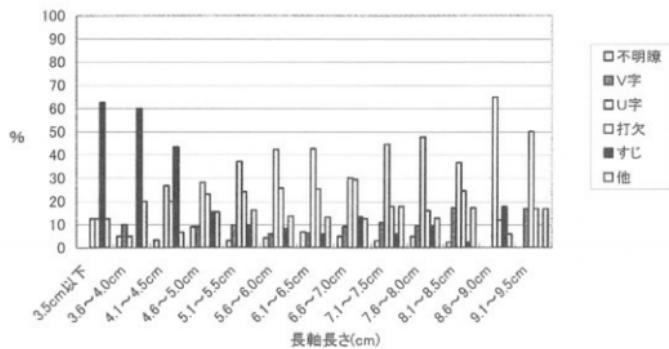
遺物整理 B区の遺物整理作業に関しては、鏡 光枝・千田友子・橋本ひふみ がこれにあたった。



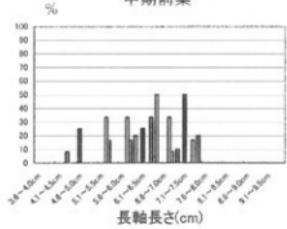
- 中期前葉
- 中期中葉
- 中期後葉
- 中期末～後期初
- 後期前葉

縄文時代土器片錐グラフ(1)

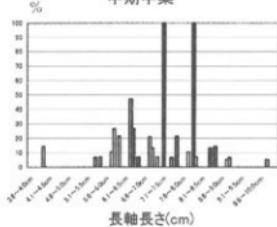
切れ目形態比率(完形品全体)



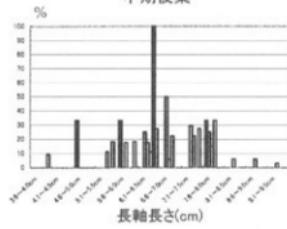
中期前葉



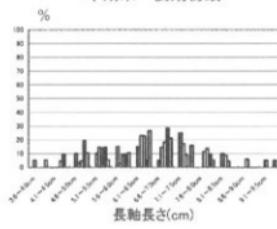
中期中葉



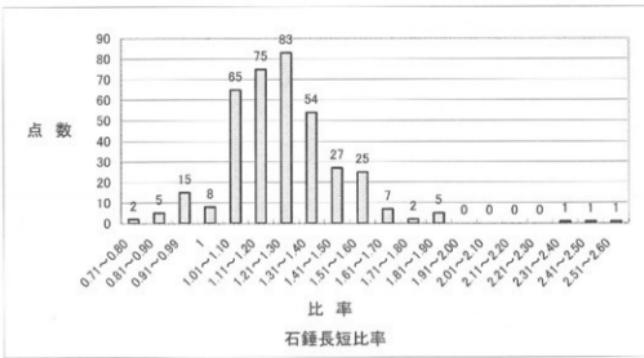
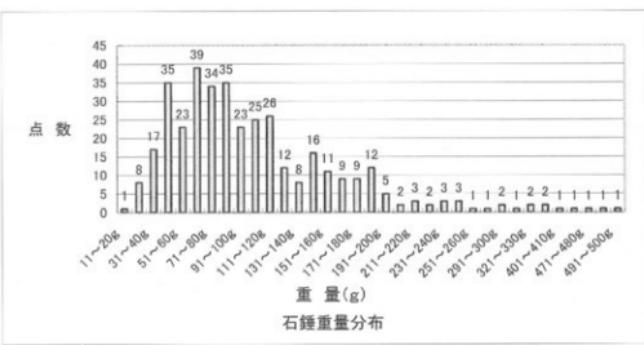
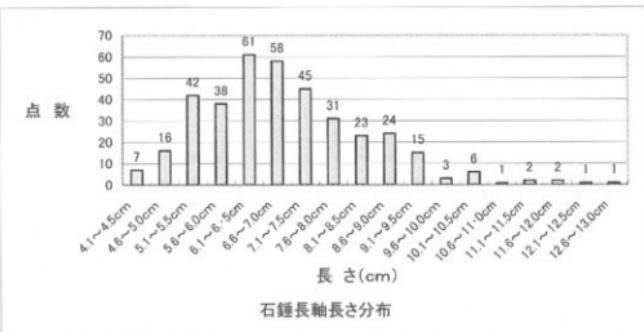
中期後葉



中期末～後期初頭



縄文時代土器片錐グラフ(2)



縄文時代石錘グラフ

参考文献

- 秋田県埋蔵文化財センター「秋田県文化財調査報告書第181集 八木遺跡発掘調査報告書—公害防除特別土砂改良事業八木地区に係る埋蔵文化財発掘調査—」秋田県教育委員会 1989年3月
- 石川県立埋蔵文化財センター「鹿島町施前C遺跡発掘報告(Ⅱ・Ⅲ)」国道159号線改築事業に係る石川県鹿島町鹿島町施前C遺跡第2・3次緊急発掘調査報告 1986年3月
- 大沢野町教育委員会「富山県大沢野町布尻遺跡緊急発掘調査概要」 1977年3月
- 小野 昭・小畠博史「巻町布尻遺跡の調査」『巻町史研究』Ⅲ巻Ⅱ 1987年3月
- 柏崎市史編纂委員会「柏崎市史資料集」考古篇 1987年3月
- 金沢市教育委員会・金沢市埋蔵文化財調査委員会「金沢市文化財紀要29 金沢市笠舞遺跡」 1981年3月
- 金沢市埋蔵文化財センター「金沢市文化財紀要139 金沢市北派遺跡 第14次発掘調査報告書」 1998年3月
- 本下哲大「大杉谷式小字—縄文時代中期後半における研究史から見た越前での一断層」『古代叢書Ⅱ—早稲田大学考古学会創立35周年記念考古学論集』早稲田大学出版部 1985年12月
- 小島俊彰「小竹製織品遺跡—高岡市文化財シリーズ第3集」『高岡市教育委員会 1984年4月
- 小島俊彰「北陸の縄文時代中期の縄文—戦後の研究史と現状—」『大境』第5号 富山考古学会 1974年12月
- 小島俊彰「北陸の縄文中期後半における外來系土器」『金沢美術工芸大学学報』第29号 1985年3月
- 小杉町教育委員会「小杉町原家遺跡発掘調査報告」 1991年3月
- 小杉町教育委員会「針原西遺跡【No.2】」『小杉町埋蔵文化財発掘調査一集』 2000年度 2001年3月
- 小杉町教育委員会・(株)中部日本総業研究所「黒河尺目遺跡発掘調査報告 主要地方道小杉線中継臨時道路交付金事業(B)に伴う州蔵文化財発掘調査報告」 2002年1月
- 財団法人仙台市歴史文化事業団 仙台市舊汎道跡保存館「森の森ミュージアム 平成13年度特別企画展 繼む・組む一技の考古学」 2001年7月
- 財団法人 千葉県文化財センター・住宅・都市整備団「千葉県文化財センター調査報告第324集 「千葉東南部ニュータウン19—千葉市有吉古貝塚1号(旧石器・縄文時代)」」 1998年3月
- 桜町遺跡発掘調査団「北陸の純文遺跡 桜町遺跡 調査概報」学生社 2001年3月
- 山武考古学研究所「堀河・中老田遺跡緊急発掘調査報告—主要地方道小杉線中継臨時道路交付金事業(B)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告—」小杉町教育委員会 2002年2月
- 富山県教育委員会「富山県立山町 古峰遺跡 第4次緊急発掘調査概報」 1975年1月
- 富山県教育委員会「岩野遺跡緊急発掘調査概要」 1976年3月
- 富山県教育委員会「富山県砺波市戲照寺遺跡緊急発掘調査概要」 1977年3月
- 富山県埋蔵文化財センター「富山県小杉町・大門町小杉流域通業番地内遺跡群 第8次緊急発掘調査概要 No.18遺跡B地区 No.19遺跡」富山県教育委員会 1986年3月
- 富山県埋蔵文化財センター「都市計画街路 七美・太郎山・高岡内浦遺跡発掘調査概要(4) 南太閤山I遺跡」富山県教育委員会 1986年3月
- 富山県埋蔵文化財センター「北陸自動車道遺跡調査報告 朝日町衛6 塩ヶ瀬遺跡 上器片」富山県教育委員会 1991年3月
- 富山県立小杉高等学校校地歴庭「新潟駅前水郷櫛田村宇中田新 串田新遺跡調査報告書」 1952年1月
- 富山県立永見高等学校歴史クラブ「富山県永見地方 考古学遺跡と遺物」 1964年8月
- 中条町教育委員会「中条町埋蔵文化財調査報告書第27集 二軒茶屋遺跡 主要地方道中条紫雲寺線改築工事に伴う発掘調査報告書IV」 2003年3月
- 長崎県教育委員会「原始・古代の長崎県」資料編Ⅱ 1997年3月
- 長崎県教育委員会「長崎県文化財調査報告書第134集 伊木力遺跡Ⅱ」 1997年3月
- 新潟県『新潟県史』資料編Ⅰ 原始・古代I 考古編 1983年3月
- 新潟県教育委員会・財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団「新潟県埋蔵文化財調査報告書第72集 間越自動車道之内インター チューニング開発発掘調査報告書 清水上遺跡II」 1996年3月
- 能都郡教育委員会・真庭遺跡発掘調査団「石川県能都郡 真庭遺跡―農村整備事業能都東地区真庭工区に係る発掘調査報告書」 1986年12月
- 林 雄作「宮城県佐賀島貝塚出土の前期繩文式土器群」『考古学雑誌』第46卷 第3号 日本考古学会 1960年12月
- 林 雄作「資料紹介 山形県野山遺跡の土器」『考古学雑誌』第47卷 第4号 日本考古学会 1962年3月
- 福島県・いわき市教育委員会「大船山遺跡調査報告」 1975年3月
- 達見 雄「考古学上から観たカガロ石。貝塚から出土する自然石の評価をめぐって」『東北学院大学 東北文化研究所紀要』第17号 1985年7月
- 麻所一志「内陸部における縄文遺跡」『同志社大学考古学シリーズIV 考古学と技術』同志社大学考古学シリーズ刊行会 1992年4月
- 南 久和「編年—その方法と実際—」南書会 2001年3月
- 森 秀典「北陸の縄文時代中期後半“串田新式”に関する編年試論」『大境』第8号 富山考古学会 1984年10月
- 山崎京美「遺跡出土の動物遺存体に関する基礎的研究 平成7年度~平成9年度 科学研究費補助金(基礎研究(c)(2))研究成果報告書」 1998年6月
- 古岡康暢「世須須原の研究」吉弘文館 1994年12月
- 渡辺 或編「勝山市文化財調査報告書第3集 福井県勝山市吉宮遺跡発掘調査報告書」勝山市教育委員会 1978年3月
- 渡辺 誠「増補 純文時代の植物食」雄山閣出版 1984年5月
- 渡辺 誠「縄文時代の遺棄(3版)」雄山閣出版 1984年3月

遺物計測表

ここには、各種遺物の観察表を掲載した。土器片錐に関しては完形品のみを掲載した。

それぞれの掲載点数は、土器片錐-1000点、土製品-6点、石錐-433点、磨製石斧-41点、石皿-4点、四石-3点、台石-3点、その他の石器-21点である。

註1) 「整理番号」とは、遺物を計測する際に、それぞれの器種毎に1番から付した番号であり、実物には黄色で注記を施した。

土器片錐に関しては、完形品のみを抽出して本表を作成したため、本表中の整理番号には欠番がある。

註2) 「長軸」・「長さ」とは、当該遺物の最大長さの値であり、「短軸」・「幅」とは同様に最大幅の値である。
また、「厚さ」とは、当該遺物の最も厚い部分の厚さの値である。

註3) 欠損品に関しては、残存長さを計測し、その場合、計測値に「()」を付した。

註4) 「土器片錐」の表の「時期」欄の「中前」は中期前葉、「中中」は中期中葉、「中後」は中期後葉、「中後」は中期末～後期初頭、「後前」は後期前葉の、それぞれ略表記である。

土器片錐

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
1	24・18	8.1	6.4	1.27	58	0.9	口縁部	U字(太)	無文磨		中～後	541	浅鉢
2	19・18	8.5	7.8	1.09	45	0.6	胴部	打欠	縦文	RL			
3	15・18	7.7	6.9	1.12	88	2	底部	打欠→すじ	無文磨		中～後	882	浅鉢
4	28・24	7	5.5	1.27	43	0.8	胴部	打欠	縦文	LR			
5	17・19	7.5	5.5	1.36	40	0.8	胴部	V字	無文	RL		673	
6	16・20	9.2	5.8	1.59	51	0.7	胴部	打欠→すじ、 すじ	無文				
7	18・19	9.2	5.8	1.59	51	0.7	胴部	打欠	無文磨		中～後	777	浅鉢
8	19・19	7.3	5.6	1.3	40	0.7	胴部	V字	無文磨		中～後	752	
9	36・25	7.7	7.7	1	83	1	胴部	U字	縦文	RL			
10	40・23	9	8	1.13	79	0.7	胴部	U字、打欠→ U字	縦文	RL		722	
11	17・19	7.6	7.2	1.06	60	0.9	胴部	V字	縦文	RL		702	
12	19・22	7.6	6.6	1.15	54	0.7	胴部	すじ	縦文	RL			
14	17・19	7.4	6.2	1.19	45	0.8	胴部	V字	無文磨		中～後		浅鉢
15	8・28	8.5	7.2	1.18	64	0.8	胴部	打欠	縦文	RL		717	
16	12・20	8	5.7	1.4	45	0.6	胴部	V字	無文磨		中～後		浅鉢
17	29・24	7	5.8	1.21	48	0.7	胴部	打欠→すじ	無文磨			545	
18	14・20	8.8	5.5	1.6	69	1.1	口縁部	打欠	縦文	LR	中～後	527	粗製深鉢
19	34・18	7.7	6.6	1.19	55	0.9	胴部	打欠、打欠→ すじ	縦文	不削			
20	23・22	7	6.2	1.13	53	1	胴部	すじ(浅)	無文				
21	17・21	7.8	6	1.3	39	0.7	胴部	打欠→U字 (中)	無文磨		中～後	755	浅鉢
22	39・19	8.5	6.4	1.33	69	1	胴部	V字	縦文	RL		706	
23	17・21	8	5.6	1.43	61	1.1	胴部	V字	無文				
24	19・22	9	5.5	1.64	56	0.9	胴部	U字	縦文	LR		709	
25	39・23	8.6	5.3	1.62	55	0.9	胴部	U字(浅)	無文				
26	33・22	7.1	5.9	1.2	38	0.7	胴部	U字、打欠→ U字	縦文	RL			
27	17・18	8.4	6.6	1.27	56	0.9	胴部	V字	無文磨			1185	
28	35・21	7.8	6.1	1.28	51	0.8	胴部	U字	縦文	LR		651	
29	36・25	6.8	6	1.13	48	1	胴部	打欠	縦文	RL			横長

整理 器号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	彫り	時期	圆版 番号	備考	
30	26・23	7	5.5	1.27	44	0.9	胴部	すじ	縄文	無筋L				
31	37・22	7.8	7.3	1.07	52	0.7	胴部	U字(太)	縄文	RL				
32	27・23	7	6.8	1.03	48	1	胴部	すじ	縄文	RL				
33	16・20	8.8	6.2	1.42	61	0.8	口縁部	U字(中)	無文磨	中~後	539	浅鉢		
34	33・19	7.8	6.6	1.18	41	0.7	胴部	U字、打欠→ U字	縄文	不明				
35	13・10	7.6	6.4	1.19	53	0.9	胴部	U字	縄文	RL				
36	18・19	7.3	5.4	1.35	40	1	口縁部	V字	文様	中~後	1172	浅鉢		
37	17・19	7.9	6.2	1.27	63	1	口縁部	打欠	無文					
38	13・20	7.5	6.2	1.21	51	1	胴部	V字	文様	中~後	828	浅鉢		
39	13・18	9.2	6.1	1.51	61	1	口縁部	V字	文様	中~後	507	鉢		
40	17・24	6.8	6.1	1.11	37	0.8	胴部	打欠 (V字状)	文様	中~後				
41	19・15	6	4.7	1.28	35	0.9	胴部	打欠→U字	縄文	LR				
42	35・16	6.5	5.9	1.1	50	1	胴部	打欠	縄文	RL				
43	40・23	6.2	4.3	1.44	24	0.6	胴部	U字	文様	中後	813			
44	18・20	5.5	5.1	1.08	23	0.8	胴部	U字	文様	中~後	821			
45	40・24	6	5.1	1.18	35	1.1	胴部	打欠とU字 (両方向使用)	文様	中~後				
46	35・22	7.1	5.8	1.22	38	0.7	胴部	U字	縄文	RL				
48	38・26	6.2	5.1	1.22	41	0.9	胴部	U字	縄文	LR				
49	35・22	6.6	5.8	1.14	35	0.8	胴部	打欠	文様	中後				
50	27・23	6.4	5.8	1.1	39	0.8	胴部	打欠	縄文	LR	698			
51	1T	6	5.2	1.15	26	0.8	胴部	打欠	縄文	RL		横長		
52	26・24	6.7	4.4	1.52	40	0.9	胴部	U字、打欠→ U字	無文					
53	29・24	5.5	4.9	1.12	25	0.8	胴部	打欠	縄文	LR				
54	27・24	5.4	4.5	1.2	26	1	胴部	打欠→すじ	無文	中~後		浅鉢		
55	19・15	5.8	4.3	1.35	21	0.8	胴部	不明瞭、すじ	縄文	RL				
56	15・13	5.7	4.4	1.3	21	0.7	胴部	打欠	縄文	RL	623			
57	19・18	6.4	5.9	1.08	40	0.9	口縁部	U字(中)	無文崩	中~後	537	浅鉢		
58	18・20	6.5	4.8	1.35	39	1	胴部	U字	縄文	RL	588			
59	38・24	6.6	4.7	1.4	34	0.8	口縁部	打欠→U字	無文		546			
61	35・22	9.3	5.7	1.63	51	1	胴部	U字	文様	中後	812			
62	37・22	6.1	6.1	1	41	1.1	胴部	打欠	無文					
63	9・19	6	4.8	1.25	29	0.7	胴部	U字	縄文	RL	582			
64	11・20	6.2	5.1	1.22	22	0.6	胴部	すじ	文様	中~後?				
65	40・24	6.4	4.8	1.33	41	1	胴部	U字	縄文	RL	636			
66	39・21	6.9	5.9	1.17	32	1	口縁部	打欠、U字 (太)	無文	中~後	548	粗製深鉢		
67	39・21	6.7	6.3	1.06	46	0.8	胴部	不明瞭	縄文	LR	644			
68	17・19	5.9	4.5	1.31	29	0.8	口縁部	すじ(浅)	縄文	RL	524			
69	19・18	6.8	4.6	1.48	30	0.7	胴部	U字	縄文	RL	670			
70	7・16	6	5.1	1.18	28	0.7	胴部	U字状、打欠	条痕		728			
71	22・12	7.1	5.1	1.38	43	0.9	胴部	U字(太)	無文					
72	19・18	6.8	5.3	1.28	42	0.8	胴部	打欠	縄文	3段不明				
73	40・23	6	5	1.2	31	0.8	胴部	U字状、打欠	縄文	LR				
74	19・18	5.8	5	1.16	34	1	胴部	U字	縄文	LR	626			
75	37・25	6.3	4.7	1.34	42	1.2	口縁部	U字、不明瞭	縄文	RL	中後			
76	37・23	5.5	4.4	1.25	26	0.9	胴部	U字(細)	縄文	不明				
77	16・19	7	6.5	1.08	50	0.9	胴部	V字	縄文	RL				
78	15・20	6.1	5.8	1.05	36	0.7	口縁部 (細)	打欠、U字	無文崩	中~後	538	浅鉢		
79	23・22	6.1	5.4	1.13	27	0.7	胴部	打欠	縄文	RL				
80	11・17	6.4	4.8	1.33	30	1	口縁部	U字	文様	後前	522			
81	14・21	6	4.9	1.22	27	0.7	胴部	打欠	無文					
83	12,13・ 16	6.4	5.7	1.12	30	0.6	胴部	U字	無文			横長		
84	22・21	5.3	4.9	1.08	22	0.7	口縁部	打欠	縄文	不明	中~後	530		

整理番号	X-Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考	
85	39・24	6.6	5.3	1.25	42	0.9	脣部	打欠→すじ	縦文	RL				
86	14・20	7.3	5.4	1.35	41	0.8	脣部	U字	縦文	RL				
87	7・16	7.8	5.1	1.53	45	1	脣部	打欠→U字	縦文	RL	672			
89	40・25	7.1	5.8	1.22	62	1.2	口縁部	V字	無文	中後	547	粗製深鉢		
90	6・15	6.2	5.3	1.17	43	1.1	脣部	打欠→すじ	縦文	無節L				
91	35・24	7.2	5.7	1.26	46	0.8	脣部	打欠→すじ	縦文	LR	1180			
92	26・24	5.3	4.4	1.2	21	0.7	脣部		無文		759			
93	35・22	6.9	4.5	1.53	38	1	脣部	不明瞭	縦文	RL	671			
94	11・20	5.1	4.9	1.1	23	0.7	脣部	すじ(深)	無文磨	中~後		浅鉢		
95	8・16	6.5	4.7	1.38	23	0.7	脣部	U字	縦文	不明				
96	35・24	6.6	5.5	1.2	39	0.9	脣部	打欠→すじ	無文					
97	13・19	5.9	5.2	1.13	29	0.8	脣部	すじ	無文磨	中~後		浅鉢		
98	40・24	6.4	6.2	1.03	40	1	脣部	V字 (横にも切目)	縦文	LR	697			
99	19・22	5.8	4.3	1.35	34	1.1	脣部	すじ	無文					
100	14・17	5.9	4.7	1.26	26	0.7	脣部	V字	無文磨	中~後		浅鉢		
101	17・18	6.7	5.2	1.29	28	0.7	脣部	V字	縦文	RL	583			
102	11・20	5.4	5.3	1.02	24	0.8	脣部	すじ	縦文	RL	689			
103	23・12	6.3	4.8	1.31	31	1	脣部	U字	縦文	不明				
104	19・15	5	4.9	1.02	24	0.9	脣部	打欠	縦文	RL				
105	19・21	7.1	5.5	1.29	39	0.9	I口縁部	U字	文様	中~後	1168			
106	39・25	6.5	5.1	1.27	26	0.6	脣部	U字	縦文	RL				
107	17・19	5.8	5.3	1.09	31	0.8	脣部	不明瞭、U字	縦文	LR				
108	37・22	6.6	4.5	1.47	28	0.9	脣部	U字(浅)	縦文	RL				
109	38・19	5.7	5.3	1.08	25	0.7	脣部	打欠	縦文	RL				
110	39・21	6.1	5.9	1.03	34	0.8	脣部	U字(浅)	縦文	無節R				
111	39・24	6.2	5.7	1.09	43	1	口縁部	U字	無文			波状口縫		
112	19・22	5.6	5.3	1.06	26	0.8	脣部	打欠→U字 (太)	縦文	RL				
113	22・12	5	4.7	1.06	25	0.8	脣部	U字	縦文	LR				
114	40・24	5.7	5.1	1.12	29	0.7	脣部	V字	文様	中~後				
115	39・26	5.8	5.3	1.09	28	0.8	脣部	打欠	縦文	LR				
116	31・24	5.7	4.6	1.24	26	0.8	脣部	U字	文様	中~後				
117	39・16	5.2	4.8	1.08	30	1	脣部	打欠→U字	縦文	RL				
118	40・16	5.2	4.7	1.11	30	1	脣部	打欠	縦文	RL	574			
119	31・20	5.1	5	1.02	29	1	脣部	打欠	縦文	LR	683			
120	32・19	6.1	5.3	1.15	42	0.9	脣部	不明瞭	縦文	RL	580			
121	18・15	6.1	5.2	1.17	30	0.7	底部	打欠			876	横長		
122	6・16	6.7	4.7	1.43	26	0.7	脣部	打欠 (不明瞭)	無文			762		
123	14・19	6.4	5.7	1.12	41	1	脣部	打欠	文様	中~後				
124	40・25	6.1	7.1	0.86	44	1	脣部	打欠→すじ	文様	中後				
125	13・18	6.9	5.9	1.17	48	0.9	脣部	打欠	文様	中~後				
129	15・19	5.7	5.6	1.02	26	0.8	脣部	打欠	無文					
130	39・23	5.1	4.9	1.04	24	0.6	脣部	U字(太)	縦文	RL				
131	16・18	4.8	3.6	1.33	16	0.9	脣部	すじ	文様	中~後	873			
132	39・23	5.7	4.2	1.36	31	1	脣部	U字(太)	縦文	RL				
133	34・25	5.2	3.5	1.49	18	0.8	脣部	U字	縦文	RL	659			
134	39・23	5.1	4.3	1.19	25	0.9	脣部	U字	縦文	RL				
135	18・17	5.2	4.8	1.08	31	1	脣部	U字、打欠	縦文	LR				
136	40・25	5.9	4.4	1.34	26	0.8	脣部	U字状、打欠	縦文	LR?	616			
137	40・23	5.2	4.8	1.08	24	0.7	脣部	V字	無文					
138	19・18	5.7	4.9	1.16	32	1.1	脣部	U字	縦文	不明				
139	18・19	5.7	4.9	1.16	28	0.7	脣部	U字(中)	無文					
140	19・16	5.5	4.3	1.28	29	1	脣部	打欠→U字	縦文	RL				
141	40・24	5.5	4.5	1.22	28	0.8	底部	すじ			875			
142	37・25	5.8	4.6	1.26	41	1.2	脣部	U字、打欠	縦文	RL				
143	12・20	4.6	4.1	1.12	18	0.8	脣部	打欠→U字	無文					
144	34・25	4.9	3.5	1.4	20	0.9	脣部	打欠	文様	中~後	872	無環状文		

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
145	38・23	5.3	3.9	1.36	19	0.7	胴部	打欠	縄文	不明			
146	38・26	6.1	4.1	1.49	40	1.2	胴部	U字(縦)	無文		745		
147	12・19	4.4	4.4	1	15	0.7	胴部	打欠	無文		739		
148	11・18	5	3.8	1.32	15	0.8	口縁部	不明窓、打欠	文様	中～後	1174		
149	14・17	4.6	4.6	1	25	1	胴部	打欠→すじ、 U字(太)	無文		756		
150	25・23	5.6	5.4	1.04	31	0.8	胴部	すじ、打欠→ すじ	縄文	RL			
151	25・22	5.2	4.4	1.18	21	0.7	胴部	U字(縦)	文様	中～後		葉脈状文	
152	34・25	5.4	4.1	1.32	28	1	胴部	すじ、V字	文様	中後			
154	36・25	4.4	4.4	1	16	0.7	口縁部	すじ(深)	文様	中～後	515	鉢	
155	17・19	4.8	4.2	1.14	22	0.9	胴部	すじ(浅)	無文磨	中～後	740	浅鉢	
156	14・19	5.6	4.6	1.22	24	0.8	胴部	すじ	縄文	RL	559		
157	26・14	5.3	5	1.06	21	0.8	胴部	打欠	縄文	不明			
158	39・23	5	4.2	1.19	19	0.8	胴部	すじ	無文				
159	16・18	4.5	4.1	1.1	24	1.2	胴部	打欠	文様	中～後			
160	35・22	4.8	4.1	1.17	18	0.8	胴部	U字、打欠→ U字	条痕	不明			
161	25・23	5.8	4.4	1.32	23	0.8	胴部	U字(太)	縄文	RL			
162	19・18	6	3.9	1.54	22	0.8	胴部	不明窓	縄文	RL	663		
163	19・15	4.9	4.4	1.11	20	0.8	胴部	U字	縄文	RL?	617		
164	12・19	4.8	3.5	1.37	15	0.7	胴部	U字(中)	無文磨		868		
165	35・25	5.3	3.4	1.56	16	0.7	胴部	打欠	縄文	RL	662		
166	15・18	5.1	4.7	1.09	19	0.6	胴部	V字	無文磨	中～後	741	浅鉢	
167	16・18	5	4.9	1.02	18	0.6	胴部	すじ	縄文	RL	555		
168	28・23	4.5	4.5	1	17	0.9	胴部	U字(浅)	無文				
169	19・22	5.6	4.9	1.14	29	1	胴部	V字	無文磨	中～後		浅鉢	
170	24・26	4.6	3.5	1.31	15	0.7	胴部	打欠	縄文	RL			
172	23・23	5	4.3	1.16	18	0.9	胴部	U字(縦)	縄文	LR			
173	18・15	5.1	4.4	1.16	23	0.9	胴部	U字、不明窓	縄文	RL			
174	16・19	5	4.4	1.14	18	1	胴部	打欠	無文			横長	
175	15・18	4.9	4.5	1.09	20	0.7	胴部	すじ (縫にも切れ)	無文				
176	14・20	4.3	3.4	1.26	17	1	胴部	打欠、不明窓	縄文	不明			
177	40・24	3.7	3.7	1	11	0.6	胴部	すじ	無文磨		851		
178	39・24	4	3.6	1.11	16	1.2	胴部	V字	文様	中～後	863	葉脈状文	
179	40・24	4	3.4	1.18	12	0.7	胴部	すじ	無文磨		854		
180	17・21	3.9	4.1	0.95	14	0.8	胴部	打欠→すじ	無文磨		865		
181	17・20	4.1	3.9	1.05	13	0.6	胴部	打欠	無文		864		
182	14・20	3.8	3.9	0.97	11	0.6	胴部	V字	文様	中～後	852		
183	37・25	3.8	3.4	1.12	12	0.8	胴部	すじ	縄文	RL	844		
184	36・24	3.9	3.4	1.15	12	0.8	胴部	すじ	縄文	RL	855		
185	16・19	4.1	3.4	1.21	12	0.8	胴部	すじ	縄文	RL	870		
186	15・19	3.7	3.3	1.12	8	0.6	胴部	すじ(浅)	無文		853		
187	16・20	4.4	3.5	1.26	12	0.6	胴部	U字	縄文	RL	869		
188	37・24	3.5	3	1.17	11	0.7	胴部	すじ、打欠→ すじ	縄文	RL	848		
189	35・25	3.6	3.5	1.03	11	0.7	胴部	すじ	無文		850		
190	35・25	4.4	3.4	1.29	12	0.7	胴部	U字(縦)	無文		866		
191	35・25	4.2	3.6	1.17	14	0.7	胴部	すじ	無文磨		867		
193	38・24	5	4.1	1.22	17	0.8	胴部	打欠	無文				
198	24・23	4.1	4.1	1	14	0.7	胴部	すじ	無文				
199	6・13	4.2	3.4	1.24	11	0.5	胴部	すじ	無文				
205	18・19	4.8	4.2	1.14	17	0.8	胴部	打欠	文様	中～後		横にV字I	
215	14・19	4.3	3.4	1.26	11	0.7	胴部	すじ	縄文	RL			
216	14・19	4	3.4	1.18	12	0.8	胴部	不明窓	縄文	RL			
446	19・22	8	7	1.14	40	0.7	胴部	U字	無文				
449	24・23	8.4	6.7	1.25	56	0.8	胴部	U字	条痕		734		
450	25・23	8.1	6.2	1.31	54	0.9	胴部	U字	縄文	RL	714		

整理 番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備 考
451	30・12	8.3	6.1	1.36	62	1.1	胴部	U字、打欠	繩文	RL		707	
452	23・22	8.2	6.7	1.22	67	0.9	口縁部	U字	繩文	RL	中～後?	529	
454	26・13	8.1	6.9	1.17	65	1.1	胴部	打欠	繩文	RL			
455	21・17	8.1	6.7	1.21	49	0.8	底部	打欠				880	
456	25・14	8.5	7.5	1.13	93	1.2	胴部	打欠 (不明瞭)	文様		中中	793	
457	23・14	8.5	3.9	1.44	58	0.9	胴部	打欠	無文				
458	31・22	8.3	6	1.38	55	1.2	口縁部	U字	文様		中後	1166	
459	31・24	8.1	6.8	1.19	62	0.9	胴部	U字	繩文	LR		711	
460	31・24	8.4	7	1.2	79	1	胴部	U字、打欠→ U字(中)	無文			779	
461	31・23	8.3	5.6	1.48	55	0.8	口縁部	打欠	文様		中～後	1170	
462	31・14	8	7.4	1.08	60	0.8	口縁部	すじ(深)	無文磨		中～後	540	浅鉢
463	22・17	8.5	6.7	1.27	73	1	胴部	V字	繩文	RL			
464	21・17	8.6	6.3	1.37	59	0.7	胴部	打欠→U字	繩文	LR			
465	23・23	8.5	6.8	1.25	65	0.9	口縁部	U字	文様		中～後	1169	粗製深鉢
466	33・19	8.2	7.1	1.15	53	0.7	胴部	打欠	繩文	RL			
467	33・18	8.1	5.9	1.37	62	0.9	胴部	不明瞭	繩文	RL			
468	32・23	8.4	6.8	1.24	60	0.7	胴部	U字	文様		中後		
469	35・38	8.4	6	1.4	54	0.9	口縁部	打欠	繩文	LR	中中	532	粗製深鉢
470	31・22	8.3	7	1.19	78	1	胴部	U字、不明瞭	繩文	LR		712	
471	36・19	8.7	6.4	1.36	58	0.9	胴部	U字	繩文	RL		716	
473	23・23	8.2	6.5	1.26	54	1	底部	U字				877	
474	35・17	10.4	8.3	1.25	74	0.7	胴部	打欠	繩文	LR		721	
476	34・24	8	7.5	1.07	57	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
477	31・22	9.2	7	1.31	67	0.8	胴部	U字	繩文	RL		708	
478	31・17	8.2	5.5	1.49	62	1.4	胴部	不明瞭、 U字状	文様		中中	805	
479	31・24	8.2	7	1.17	53	1	胴部	U字、打欠	文様		中後		
480	23・17	8.2	5.9	1.39	55	0.8	口縁部	打欠、打欠→ すじ	無文				
481	29・11	8.1	6.4	1.27	45	0.9	胴部	V字	文様		中～後		浅鉢
483	29・24	6.5	6.3	1.03	38	0.8	口縁部	V字	条痕				
484	38・22	5.9	4.9	1.2	34	0.8	胴部	打欠→U字 (中)	無文				
485	26・17	5.9	5.8	1.02	30	0.7	胴部	不明瞭	繩文	RL			
486	33・22	6.1	5.8	1.05	33	0.7	胴部	U字(縦)	繩文	RL			
487	26・21	6.6	5.6	1.18	42	0.9	胴部	打欠	繩文	RL			
488	34・22	5.1	4.2	1.21	21	0.8	胴部	U字	繩文	不明			
489	26・23	6.3	6.5	0.97	60	1.0	胴部	U字	条痕				
490	33・22	5.4	5.7	0.95	30	0.8	胴部	U字(太)	繩文	RL			
491	39・19	6.4	4.4	1.45	36	0.9	口縁部	U字(浅)	無文		中～後		粗製深鉢
492	31・22	6.2	5	1.24	40	0.9	胴部	打欠	繩文	LRL?		591	
493	22・21	6.1	5.1	1.2	34	0.8	胴部	打欠、U字状	繩文	RL		586	
494	36・20	7.2	6	1.2	54	0.9	胴部	打欠	繩文	不明			
495	37・22	5.9	5	1.18	40	1	胴部	打欠	繩文	LR		624	
496	39・26	6.5	5.5	1.18	33	0.7	胴部	打欠→U字	条痕				
497	39・19	5.7	4.6	1.24	32	0.8	胴部	U字	条痕				
498	28・19	5.1	4.9	1.04	28	0.8	胴部	打欠	繩文	不明			
499	28・16	6	5.4	1.11	36	0.8	胴部	U字(縦)	繩文	RL			
500	27・16	7.5	5.6	1.34	65	1.1	胴部	不明瞭	文様		中前	787	
501	39・19	5.9	3	1.18	34	0.9	胴部	U字(太)	繩文	不明			
502	29・21	6.5	5.7	1.14	43	0.9	胴部	打欠→U字	無文				
503	24・16	5	5.1	0.98	31	1	胴部	不明瞭、打欠	繩文	不明			
504	35・25	6.9	6.1	1.13	50	1	胴部	打欠 (→使用痕)	繩文	RL		601	
505	31・23	6.3	6.1	1.03	50	1.1	胴部	不明瞭	繩文	RL		695	
506	26・21	6.5	5.9	1.1	45	0.8	胴部	U字、 (切口、両方向)	繩文	RL		639	

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	圆版 番号	備考
507	38・20	7	5.3	1.32	51	1	脣部	U字	縄文	RL		649	
508	40・18	7.2	5.6	1.29	48	0.9	脣部	すじ	縄文	LR		681	
509	40・21	5.7	5.2	1.1	26	0.8	脣部	打欠→U字	文様		中前		
510	28・16	6.6	6.1	1.08	37	1	脣部	打欠	文様		中中		
511	35・21	7.3	6	1.22	40	0.8	脣部	U字、打欠	縄文	RL			
512	31・23	5.9	4.8	1.23	29	0.7	脣部	すじ	縄文	RL		630	
513	32・21	7.7	6.8	1.13	85	1.2	脣部	U字、打欠→ U字	縄文	RL		653	
514	22・21	7.5	6.7	1.12	44	0.8	脣部	打欠、U字状	文様		中中～ 中後		
515	26・23	6.9	6.4	1.08	53	1	脣部	打欠、U字	縄文	LR		696	
516	40・22	5.9	5.1	1.16	41	1	脣部	打欠→すじ	縄文	LR			
517	28・28	6.3	4.1	1.54	31	0.9	脣部	U字	文様		中～後?		鉢?
518	39・20	6.1	4.8	1.27	32	0.9	脣部	U字	条痕				
519	32・21	5.9	5.4	1.09	40	0.9	脣部	U字	縄文	RL		564	
520	28・18	5.6	5.3	1.06	34	0.8	口縁部	打欠 (不明瞭)	無文磨		中～後		浅鉢
521	17・21	6.6	4.9	1.35	42	0.9	口縁部	U字(細)	縄文	RL			
522	29・?	6.8	6.2	1.1	43	0.8	脣部	打欠	縄文	無節L			
523	32・21	6.3	6.1	1.03	39	0.8	脣部	U字	無文				
524	31・22	7	6.3	1.11	52	1	脣部	打欠	縄文	不明			
525	35・25	6.4	5.5	1.16	31	0.7	口縁部	打欠→すじ	縄文	不明	中後?		粗製深鉢
527	26・17	6	4.7	1.28	35	1	脣部	打欠	縄文	不明			
528	38・20	5.4	4.4	1.23	26	0.8	脣部	U字(太)	無文		中～後	744	粗製深鉢
529	33・21	5.4	4.2	1.29	20	0.7	脣部	U字、打欠	縄文	RL			
530	36・18	7	4.7	1.49	41	0.8	脣部	打欠→U字、 U字	文様		中前		
531	40・20	6.1	4.9	1.24	30	0.8	脣部	すじ	縄文	LR?		578	
532	38・19	6.1	4.8	1.27	32	0.9	脣部	打欠→U字	縄文	RL			
533	22・21	6.2	5.1	1.22	35	0.8	脣部	U字	縄文	RL			
534	31・23	6.5	5.4	1.2	42	0.9	脣部	打欠	縄文	RL			
535	38・19	6.4	5.8	1.1	38	0.8	脣部	U字	縄文	不明			
536	21・23	6.2	6.3	0.98	40	0.9	脣部	U字	条痕			725	
537	34・24	5.7	5.5	1.04	39	1	脣部	打欠	縄文	RL		619	
538	27・23	5.9	4.9	1.2	38	1.2	脣部	U字	無文				
539	28・18	6.4	4.3	1.49	30	0.7	口縁部	不明瞭、打欠	無文		中前?	535	
540	28・16	6.8	4.9	1.39	47	1.1	脣部	打欠	縄文	RL			
541	30・22	6	5.6	1.07	40	1	脣部	打欠	無文			780	粗製深鉢
542	39・19	5.7	4.9	1.16	33	0.8	脣部	U字状、打欠	文様		中～後	831	
543	31・13	5.8	5.2	1.12	28	0.7	脣部	U字	縄文	不明			
544	31・23	7.4	5.3	1.4	45	1	脣部	打欠	無文			772	
545	8・14	6.3	6	1.05	38	0.8	脣部	打欠→U字	文様		後前	33	
546	28・17	7.5	6.1	1.23	56	1	脣部	不明瞭	文様		中前		
547	38・19	6.3	5.9	1.07	40	0.8	脣部	U字、不明瞭	縄文	不明			
548	21・22	6.8	6.5	1.05	45	0.8	脣部	U字(太)	無文				粗製深鉢
549	31・25	5.7	4.8	1.19	35	0.9	脣部	打欠→U字	文様		中後		
550	25・24	5.7	4.7	1.21	29	0.9	脣部	U字	文様		中後		
551	26・18	6.6	5.7	1.16	46	0.9	脣部	U字(浅)	縄文	LR			
552	38・24	5.8	4.7	1.23	31	1	脣部	打欠	縄文	LR		566	
553	23・18	5.9	5	1.18	41	1	脣部	すじ、打欠→ すじ	文様		中中		
554	33・22	6	5.2	1.15	30	0.9	脣部	U字、不明瞭	条痕				
555	40・19	6.1	4.9	1.24	32	0.8	脣部	打欠	縄文	不明			
556	31・22	6.5	5.7	1.14	42	1	口縁部	U字	文様		中～後	1167	粗製深鉢
557	40・19	6.1	5.2	1.17	28	0.7	脣部	U字	文様		中中	802	
558	33・22	6.9	4.9	1.41	41	0.9	脣部	U字(中)、 打欠	無文			750	粗製深鉢
559	34・20	6.4	4.5	1.42	30	0.8	脣部	打欠→U字	縄文	不明			
560	28・19	6.4	4.5	1.42	31	0.8	脣部	打欠	縄文	LR?		596	

整理番号	X-Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
561	23-17	7	5.4	1.3	46	0.9	脣部	打欠	繩文	RL			
563	26-16	6.9	6.4	1.08	56	0.9	脣部	不明瞭	繩文	RL		645	
564	30-21	7.2	7.1	1.01	50	0.7	脣部	U字(太)	繩文	0段多条 RL			
565	27-23	7.4	5.9	1.25	60	1.1	脣部	打欠→U字	繩文	LR		604	
566	26-23	6.7	5.9	1.14	42	0.7	脣部	打欠	繩文	RL		638	
567	27-16	6.4	4.5	1.42	39	1.1	脣部	打欠	繩文	LR			
568	32-21	6.9	5	1.38	41	1.1	脣部	U字	文様		中~後		
569	31-22	7.3	5.3	1.38	28	0.7	脣部	U字	文様		中後		
570	29-24	6.5	5	1.3	34	0.8	口縁部	U字、不明瞭	文様		中~後		
571	35-23	5.1	3.7	1.38	16	0.8	脣部	U字、打欠→ U字	条痕				
572	33-22	6.3	4.5	1.4	28	0.7	脣部	打欠	繩文	RL			
573	27-22	6.1	5.3	1.15	40	0.9	脣部	打欠→U字 (太)	繩文	RL			
574	23-23	5.6	5.5	1.02	35	0.8	脣部	打欠、U字	文様		中後		
575	30-22	3.7	4.6	1.24	28	0.8	口縁部	打欠	繩文	RL	中~後	粗製深鉢	
576	28-19	6	5.5	1.09	32	0.8	脣部	打欠	文様		中中	799	両方向打欠
577	28-17	6.4	6	1.07	43	0.9	脣部	打欠	繩文	LR		690	
578	35-20	6.1	4.4	1.39	35	1	脣部	打欠→すじ	繩文	RL			
579	39-20	5.3	5.4	0.98	38	1.1	脣部	U字	繩文	RL			
580	26-20	5.8	5.3	1.09	30	0.8	脣部	U字(太)	繩文	不明			
581	38-22	5	5.6	0.89	34	0.9	脣部	V字	繩文	RL		612	
582	27-15	5.7	5.3	1.08	25	0.7	脣部	打欠→U字 (細)	繩文	RL			
583	28-22	5.7	4.5	1.27	24	0.8	脣部	不明瞭	繩文	RL			
584	28-18	5.5	4.6	1.2	31	1	脣部	打欠、し字状	繩文	RL		571	
585	33-17	5.2	5.3	0.98	25	0.8	脣部	打欠	繩文	RL			
586	40-19	5.4	4.4	1.23	24	0.8	脣部	打欠	繩文	RL			
587	37-22	5.7	4.7	1.21	25	0.8	脣部	不明瞭	繩文	RL		563	
588	17-20	6.1	4.8	1.27	30	0.8	脣部	打欠	繩文	LR			
589	40-19	5.7	4.1	1.39	25	0.9	脣部	U字	無文				
590	37-26	5.9	4.1	1.44	19	0.7	脣部	U字	繩文	RL		560	
591	31-22	5.7	4.5	1.27	26	0.8	脣部	U字	繩文	RL			
592	27-20	5.6	4.2	1.33	19	0.6	脣部	V字	繩文	RL			
593	37-22	5.3	5.2	1.02	23	0.7	脣部	打欠	繩文	RL			
594	30-15	5.3	3.7	1.43	20	0.7	脣部	すじ	無文		中~後	758	浅鉢
595	38-19	5.3	3.9	1.36	22	0.8	脣部	U字	繩文	RL			
596	37-22	6.1	4.4	1.39	31	1	脣部	打欠	繩文	RL			
597	38-21	6.2	4.8	1.29	29	0.7	脣部	U字(浅)	繩文	不明			
598	?-22	5.1	5.1	1	29	0.8	脣部	U字(浅)	繩文	RL			
599	30-23	6.3	5.8	1.09	39	0.9	口縁部	V字	文様		中後	496	粗製深鉢
600	10-18	6.3	4.2	1.5	25	0.8	脣部	すじ	繩文	RL		595	
601	35-28	8	6.2	1.29	0.9	57	口縁部	U字(浅)	条痕		中後	552	粗製深鉢
602	30-22	7.4	6.8	1.09	61	1	脣部	U字	繩文	RL			
603	38-20	7.9	6.8	1.16	75	1.4	脣部	打欠→U字	文様		中中~ 中後	804	
604	32-13	6.4	7.1	0.9	49	0.8	脣部	半円	無文		中~後	782	浅鉢
605	23-21	6.8	6.6	1.03	50	0.8	脣部	U字、打欠→ U字	繩文	0段多条 RL		横長	
606	33-23	7.4	6.7	1.1	50	0.8	脣部	すじ	繩文	RL		701	
607	36-24	7.2	6.1	1.12	55	1	脣部	打欠→U字 (浅)	無文				
608	30-22	7.9	6.1	1.3	55	0.9	脣部	U字	繩文	RL			
609	20-18	7.4	6.7	1.1	64	0.9	脣部	打欠→U字	繩文	RL			
610	27-23	6.9	5.9	1.17	38	0.8	脣部	不明瞭、打欠	文様		中中	803	
611	22-17	7.6	6.5	1.17	51	0.8	脣部	V字	繩文	不明			
612	31-23	7.7	5.6	1.37	50	1	口縁部	打欠	文様		中~後	516	
613	30-21	7.5	6.7	1.12	53	1.3	口縁部	打欠	文様		中後	501	

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	同版 番号	備考
614	29・24	6.7	5.6	1.2	44	1.1	口縁部	V字	条痕		中後	551	粗製深鉢
615	22・16	7.5	6.2	1.21	51	0.8	胴部	すじ	無文				
616	30・22	6.4	5.7	1.12	51	1	胴部	打欠	文様		中中		台付深鉢
617	31・22	6.6	5.8	1.14	49	1	胴部	打欠→U字, U字	繩文	不明			
618	38・26	7.7	6.5	1.18	45	0.7	胴部	V字	繩文	RL			
619	34・26	7.5	5.2	1.44	42	1.7	胴部	V字	繩文	無筋L			
620	40・18	7.2	5.3	1.36	41	0.8	胴部	打欠	繩文	無筋R			
621	22・14	6.4	5.9	1.08	48	1.1	胴部	打欠	繩文	LR			
622	39・22	6.6	6.2	1.06	36	0.7	胴部	打欠	繩文	LR		680	
623	34・24	6.7	5.6	1.2	43	0.8	口縁部	U字(太)	条痕		中後	550	
624	39・20	6.5	5.5	1.18	45	1	胴部	U字	繩文	不明			
625	36・19	6.8	5.1	1.33	41	1	胴部	U字	繩文	LR			
626	33・17	7.3	6.3	1.16	52	1	胴部	打欠、不明瞭	文様		中前	808	
627	40・20	8	6.4	1.25	55	0.8	胴部	U字	繩文	RL		719	
628	29・23	6.3	4.9	1.29	43	1.2	胴部	U字	文様		中中	794	
629	22・16	6.3	6	1.05	44	0.9	胴部	打欠	文様		中後		
630	22・14	6.8	5	1.36	32	0.7	胴部	V字	繩文	不明			
631	24・16	6.4	4.8	1.33	31	0.8	胴部	不明瞭、すじ	繩文	RL			
632	30・21	6.2	4.6	1.35	30	0.9	胴部	U字(浅)	繩文	LR			
633	32・13	5.4	4.3	1.26	24	0.8	胴部	U字	繩文	LR			
634	17・19	5.6	5.4	1.04	31	0.9	胴部	V字	繩文	RL		693	
635	30・22	5.2	5.8	0.9	31	1	底部	打欠				874	
636	35・14	6.1	5	1.22	43	1.1	胴部	U字、打欠	文様		中前		
637	29・24	5.9	5.2	1.13	32	0.9	胴部	打欠	繩文	RL			
638	34・20	6.6	4.2	1.57	34	1	胴部	打欠	繩文	LK		666	
639	24・16	5.9	4.8	1.23	31	0.8	胴部	U字(中)	繩文	RL			
640	39・20	5.7	5.2	1.1	32	1	胴部	打欠→U字	繩文	LR			
641	32・24	6.2	5.6	1.11	38	1	胴部		文様		中後?		
642	29・23	6.3	4.6	1.37	32	0.8	胴部	U字	文様		中中		
643	39・20	5.8	4.1	1.41	24	0.9	胴部	U字	繩文	不明			
644	34・25	5.8	3.8	1.53	23	0.8	胴部	V字	繩文	RL		661	
645	23・14	5.9	4.9	1.2	29	0.8	胴部	打欠→U字	繩文	0段多条 RL			
646	39・20	5.2	3.7	1.41	21	1	胴部	U字	繩文	RL		660	
647	36・20	5.6	5.2	1.08	34	1	胴部	U字	文様		中中	797	
648	36・22	5.8	4.3	1.35	22	0.7	胴部	U字(中)	繩文	RL			
649	21・19	5.8	4.7	1.23	33	0.9	胴部	U字	繩文	RL		562	
650	25・14	6.1	5.4	1.13	32	1	胴部	打欠	繩文	RL			横長
651	34・25	6.5	5.2	1.25	39	1	胴部	打欠	文様		中~後	815	
652	24・16	5.6	4.5	1.24	29	1.1	口縁部	打欠	無文		中?~中?	536	
653	31・22	6.2	5.5	1.13	41	1	胴部	打欠→U字	繩文	無筋L			
654	28・23	5.3	5.3	1	28	0.8	胴部	V字、打欠	文様		中~後	826	
655	37・23	6.3	5.7	1.11	38	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
656	22・16	5.9	5.2	1.13	31	0.8	胴部	打欠	繩文	LR?			
657	36・?	6.7	5	1.34	41	0.9	胴部	U字	繩文	LR			
658	32・22	6	5.6	1.07	35	0.8	胴部	U字(浅)	繩文	RL			
659	35・25	7	5.7	1.23	40	0.8	胴部	打欠	繩文	LR			
660	32・15	5.5	5.3	1.04	31	1	胴部	U字	繩文	RL		687	
661	25・14	6.2	4.9	1.27	34	0.9	胴部	打欠	繩文	不明			
662	25・14	5.8	5.3	1.09	31	0.7	胴部	打欠→U	繩文	RL			
663	38・22	7.1	5.2	1.37	43	0.9	胴部	U字	繩文	不明			
664	37・22	6.4	4.6	1.39	31	1	胴部	U字	繩文	RL			
665	29・24	6.8	5.3	1.28	33	0.8	胴部	打欠	繩文	LR			
666	10・15	6.8	6.5	1.05	35	0.8	口縁部	すじ	文様		中~後?	517	鉢
667	28・23	6.5	6.1	1.07	38	0.8	胴部	打欠→U字	条痕				
668	34・24	6.5	6	1.08	37	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
669	17・20	6.3	6.4	0.98	41	0.8	胴部	打欠→U字 (中)	無文		中~後	781	浅鉢

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	岡版 番号	備考
670	32-26	7	5.9	1.19	50	1	胴部	U字	繩文	LR		1179	
672	36-21	6.3	5.8	1.09	32	0.8	胴部	U字	繩文	RL			
673	29-24	5.7	4.7	1.21	34	1.2	胴部	打欠 (不明瞭)	文様		中前	785	
674	30-22	5.8	5.6	1.04	40	1.1	胴部	U字(浅)	無文				
675	30-16	7	6.3	1.11	51	0.9	胴部	打欠	無文				
676	19-19	6	4.6	1.3	29	0.8	胴部	打欠	繩文	O段多条 RL			
677	22-16	5.6	5.3	1.06	36	0.9	胴部	U字(中)	繩文	RL			
678	28-22	5.2	4.5	1.16	22	0.9	胴部	U字状、打欠	繩文	LR		576	
679	37-24	6.7	4.5	1.49	32	0.8	口縫部	打欠→U字	無文		中~後		粗製深鉢
680	21-19	6	4.8	1.25	28	0.9	胴部	V字、打欠	文様	中中		809	浅鉢、赤彩
681	34-25	5.5	3.6	1.53	19	0.8	胴部	V字	繩文	LR		656	
682	25-16	5.9	5.2	1.13	37	1	胴部	U字、打欠	文様		中前	795	
683	29-23	5.7	4.5	1.27	32	1	胴部	U字	文様		中後		
684	20-18	5.3	4.8	1.1	21	0.8	胴部	V字	繩文	RL		570	
685	34-18	6	5.4	1.11	32	0.8	胴部	U字	繩文	RL			
686	30-21	5.9	4.3	1.37	29	0.9	口縫部	不明瞭 (U字)	文様		中後	504	
687	25-14	6	5.4	1.11	29	0.8	胴部	U字	繩文	LR			
688	37-24	6.7	5.3	1.26	46	1	胴部	U字	文様		中中		粗製深鉢
689	28-22	6.6	5.3	1.25	31	0.9	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
690	33-25	6.7	4.8	1.4	27	0.8	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
691	37-24	5.9	4.1	1.44	26	0.8	胴部	すじ	文様		中~後		
692	33-24	6.7	5.2	1.29	31	0.7	胴部	U字	無文				
693	33-25	6.9	5.4	1.28	40	1	口縫部	打欠	繩文	RL	中~後	1177	粗製深鉢
694	37-24	6.1	4.7	1.3	33	0.8	口縫部	U字	繩文	RL	中中		粗製深鉢
695	22-19	6.2	5.3	1.17	41	1.1	胴部	U字	繩文	不明			
696	23-17	5.4	5	1.08	31	0.9	胴部	U字(浅)	無文		中~後		葉脈状文
697	20-22	7.2	5.9	1.22	43	0.8	胴部	V字	条痕			735	
698	30-16	6.6	5.6	1.18	43	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
699	39-24	7.5	6	1.25	46	0.8	胴部	打欠→すじ	条痕			732	
700	25-15	6.6	6.5	1.02	35	0.7	胴部	すじ	文様		中~後		
701	25-19	6.8	6.6	1.03	51	0.9	胴部	U字(太)	繩文	RL			
702	40-21	6.9	5.9	1.17	38	0.7	胴部	U字	繩文	RL			
703	35-22	6.5	5	1.3	36	1.3	胴部	打欠 (不明瞭)	文様		中中	800	台付深鉢
705	40-19	5.3	4.6	1.15	23	0.9	胴部	U字(細)	無文				
706	40-19	6.1	4.8	1.27	30	0.8	胴部	打欠→すじ	繩文	LR			
707	36-19	6.5	4.4	1.48	34	1	胴部	不明瞭	無文				
708	24-16	5.9	4.2	1.4	28	1.1	胴部	すじ、打欠→	繩文	RL			
709	25-14	6.2	5	1.24	42	1.1	胴部	U字(浅)	繩文	RL	中中		
710	32-25	6.4	5.3	1.21	28	0.8	胴部	U字(浅)	条痕				
711	23-18	6.5	5.8	1.12	42	0.9	胴部	U字	繩文	RL			
713	33-24	7	6	1.17	45	0.8	口縫部	U字(太)	無文		中~後?		粗製深鉢
714	34-18	7.4	5.1	1.45	40	0.9	口縫部	打欠、U字	文様		中~後	1170	
715	23-20	6.3	5.1	1.21	36	1	胴部	打欠→U字、 不明瞭	文様		中前		
716	17-20	5.3	4.7	1.13	28	0.9	胴部	V字	無文			743	
717	33-25	5.9	5.4	1.09	32	0.9	口縫部	U字(浅)	文様		中後	1161	
718	19-19	5.4	4.9	1.1	25	0.7	胴部	不明瞭、打欠	繩文	RL			
719	30-14	5.9	5.3	1.11	32	1	胴部	すじ	繩文	RL			
720	40-18	5.4	4.9	1.1	30	1	胴部	打欠、不明瞭	無文				
721	17-19	5.5	4.4	1.25	28	0.8	胴部	V字	繩文	RL		561	
722	13-18	6.2	5	1.24	28	0.8	胴部	V字	文様		中~後		
723	36-24	6.6	5.4	1.22	49	1.2	胴部	条痕				730	
724	27-18	6.6	4.7	1.4	38	0.9	口縫部	打欠	無文				無文帯
725	35-16	6.2	5.6	1.11	32	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
726	23・22	5.8	5.5	1.05	31	0.7	胴部	U字	繩文	RL			
727	22・17	6.3	5.5	1.15	30	1.2	胴部	V字	無文			767	
728	32・24	6.6	5.9	1.12	38	0.9	口縁部	U字	文様		中～後	519	
729	38・26	6.6	5.5	1.2	31	0.7	胴部	U字(太)	無文			766	粗製深鉢
730	35・26	7.4	6.1	1.21	40	0.8	胴部	U字	繩文	無節R		648	
731	40・18	5.8	5.3	1.09	38	1	胴部	U字(太)	繩文	RL			
732	31・22	5.3	4.5	1.18	20	0.7	胴部	打欠→U字	繩文	不明			
734	23・14	5.7	5.6	1.02	36	0.9	胴部	打欠→寸じ	繩文	LR			
735	35・28	6.5	6	1.08	45	1	胴部	U字(浅)	条痕			736	
736	25・14	5.5	4.5	1.22	29	1	胴部	打欠→U字 (浅)	繩文	不明			
737	29・23	7	4.7	1.49	36	1	底部	U字(太)					
738	35・19	6.3	4.7	1.34	32	1	口縁部	U字	繩文	LR	中後		粗製深鉢
740	31・24	7.4	5.1	1.45	46	1.1	胴部	U字	繩文	RL			
741	38・26	6.9	5.5	1.25	40	0.9	胴部	V字、打欠→ U字	無文		中～後	768	粗製深鉢
742	32・22	7.5	5.6	1.34	55	1.1	胴部	打欠	無文磨		中～後		浅鉢
743	22・17	6.5	6.4	1.02	39	0.9	口縁部	V字、打欠→ 寸じ	文様		中～後	512	薰脂状文
744	37・18	6.8	5.6	1.21	41	0.8	胴部	打欠	繩文	LR			
745	32・23	7.9	4.5	1.76	38	0.8	胴部	U字	文様		中後		
746	37・22	7.6	5.4	1.41	41	1	胴部	U字	繩文	不明			
747	34・26	7.3	5.8	1.26	42	1	胴部	打欠	繩文	無節L			
748	35・24	7.5	5.9	1.27	45	0.8	胴部	U字(浅)	繩文	RL			
749	24・23	7.2	6.4	1.12	50	1	胴部	U字	条痕				
750	35・24	6.7	6.2	1.08	41	0.9	胴部	U字	繩文	RLR		699	
751	24・16	6.5	6.9	0.94	50	0.9	胴部	打欠	繩文	RL			
752	22・17	7.7	5	1.54	42	0.9	胴部	打欠→U字 (中)	無文		中～後	749	浅鉢
755	40・19	5.6	4.7	1.19	22	0.8	胴部	打欠→U字	繩文	LR			
756	36・24	5.9	4.2	1.4	20	0.7	胴部	打欠	繩文	不明			
757	31・22	6.6	5.6	1.18	30	0.8	胴部	U字、打欠→ U字	繩文	RL			
758	15・18	6.5	5.2	1.25	30	0.7	胴部	U字	繩文	RL		641	
759	30・14	5.4	4.6	1.17	28	0.9	胴部	打欠	繩文	RL		573	
760	31・22	5.1	4.7	1.09	20	0.7	胴部	U字	繩文	RL			
761	31・23	6.1	5.5	1.11	37	0.9	胴部	V字	繩文	不明			
763	36・21	5.7	5.4	1.06	29	0.8	胴部	打欠	繩文	RL		1183	
764	24・18	6	5.2	1.15	36	1	胴部	打欠	繩文	不明			
765	22・19	6.5	5.5	1.18	32	0.8	胴部	V字	繩文	RL			
766	32・22	6.2	4.6	1.35	30	0.9	胴部	V字	繩文	LR			
767	31・22	6.2	5.1	1.22	37	0.9	胴部	U字	無文				
769	34・23	6.1	5.5	1.11	38	1	胴部	U字(細)	繩文	RL		635	
770	23・16	5.5	3.8	1.45	19	0.8	胴部	打欠→寸じ	繩文	不明			
771	36・21	5	4.2	1.19	20	0.9	胴部	打欠	文様		中前	784	
772	35・22	6.4	4.3	1.19	31	0.8	胴部	U字	繩文	RL		669	
773	32・24	6	5	1.2	29	0.8	胴部	U字	条痕				
774	30・21	7.5	4.8	1.56	34	0.9	胴部	打欠	繩文	RL		674	
775	28・22	5.9	4.5	1.31	22	0.8	胴部	打欠 (不明瞭)	文様		中前		
776	31・21	5.5	5.4	1.02	31	1	胴部	打欠	繩文	不明			
777	32・23	5.7	5.2	1.1	36	0.9	胴部	打欠	繩文	RL		565	
778	25・16	6.1	5.6	1.09	41	0.8	胴部	打欠	文様		中前	789	
779	31・23	6	5.3	1.13	38	0.9	胴部	寸じ	繩文	RL		632	
780	24・23	7	5.8	1.21	48	1	胴部	打欠→U字	条痕			731	
781	36・24	6.8	6	1.13	44	0.9	胴部	打欠	繩文	RL			
782	23・23	6.9	5.1	1.35	33	0.7	胴部	V字	条痕			726	
783	40・19	7.2	5.3	1.36	37	0.8	胴部	U字	繩文	LR			
784	32・25	7	5.7	1.23	47	0.8	胴部	V字	繩文	RL			

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
785	36・23	7.6	5.7	1.33	45	0.9	胴部	U字(人)	繩文	RL			
786	35・28	7.3	5.5	1.33	47	1	胴部	U字(太)	無文			751	粗製深鉢
787	31・23	7.4	6.1	1.21	43	0.7	胴部	打欠→すじ	条痕				
788	25・17	6.6	5.8	1.14	42	0.8	胴部	打欠	無文				
789	28・22	7	6	1.17	41	0.8	胴部	U字(太)	繩文	不明			
790	31・22	7.5	6.1	1.23	53	0.9	胴部	U字(縦)	繩文	LR			
791	32・13	7.8	6.1	1.28	52	1	口縫部	U字状、打欠	繩文	LR?	中中	533	粗製深鉢
792	32・22	7.2	6.1	1.18	48	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
793	30・19	7.1	6.2	1.15	46	0.8	胴部	打欠 (U字状)	文様		中前		
794	39・20	7.7	5.7	1.35	40	0.7	胴部	U字、打欠	繩文	RL		603	
795	34・22	7.1	6	1.18	35	0.7	胴部	U字(浅)、 打欠	繩文	RL			
796	24・15	7.5	6.6	1.14	60	0.9	胴部	不明瞭、すじ	繩文	LR		682	
797	32・24	8	6.3	1.27	55	0.9	口縫部	打欠	無文		中~後	774	粗製深鉢
798	25・23	6.9	6.5	1.06	46	0.8	胴部	V字	文様		中後	817	
799	30・22	7.1	6.7	1.06	51	0.9	胴部	打欠、打欠→ すじ	繩文	RL		703	
800	28・22	7.9	5.7	1.39	41	0.7	胴部	すじ、打欠	繩文	RL			
801	30・22	7.3	6.1	1.2	38	0.7	胴部	U字(横並び に2側所)	繩文	RL			
802	33・24	7.5	6.4	1.17	57	1.1	胴部	打欠	繩文	RL			
803	17・20	7.2	6.7	1.07	39	0.8	胴部	U字(縦)、 打欠→すじ	無文		中~後	773	浅鉢
804	37・15	7.3	6.5	1.12	55	0.9	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
805	33・24	7.9	5.8	1.36	46	0.8	胴部	打欠→U字	無文		中~後	775	粗製深鉢
806	30・22	7.9	6.3	1.25	46	0.8	胴部	打欠 (U字状)	文様		中後	810	
807	32・23	7.8	6.6	1.18	42	0.6	胴部	打欠	繩文	RL			
808	36・21	7.6	6.2	1.23	50	0.9	胴部	U字	繩文	LR		652	
809	22・17	7.8	7	1.11	43	0.6	胴部	U字(中)	条痕			733	
810	28・22	7.8	7.1	1.1	75	1.1	胴部	打欠 (U字状)	文様		中後	811	
811	30・22	7.5	7	1.07	53	0.9	口縫部	U字	文様		中後	509	
812	31・22	7.3	7.5	0.97	61	1.1	口縫部	打欠	繩文	不明	中~後	511	
813	25・23	7.9	6.8	1.16	61	1.3	胴部	不明瞭	文様		中後	820	
814	34・23	4.9	4.7	1.04	24	0.7	胴部	不明瞭	繩文	RL			
815	17・19	5	4.3	1.16	30	0.8	胴部	U字(浅)	繩文	不明			
816	25・14	5	4.5	1.11	26	0.9	胴部	U字(太)	無文				
817	34・26	5	5.1	0.98	24	0.7	胴部	V字	繩文	RL		688	
818	40・19	5.5	5.4	1.02	25	0.7	胴部	打欠	繩文	RL		684	
819	25・14	5	4.9	1.02	34	1.2	胴部	打欠	無文				
820	33・20	5.2	5.1	1.02	40	1.3	胴部	打欠	繩文	LR			
821	38・22	5.1	4.9	1.04	27	0.8	胴部	打欠→すじ	繩文	RL			
822	30・21	4.9	4.9	1	34	1.1	胴部	打欠→すじ	繩文	不明			
823	21・17	5.5	4.7	1.17	29	1.9	胴部	U字	繩文	LR			
824	38・22	5	4.7	1.06	28	1	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
825	30・18	4.7	4.7	1	26	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
826	17・22	4.9	4.8	1.02	34	1	胴部	すじ	繩文	RL		557	
827	28・18	5	4.2	1.19	24	0.9	胴部	打欠	繩文	LR			
828	36・22	4.8	4.4	1.09	21	0.7	胴部	打欠→すじ	無文			742	
829	23・21	4.7	4.6	1.02	21	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
830	30・24	5	5.1	0.98	23	8	胴部	打欠→すじ	条痕			724	
831	39・19	4.9	4.6	1.07	24	0.8	胴部	不明瞭	繩文	LR			
832	23・19	4.7	4.2	1.12	25	0.9	胴部	打欠	繩文	LR			
833	22・17	4.6	4.5	1.02	24	0.9	胴部	V字	繩文	RL		554	
834	20・22	4.7	4.5	1.04	23	0.9	胴部	打欠	繩文	LR			
835	10・19	4.7	4.3	1.09	14	0.6	胴部	V字	無文			738	
836	36・20	4.3	4.1	1.05	23	1	胴部	打欠	文様		中前	788	

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	回版 番号	備考
837	25・15		5	4.3	1.16	22	0.8	胸部	U字状, 打欠	繩文	LR	558	
838	39・19		4.7	4.1	1.15	20	0.8	胸部	打欠、打欠→U字	繩文	不明		
839	27・17		4.9	4.3	1.14	18	0.7	底部	U字				
840	40・18		4.8	4.1	1.17	19	0.8	胸部	不明瞭	繩文	RL		
841	24・17		5	4.3	1.16	21	0.8	胸部	U字	繩文	不明		
842	39・19		4.9	4.2	1.17	26	1	胸部	U字(太)	繩文	不明		
843	39・19		5	4	1.25	23	1	胸部	打欠	繩文	RL		
844	24・17		4.7	4.2	1.12	19	0.8	胸部	不明瞭	繩文	RL	553	
845	33・22		4.6	4.2	1.1	18	0.7	胸部	打欠→U字	繩文	不明		
846	30・21		4.5	4.1	1.1	27	1.1	胸部	不明瞭	繩文	LR?	608	
847	31・22		4.8	4	1.2	21	0.8	胸部	U字	繩文	RL	606	
848	35・24		5	3.4	1.47	19	0.8	胸部	V字	繩文	RL	655	
849	33・24		4.3	3.8	1.13	20	1	胸部	すじ	繩文	RL		
850	35・19		4.3	4.1	1.05	15	0.6	胸部	打欠→すじ	無文			
851	20・18		3.7	3.3	1.12	13	0.7	胸部	V字	繩文	RL	845	
852	18・21, 22		3.9	3	1.3	12	0.6	口縁部	すじ	無文		857	
853	25・17		3.7	3.0	1.09	12	0.6	胸部	すじ	無文		849	
854	36・24		3.4	3.2	1.06	11	1	胸部	すじ	繩文	RL		底部付近
855	25・18		3.4	2.8	1.21	10	0.8	胸部	すじ	文様		839	
856	17・19		3.7	2.9	1.28	9	0.8	胸部	すじ	繩文	RL	840	
857	37・26		3.1	3	1.03	11	0.9	胸部	U字(頃)	無文		836	
858	28・17		8.3	6.5	1.28	54	0.8	胸部	繩文	RL		720	
859	26・22		8.1	6.5	1.23	32	0.6	胸部	すじ	無文		776	
860	24・20		8.6	8.4	1.02	71	1	胸部	U字	繩文	RRL?	718	
861	24・17		8.6	5.7	1.51	53	0.8	胸部	打欠	繩文	RL	678	
862	37・20		8.1	6.6	1.23	50	0.8	胸部	U字	繩文	RL	705	
863	21・21		8.4	6.8	1.24	64	0.8	胸部	打欠→U字	繩文	RL		
864	39・27		8.7	7.3	1.19	89	1.1	胸部	U字	繩文	RL	713	
865	39・19		8	5.6	1.43	50	1	胸部	U字	繩文	不明		
866	17・20		8.2	7.8	1.05	62	0.9	胸部	V字	無文		778	
867	28・21		8.7	6.4	1.36	76	1.4	口縁部	U字	文様		505	
868	29・25		8.1	6	1.35	60	1.4	口縁部	打欠→U字	文様		521	
869	28・24		8.6	5.3	1.62	42	0.9	胸部	打欠→すじ	繩文	LR	677	
870	35・20		5.6	4.8	1.17	22	0.6	胸部	U字	繩文	不明		
872	26・16		5.3	4.8	1.1	36	1.1	胸部	不明瞭	繩文	無筋L	618	
873	23・15		5.1	4.9	1.04	26	0.8	口縁部	打欠	繩文	RL		
874	21・18		5.5	4.7	1.17	28	0.8	胸部	不明瞭	繩文	RL	613	
875	30・20		5.1	4.8	1.06	28	0.9	胸部	打欠	繩文	RL	569	
876	25・14		5.9	4.5	1.31	26	0.9	口縁部	打欠、不明瞭	文様		中中	495
877	22・15		5.1	4.3	1.19	23	0.9	胸部	U字	繩文	LR		
878	22・18		5.4	4.9	1.1	28	0.8	胸部	打欠	繩文	RL		
879	30・24		5.7	4.4	1.3	21	0.6	胸部	U字	繩文	不明		
880	27・16		5.3	5.1	1.04	30	0.9	胸部	U字(中)	無文			
881	28・21		5.3	4.5	1.18	20	0.7	胸部	打欠	繩文	RL	607	
882	18・19		5.4	4.7	1.15	30	0.8	胸部	V字	繩文	RL	625	
883	20・21		5.5	50	1.1	32	1	胸部	U字	繩文	LR		
884	30・24		5.3	4.7	1.17	26	0.8	胸部	U字	繩文	RL		
885	17・17		5.3	5.2	1.02	27	0.8	胸部	すじ	繩文	RL	685	
886	26・16		5.3	4.9	1.12	41	1.1	胸部	U字	繩文	LR	633	
887	29・23		5.2	3.7	1.41	22	0.9	胸部	V字	無文			
888	19・18		5.6	4.5	1.24	31	0.9	胸部	打欠	繩文	RL		
889	26・24		5.9	5	1.18	34	0.9	胸部	打欠 (U字状)	文様		中中	
890	25・12		6	4.9	1.22	37	0.9	胸部	不明瞭	繩文	不明		
891	40・19		5.1	4.5	1.13	25	0.8	胸部	V字	無文			
892	22・15		5.5	4.5	1.22	25	0.8	胸部	打欠	繩文	0段多条 RL		

整理番号	X・Y	長軸(cm)	短軸(cm)	長短比率	重量(g)	厚さ(cm)	使用部位	切目形態	文様	焼り	時期	図版番号	備考
893	18・19	5.5	3.4	1.62	27	1	胴部	U字	繩文	LR		657	
894	22・18	5.3	4.7	1.13	24	0.8	口縁部	U字	繩文	RL			
895	23・15	6	4.2	1.43	31	1	胴部	U字	繩文	不明		668	
896	21・18	5.2	4.4	1.18	31	1.1	胴部	打欠	繩文	RL		556	
897	22・15	5.5	4.9	1.12	39	1.1	口縁部	打欠→U字(縦)	無文		中~後		粗製深鉢
898	24・20	5.5	5.2	1.06	34	0.9	胴部	U字(縦)	繩文	LR			
899	25・16	5.3	4.9	1.08	34	1	胴部	打欠,すじ	文様		中中	760	
900	24・15	5.5	5.5	1	40	0	胴部	U字(太)	繩文	RL			
901	20・20	5.7	4.7	1.21	37	1.1	胴部	不明瞭	無文				
902	30・24	5.1	4.8	1.06	24	0.9	口縁部	U字,打欠	文様		中後		
903	28・23	5.1	5	1.02	36	1.1	胴部	U字	繩文	RL			
904	26・20	5.6	4.4	1.27	30	1	口縁部	U字	繩文	RL			
905	22・20	5.3	5.3	1	25	0.7	胴部	打欠	繩文	不明			
906	24・17	5.3	4.7	1.13	32	1.1	胴部	打欠	繩文	不明			
907	21・17	5.5	4.1	1.25	28	1	口縁部	U字	繩文	RL			
908	24・15	5.7	4.5	1.27	27	0.8	胴部	すじ	繩文	RL		1182	
909	33・18	5.5	4.7	1.17	26	0.8	胴部	打欠,U字状	繩文	RL		581	
910	23・18	5.5	4.8	1.15	32	0.9	胴部	打欠→すじ	繩文	不明			
911	25・14	5.3	4.6	1.15	28	0.9	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
912	24・17	5.3	5.2	1.02	26	0.8	胴部	打欠→すじ	繩文	RL			Q段多条
913	24・15	5.3	5.3	1	39	0.9	胴部	U字(縦)	繩文	RL			
914	23・20	5.3	5.1	1.04	35	1	胴部	U字(縦)	繩文			746	粗製深鉢
915	20・18	6.4	4.8	1.33	30	0.8	胴部	打欠→U字	無文				
916	30・24	5.9	5.5	1.07	36	0.8	胴部	すじ	繩文	RL		627	
917	24・17	5.8	5	1.16	32	0.8	胴部	U字	無文				
918	32・25	6.1	5.4	1.13	35	0.8	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
919	18・19	5.6	5.7	0.98	36	0.9	胴部	打欠	繩文	RL			
920	30・24	6	5.8	1.03	42	1	胴部	U字	繩文	LR		691	
921	33・24	5.4	5.1	1.06	28	0.9	口縁部	打欠→すじ,すじ	文様			510	
922	30・22	5.5	5.5	1	38	0.8	胴部	U字(縦)	無文			761	粗製深鉢
923	21・15	5	4.8	1.04	42	1.1	胴部	打欠	繩文	LR		622	
924	22・15	5.9	5.1	1.16	39	1	胴部	打欠	繩文	RL		628	
925	24・15	5.8	5.2	1.12	38	0.9	胴部	U字	繩文	LR		631	
926	23・18	6.8	5.1	1.33	40	0.9	胴部	不明瞭	繩文	RL		590	
927	30・20	6.4	8	0.8	38	0.8	胴部	U字	無文			747	
928	30・24	6.4	5.1	1.25	31	0.8	胴部	打欠	繩文	RL?		587	
929	23・15	6.1	5.4	1.13	36	0.8	胴部	U字	繩文	LR			
930	23・20	6.1	5.2	1.17	28	0.6	胴部	打欠	繩文	RL			
931	21・18	6	5.5	1.09	36	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
932	24・19	6.2	4.5	1.38	27	0.8	胴部	打欠→V字	繩文	LR			
933	30・20	6.3	4.9	1.29	30	0.8	口縁部	打欠	繩文	RL	中中		粗製深鉢
934	26・15	6.1	5	1.22	40	0.9	胴部	打欠	文様		中前	791	
935	22・15	6	5.8	1.03	36	0.9	胴部	U字	繩文	RL			
936	20・20	6.7	5	1.34	44	1.1	口縁部	V字	無文		中~後		粗製深鉢
937	21・18	6	5.2	1.15	40	0.9	胴部	打欠	繩文	RL		592	
938	28・20	5.6	5.6	1	36	0.8	胴部	U字	繩文	RL			
939	20・21	5.6	5.1	1.1	34	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
940	30・22	5.9	5.4	1.09	32	0.8	胴部	打欠	繩文	RL		634	
941	24・20	6.3	3.9	1.62	28	0.8	胴部	U字	繩文	LR		664	
942	39・16	5.4	5.3	1.02	37	0.9	胴部	U字	文様		中前		
943	26・22	5.9	5.2	1.13	33	0.9	口縁部	U字,打欠	繩文	RL	中後	531	粗製深鉢
944	33・23	6.5	5.2	1.25	45	1.2	口縁部	打欠	繩文	無筋R	中~後		粗製深鉢
945	30・23	6	5.5	1.09	37	0.8	胴部	V字	繩文	RL			
946	36・23	6.7	4.7	1.43	32	0.7	胴部	打欠,不明瞭	繩文	RL		600	
947	25・14	6	5	1.2	30	0.8	胴部	打欠	繩文	不明			
948	20・22	6.4	4.4	1.45	35	1	胴部	U字(縦)	条痕				

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	回版 番号	備考
949	26・16	5.7	4.3	1.33	25	0.7	胴部	V字	縄文	RL		615	
950	33・25	5.5	5.5	1	37	1	胴部	打欠、すじ	無文				粗製深鉢
951	22・18	6	4.4	1.36	32	0.9	胴部	U字(浅)	縄文	不明			
952	28・24	5.3	4.8	1.1	32	1	胴部	U字(太)	縄文	無部L			
953	17・20	5.5	5.5	1	32	0.8	胴部	すじ	縄文	RL			
954	29・24	5.1	5	1.02	26	0.7	胴部	不明瞭、U字	縄文	RL			
955	21・19	5.5	4.7	1.17	27	0.8	胴部	打欠	縄文	J.R		572	
956	30・22	5.2	5.2	1	39	1.2	胴部	V字	縄文	RL			
957	23・20	6	4.1	1.46	30	0.8	胴部	U字(太)	縄文	不明			
958	22・18	6.4	4.6	1.39	38	1	胴部	U字(太)	縄文	RL			
959	26・24	6.4	4.8	1.33	31	0.8	胴部	U字	無文			764	
960	24・17	5.8	5.3	1.09	35	0.9	胴部	打欠、不明瞭	文様	中前			
961	29・23	6	4.7	1.28	35	0.8	胴部	U字	条痕				
962	29・23	6.2	5	1.24	36	1	胴部	U字、打欠→ U字	無文				
963	26・19	5.5	5.3	1.04	32	0.7	胴部	打欠 (両方向)	文様		中~後	832	
964	28・25	6.5	4.6	1.41	32	0.9	胴部	すじ	縄文	RL			
965	30・23	6.2	5.4	1.15	38	0.8	胴部	U字	縄文	0段多条 RL		585	
966	26・17	6.1	5.3	1.15	34	0.8	胴部	V字	縄文	RL			
967	24・18	6.3	5.1	1.24	34	0.8	胴部	打欠→U字	縄文	RL			
968	25・12	5.6	5.1	1.04	39	0.9	U縁部	U字	縄文	不明	中中		粗製深鉢
969	30・25	6.7	5.2	1.29	40	0.9	胴部	U字	無文				
970	19・20	6.9	4.8	1.44	44	1.1	胴部	すじ	無文			763	粗製深鉢
971	26・20	6.7	4.9	1.37	40	1	胴部	U字(太)	縄文	不明			
972	20・20	6.1	4.6	1.33	28	0.8	胴部	打欠	縄文	RL		577	
973	17・20	6.9	5.8	1.19	40	0.8	胴部	打欠→すじ	無文			748	
974	30・21	6.1	5.5	1.11	40	1	胴部	U字、打欠	縄文	不明			
975	30・23	5.8	5.2	1.12	30	0.6	胴部	U字	縄文	RL		620	
976	23・15	6.4	5.2	1.23	39	0.9	胴部	すじ、打欠→ すじ	無文				
977	24・17	6.2	5.8	1.07	35	0.8	胴部	打欠	無文				
978	24・17	6	5.9	1.02	41	0.9	胴部	U字、打欠	縄文	RL		692	
979	20・17	6.7	4.6	1.46	41	1	胴部	U字(浅)	縄文	LR			
980	30・23	6.4	5.5	1.16	40	0.8	胴部	不明瞭	縄文	LR		643	
981	30・30	6.4	5.5	1.16	39	0.8	胴部 (中)	打欠、U字 (中)	縄文	RL			
982	23・17	6.5	5.4	1.2	41	0.8	口縁部	打欠→U字	縄文	RL	中中	528	粗製深鉢
983	27・23	6.8	5.4	1.26	38	0.8	胴部	打欠	無文				
984	26・19	6.4	6.4	1	44	0.8	胴部	U字(太)	縄文	LR			
985	23・16	6.7	5.4	1.24	39	0.7	胴部	打欠→すじ、 すじ	無文				
986	22・18	5.7	5.3	1.08	37	0.9	胴部	U字(太)	条痕	無筋R			
987	25・12	6.3	5.8	1.09	45	1	胴部	打欠→U字 (太)	縄文	RL			
988	30・22	7	5.1	1.37	43	0.9	口縁部	U字(浅)	文様		中中~ 中後	499	
989	22・18	6.6	5.7	1.16	40	0.9	胴部	不明瞭	縄文	RL		584	
990	18・21	6.7	5.9	1.14	44	0.9	胴部	V字、打欠→ V字	縄文	RL			
991	29・25	6.7	5.6	1.2	33	0.7	口縁部	すじ	無文崩		中~後		浅鉢
994	23・20	7.1	5.2	1.37	47	1.3	胴部	打欠、U字状	文様		中中		
995	22・18	6.5	6	1.08	42	0.8	胴部	打欠(V字)	文様		中~後	824	
996	21・17	6.2	5.8	1.07	40	0.8	口縁部	すじ	無文		中~後		
997	16・21	6.5	6.2	1.05	45	0.9	胴部	V字	無文		中~後	769	浅鉢
998	36・18	7.1	5.2	1.37	44	0.9	胴部	打欠→U字、 U字	文様		中後		
999	18・21	6.6	6	1.1	40	0.8	胴部	U字、不明瞭	文様	RL	中~後	823	

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短竪 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
1000	22・20	6.8	5.5	1.24	47	0.9	胴部	打欠→U字	繩文	RL			
1001	23・19	7.5	5.1	1.47	48	0.8	胴部	すじ、打欠	無文縦		中～後	771	浅鉢
1002	21・17	6.8	5.2	1.31	32	0.7	胴部	U字	繩文	RL		637	
1003	21・18	6.9	5.4	1.28	51	1.3	胴部	打欠 (不明瞭)、 U字状	文様		中後?		
1004	37・19	6.3	5.8	1.09	42	1.1	胴部	打欠→すじ	繩文	RL			
1005	29・22	6.9	6.1	1.13	37	0.8	胴部	U字(縦)	繩文	RL			
1006	38・18	7.4	5	1.48	44	0.9	胴部	打欠	繩文	不明			
1007	16・20	6.8	5.9	1.15	36	0.8	L1縦部	すじ	無文縦		中～後	543	浅鉢?
1008	25・12	6.1	5.2	1.17	36	1	胴部	U字(浅)	無文	不明			
1009	32・25	6.1	5.3	1.15	47	1.2	胴部	U字、打欠	文様		中～後	830	
1010	22・20	6.9	4.7	1.47	36	0.9	胴部	すじ	繩文	RL		598	
1011	23・19	6.8	6.3	1.08	38	0.7	胴部	打欠	文様				
1012	24・19	7.3	6.3	1.16	35	0.8	胴部	V字	繩文	不明			
1013	29・22	6.2	5.4	1.15	47	1.5	胴部	U字	文様		中後		
1014	27・16	7.4	6.3	1.17	50	0.9	胴部	U字	文様		中後		
1015	29・25	7	5.8	1.21	42	0.8	胴部	すじ	繩文	無筋L		650	
1016	26・16	6.3	5.6	1.13	36	0.8	胴部	すじ、打欠	文様		中前	790	
1017	18・20	7.1	5.6	1.27	51	1	胴部	U字(中)	無文		中～後	770	粗製深鉢
1018	22・20	7	5.2	1.35	41	1	胴部	打欠→U字 (太)	無文		中～後	765	粗製深鉢
1019	18・21	7.7	5.1	1.51	46	1	胴部	U字(太)	条痕				
1020	29・23	7.4	6.1	1.21	58	1	胴部	U字(太)	繩文	RL			
1021	29・23	6.4	6.1	1.05	42	0.8	胴部	打欠→すじ	繩文	LR			
1022	20・18	6.9	6	1.15	55	1	胴部	打欠→U字	文様		中中	806	
1024	24・17	6.6	6.1	1.08	46	0.8	胴部	V字(浅)	繩文	LR			
1025	25・16	6.1	5.8	1.05	47	0.9	胴部	U字(太)	繩文	RL			
1026	24・20	6.8	6	1.13	49	0.9	胴部	打欠	繩文	RL			
1027	32・25	6	5.7	1.05	30	0.6	胴部	V字	無文				
1028	30・23	7.3	5.4	1.35	40	0.7	胴部	U字(太)	繩文	無筋R			
1029	20・18	7.2	5.6	1.29	51	1.1	胴部	U字	繩文	LR		647	
1030	30・21	7.1	4.9	1.45	49	1.2	胴部	U字(太)	無文				
1031	25・16	6.9	5.6	1.23	40	0.7	胴部	打欠	繩文	RL			
1032	20・18	6.2	5.6	1.11	45	1.1	胴部	U字	無文		中～後		粗製深鉢
1033	24・20	6.5	5.9	1.1	34	0.8	胴部	打欠→U字	繩文	LR			
1034	27・23	6.9	5.6	1.23	41	0.9	胴部	V字	繩文	RL			
1035	27・23	7	5.4	1.3	38	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
1036	25・16	6.6	6.1	1.08	48	0.9	胴部	打欠	繩文	不明			
1037	22・18	6.6	6	1.1	51	1.3	胴部	打欠	文様		中中		
1038	29・23	6.5	6.4	1.02	45	0.8	胴部	打欠→U字 (太)	繩文	不明			
1039	26・16	6.8	5.7	1.19	53	1.1	胴部	U字	繩文	RL		640	
1040	30・23	7.4	5.7	1.3	48	0.8	胴部	U字、打欠→	繩文	RL			
1041	39・19	7.9	4.9	1.61	34	0.7	胴部	U字(浅)	繩文	RL		675	
1042	23・15	7.5	5.1	1.47	48	1.2	L1縦部	打欠、U字状	文様		中前	493	
1043	22・18	7	6	1.17	55	1.1	胴部	V字	繩文	RL			
1044	27・19	6.8	6	1.13	58	1.1	胴部	打欠	繩文	RL		646	
1045	18・19	7.6	6.4	1.19	43	0.7	胴部	打欠	繩文	RL			
1046	37・20	7.8	6.8	1.15	45	0.8	胴部	不明瞭	繩文	Q段多条 LR		602	
1047	30・23	7.1	6.9	1.03	50	0.8	胴部	U字	繩文	RL		704	横長
1048	20・19	7.9	6	1.32	39	0.7	胴部	打欠	文様		中後		
1048	20・19	7.9	6	1.32	39	0.7	胴部	打欠	文様		中後		
1049	26・22	7.5	6.5	1.15	49	0.8	胴部	打欠→U字 (太)	繩文	RL		700	
1050	30・23	6.8	6	1.13	45	0.9	胴部	不明瞭	繩文	RL			

整理番号	X-Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	圓版 番号	備考
1051	34-29	7.7	6	1.28	48	0.8	脣部	打欠、打欠→ U字	縹文	RL			
1052	21-21	8	5.4	1.48	53	0.9	口縁部	U字	文様		中後	503	
1053	29-22	7.3	6.5	1.12	70	1	口縁部	U字	文様		中後	502	
1054	29-22	7.4	6.8	1.09	65	1.2	脣部	U字	縹文	RL			
1055	29-13	7.5	6.5	1.15	48	0.9	脣部	U字(太)	縹文	RL			
1056	20-22	7.4	6.4	1.16	50	0.8	脣部	U字	柔軟				
1057	20-21	7.5	6.3	1.19	45	0.8	口縁部	打欠→U字	文様		中後	508	
1058	18-19	7.3	5.7	1.28	63	1.2	口縁部	U字	文様		中後	1160	粗製深鉢
1059	29-25	7.8	6.3	1.24	68	1.1	脣部	すじ	文様		中中	796	
1060	24-23	7.1	6	1.18	48	0.7	脣部	U字	文様		中後		
1061	27-16	7.1	6.5	1.09	49	0.8	脣部	打欠	縹文	LR			
1062	39-18	6.9	7	0.99	52	0.7	脣部	打欠→U字、 U字	縹文	RL			
1063	22-20	7.8	6.1	1.28	48	0.8	脣部	打欠	縹文	RL	中~後		
1064	20-19	7.5	6.2	1.21	60	1.2	I縁部	U字	文様		中後	1165	
1065	20-21	7.9	7.3	1.08	74	0.9	脣部	不明塵	縹文	RL		654	
1066	19-18	7.8	7.3	1.07	55	0.8	脣部	打欠→J字	縹文	LR			
1067	18-19	7.3	7.1	1.03	51	0.8	脣部	V字	無文		中~後	783	浅鉢
1068	39-19	5.9	5.7	1.04	38	0.8	脣部	打欠	縹文				
1069	24-20	6.8	5.1	1.33	52	1	脣部	U字(太)	縹文	LR			
1070	26-20	5.8	5.3	1.09	31	0.8	脣部	V字	縹文	RL		694	横長
1071	26-13	6.2	4.5	1.38	38	1.1	脣部	打欠	縹文	RL			
1072	24-19	6.3	4	1.58	25	0.7	脣部	打欠→U字	縹文	RL		667	
1073	23-13	5.5	5	1.1	28	0.8	脣部	すじ(深)	縹文	LR			
1074	22-21	5.2	4.5	1.16	28	0.8	脣部	打欠	無文				
1075	29-21	6	5	1.2	38	1.1	口縁部	U字(浅)	文様		中後	1159	
1076	30-21	5	5.1	0.98	19	0.8	脣部	打欠	縹文	O段多条 RL			
1077	32-19	5	4.7	1.06	17	0.6	脣部	打欠、すじ	縹文	LR		614	
1078	31-23	4.7	4.5	1.04	22	0.8	脣部	打欠→U字	縹文	LR?		610	
1079	27-17	4.6	4.7	0.98	21	0.9	脣部	打欠	縹文	RL			
1080	20-18	4.9	4.7	1.04	26	0.9	脣部	打欠→U字	縹文	RL			
1081	33-15	4.8	4.5	1.07	22	0.8	脣部	U字状、打欠	文様		中中		粗製深鉢
1082	23-19	4.7	4.8	0.98	22	0.8	脣部	U字(或)	縹文	RL			
1083	31-21	5.1	3.8	1.34	22	1	脣部	打欠	文様		中前	786	
1084	25-12	4.5	4.6	0.98	23	1	脣部	U字(太)	縹文		不明		
1085	17-17	4.9	4.2	1.17	18	0.7	脣部	U字	無文		中~後		浅鉢
1086	30-25	5	4.2	1.19	24	1.1	脣部	V字	文様		中~後	827	蕉葉状文
1087	24-19	4.9	4.8	1.02	24	1	脣部	打欠、U字	文様		中中	798	
1088	24-15	5	3.8	1.32	23	0.9	脣部	U字	縹文		不明		
1089	34-22	4.5	4.5	1	28	1	脣部	U字、打欠→ U字	縹文	LR		609	
1090	26-17	4.6	4	1.15	20	0.9	口縁部	打欠	無文				
1091	23-15	4.3	4.2	1.02	25	1	脣部	U字(太浅)	無文			757	
1092	30-21	4.6	4.1	1.12	21	0.9	脣部	打欠→U字	縹文		不明		
1093	31-22	4.3	4.3	1	15	0.7	脣部	打欠	縹文	RL			
1094	21-18	4.2	3.7	1.14	18	0.9	脣部	打欠→U字	縹文	LR		605	
1095	33-25	5	3.2	1.56	17	0.8	脣部	すじ(浅)	文様		中~後	871	
1096	17-19	4.2	3.7	1.14	17	0.8	脣部	打欠→すじ	無文			737	
1097	30-25	4.2	3.5	1.2	12	0.7	脣部	すじ、打欠→ すじ	縹文	RL		861	
1098	13-19	4.3	3.2	1.34	13	0.7	脣部	すじ	縹文		不明	860	
1099	38-25	3.9	2.9	1.34	14	1.1	脣部	すじ、打欠	縹文		不明	846	
1100	20-21	3.7	2.8	1.32	12	0.9	脣部	U字	縹文		不明	847	
1101	35-26	3.6	2.8	1.29	10	0.7	脣部	すじ	縹文	LR		841	
1102	26-24	3.2	2.7	1.19	9	0.8	脣部	すじ	無文			837	
1104	32-20	8.1	4.8	1.69	43	0.8	脣部	U字	縹文	RL		676	
1142	17-19	8.1	6.5	1.25	58	0.8	脣部	V字	無文		中~後	754	浅鉢

整理番号	X-Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切自 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
1143	27・23	8.8	7.8	1.13	60	0.7	胴部	すじ	縄文	RL		715	
1144	25・17	7.9	8	0.99	90	1.3	底部	打欠→V字				878	
1145	36・19	5	4.9	1.02	28	0.7	胴部	打欠	縄文	RL		575	
1146	36・20	5.2	4.3	1.21	32	0.8	胴部	U字(太)	縄文	LR			
1147	36・19	5.6	4.8	1.17	34	0.9	胴部	打欠 (不明瞭)	縄文	不明			
1148	26・11	5.6	5.1	1.1	25	0.7	胴部	打欠	縄文	RL			
1149	32・22	5.6	4.8	1.17	28	0.9	胴部	U字(浅)	縄文	RL			
1150	24・18	5.4	4.8	1.12	32	1	口縁部	打欠	無文	中中			粗製深鉢
1152	31・23	5.3	5	1.06	25	0.6	胴部	打欠	縄文	RL		567	
1153	26・14	5.8	4.4	1.32	28	0.7	胴部	打欠→U字 (幅)	縄文	RL			
1155	27・24	5.3	5.4	0.98	31	0.9	胴部	打欠	縄文	LR			
1154	25・16	5.2	5.3	0.98	25	0.7	胴部	打欠→U字	縄文	不明			
1156	22・20	5.2	5	1.01	25	0.8	胴部	打欠→U字	縄文	0段多条			
1157	22・20	5.4	5	1.08	40	1.1	口縁部	不明瞭	縄文	RL			
1158	26・11	6.1	4.8	1.27	34	1.2	口縁部	U字	縄文	RL	中中		粗製深鉢
1159	26・11	5.3	3.8	1.39	20	0.8	胴部	U字	縄文	RL		658	
1160	37・17	5.5	5	1.1	38	1.1	胴部	V字	縄文	RL		568	
1161	9・16	5.1	4.7	1.09	28	0.9	胴部	U字(太)	縄文	RL			
1162	20・28	6	4.8	1.25	29	0.8	胴部	U字	縄文	RL		679	
1163	16・16	5.7	5	1.14	38	1.1	胴部	打欠	縄文	不明			
1164	21・22	6.2	3.5	1.77	24	0.9	胴部	不明瞭	縄文	LR		665	
1165	30・22	6.3	4.6	1.37	37	0.8	胴部	不明瞭	縄文	RL		593	
1166	25・20	5.9	5.2	1.13	28	0.7	胴部	U字	縄文	RL		621	
1167	26・17	6	5	1.2	43	1.1	胴部	打欠→すじ	縄文	LR			
1168	26・14	6.1	5	1.22	39	0.9	胴部	打欠、打欠→ すじ	文様	中前		792	
1169	20・20	6.3	5	1.26	30	0.7	胴部	U字(縦)	縄文	不明			
1170	23・16	5.5	4.2	1.31	22	0.9	胴部	U字	縄文	LR		1181	
1171	27・10	6.2	4.9	1.27	36	0.9	胴部	打欠→U字	縄文	RL			
1172	27・13	6.6	4.6	1.43	41	1	口縁部	打欠	無文		中~後		粗製深鉢
1173	25・15	6.1	4	1.52	48	1.2	胴部	打欠	文様	中前			
1174	6・16	6.8	4.5	1.51	33	0.8	胴部	V字	縄文	RL		597	
1175	29・22	5.8	5.4	1.07	37	0.9	胴部	U字	縄文	RL		629	
1176	25・20	6.1	4.9	1.31	37	1	胴部	打欠 (不明瞭)	縄文	RL			0段多条
1177	29・22	5.9	4.7	1.26	35	1	胴部	打欠→U字	縄文	3段			
1178	20・19	5.1	5.2	0.98	33	1	胴部	U字(太) 打欠	縄文	不明			
1179	26・17	6.3	5.2	1.21	36	0.8	胴部	不明瞭	縄文	LRL?		579	
1180	24・19	6.3	5.5	1.15	46	1	胴部	U字	縄文	RL		589	
1181	26・14	6.1	5.3	1.15	34	0.7	胴部	打欠	無文				
1182	37・18	6.7	4.7	1.43	35	0.9	胴部	U字(浅)	縄文	不明			
1183	22・20	6.5	4.1	1.59	32	1	胴部	不明瞭	縄文	RL		599	
1184	26・24	6.5	5.2	1.25	30	0.7	胴部	打欠	文様	中後			
1185	24・22	7	5.5	1.27	39	0.9	胴部	打欠	縄文	0段多条			
1186	20・17	6.1	5.8	1.05	37	0.8	胴部	打欠、U字	文様	RL			
1187	36・19	5.8	5.4	1.07	43	1	胴部	打欠→U字	縄文	RL			
1188	40・19	6.4	4.9	1.31	36	0.8	胴部	U字	文様		中後		
1189	22・20	6.3	5.5	1.15	41	0.9	口縁部	打欠→U字	縄文	RL	中中		粗製深鉢
1190	31・22	7.2	4.3	1.67	39	0.9	口縁部	打欠	縄文	LR	中中		粗製深鉢
1191	20・20	7.1	5.3	1.34	41	1	胴部	U字	文様		中~後		
1192	27・10	6.4	6	1.07	41	0.9	口縁部	打欠	縄文	RL	中中		粗製深鉢
1193	25・17	6.4	5.9	1.08	56	1	胴部	打欠	文様				
1194	24・18	6.1	6	1.02	43	0.9	胴部	打欠	縄文	不明			
1195	20・22	6.5	5.8	1.12	45	0.9	口縁部	U字(縦)	条痕	中後		549	粗製深鉢

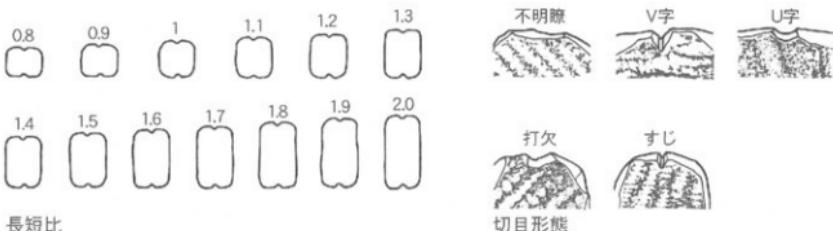
整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	回版 番号	備考
1196	20・22	7.5	5.5	1.36	51	1	胴部	U字	条痕				
1197	21・22	7	5.5	1.27	40	0.7	胴部	U字	繩文	RL			
1198	27・17	7	5.7	1.23	51	0.9	胴部	U字	繩文	LR			
1199	20・20	6.6	6.1	1.08	43	1	口縁部	打欠	文様		中前	494	
1200	33・22	6.9	6.1	1.13	46	0.9	胴部	すじ	繩文	RL		594	
1201	29・15	6.6	6.1	1.08	56	1	胴部	すじ	繩文	RL		642	
1203	16・20	7.8	6	1.3	41	0.6	胴部	U字	繩文	不明			
1204	20・18	7.3	7	1.04	50	0.8	胴部	U字	文様		中後	816	
1205	27・22	7.4	5.7	1.3	54	1	胴部	U字	無文		中～後	753	粗製深鉢
1206	20・20	7.8	6	1.3	59	1.1	口縁部	U字	文様		中後	1162	
1207	27・22	7.2	6.4	1.12	42	0.8	胴部	U字	文様		中～後		
1208	24・18	7.6	6.5	1.17	53	0.9	胴部	すじ	無文				
1210	27・24	7.8	7	1.11	58	0.8	底部	打欠→U字				879	
1212	26・11	4.9	5.1	0.96	29	0.8	胴部	U字, 打欠→ U字	繩文	RL		611	
1213	25・12	4.7	4.8	0.98	24	0.8	胴部	打欠→すじ	繩文		無節		
1214	30・25	4.7	4.9	0.96	27	0.9	胴部	U字	繩文		不明		
1215	22・17	4.8	4.1	1.17	28	1	口縁部	U字	繩文	RL			
1216	25・17	4.6	3.9	1.18	19	0.9	胴部	U字	繩文	RL			
1217	9・16	4.8	3.5	1.37	13	0.7	口縁部	すじ	無文磨		中～後	浅鉢	
1218	30・22	4.1	4	1.02	22	1.1	胴部	打欠	繩文	不明			
1219	18・21	3.7	3.4	1.09	12	0.6	胴部	U字, 不明瞭	文様		中後	858	
1220	25・17	4.3	3.1	1.39	15	0.8	胴部	すじ	繩文	RL	Q段多角	862	
1221	9・16	4.3	3.1	1.39	12	0.8	胴部	すじ	文様		中～後	859	
1222	30・24	3.7	3.1	1.19	11	0.8	胴部	すじ	繩文	RL		843	
1223	33・24	3.4	3.5	0.97	15	0.8	胴部	打欠	無文			856	
1224	26・24	3.7	2.9	1.28	15	1	胴部	すじ, 打欠→ すじ	繩文	RL		842	
1225	不明	2.9	2.8	1.04	11	0.8	胴部	すじ	繩文	RL		835	
1226	30・24	3.2	2.5	1.28	12	1.4	胴部	すじ	文様			838	
1227	34・21	8	7	1.14	70	1	口縁部	U字	文様		中後	1164	
1228	23・16	4.5	4.1	1.1	25	1	胴部	打欠→U字	繩文	LR			
1229	22・19	10	7.7	1.3	105	1.1	胴部	打欠→U字	繩文	LR		723	
1230	20・18	9.5	7	1.36	81	1	胴部	U字	繩文	RL		710	
1231	38・20	8.8	7.3	1.21	100	1.4	胴部	打欠→すじ	文様			807	
1232	20・19	9.8	6.5	1.51	65	0.9	胴部	U字	文様		中～ 中後	818	
1233	20・19	8.6	6.4	1.34	57	0.9	胴部	打欠→U字	文様		中～後	819	
1236	26・22	7.3	5.7	1.28	41	0.8	胴部	打欠, U字	文様		中後		
1237	35・24	7.4	6.8	1.09	52	1.1	口縁部	V字	繩文	LR			
1238	17・20	6.7	6.6	1.02	44	0.8	胴部	すじ	無文磨		中～後	浅鉢	
1239	34・22	6.4	5.2	1.23	26	0.7	口縁部	U字	文様		中～後	1175	
1240	17・19	4.7	3.7	1.27	13	0.9	LH縁部	打欠→すじ, すじ	文様		中～後	514	浅鉢
1241	13・21	4.1	3.6	1.14	8	0.8	LH縁部	打欠→U字	文様		後前	834	横長
1242	3号貝殻 a-1	6.7	6	1.12	48	0.9	胴部	不明瞭	繩文	LR			
1243	3号貝殻 a-3	7.4	6	1.23	61	1.3	口縁部	打欠(浅)	文様		中前		
1245	29, 30・ 18	6.9	4.4	1.57	34	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
1246	29, 30・ 18	5.4	4.4	1.23	26	1	胴部	不明瞭	繩文	無節L			
1249	5号貝殻 b-1	8.1	5.4	1.5	47	0.8	胴部	V字	繩文	RL			
1250	5号貝殻 b-2	6	5.8	1.03	36	0.8	胴部	打欠, U字 (浅)	条痕				

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
1251	5号貝層 b-2	5.5	5.1	1.08	24	0.7	胴部	打欠	無文磨	中~後			浅鉢
1253	5号貝層 b-5	5.3	5.2	1.02	34	1.1	胴部	打欠→すじ	繩文	LR			
1254	24・14	6	5.3	1.13	32	0.9	胴部	打欠→すじ	無文				
1255	24・14	5.7	5.6	1.02	30	0.8	胴部	打欠	繩文	LR			
1256	24・13	7.9	6.1	1.3	56	1.1	胴部	打欠→すじ	繩文	RL			
1257	24・14	6.1	5.1	1.2	35	1.1	胴部	不明瞭	繩文	LR			
1258	24・14	6.5	4.9	1.33	38	1	胴部	打欠 (不明瞭)	繩文	LR			
1259	4号貝層	5.8	4.5	1.29	39	1.1	胴部	U字	繩文	不明			
1260	24・14	7.1	4.6	1.54	45	1.1	胴部	打欠	繩文	LR			
1262	24・14	5.9	5.1	1.16	35	1	胴部	打欠	繩文	不明			
1263	4号貝層	6.8	4.9	1.39	42	1.1	口縁部	打欠	無文				
1264	4号貝層	6.7	4.8	1.4	37	0.9	胴部	打欠 (不明瞭)	繩文	RL			
1265	4号貝層	5.8	5	1.16	34	1	胴部	打欠	繩文	RL			
1266	4号貝層	5.4	5.4	1	30	0.7	胴部	打欠 (不明瞭)	無文磨	中後?			
1267	4号貝層	5.5	4.6	1.2	29	1.1	胴部	打欠	文様	中前			
1269	23・14	8.1	5.8	1.4	40	0.7	口縁部	打欠	繩文	LR			
1270	23・14	6.7	5.5	1.22	32	0.7	胴部	打欠→すじ	繩文	RL			
1271	23・14	6.5	5.3	1.23	28	0.6	胴部	不明瞭	繩文	RL			
1272	23・14	6.3	5.5	1.15	34	0.9	I口縁部	打欠	繩文	RL	中前	粗製深鉢	
1273	23・14	6.3	4.9	1.29	34	0.8	口縁部	不明瞭	文様	中前			
1274	23・14	6.6	5.1	1.29	36	0.8	胴部	打欠	無文				
1275	23・14	5.8	5.5	1.05	34	0.8	胴部	打欠 (不明瞭)	繩文	RL			
1276	23・14	6.5	5.3	1.23	37	0.8	胴部	打欠	繩文	RL			
1277	23・14	6	4.7	1.28	32	0.8	胴部	U字(太)	無文				
1278	23・14	7	4.9	1.43	28	0.8	胴部	U字(浅)	繩文	RL			
1279	23・14	6.2	5.3	1.17	28	0.7	胴部	不明瞭	繩文	RL			
1280	23・14	6.2	5.4	1.15	40	1	胴部	打欠 (不明瞭)	無文				
1281	23・14	5.8	5.6	1.04	37	1	胴部	打欠	繩文	RL			
1282	23・14	5.6	5.1	1.1	29	1	胴部	打欠 (不明瞭)	文様	中中			
1288	27・24	5.6	5.3	1.06	33	0.9	胴部	打欠	無文			SK31	
1293	28・24	6.4	5.2	1.23	32	0.9	胴部	不明瞭	繩文	LR		SK30	
1295	19・21	7.4	4.8	1.54	42	1	胴部	打欠	繩文	不明		SK25	
1299	15・20	5	3.9	1.28	23	0.9	胴部	不明瞭	繩文	LR		SK29	
1302	15・16・ 21	5.1	4.1	1.24	14	0.6	胴部	V字	無文磨			SK28	
1305	37・26	8.7	5.2	1.67	53	0.9	口縁部	U字	文様	中後	506		
1306	39・21	8.7	5.2	1.67	47	1	I口縁部	U字	繩文	RL	中中	1176	粗製深鉢
1307	10・19・ 20	8.4	7.1	1.18	65	0.9	胴部	U字(浅)	繩文	RL			
1308	18・15	8.2	6.5	1.26	60	1	胴部	不明瞭、U字	文様	中中			
1309	14・14	7.9	6.3	1.25	62	1	口縁部	U字(太)	繩文			534	
1310	18・21	7.9	5.1	1.55	36	1	I口縁部	U字	文様	中~後	520		
1311	11・20	7.5	5.6	1.34	30	1	口縁部	打欠→U字	文様	中~後	518		
1312	21・13	7.7	6	1.28	42	0.7	胴部	U字	文様	中中			
1313	23・24	7.3	6.3	1.16	64	1.5	胴部	打欠	文様	中後			
1314	32・23	7.5	6	1.25	43	0.8	胴部	打欠、U字状	文様	中後			
1315	33・21	7.2	6.1	1.18	56	1.2	胴部	U字	文様	中後	829		
1316	20・18	7	6	1.17	50	0.9	胴部	打欠→U字	繩文	無鉢R			
1317	21・21	7.1	6.4	1.11	41	0.7	口縁部	U字	無文磨	?		542	
1318	30・24	6.8	6.1	1.11	45	0.9	胴部	すじ	文様	中~後			
1319	10・20	7.3	5.8	1.26	32	0.7	胴部	打欠	繩文	RL			

整理番号	X・Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	長短 比率	重量 (g)	厚さ (cm)	使用 部位	切目 形態	文様	燃り	時期	図版 番号	備考
1321	20・18	6.4	5.8	1.1	36	1.1	底部	U字(縦) 打欠→U字、 U字			中～後	881	浅鉢
1322	19・18	7.2	5.1	1.41	48	1.5	口縁部	打欠	文様		中中	497	
1323	32・24	6.9	4.1	1.68	34	1	口縁部	V字	繩文	RL	後前	526	粗製深鉢
1324	14・18	6.4	5.3	1.21	30	0.7	肩部	U字	文様		中～後	814	
1325	40・23	6	5.8	1.03	40	1	肩部	U字	文様		中後		
1326	19・11	6.7	5	1.34	36	1.2	肩部	打欠→U字	文様		中中	801	台付深鉢
1327	23・16	6.3	5.7	1.11	42	0.9	口縁部	U字(縦)、 打欠→U字	繩文	RL	中中	525	台付深鉢
1329	38・21	6.1	5.7	1.07	48	1.4	口縁部	U字(浅)	文様		中中	498	
1330	32・22	6.1	5	1.22	37	1.2	口縁部	U字(縦)	文様		中後	1162	
1331	22・21	5.7	5.3	1.08	34	0.9	口縁部		文様			500	
1332	9・19	5.7	4.5	1.27	26	0.9	口縁部	不明瞭、V字	文様		後前	523	
1333	15・20	5.7	5.3	1.08	31	0.9	肩部	U字(太)	繩文	LR			
1334	6・16	5.8	4.2	1.38	24	0.8	口縁部	U字	文様		?		
1335	32・24	5.5	5.1	1.08	31	0.9	肩部	すじ	条痕			729	
1336	34・24	5.5	3.9	1.41	19	0.6	口縁部	U字(中)	無文磨				
1337	10・20	5.3	4.5	1.18	22	0.7	肩部	V字	文様		中～後		
1338	17・19	5	3.8	1.32	25	1.2	肩部	打欠→V字	文様		中～後		業脛状文
1339	21・13	6.5	5	1.3	26	0.7	肩部	すじ	無文磨				
1340	23・16	6.9	4.9	1.41	41	0.8	肩部	U字(浅)	文様		中前		
1341	18・15	7.4	6.7	1.1	56	0.8	肩部	不明瞭	文様		中中	2層下	
1342	4号貝層	6.3	5.1	1.24	33	0.7	口縁部	打欠	無文				
1343	32・23	7.6	6.5	1.17	54	1	口縁部	V字	文様		中後		
1344	40・22	4.6	3.8	1.21	18	0.7	肩部	不明瞭	文様		中後		
1345	33・25	7	6.4	1.09	45	0.8	肩部	不明	文様		中～後		業脛状文

土器片錐 註1)95%以上の残存率のものを完形品として扱い、1000点を抽出した。

註2)「長短比」の目安、「切目形態」は下図に示したとおりである。



長短比

切目形態

土製品

図版番号	器種	X・Y	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
487	上鍼	34・22	6.9	5.7	2	80	
488	穿孔土製品	35・25	7.2	7.1	3.3	175	
489	土器片円錐	13・17	7.1	7.3	0.6	(41)	2層下
490	礫状土製品	8・20	径7.7	内径2.5	4	(213)	川上面より出土
491	動物形土製品	13・14	(3.9)	(3.4)	(1.6)	(20)	2層下
492	耳栓	8・16	4.5		2.9	(32)	地山上

石錘

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版番号	備考	整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版番号	備考
1	37	15	7.9	6.9	2	82	964		41	35	15	6.1	3.5	1.6	65	912	
2	22	21	8.6	7.9	1.1	94	967		42	39	15	6.3	4.5	2.6	102		
3	11	20	6.9	5.6	1.2	56			43	35	15	6.8	4.2	1.3	63	907	
4	17	20	5.8	4.8	1.2	31			44	35	15	6.5	5.5	1.8	82	902	
5	31	24	6.3	4.8	1.2	44			45	35	15	5.5	5.1	1.6	53	910	
6	37	15	8.9	7.5	1.6	113			46	35	15	5.7	4.4	1.9	67	898	
7	37	15	6.6	5.6	1.5	84			47	35	15	5.5	5.5	1.7	76	911	
8	40	22	9	6	1.8	112			48	35	23	5.3	4.9	2.4	90		
9	36	19	(6.5)	(5)	1.7	(83)			49	35	25	6.7	6.3	2.5	152	925	
10	12	20	8.7	5.6	2.4	167			50	35	25	5.3	3.5	1.3	38	921	
11	33	25	7.1	4.7	1.6	96			51	35	25	5.3	4.4	2.1	61	924	
12	15	19	9.1	6.6	1.5	116			52	35	25	5	4.9	2.4	90	923	
13	32	25	8.3	(4.4)	1.2	(52)	992		53	18	19	8.5	4.1	(1.5)	(83)	989	
14	36	21	8.6	5.5	1.6	104			54	40	24	6.4	4.6	2.2	52		
15	34	25	6.5	4.5	1.1	39			55	17	19	7.2	5.5	1.5	85		
16	29	22	8.8	7.9	2.5	269	975		56	36	13	7.5	7.1	1.6	116		
17	29	22	7.1	5.7	2.3	110			57	38	25	5.7	5.4	2.0	99		
18	29	22	9.6	6.9	1.5	141	970		58	16	18	7.8	7.2	3.5	298		
19	29	22	8.2	5.1	1.9	101			59	16	20	7.3	6.2	1.7	125	960	
20	29	22	8.8	7.3	2.1	178			60	16	20	8.3	8.3	1.5	116	968	
21	12	14	8.8	6.7	2.9	248	1020		61	16	20	8.3	5.2	1.0	47	961	
22	20	20	9.4	5.5	1.8	154	996		62	14	18	4.7	4.1	1.3	39	937	
23	33	15	(6.9)	6.1	(1.7)	(122)			63	16	21	9.1	5.7	1.7	148	962	
24	28	20	10.1	9.5	2.1	309			64	20	16	5.1	4.7	1.2	46	943	
25	37	15	9.3	9.3	2.9	370	979		65	10	20	7.2	5.9	1.5	100		
26	35	15	5.5	4.8	(1.6)	(62)	896		66	10	20	5.8	6	1.6	90		
27	35	15	5.5	3.5	(1.5)	(41)	894		67	10	20	5.8	4.3	1.7	64		
28	35	15	4.6	4.3	2.4	54	892		68	17	18	8.4	5.8	2.8	238		
29	35	15	5.3	4.9	2.6	88	900		69	39	21	9.1	7.7	1.1	79	971	
30	35	15	5.7	4.5	1.8	70	897		70	14	18	7.6	5	2.2	85		
31	35	15	6.2	3.9	1.6	48	909		71	38	25	6.1	5	1.2	44		
32	35	15	6.5	4.4	1.9	57	903		72	35	25	7.9	5.2	1.3	70	926	
33	35	15	6.2	4.9	(2)	(83)	901		73	9	9	6.3	5.5	2.2	123	1014	
34	35	15	5.8	4.3	1.5	62	899		74	34	25	6.3	4.9	1.1	60		
35	35	15	6.5	4.7	1.6	63	906		75	20	21	8.5	6.1	1.5	130		
36	35	15	6.8	4.7	1.8	84	905		76	35	24	4.8	5.1	1.7	38		
37	35	15	6.9	4.3	1.5	70	908		77	17	19	(5.5)	(6.2)	(2.0)	(80)		
38	35	15	5.2	4.1	1.5	46	893		78	17	19	6.7	(4.8)	(1.6)	(59)		
39	35	15	(6.6)	(4.3)	(2.1)	(88)	904		79	17	19	6.2	5.4	1.4	66		
40	35	15	5.3	4.7	1.5	50	895		80	17	17	6.8	5.3	2.5	130		

整理 番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版 番号	備考
81	17	17	7.3	6.6	1.6	77	81	
82	11	21	5.8	5.5	1.7	61		
83	33	19	6.3	5.7	1.3	63		
84	31	18	7.9	6.8	1.7	97		
85	21	13	6.4	6.7	1.6	71	1192	
86	16	23	5.1	4.6	0.7	15	944	用上面
87	12	21	9.3	5.7	2.4	185		
88	16	10	6.3	4.5	2	80	1011	
89	10	20	7.3	5.7	2.1	131		
90	10	20	7.6	5.6	1.7	97		
91	10	20	5.5	5	1.5	77		
92	14	21	7.5	5.7	2	120		
93	17	14	7.3	5.2	2.2	125	1016	
94	16	14	7.8	5.3	1.2	52	1017	
95	15	13	6.4	6	1.8	72	1012	
96	15	13	6.2	6.3	2.1	114	1013	
97	16	9	8.6	7	2.2	184	1019	
98	23	21	6.1	5.4	2.3	111		
99	23	21	8	6.5	1.5	111		
100	22	24	8.6	7.3	2.4	244		
101	39	25	6.7	6.6	2	130		
102	39	25	9.3	4.9	2.5	197	995	
103	6	10	7.7	6.9	3.2	233	1018	
104	5T		6.5	4.3	1.7	77		
105	1T		9.3	8.2	1.9	243	973	
106	37	13	7	6.7	1.4	101		
107	16	19	7.7	6.2	2.2	156		
108	16	19	4.9	4.4	1.2	32	939	
109	31	19	6.9	5.5	1.8	104		
110	32	19	7.7	7.8	2.1	182	951	
111	25	24	5.3	6.6	1.3	66		
112	23	23	5.8	5	1.8	69		
113	23	23	6.3	4	1	21		
114	37	21	5.4	3.9	1.7	59	942	
115	37	22	9.2	7	1.8	170	969	
116	18	19	5.7	5.3	1.4	64		
117	16	17	7.3	4.8	1.4	81	957	
118	38	25	6.6	5.6	1.9	84		
119	34	25	7.1	5.9	1.1	69		
120	39	26	5.7	3.8	1.4	42		
121	39	17	6.9	5	1.8	71		
122	6	16	7.9	5.2	1.5	100		
123	38	26	5.1	5.5	2	79		
124	22	17	7.2	6.3	3.1	191		
125	39	26	6	4.4	1.7	66		
126	21	23	5.6	3.9	1.2	46		
127	29	23	6.6	5.4	1.7	78		
128	29	22	8.2	6.6	1.4	101	998	
129	26	23	6.5	5.2	2.3	115	947	
130	37	26	6.1	5.6	2.3	111		
131	31	24	4.9	4.4	1.6	52	938	
132	11	20	7	6.8	2.8	181		
133	8	19	5.6	5.3	1.5	69		
134	8	19	7.1	5.3	1.6	94		
135	37	26	10.5	8.6	1.5	194	980	

整理 番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版 番号	備考
136	22	20	(6.8)	6.7	2.1	(131)		
137	22	20	8.9	6.4	1.6	105		
138	22	20	9.2	8.4	3.3	410	976	
139	22	20	8.1	4.9	1.8	110		
140	32	23	(7.9)	(6.1)	(1.8)	(113)		
141	40	26	5.1	4.3	2.1	72		
142	40	26	4.6	4.3	1.6	47		
143	37	22	8.7	5.1	1.7	96		
144	21	18	5.8	5	1.9	79		
145	33	24	5.9	4.8	1.5	62		
146	33	24	5.9	4.5	2.1	79		
147	32	24	6.4	5.1	1.9	94		
148	32	24	5.6	4.5	1.8	61		
149	38	22	5.1	6.1	2	94		
150	38	22	6.7	4.2	2.1	64		
151	23	18	6.5	5.3	2.3	108		
152	23	18	6.2	7.8	1.5	89	1003	
153	23	18	5.3	4.7	1.4	42		
154	6	10	6.8	5.2	2	109	1015	
155	6	10	5.5	5.7	1.5	41	1191	
156	32	25	(5.6)	(5.7)	(1.8)	(30)		
157	35	24	(3.2)	(3.4)	1.4	(14)	933	
158	39	24	(5.8)	(4.8)	(1.5)	(49)		
159	36	21	6.9	5.3	2	108		
160	35	24	4.9	4.5	1.8	68		
161	32	24	6.8	5.5	2.5	120		
162	35	24	5.5	4.8	1.9	76		
163	10	17	8.1	5.1	1.9	84		
164	10	14	7.5	6.1	1.1	55	1006	
165	33	24	5.9	4	1.4	46		
166	33	24	5.6	5.8	2.1	97	952	
167	19	19	7.2	5.7	2	112		
168	19	19	5.5	4.5	1.5	46		
169	32	24	5.6	4.5	1.4	54		
170	19	18	6.6	7.4	1.7	86	1002	
171	19	18	7.9	5.6	1.5	101		
172	19	18	(5.9)	(7.6)	(1.5)	(88)		
173	17	21	4.9	4.7	1.3	45		
174	34	21	7.6	6.5	2.5	183	950	
175	34	21	6.3	5.3	2	109		
176	14	19	8.9	6.6	1.4	85	1190	
177	36	21	(4.2)	(5.2)	(1.9)	(37)		
178	36	21	7.6	(5.6)	(2.2)	(111)		
179	36	16	7.6	6	2.5	153		
180	35	22	6.3	5.2	1.8	78		
181	13	19	6	5.6	1.9	81		
182	35	14	8.1	7.1	1.8	179		
183	25	14	(6.7)	(4.9)	(1.8)	(68)		
184	23	19	6.5	5.9	2.1	128		
185	23	19	6.4	5.7	2.7	130		
186	22	17	(6.2)	(5.9)	(2.3)	(90)		
187	31	24	6.7	6.3	2	97		
188	34	22	5.5	5.3	1.7	54		
189	36	24	5.4	5.2	2.3	106		
190	21	17	(4.4)	(4.8)	(1.7)	(43)		

整理番号	X	Y	長軸(cm)	短軸(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	回版番号	備考	整理番号	X	Y	長軸(cm)	短軸(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	回版番号	備考
191	33	21	7.3	5.5	1.4	88			246	30	14	11.2	7.5	1.9	211	977	
192	24	16	6.7	5.7	(2.8)	(144)			247	30	14	8.6	8.7	2.8	227	974	
193	24	16	7.0	5.0	1.9	112			248	30	14	10.2	7.7	2.8	256		
194	24	16	6.9	5.7	2.4	132			249	30	14	9.3	7.6	2.3	212	972	
195	24	16	7.7	5.4	2.2	143			250	24	18	10.1	8.3	2.1	221	982	
196	24	16	7.2	5.9	2	103			251	33	15	5.3	3.8	1.3	40		
197	24	16	9.5	7.6	2.7	293			252	30	25	5.2	4.8	1.2	44		
198	24	16	7.8	7.4	1.3	116	965		253	35	25	5.5	4.1	1.4	50	922	
199	23	17	(5.6)	(5.2)	(1.6)	(57)			254	40	21	6.8	5.7	1.7	85		
200	39	26	6.7	6.9	1.9	92			255	38	27	(4.8)	(6.8)	(2)	(88)		
201	39	26	5.3	4.1	1.6	48			256	29	21	5.8	5.4	1.2	36		
202	38	21	7.3	(5.5)	(2.1)	(119)			257	29	21	(2.7)	(5.4)	(1.5)	(22)		
203	33	18	(2.6)	(4.3)	(2.2)	(28)			258	26	12	5	4.4	1.7	55		
204	38	26	9.5	5.9	1.4	118	963		259	39	18	8.2	6.3	(2.1)	(115)		
205	38	26	8.3	6	1.5	112			260	36	19	11.7	11.7	3.2	471	985	
206	38	26	7.3	5.3	1.7	94			261	30	13	6.8	6.5	2.3	126	954	
207	38	26	6.3	4.9	2.4	104			262	30	13	8.4	4.6	1.3	47		
208	38	26	6.2	4.5	2.4	89			263	30	13	6.8	5.3	2.1	113	931	
209	39	20	6.7	6.1	2	77			264	32	16	7.2	7.1	2.5	180		
210	34	17	7.1	5.8	2.6	159			265	25	10	7.5	6.2	2.3	148		
211	28	16	6.4	5.6	2.5	131			266	27	15	11.8	9	3	461	984	
212	26	20	(10.3)	8	1.4	(142)			267	27	15	7.4	5.5	2.4	184		
213	26	20	(6.2)	6	2.3	(114)			268	10	14	(6.9)	7.1	1.8	(75)	1004	
214	31	12	8.3	5.4	1.8	148			269	28	22	7.5	5	2.3	122		
215	35	17	8.6	5.6	2.7	184			270	21	17	6.7	5	1.7	91		
216	35	17	6.4	4	1.7	67			271	28	20	6.2	4.6	1.8	76		
217	30	21	8.2	6.5	1.6	101			272	28	20	5.3	4.3	0.9	28		
218	30	21	(5.6)	(5.4)	(1)	(35)			273	31	23	6.9	5.9	2.9	137	932	
219	28	17	7.4	6.3	1.4	86	958		274	34	23	5.9	4.4	(1.5)	(49)		
220	30	23	7	3.8	1.7	72	988		275	34	23	5.3	4	1.7	51		
221	30	23	(4.3)	(6.2)	(1.7)	(54)			276	29	13	5.4	4	1.6	40		
222	31	22	5.6	4.1	1.5	48			277	40	20	7.6	5.8	(2.4)	(140)		
223	31	22	(4.8)	(7)	(1.6)	(40)			278	35	25	9	7.9	2.1	206	929	
224	30	21	6.9	6.6	1.8	105			279	18	20	6.9	5.8	1.8	119		
225	30	21	(5.8)	(3.4)	(1.2)	(12)			280	30	24	(4.8)	(7.1)	(1.6)	(50)		
226	30	21	(4.3)	(5.8)	(1)	(20)	226		281	30	24	4.3	4.1	1.2	34	935	
227	30	21	5.8	5.4	2.3	101	227		282	35	15	6.1	4.6	1.5	36	914	
228	30	21	6.7	6.5	2.1	147	228		283	35	15	5.8	5	2	84	917	
229	31	20	7.5	6.5	2.4	160	229		284	35	15	6.8	5.5	1.1	56	920	
230	31	20	5.3	4.2	1.8	58	230		285	35	15	5.9	4.7	2.4	76	916	
231	35	18	6.5	5.6	1.7	95			286	35	15	5.9	5.9	1.8	74	915	
232	34	20	8.4	6.9	2.2	166	1000		287	35	15	(7.4)	(5.1)	(1.8)	(84)	913	
233	31	16	6.9	5	(2.4)	(118)			288	34	20	7.8	6.5	1.9	139		
234	17	20	7.1	5.9	1.5	103			289	11	20	8.3	7.2	2	181		
235	17	20	7.3	4.5	1.2	58			290	31	16	5.4	4	1.8	47		
236	36	17	7.1	4.5	1.5	54			291	34	16	7.4	5.5	1.8	97		
237	36	17	7.5	5.3	2.5	153	994		292	34	17	8.1	7.9	1.6	93		
238	35	15	7	4.4	1.8	(68)	919		293	32	16	7.9	6.4	2.3	(132)		
239	35	15	6.2	4.9	1.6	56	918		294	32	16	8.1	7.4	1.8	154		
240	40	21	6.3	5.3	1.3	64			295	32	16	7.5	7	2.8	211		
241	32	25	8	5.1	1.3	67			296	38	20	(5.8)	4.5	1.3	(37)		
242	40	18	6.5	5.1	2.4	116	946		297	31	17	5.8	4.8	1.8	74		
243	30	14	7.3	4	1.5	70			298	35	25	8.9	7.6	2	193	928	
244	30	14	4.9	5	1.2	46	945		299	35	25	9	6.3	2.2	147	927	
245	30	14	5.4	4.2	1.3	45			300	35	25	8.8	8.1	2.7	233	930	

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版 番号	備考
301	14	20	5.6	5	2	78		
302	29	13	6.9	5.7	1.8	76		
303	28	23	9.6	6.7	1.3	72	999	
304	28	17	6.1	6.8	2.1	29		
305	27	20	8.1	7.3	2.1	202		
306	27	20	7.8	5.7	2.5	176		
307	23	14	7.4	7.1	2.3	162		
308	23	14	7.4	5.3	2.4	136		
309	23	14	9.5	6.8	1.8	151		
310	13	21	8.7	6.3	2.1	177		
311	28	11	5.8	4.8	1.5	58		
312	16	20	6.4	4.5	1.7	61		
313	20	16	6.8	6.5	1.9	117	963	
314	13	18	7.7	6.3	2	172		
315	26	15	8	6.5	2.5	146		
316	39	22	6.8	6.7	2.5	145		
317	39	22	4.2	3.9	1	24		
318	29	22	4.5	4.7	1.5	40	997	
319	10	15	8.2	6.9	1.8	25		
320	30	15	7.9	5.7	2.2	136		
321	30	15	6.7	5.4	2.3	110		
322	30	15	(5.9)	5.2	1.4	(68)		
323	30	15	(7.2)	4.5	2	(99)		
324	16	19	(8.2)	6.9	(1.4)	(87)		
325	29	15	6.4	7	2.1	118	1001	被熟
326	29	15	6.3	5.3	2.3	84		
327	20	20	7	6.2	2.8	176		
328	17	20	5	5.4	1.5	47		
329	30	25	7.1	6.1	1.5	83		
330	30	25	5.6	4.6	2.2	84		横長
331	31	25	7.2	5.8	1.2	77		
332	31	25	5	4.9	1.3	50		
333	29	15	(3.3)	(5.7)	(2.2)	(42)		
334	29	15	8.7	5.7	2.1	144		
335	29	15	7.5	5.4	1.8	67		
336	25	20	7.8	6.1	1.3	67		
337	19	19	9.2	6	2.4	176		
338	19	19	6.3	4.9	1.3	.68		
339	20	20	7.6	6.4	2.3	172		
340	20	20	6.8	6.7	1.9	119		
341	23	15	7.7	5.3	2	87		
342	23	15	6.4	5.2	1.3	47		
343	24	15	7.7	3.2	1.5	68	991	
344	24	15	6.6	4	1.2	47		
345	30	24	6.1	5	1.6	55		
346	18	20	7.8	6	1.1	84	959	
347	26	15	7	4.9	1.6	74		
348	26	15	(8.4)	(4.9)	(2.6)	(122)		
349	38	14	6.9	5.9	2.2	111		
350	28	15	6.4	5.6	1.8	79		
351	28	24	6.2	5	1.4	69		
352	28	24	6.2	4.9	1.7	79		
353	19	21	(8.2)	6.6	(1.7)	(114)	1005	
354	23	15	(6.1)	(6.6)	(1.8)	(87)		
355	23	15	8.8	8	1.2	95		

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版 番号	備考
356	23	15	5.2	5	1.5	45		
357	30	24	8.8	6	2	170	966	
358	30	24	5.4	4.4	1.4	44		
359	35	21	5.6	5.8	1.2	40		
360	24	19	5.4	4.1	1.5	48		
361	24	19	5.6	6.2	1.7	77		
362	17	18	6.8	6.4	2	139		
363	29	15	6.8	6.5	2	143		
364	25	17	12.6	9.1	3.3	491	987	
365	35	26	6.9	6.2	2.3	143		
366	35	26	5.5	5.5	1.8	67		
367	31	24	7.2	5.2	1.7	81	993	
368	23	19	(6.7)	(5.7)	(1.7)	(52)		
369	39	24	8.3	(4.8)	1.6	(78)		
370	38	24	7.2	6.4	2.2	128		
371	39	24	7	5.9	2.1	125		
372	26	14	7.2	6.6	2.2	152		
373	31	25	5.7	5.7	1.9	66		
374	31	25	5.4	5.1	1.4	62		
375	31	25	7	5.3	1.7	93		
376	27	14	5	3.5	(1.1)	(24)	940	
377	17	19	7.1	4.9	1	39		
378	17	19	8.2	5.8	2.3	144		
379	17	19	5.1	4.8	(1)	(31)		
380	17	19	5.3	4.2	0.9	32		
381	17	19	10.4	8.3	3.4	367	978	
382	3号貝脛		4.1	2.8	1.2	21	1007	
383	3号貝脛		4.8	3.4	1.2	31	1008	
384	3号貝脛		7	6.6	3.4	161	1009	
385	16	18	5.3	5	2	83		
386	16	18	7	6.2	2	110		
387	15	21	5.8	4.7	1.8	76		
388	15	21	9.3	(6.2)	2.7	(207)		
389	16	20	10	8.7	2.8	325	981	
390	29	24	(5.6)	4.4	1.4	(37)		
391	11	19	8.3	5.8	2.3	170		
392	14	21	6.3	5.3	2	87		
393	海土中		6.5	4.2	2	69		
394	22	16	4.5	4.5	2.5	41		
395	24	22	(7.2)	6.9	1.5	(74)		
396	34	17	8	6.1	3	187		
397	25	14	7.4	6	2.9	186	948	
398	9	17	4.8	4.4	1.9	(48)	1189	
399	38	18	7.2	5.7	3.5	200	949	
400	表	採	12.5	10.6	2.6	490	986	
401	25	12	6.4	5.1	1.5	81		
402	25	12	7.8	6	2.4	181		
403	25	12	5.3	4.5	2.2	62		
404	26	18	8.1	5.6	2.3	163		
405	31	15	7.7	5.5	2.1	141		
406	31	15	6	5.5	2.1	101		
407	31	12	6.2	5.4	1.5	75		
408	31	12	5.2	4.5	1.4	43		
409	34	16	6.3	5.7	1.9	105		
410	34	16	6.5	5.1	1.3	61		

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	圓版 番号	備考
411	6	16	6.5	5.3	1.5	86	956	
412	32	15	4.8	4.5	1.8	46		
413	13	18	6.1	5	2	86		
414	13	18	7.3	4.6	2.2	116		
415	25	17	6.6	6.2	1.8	100		
416	25	17	4.4	3.8	1.6	29		
417	24	18	(6.2)	7.3	(2.4)	(161)		
418	24	18	6.2	5.5	2.5	120		
419	24	18	5.7	5.2	1.2	49		
420	24	14	6.4	5.8	1.5	90	955	
421	24	14	6.2	5.1	1.9	90		
422	20	26	10.5	4.5	1.5	99	990	

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	圓版 番号	備考
423	25	17	4.4	4	1.3	34	936	
424	25	17	6.8	4.6	1.3	58		
425	25	17	4.9	4.2	1.8	50	941	
426	25	17	8.8	6.7	1.9	181		
427	25	17	6.6	5.1	2.3	78		
428	24	23	6.9	6.2	2.8	143		
429	25	10	11.4	8.8	2.1	327	983	
430	25	10	6.9	5.3	1.9	76		
431	16	20	6.6	5.5	1.9	97		
432			10.6	4.2	2.4	158	1010	
433	22	19	5.3	4.9	1.2	26	934	

打製石斧

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	圓版 番号	備考
1	37	26	13.2	6.3	3.5	371		
2	38	25	(9.4)	4.5	2.0	(106)	1022	転用
3	12	20	10.8	6.4	1.7	148	1031	
4	35	25	(5.4)	5.2	1.5	(61)		
5	34	16	(12.2)	6.1	2.7	(286)	1033	
6	17	20	10.5	5.0	2.4	208	1023	転用
7	33	15	10.4	5.3	2.2	158	1026	
8	18	22	14.1	6.5	2.5	300	1030	
9	6	15	(7.7)	6.6	3.7	(256)	1193	粘質土
10	13	19	13.1	5.3	2.9	258	1032	

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	圓版 番号	備考
11	17	21	10.7	5.2	2.9	198		
12	35	22	(7.9)	4.7	2.3	(106)	1025	
13	21	18	13.5	8.5	4.4	709		
14	32	15	(8.3)	8.7	3.3	(258)	1029	
15	35	25	(8.0)	4.5	1.3	(75)	1021	転用
16	35	21	(5.7)	5.8	1.3	(58)	1027	転用
17	30	25	10.4	5.3	1.9	114	1028	転用
18	31	25	(10.1)	5.2	2.7	(188)	1024	転用
19	19	22	9.5	3.8	1.5	70		
20	36	18	(7.9)	7.0	1.2	(77)	1194	

磨製石斧

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	圓版 番号	備考
1	16	20	(8.8)	6.6	3.1	(284)	1205	転用
2	16	20	(6.5)	3.8	1.8	(38)		
3	13	14	(3.8)	5.8	1.3	(32)	1209	
4	34	12	(4.3)	4.5	1.8	(44)	1044	
5	18	19	(7.0)	(3.7)	1.4	(43)		
6	8	15	(11.6)	6.7	2.3	(333)	1053	転用
7	40	26	(10.3)	7.6	3.5	(446)	1043	転用
8	23	23	10.4	4.3	1.7	136	1037	
9	32	15	(4.6)	6.2	2.0	(97)	1211	
10	23	18	(7.2)	(4.6)	(1.4)	(58)		
11	33	21	(10.7)	5.3	2.0	(228)	1051	転用
12	21	17	(6.6)	5.5	2.0	(101)		
13	16	19	(6.1)	4.6	2.0	(74)	1045	
14	23	23	(11.9)	5.8	2.6	(293)	1040	転用?
15	18	19	(11.7)	6.8	2.7	(390)	1041	
16	21	21	(9.9)	8.4	2.1	(241)	1052	転用
17	6	12	(10.5)	5.5	2.5	(236)	1049	転用
18	31	23	(11.2)	5.4	2.3	(211)	1042	転用
19	9	12	(7.9)	6.8	2.6	(239)	1208	転用
20	35	24	(10.0)	6.6	3.0	(351)		
21	28	22	9.4	5.2	1.9	174	1048	転用

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	圓版 番号	備考
22	26	22	(7.5)	4.9	1.7	(101)		
23	30	21	(3.6)	5.8	2.1	(64)	1210	
24	34	19	(9.6)	5.4	2.9	(182)	1039	
25	17	20	(6.4)	7.3	(1.7)	(91)		
26	35	21	9.4	4.9	2.2	206	1036	転用?
27	24	23	(7.1)	6.8	2.2	(172)		
28	30	25	(4.8)	4.7	1.7	(75)		
29	23	15	(11.7)	6.2	2.7	(442)	1038	
30	23	15	(9.1)	3.9	1.8	(123)	1050	
31	35	21	(6.8)	5.1	1.7	(88)		
32	25	12	(10.4)	5.8	2.1	(252)	1054	転用
33	25	17	(5.5)	4.7	1.2	(48)		
34	34	17	(6.1)	5.5	2.7	(127)	1212	
35	20	9	(6.8)	5.2	2.0	(111)	1046	
36	20	9	7.6	3.6	1.6	71	1035	
37	35	18	(3.9)	4.1	1.8	(37)		
38	29	15	(6.7)	4.9	1.9	(105)	1207	転用
39	39	24	(5.7)	4.9	2.6	(100)	1206	
40	20	21	(9.0)	5.1	1.5	(134)	1204	転用
41	21	20	7.2	4.3	1.2	53	1047	転用

石皿

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	図版番号	備考
1	29	13	(23)	(15)	5	2.0kg	1080	
2	21	17	(17)	12	5.5	2.1kg	1079	
3	23	17	(22)	(12.5)	5.5	1.6kg	1214	被熱
4	14	10	(11)	(9)	5	(445)		

凹石

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	図版番号	備考
1	16	20	10	9	7	810	1213	
2	2号11層		8	6	3.5	300	1073	
3	11	20	7.5	6	5	300	1074	被熱

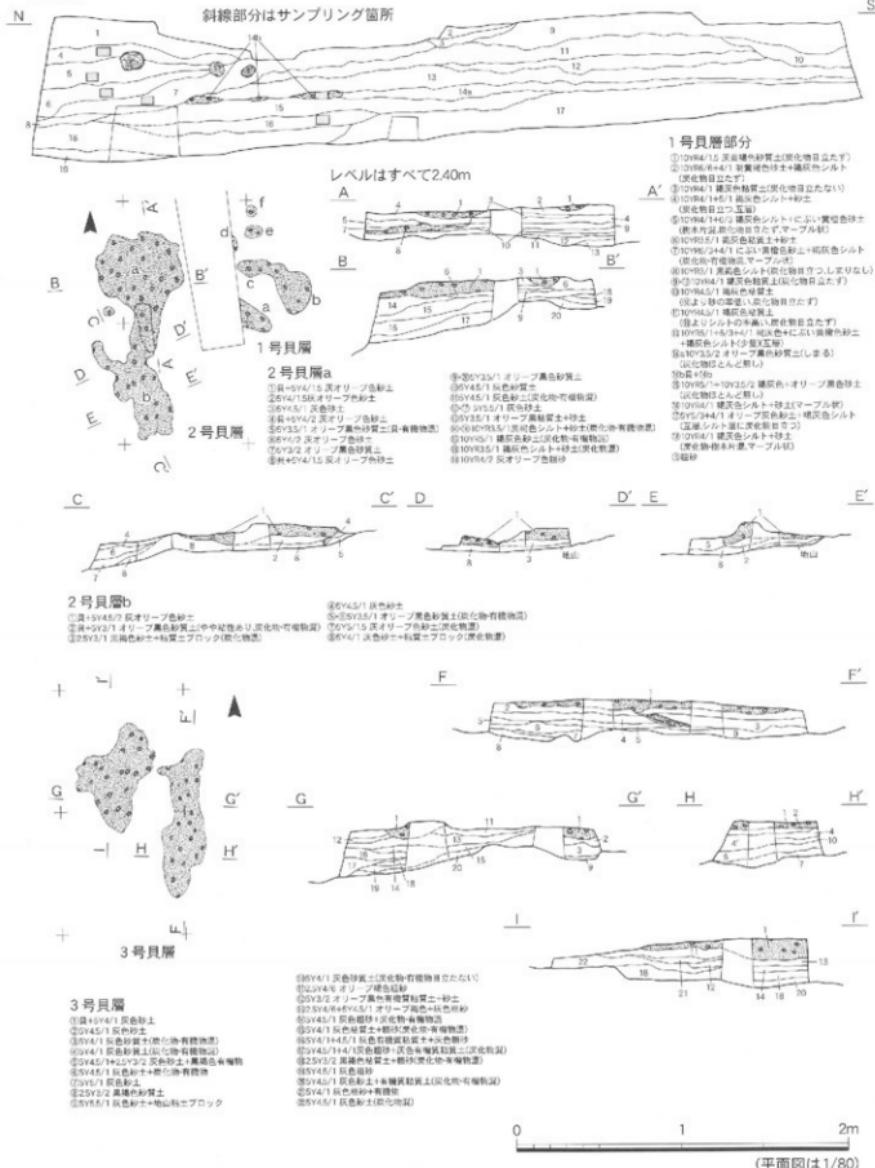
台石

整理番号	X	Y	長軸 (cm)	短軸 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	図版番号	備考
1	28	11	25	18	3.5	23	1072	
2	36	19	36	19	4	5.3	1071	
3	23	16	(13)	(13)	3	(1.2)		

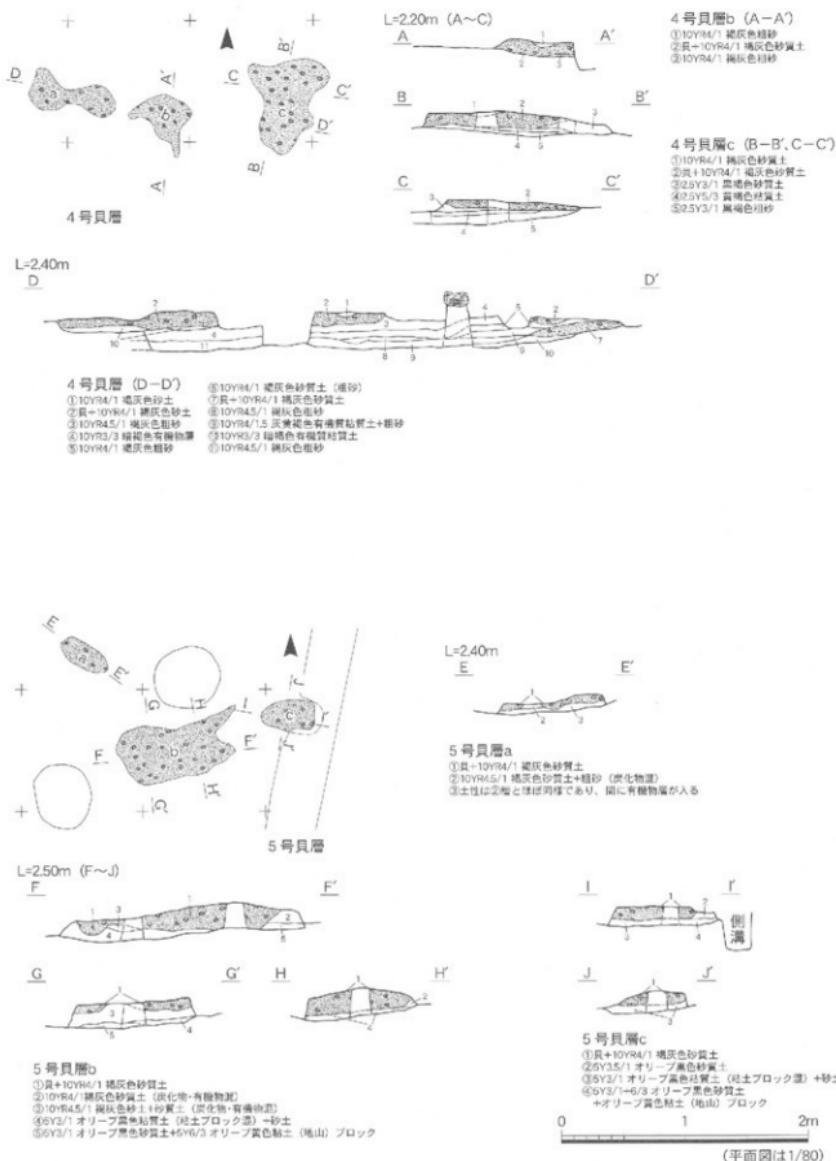
その他の石器

図版番号	器種	X-Y	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
1034	小型磨製石斧	27・22	3.8	2.7	0.8	15	
1055	石錐	8・19	(3)	2	0.5	(5)	
1056	槍頭	28・18	5.3	2.5	1.4	32	
1057	砥石	14・12	2.6	10.5	5.5	2.2kg	
1058	石鍬	12・21	7	7	4.5	331	
1059	範状石器	25・17	11	4.5	2.5	91	
1060	ブレード状石器	39・22	16	5.5	2	155	
1061	ブレード状石器	39・22	15	5	2.5	160	
1062	石核	32・23	8	7	6	370	
1063	有孔自然石	26・21	10	17	6.5	1.5kg	
1064	有孔自然石	26・21	15	20	5	1.5kg	
1065	浮子	10・20	(5)	(3.5)	0.8	(3)	輕石製
1066	不明石器	18・18	9.7	6	2.4	205	
1067	範?	17・19	19	12.5	5	2.1kg	
1068	範?	21・21	20	14.5	6	2.3kg	粘質土層出土
1069	範?	33・22	21	19	7	5.2kg	
1070	範?	28・25	25	20	10	8.2kg	粘質土層出土
1075	鐵石	18・18	(11)	8	6.5	(900)	被熱
1076	鐵石	20・10	18	8	5.5	1.3kg	
1077	鐵石	24・18	16	6	4	600	
1078	磨石	26・14	11	10	3.5	700	

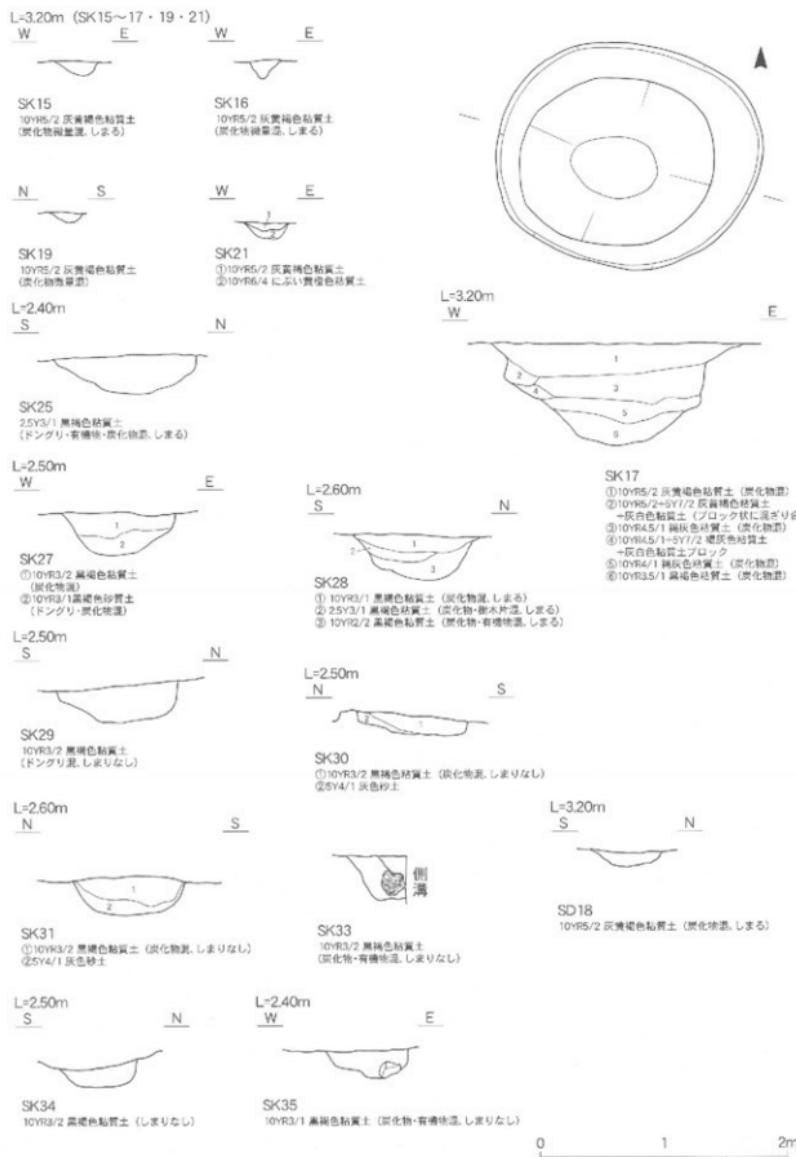
L=2.90m



B区 図 8 繩文時代貝層平面・土層図 (1) (1/40)



B区 図9 繩文時代貝層平面・断面図(2)(1/40)



B区 図10 繩文時代土坑断面・平面図 (1/40)

L=3.30m

A

SD02・03

A'

L=3.30m

B

SD02

B'



SD02・03

- ①10YR8/1 黒褐色粘質土（樹木塙・有機物混）
- ②10YR5/2 深黄褐色粘質土（植物根多量混、しまりなし）+砂土
- ③10YR4/1 棕褐色シルト+砂土（砂土は下層にラミナ状に堆積）
- ④10YR4/1 棕灰色粘質土（底本土源質互層）

SD02

- ①10YR8/1 黒褐色粘質土
- ②10YR5/1 深灰褐色粘質土
- ③A-A' 2層に別化
- ④10YR4/1 棕灰色粘質土+砂土

L=3.50m

C

C'

D

D'

SD01

10YR3/1 黑褐色粘質土

L=3.40m

N

S

SD04

10YR3/1 黑褐色粘質土

L=3.30m

N

S

SD07

- ①10YR3/1 黑褐色粘質土
- ②10YR4/2 深青褐色粘質土（調文時代堆積土）

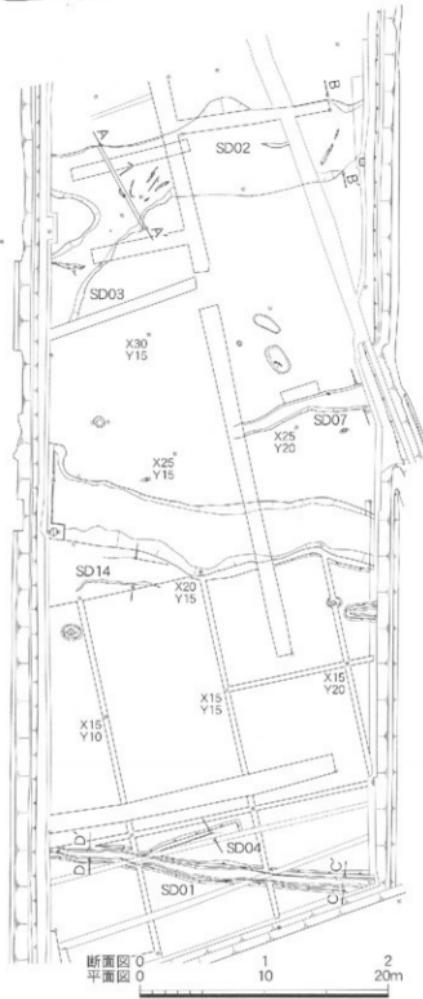
L=3.40m

N

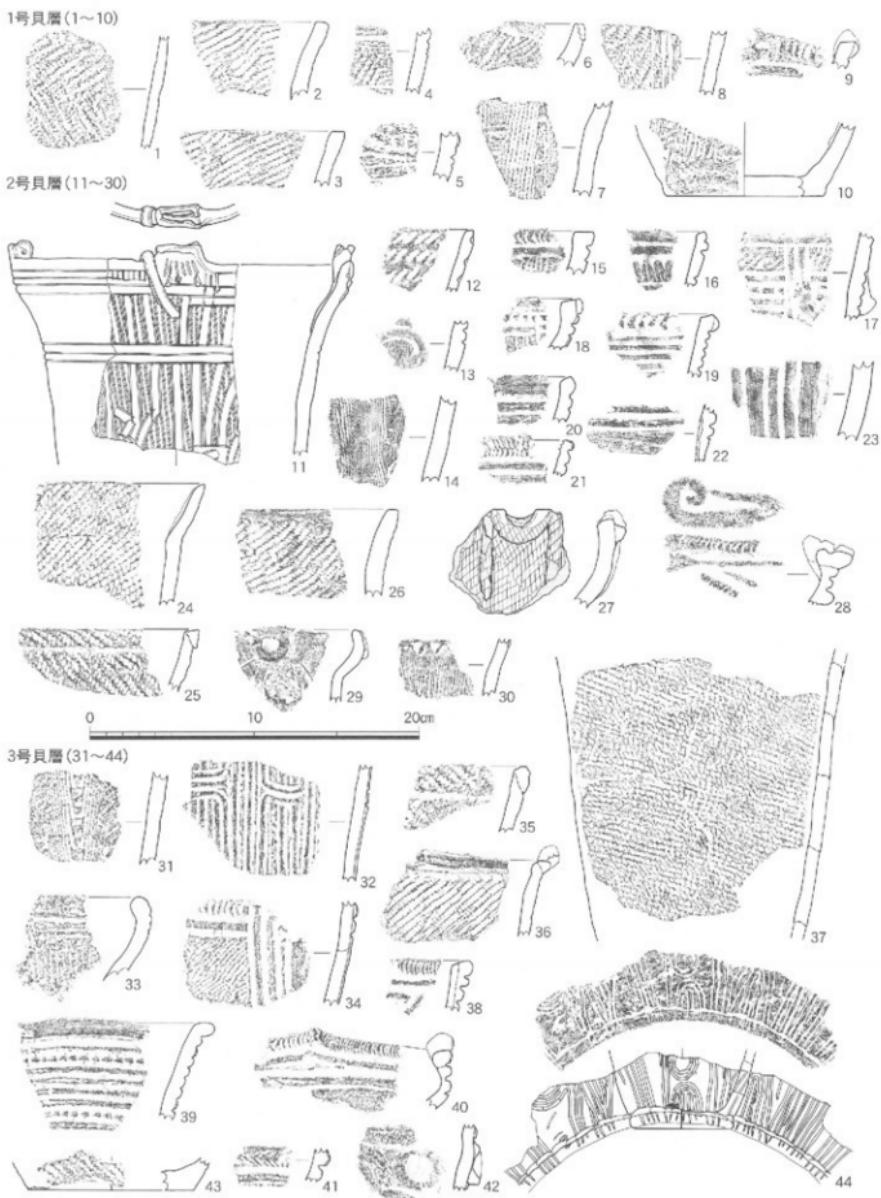
S

SD14

10YR3/1 黑褐色粘質土

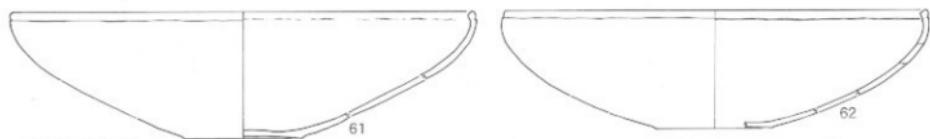
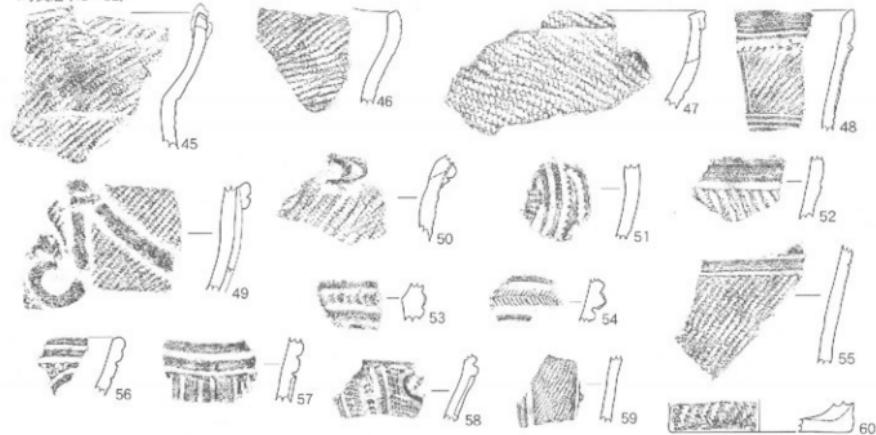


B区 図11 古代以降遺構全体図・断面図 (1/40)

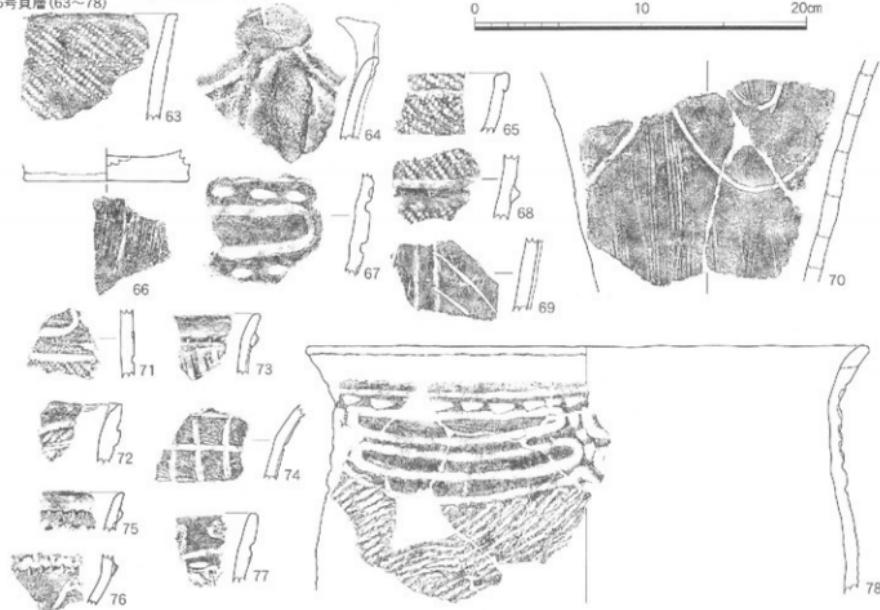


B区 図12 縄文時代遺物実測図 (1) 縄文土器 (1 ~ 3号貝層出土) (S=1/3)

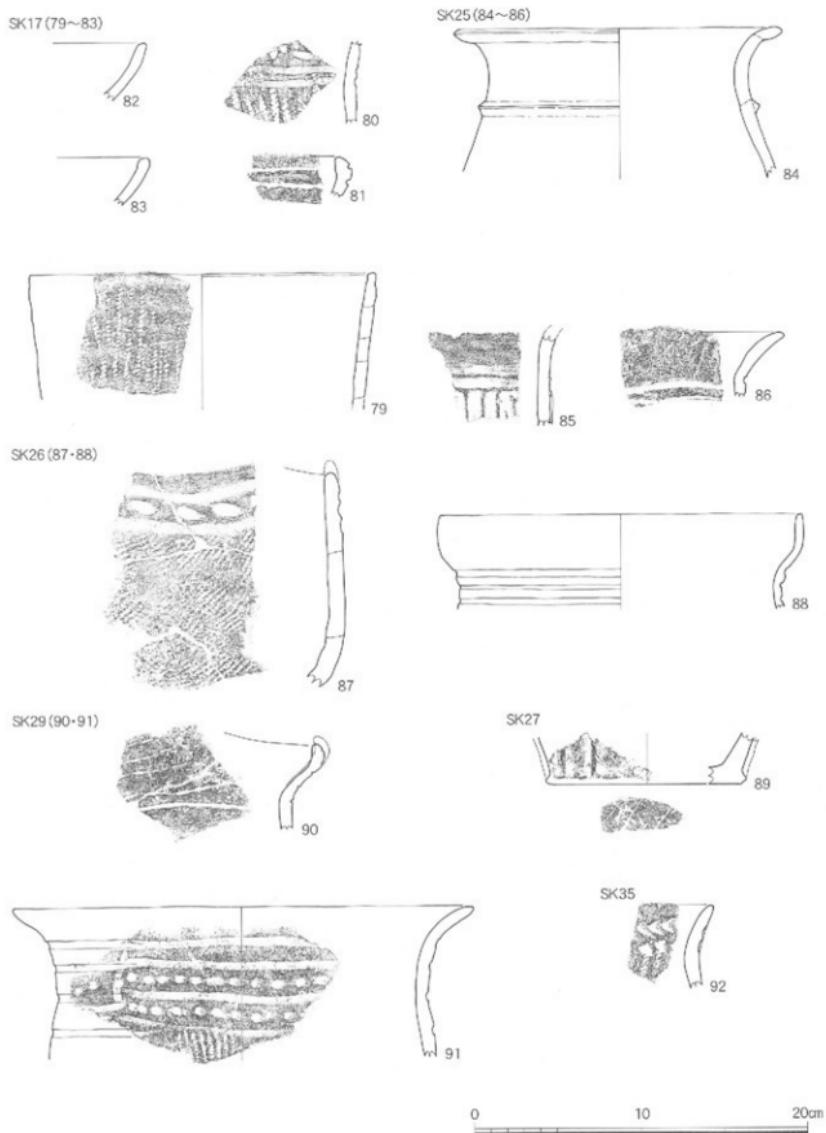
4号貝層(45~62)



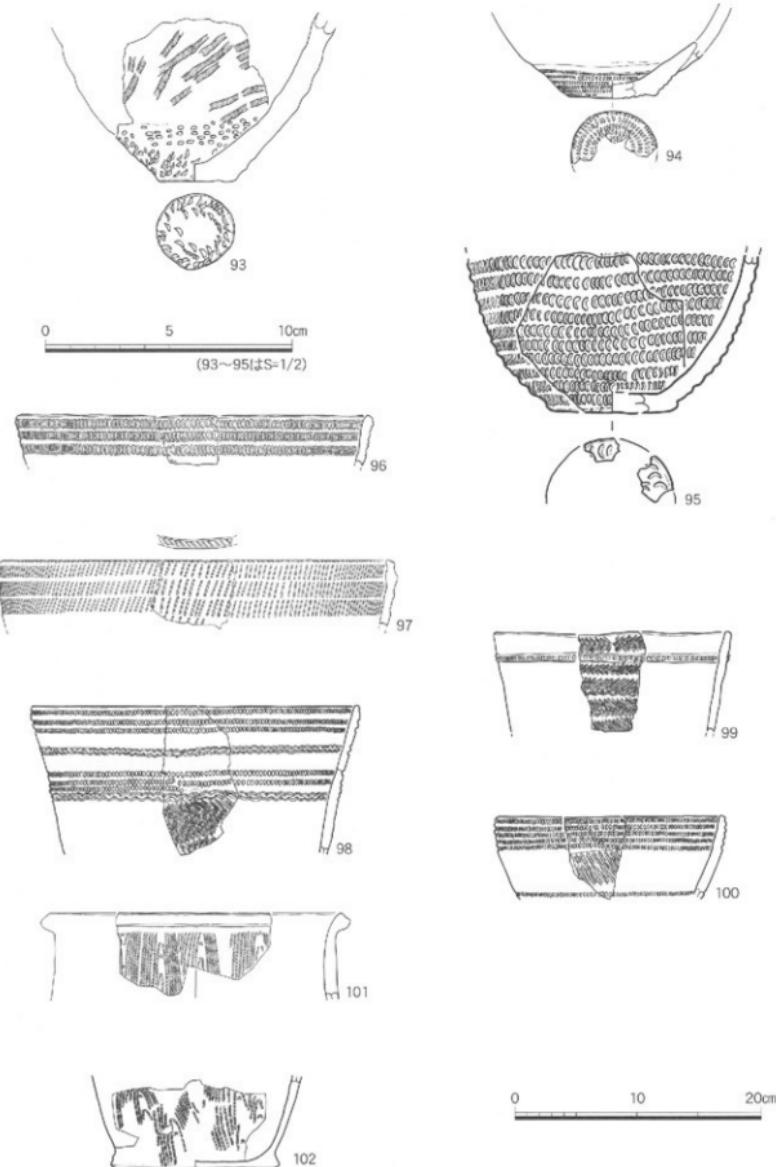
5号貝層(63~78)



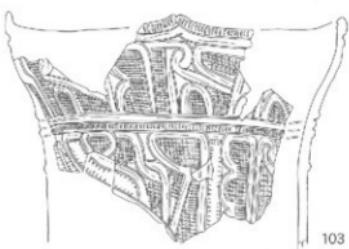
B区 図13 繩文時代遺物実測図 (2) 繩文土器 (4・5号貝層出土)



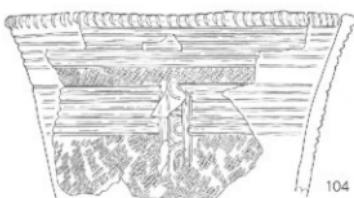
B区 図14 繩文時代遺物実測図 (3) 土坑出土土器 (S=1/3)



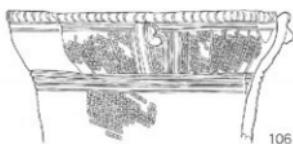
B区 図15 繩文時代遺物実測図 (4) 繩文土器 前期 ($S=1/4$)



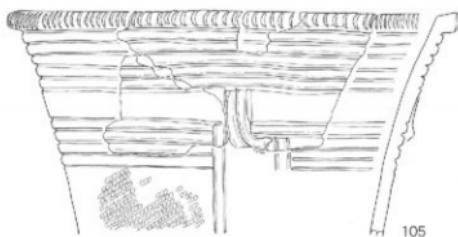
103



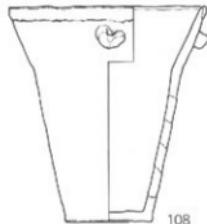
104



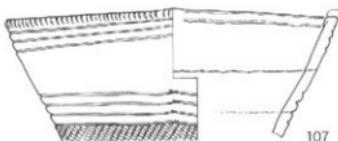
106



105



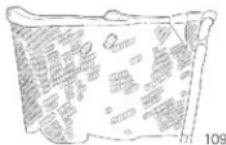
108



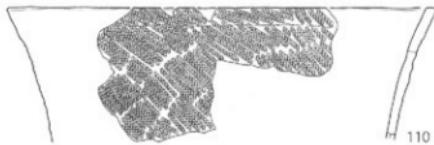
107

0 10 20cm

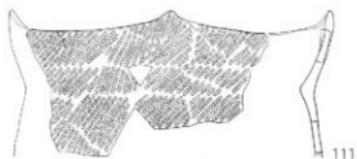
B区 図16 縄文時代遺物実測図 (5) 縄文土器 中期前葉 ($S=1/4$)



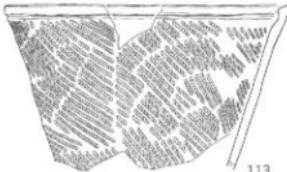
109



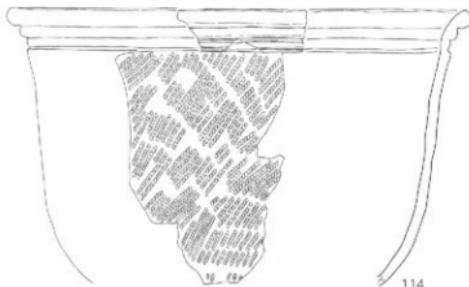
110



111



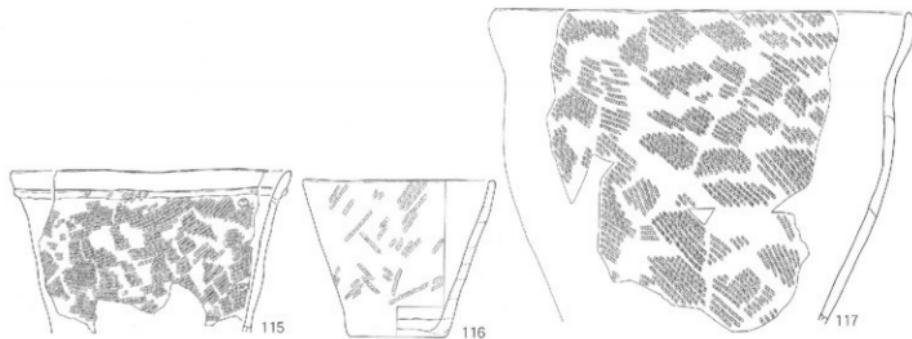
113



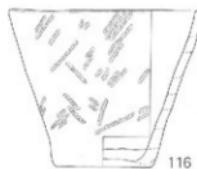
114



112



115



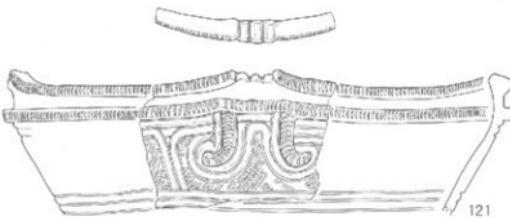
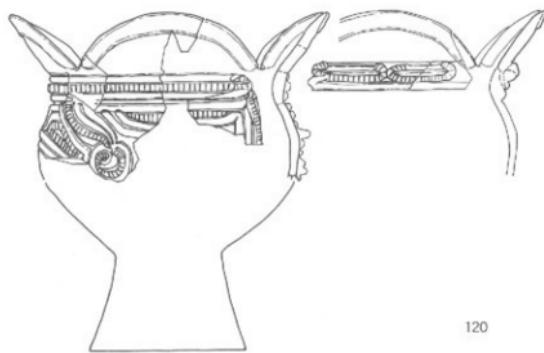
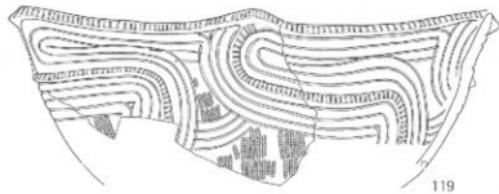
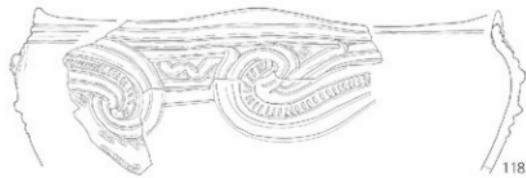
116



117

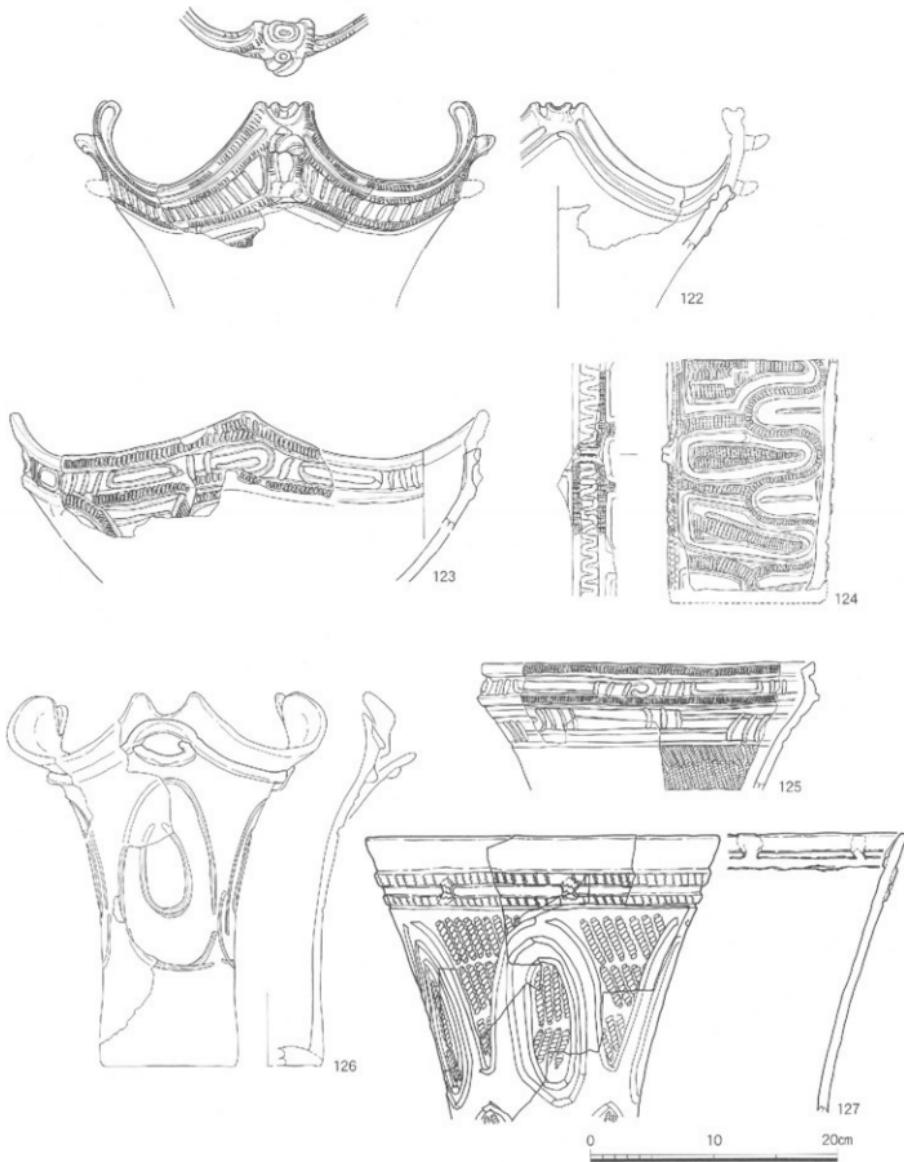


B区 図17 縄文時代遺物実測図 (6) 縄文土器 中期 ($S=1/4$)

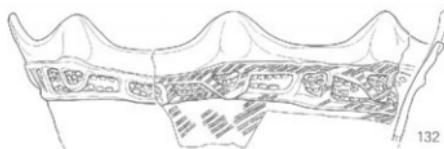
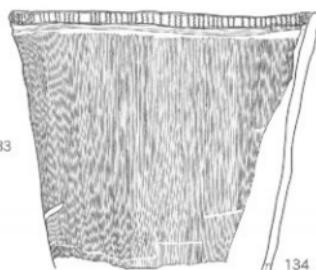
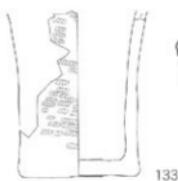
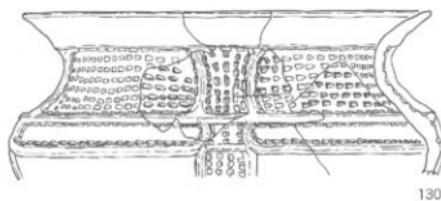
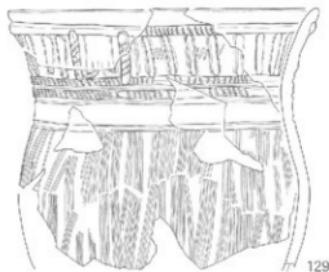
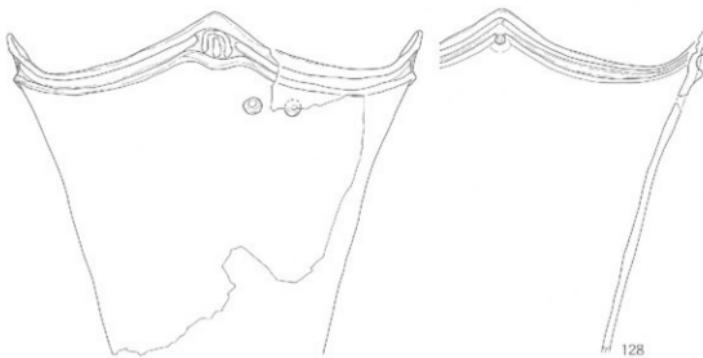


0 10 20cm

B区 図18 縄文時代遺物実測図 (7) 縄文土器 中期中葉 (S=1/4)

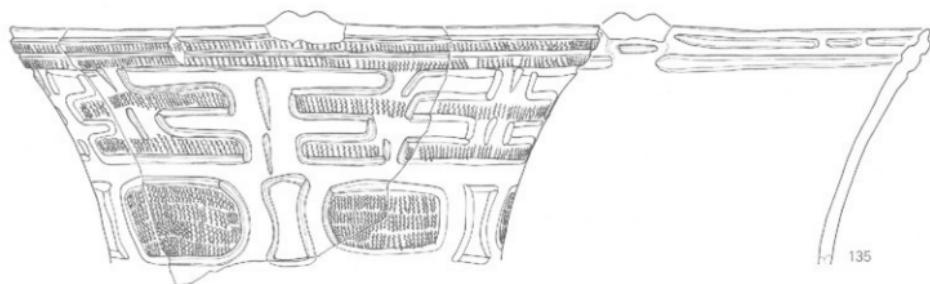


B区 図19 縄文時代遺物実測図 (8) 縄文土器 中期後葉 ($S=1/4$)

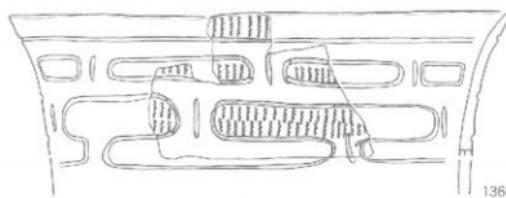


0 10 20cm

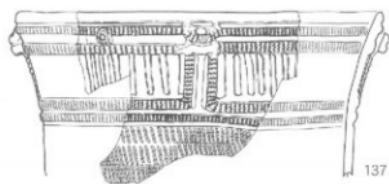
B区 図20 縄文時代遺物実測図 (9) 縄文土器 中期後葉 ($S=1/4$)



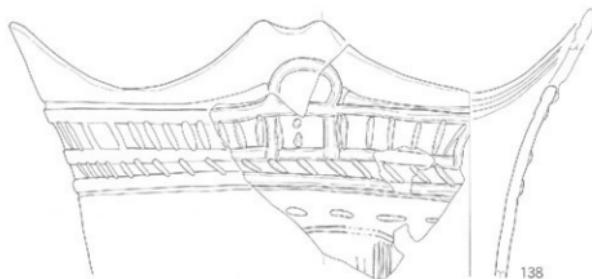
135



136



137



138



139



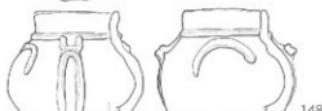
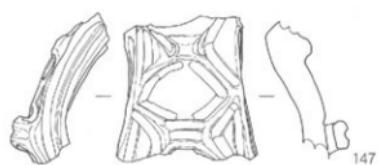
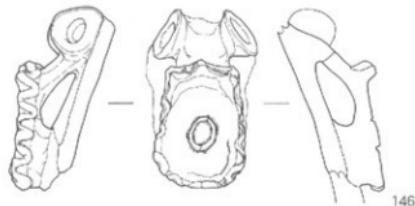
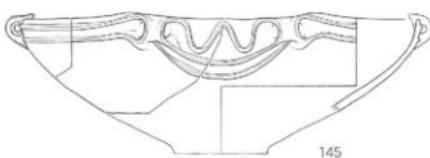
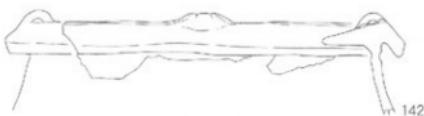
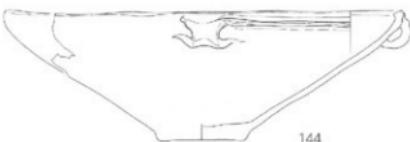
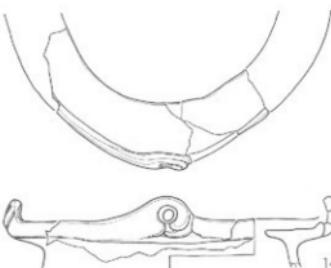
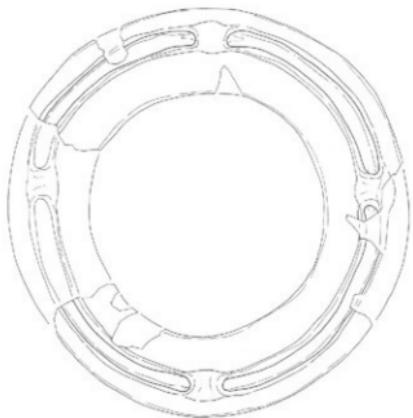
140



141



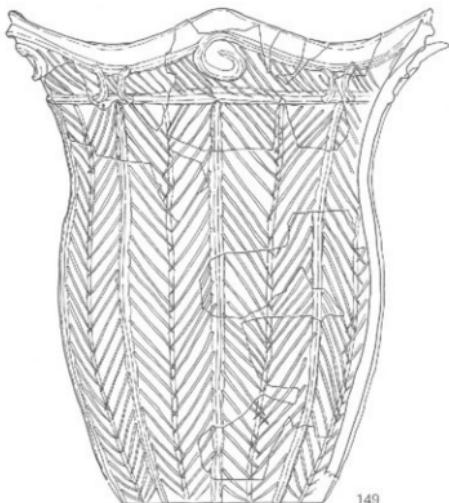
B区 図21 桶文時代遺物実測図 (10) 桶文土器 中期後葉 ($S=1/4$)



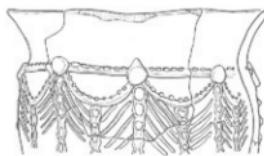
0 10 20cm
(147-148はS=1/3)

0 10 20cm

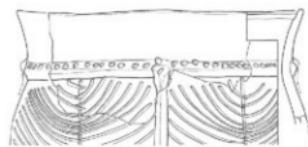
B区 図22 繩文時代遺物実測図 (11) 繩文土器 中期後葉 (S=1/4)



149



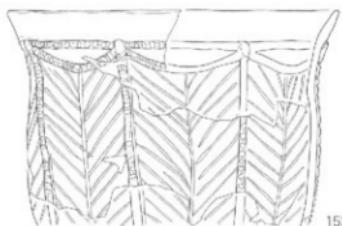
150



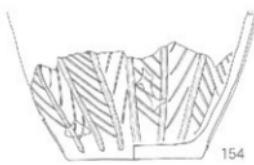
151



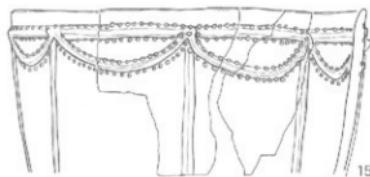
153



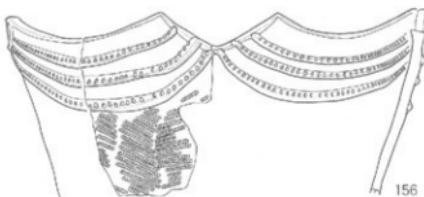
152



154



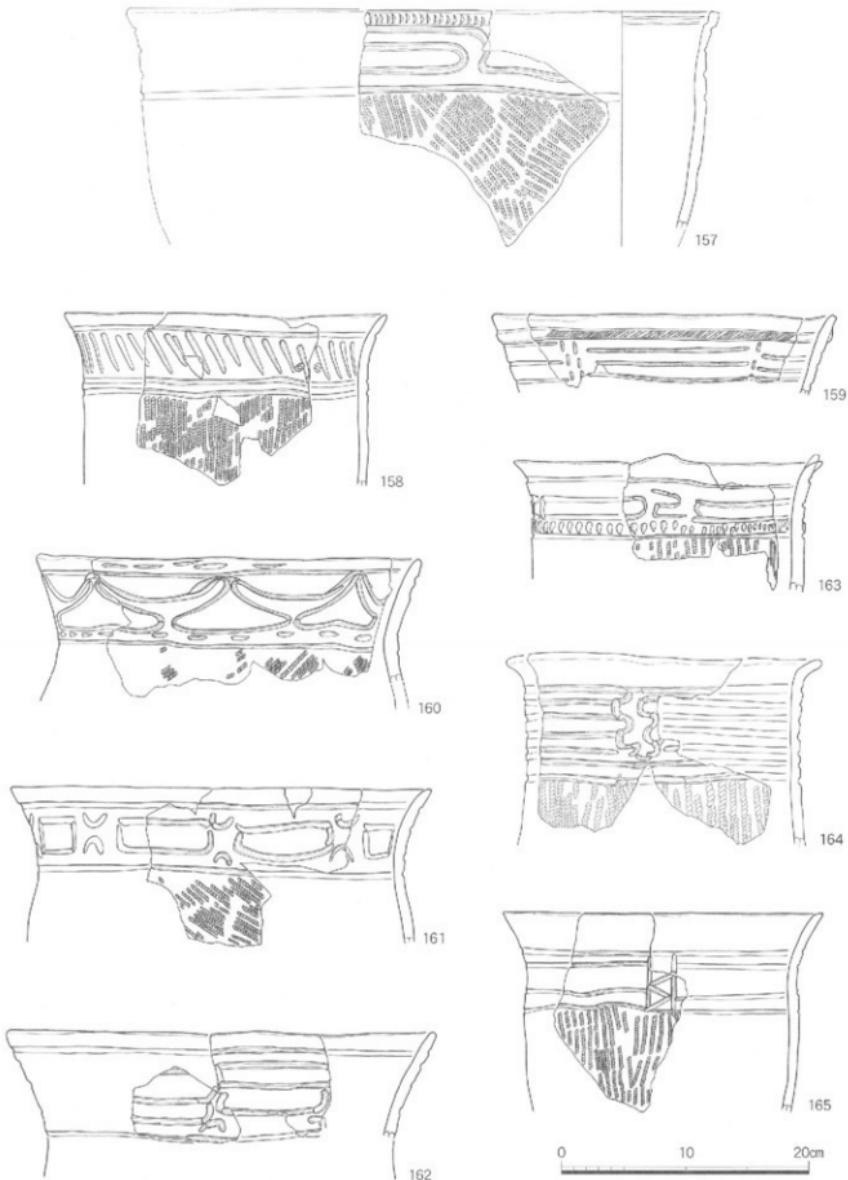
155



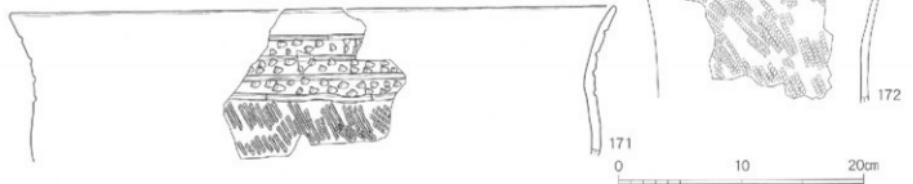
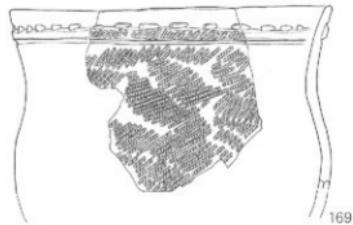
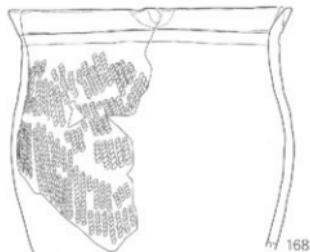
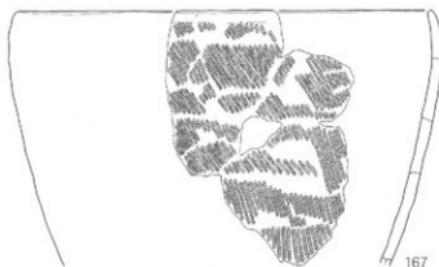
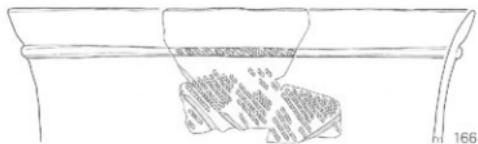
156

0 10 20cm

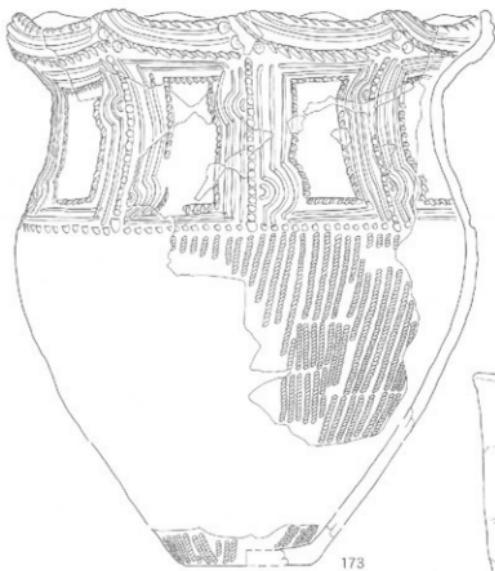
B区 図23 繩文時代遺物実測図 (12) 繩文土器 中期後葉～中期末 ($S=1/4$)



B区 図24 繩文時代遺物実測図 (13) 繩文土器 中期末～後期初頭 ($S=1/4$)



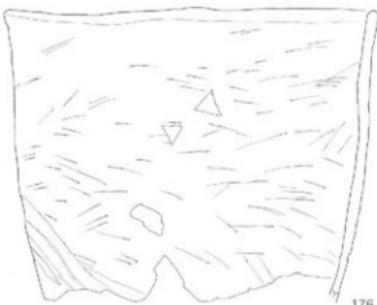
B区 図25 縄文時代遺物実測図 (14) 縄文土器 中期後葉～中期末 ($S=1/4$)



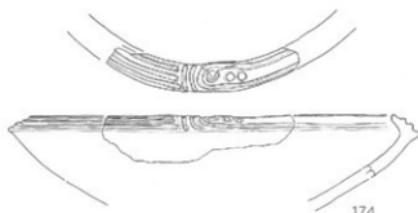
173



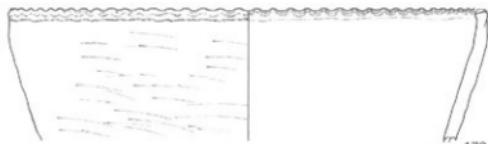
175



176



174



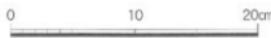
178



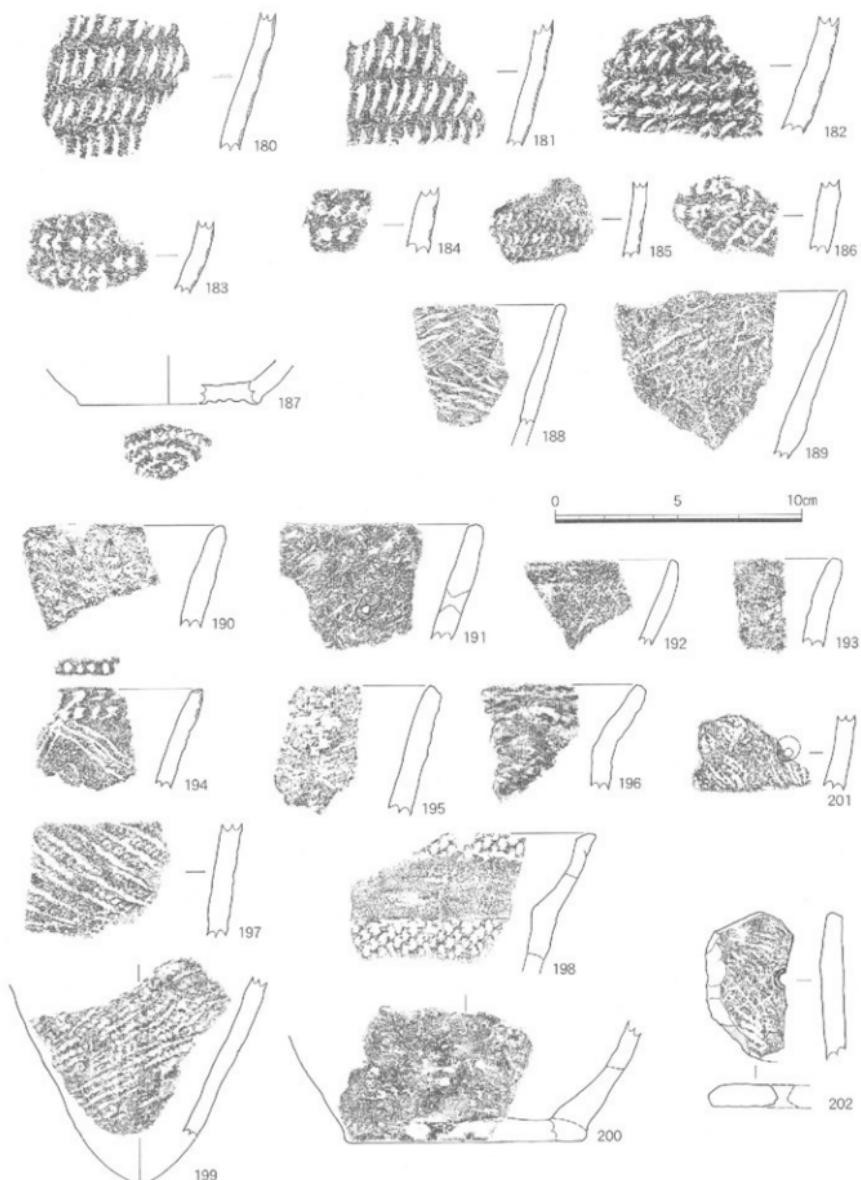
177



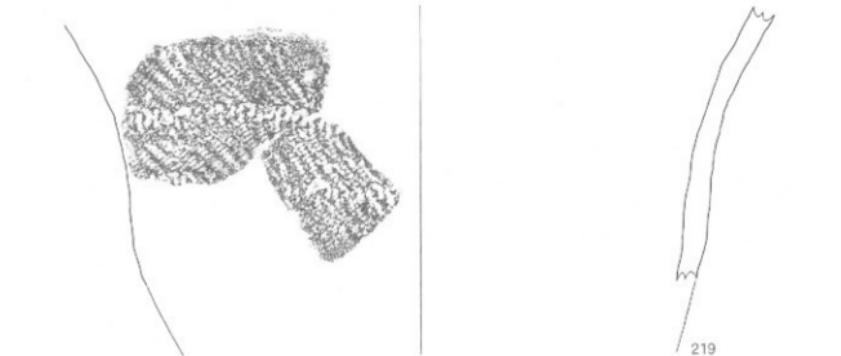
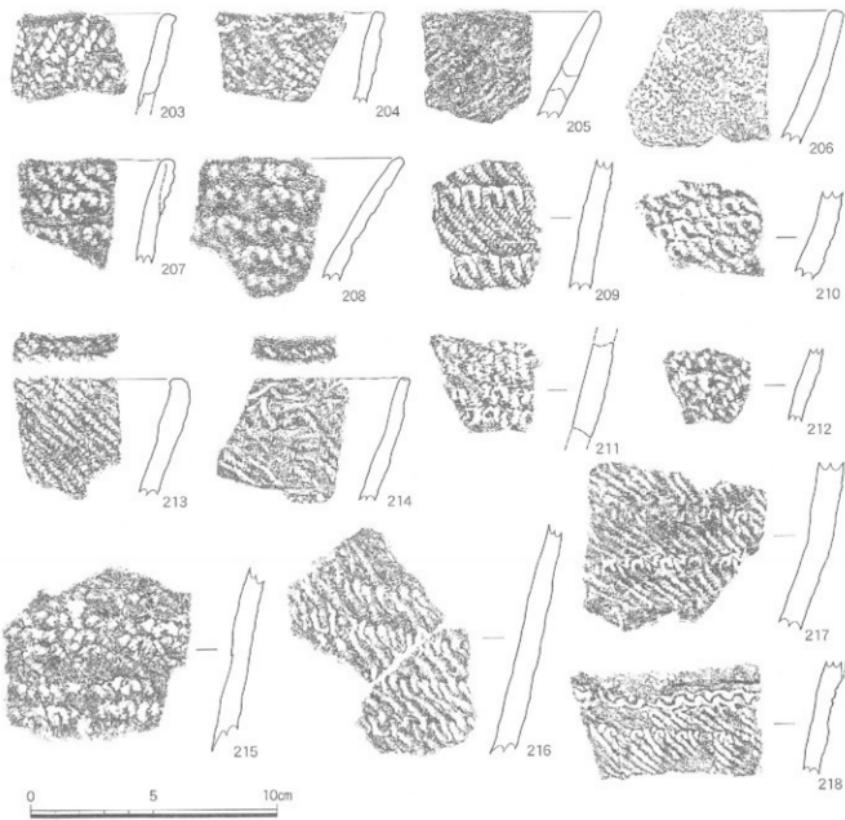
179



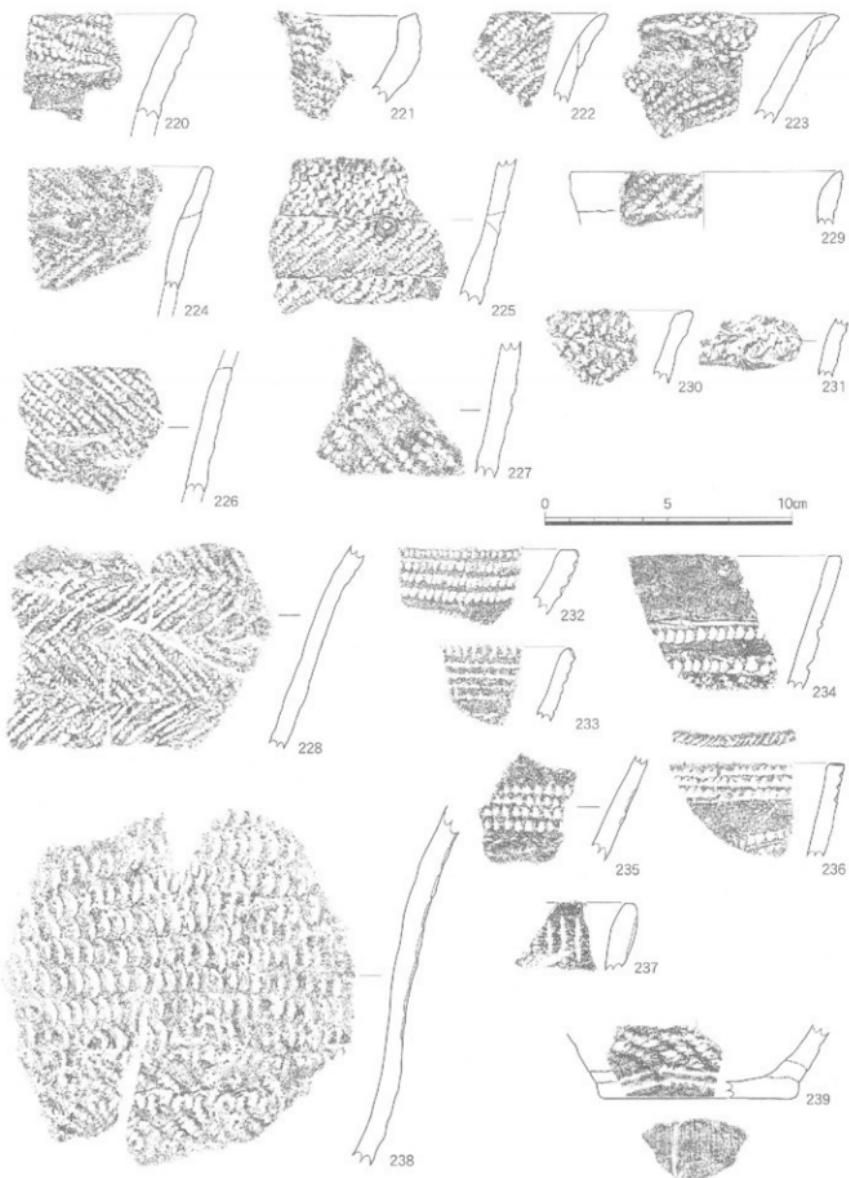
B区 図26 捺文時代遺物実測図 (15) 捺文土器 後期前葉～晩期 (S=1/4)



B区 図27 繩文時代遺物実測図 (16) 繩文土器 前期 (S=1/2)



B区 図28 縄文時代遺物実測図 (17) 縄文土器 前期 ($S=1/2$)



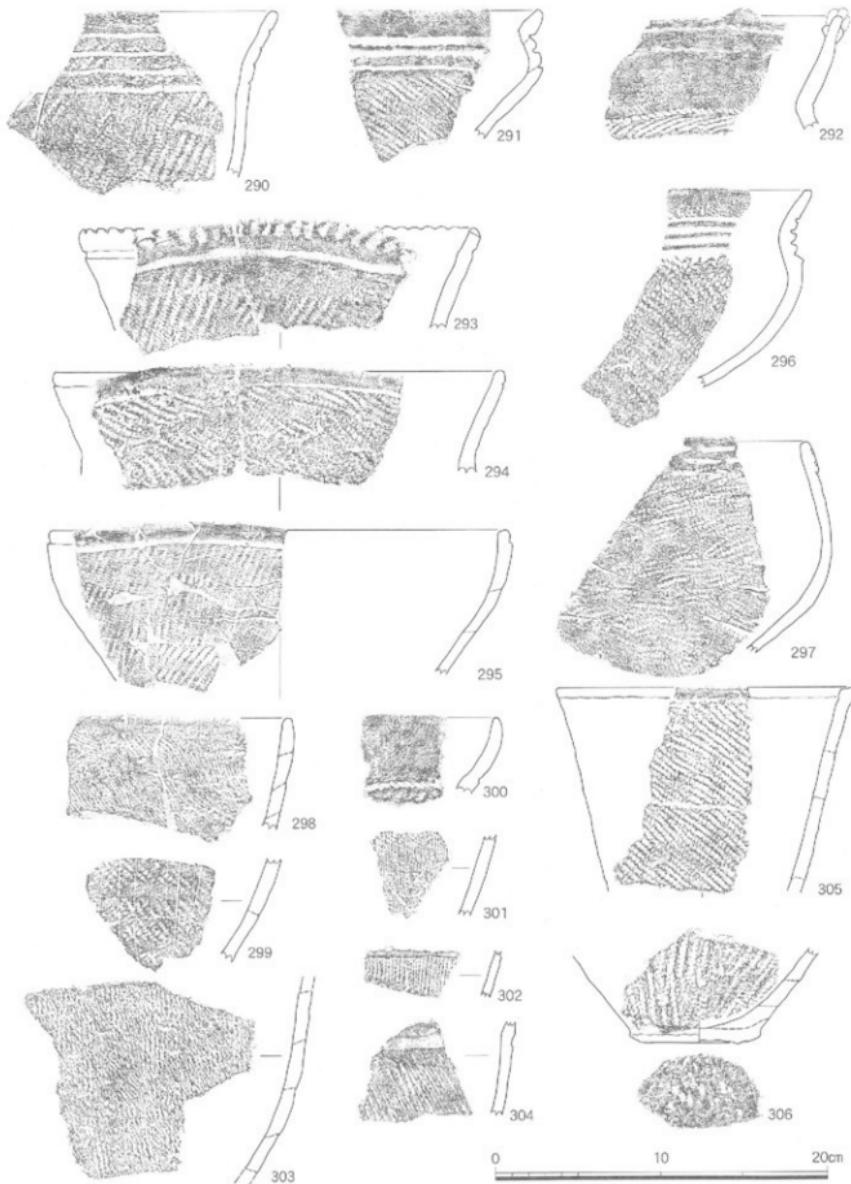
B区 図29 縄文時代遺物実測図 (18) 縄文土器 前期 ($S=1/2$)



B区 図30 縄文時代遺物実測図 (19) 縄文土器 中期前葉 ($S=1/3$)



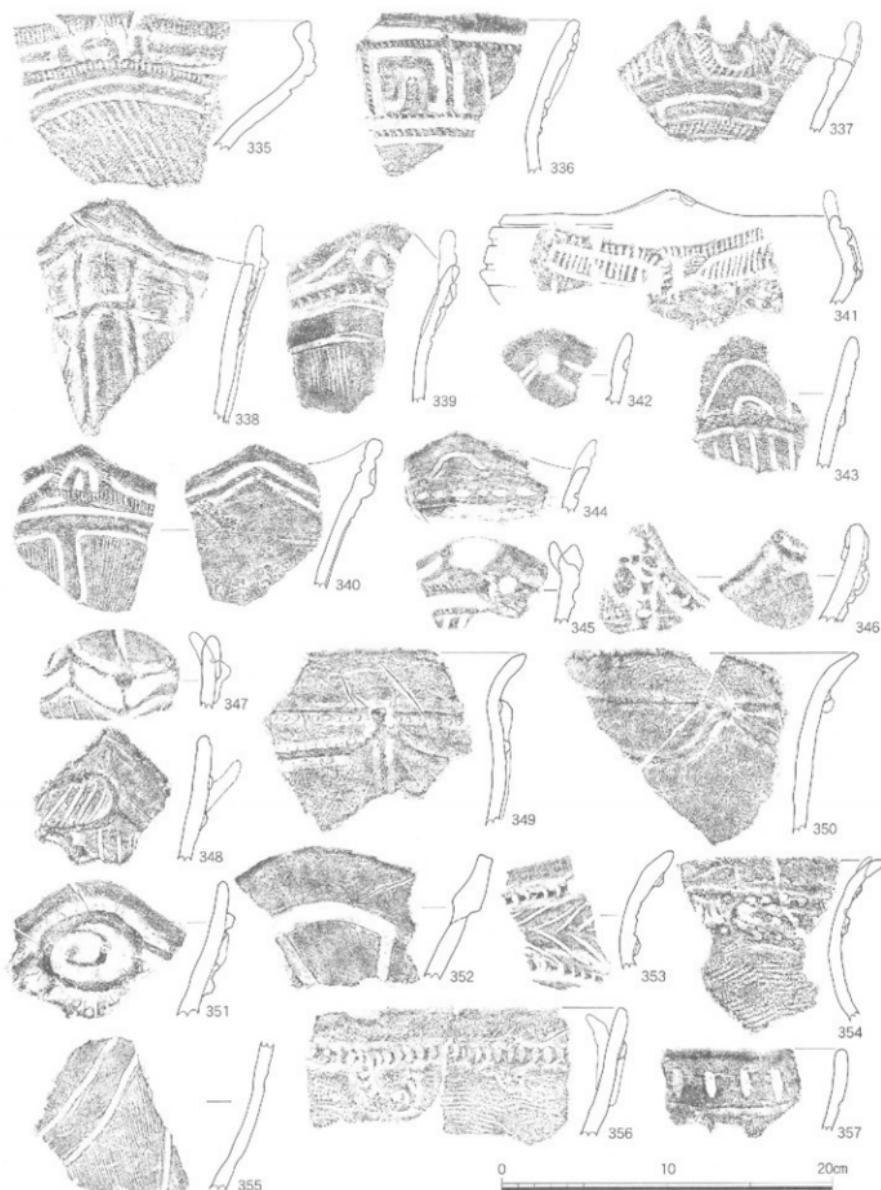
B区 図31 縄文時代遺物実測図 (20) 縄文土器 中期前葉～中葉 ($S=1/3$)



B区 図32 縄文時代遺物実測図 (21) 縄文土器 中期中葉 ($S=1/3$)



B区 図33 縄文時代遺物実測図 (22) 縄文土器 中期中葉～後葉 ($S=1/3$)



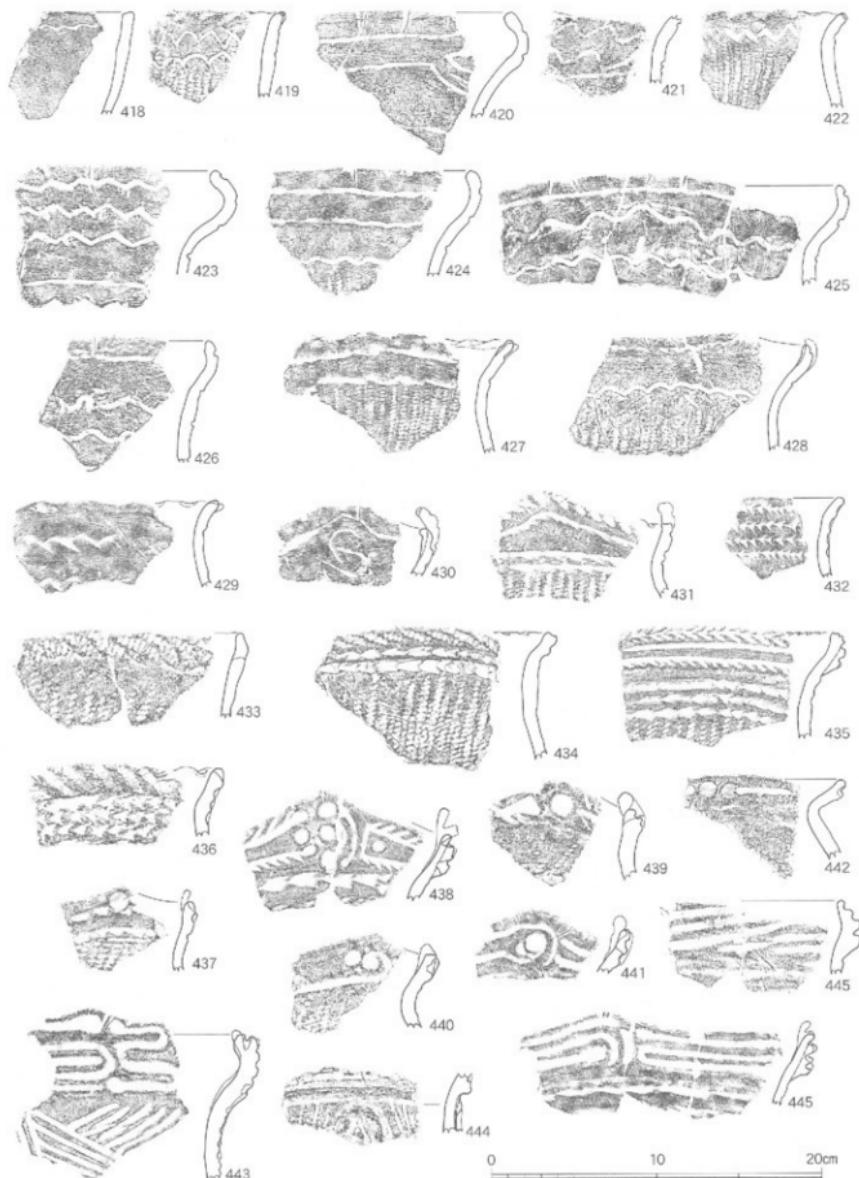
B区 図34 縄文時代遺物実測図 (23) 縄文土器 中期後葉 ($S=1/3$)



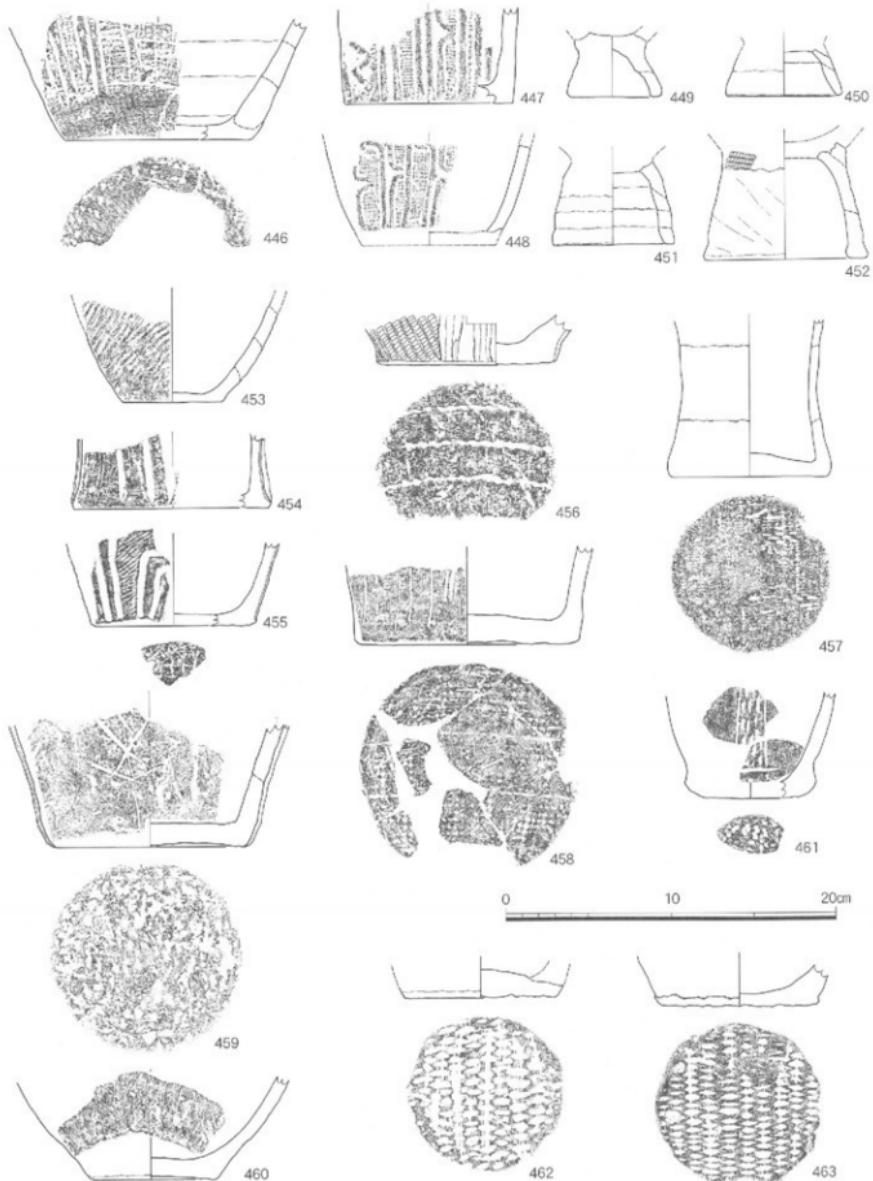
B区 図35 縄文時代遺物実測図 (24) 縄文土器 中期末～後期初頭 ($S=1/3$)



B区 図36 繩文時代遺物実測図 (25) 繩文土器 中期末～後期初頭 ($S=1/3$)



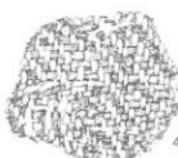
B区 図37 繩文時代遺物実測図 (26) 繩文土器 後期前葉 (S=1/3)



B区 図38 縄文時代遺物実測図 (27) 縄文土器 底部・網代圧痕 (S=1/3)



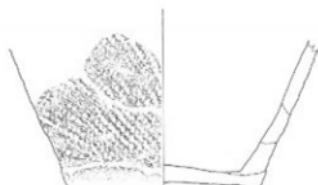
464



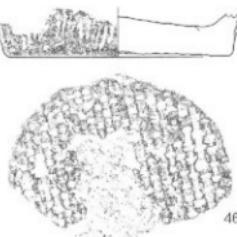
466



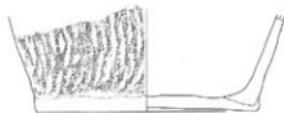
467



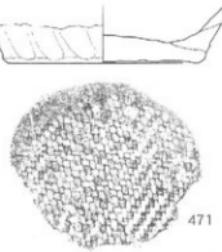
468



469



470



471

0 10 20cm



472



473



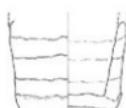
474



475



476



477



478



479



480

B区 図39 縄文時代遺物実測図 (28) 縄文土器 縄代压痕・ミニチュア土器 ($S=1/3$)



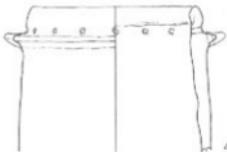
481



486



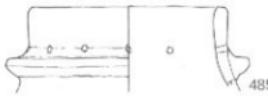
482



484

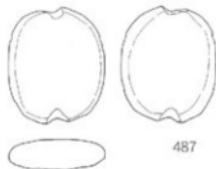


483

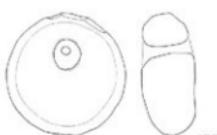


485

0 10 20cm



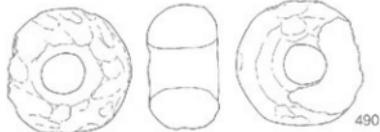
487



488

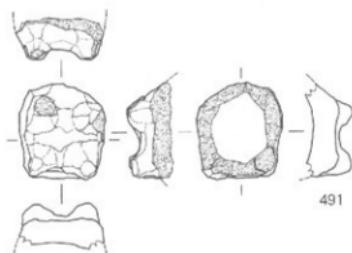


489

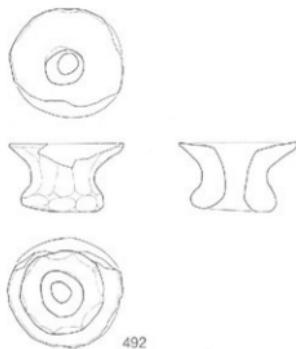


490

0 5 10cm
(491+492)±S-1/2

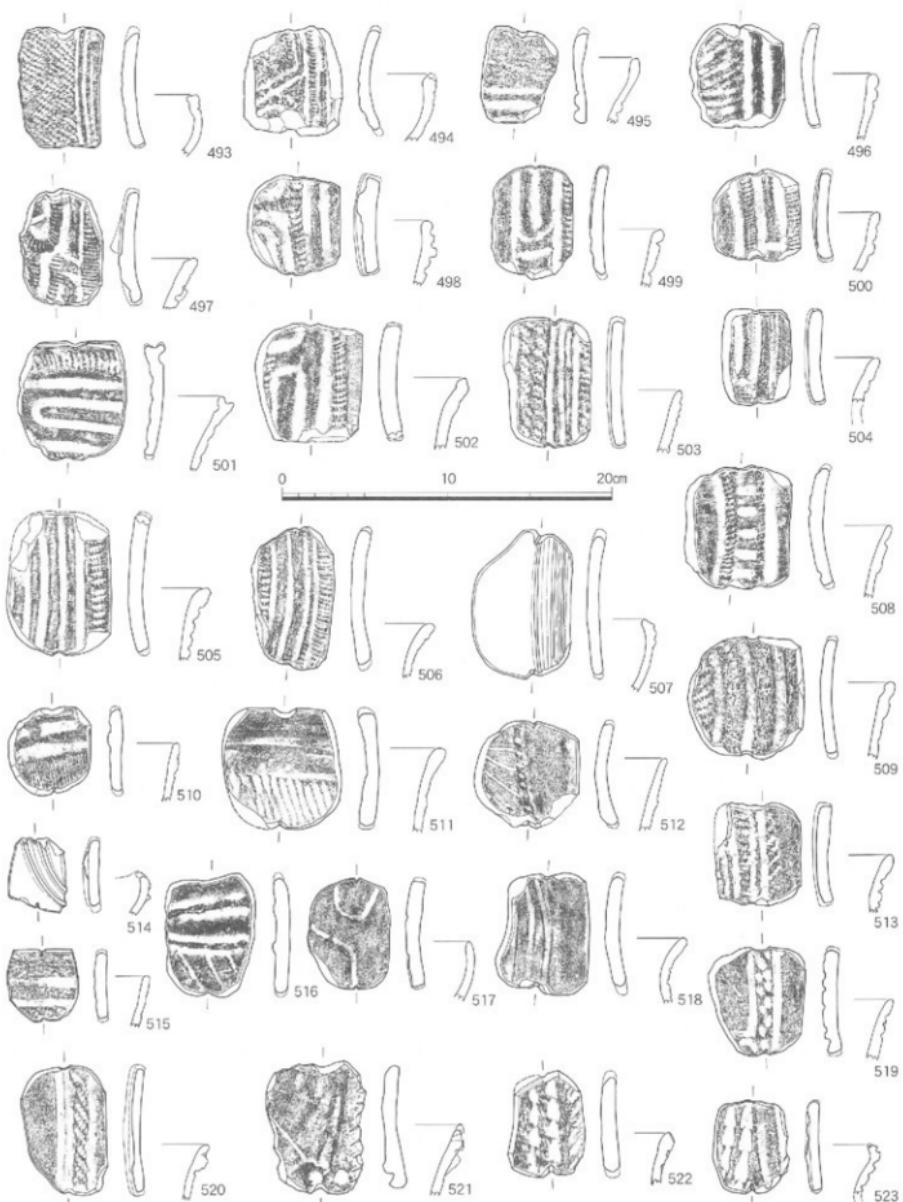


491

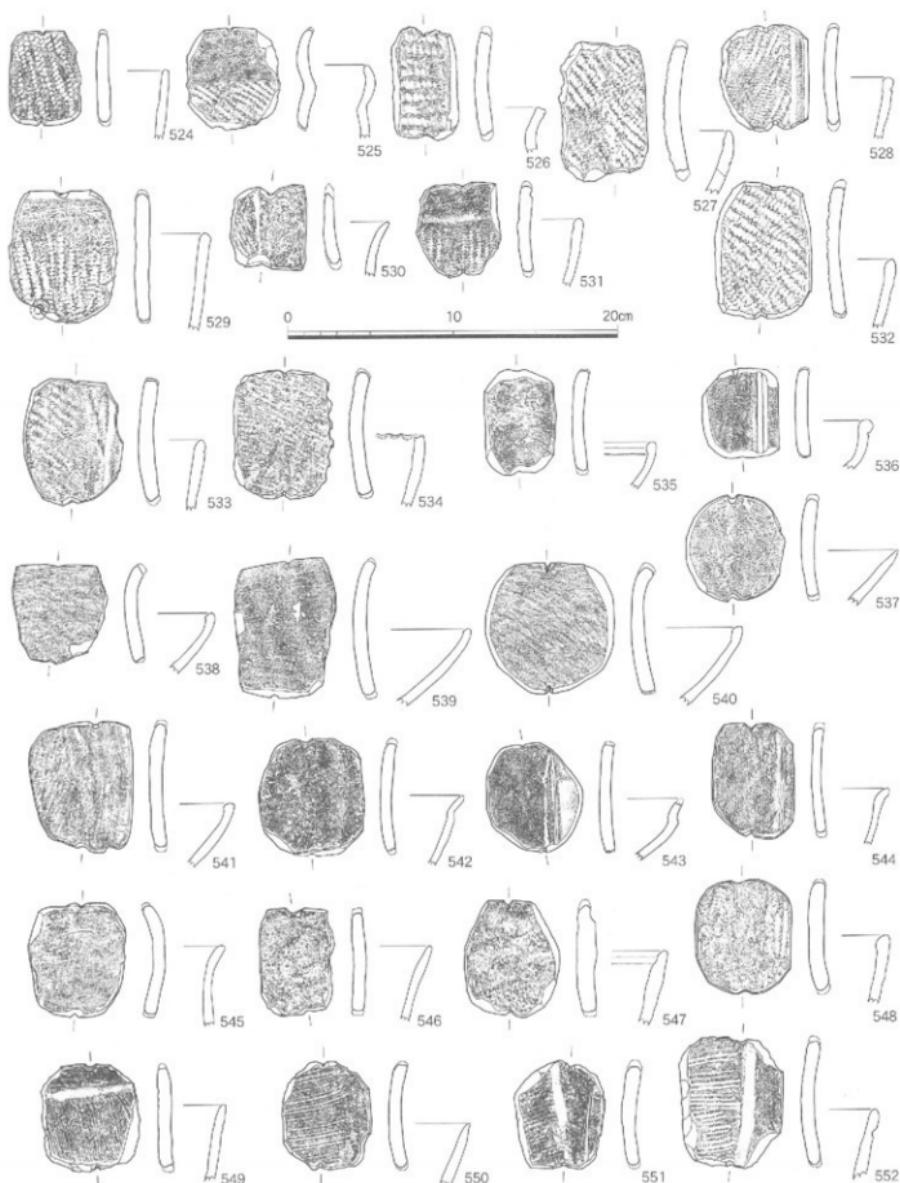


492

B区 図40 縄文時代遺物実測図 (29) 赤彩土器・漆塗土器・土製品 (S=1/3)



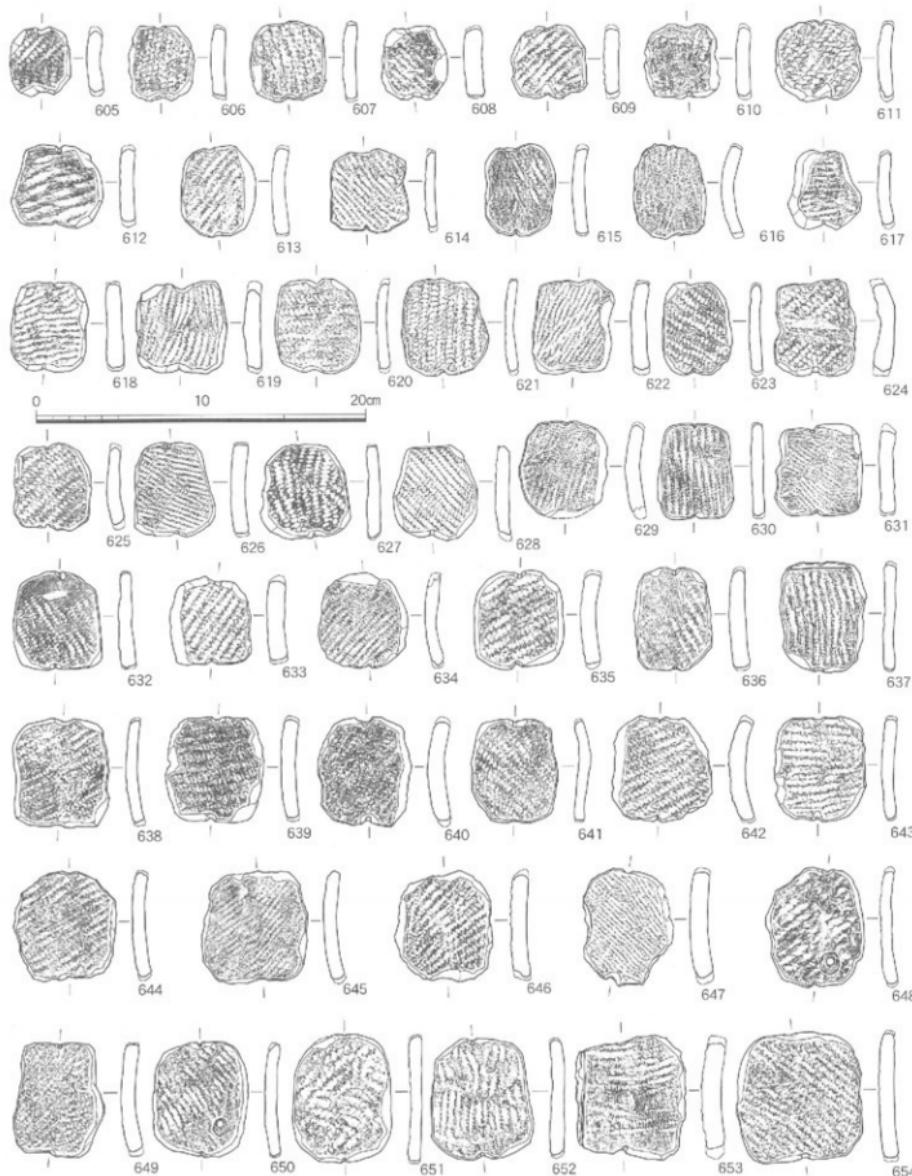
B区 図41 繪文時代遺物実測図 (30) 土器片錘 (S=1/3、口縁部断面図は1/4)



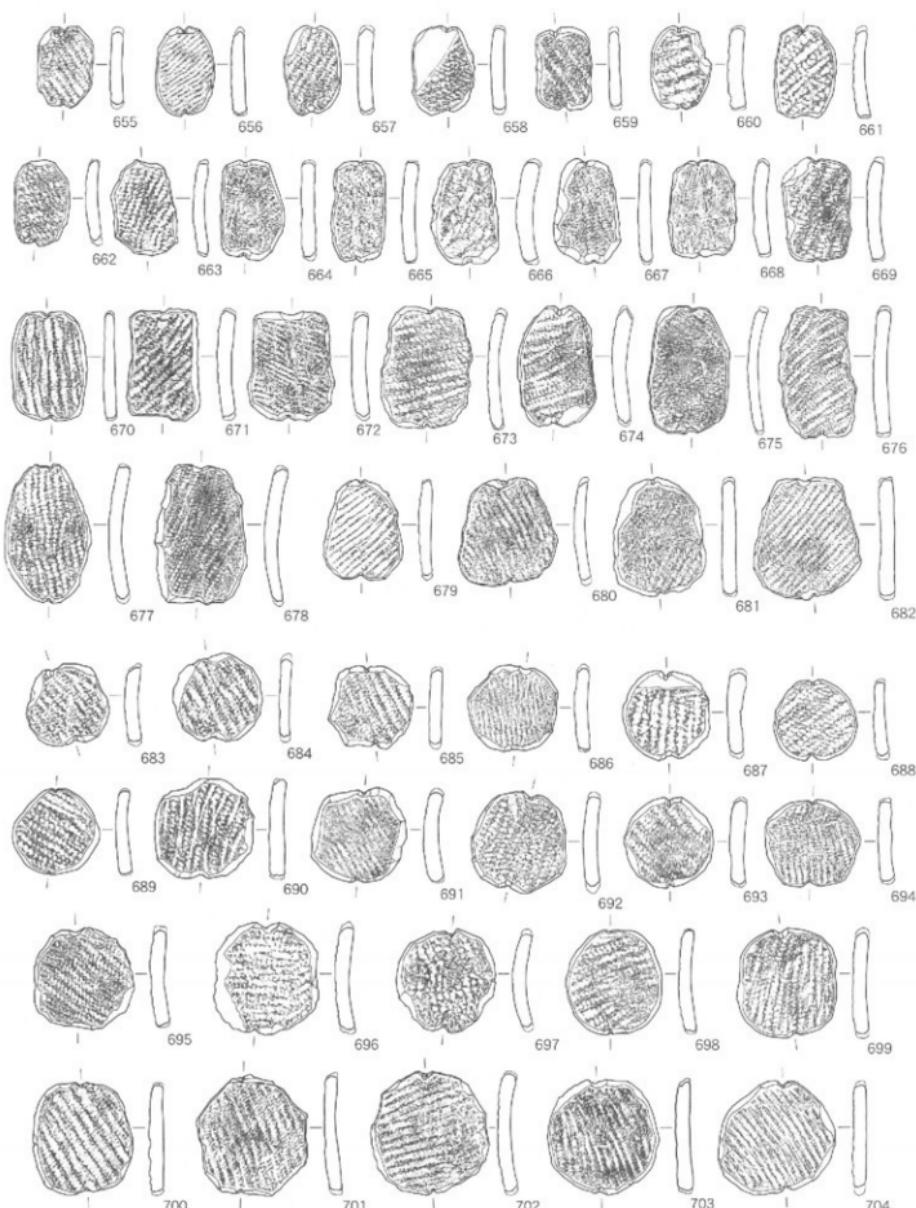
B区 図42 縄文時代遺物実測図 (31) 土器片鉢 ($S=1/3$ 、口縁部断面図は $1/4$)



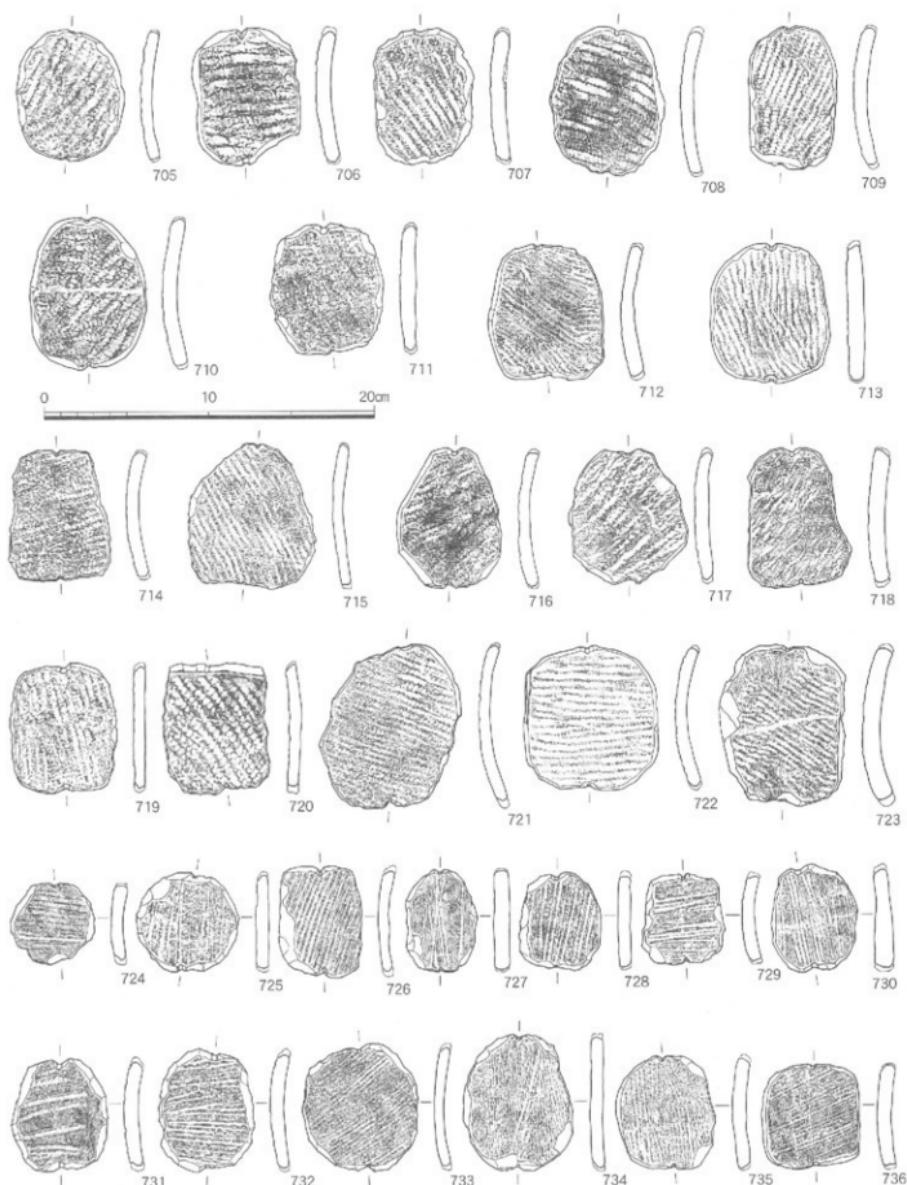
B区 図43 縄文時代遺物実測図 (32) 土器片錐 ($S=1/3$)



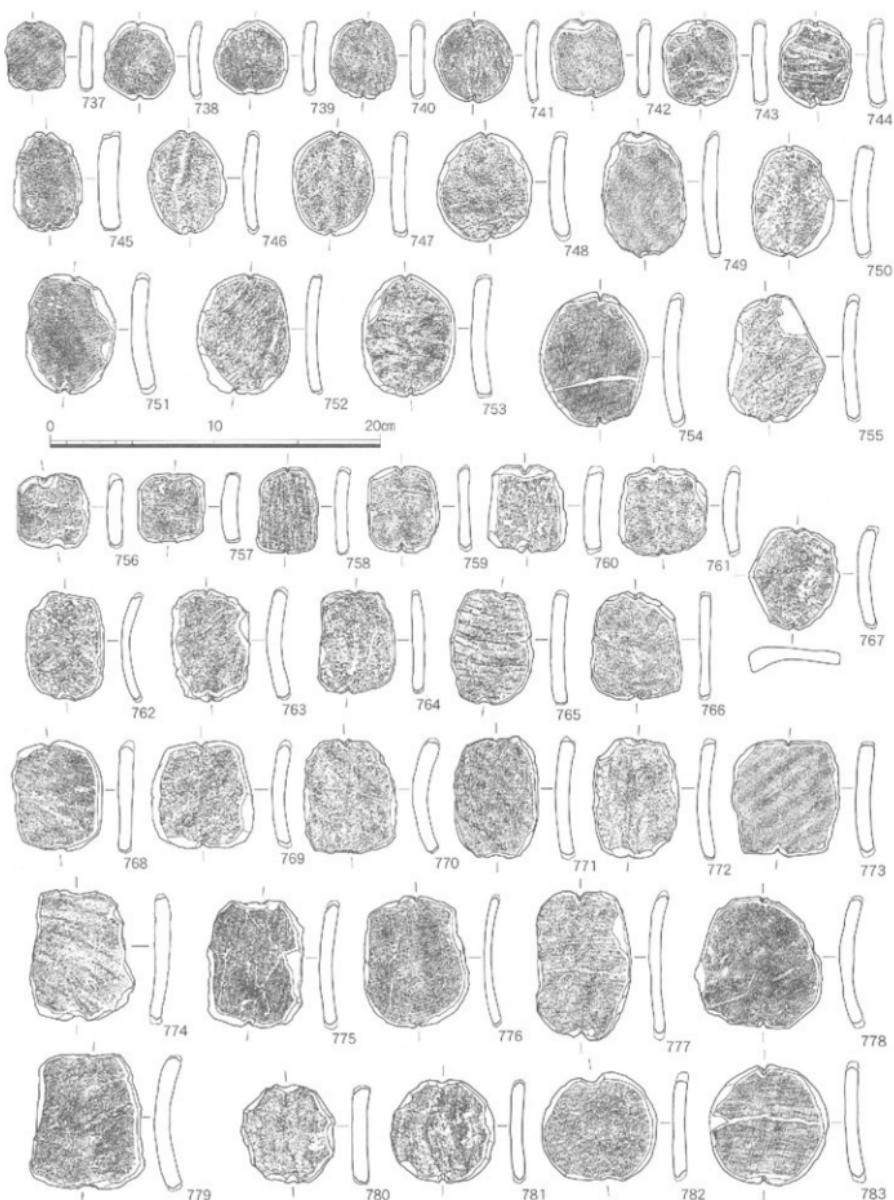
B区 図44 縄文時代遺物実測図 (33) 土器片錠 (S=1/3)



B区 図45 繩文時代遺物実測図 (34) 土器片錐 ($S=1/3$)



B区 図46 縄文時代遺物実測図 (35) 土器片錘 ($S=1/3$)



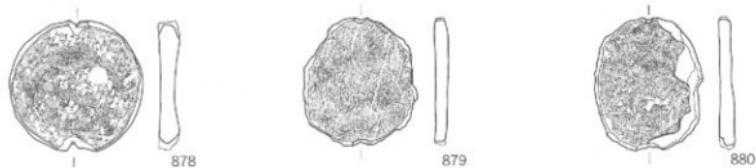
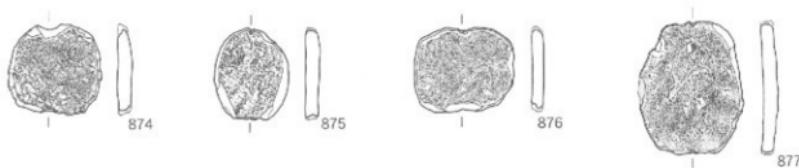
B区 図47 繩文時代遺物実測図 (36) 土器片錐 (S=1/3)



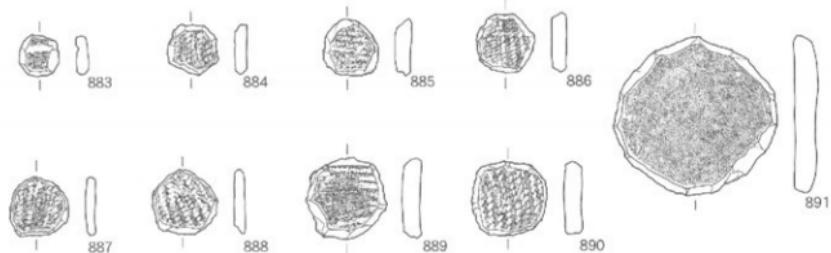
B区 図48 純文時代遺物実測図 (37) 土器片錘 (S=1/3)



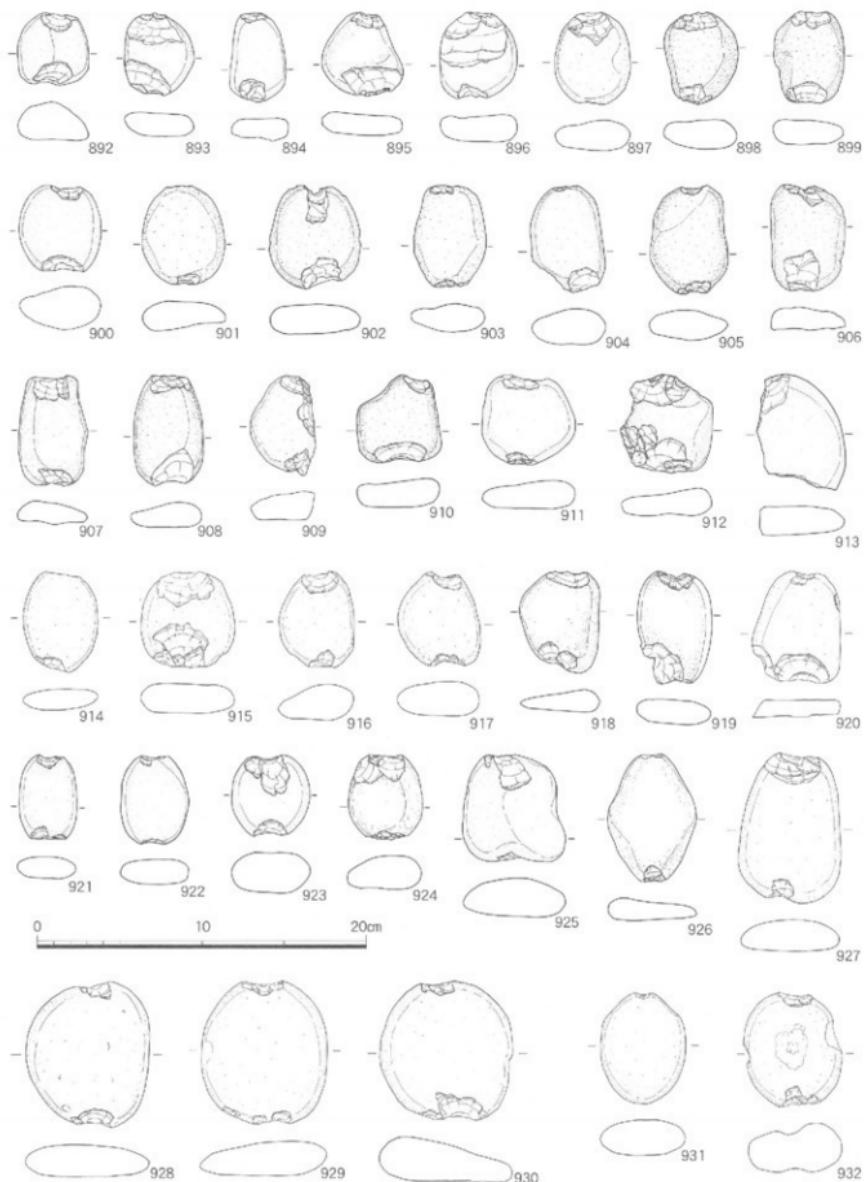
B区 図49 繩文時代遺物実測図(38) 土器片錠 (S=1/3)



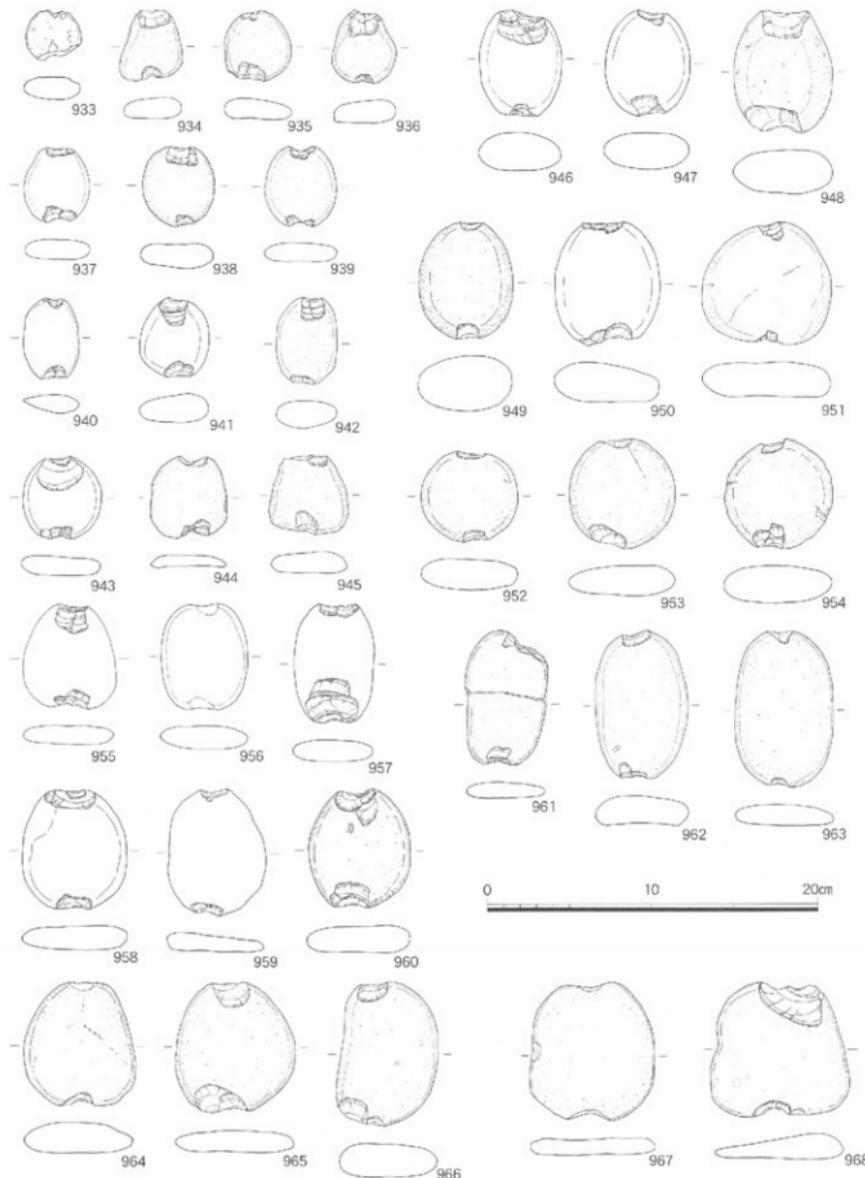
0 10 20cm



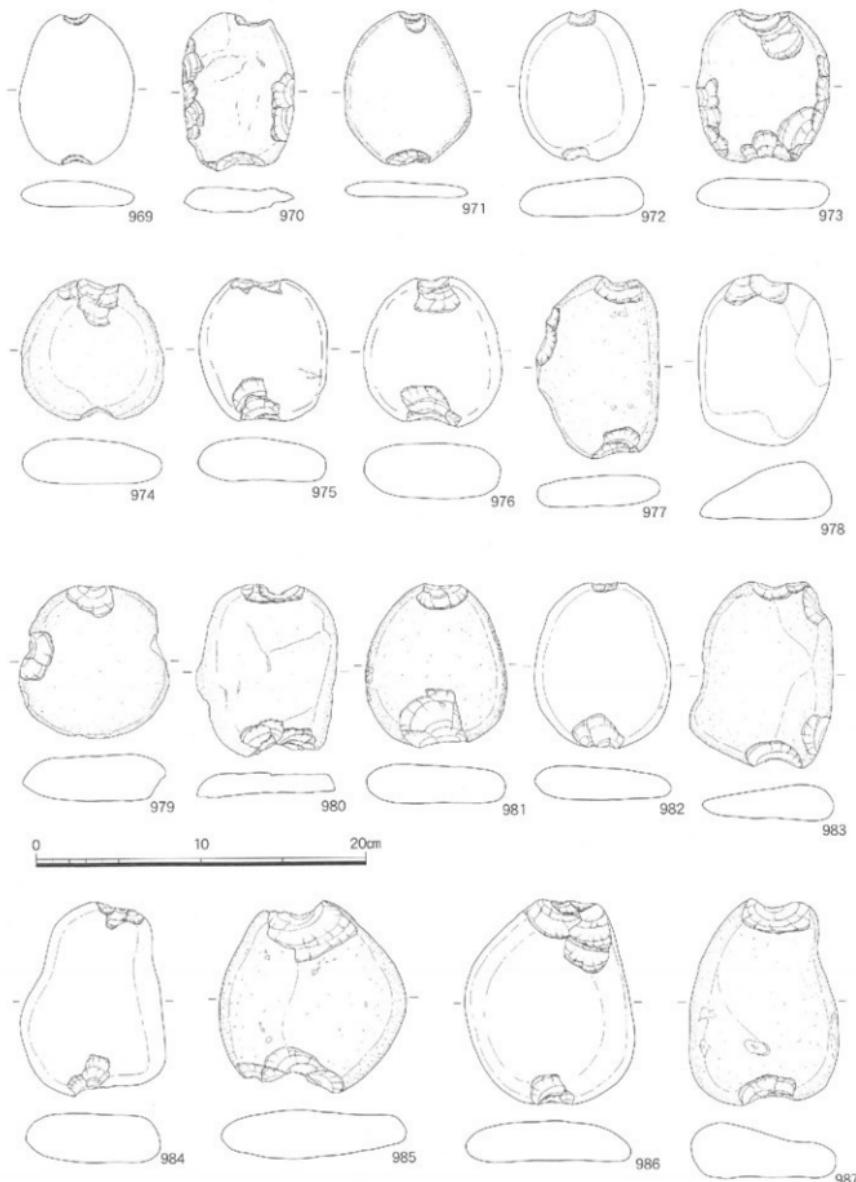
B区 図50 縄文時代遺物実測図 (39) 土器片錐 (S=1/3、底部断面図は1/4)



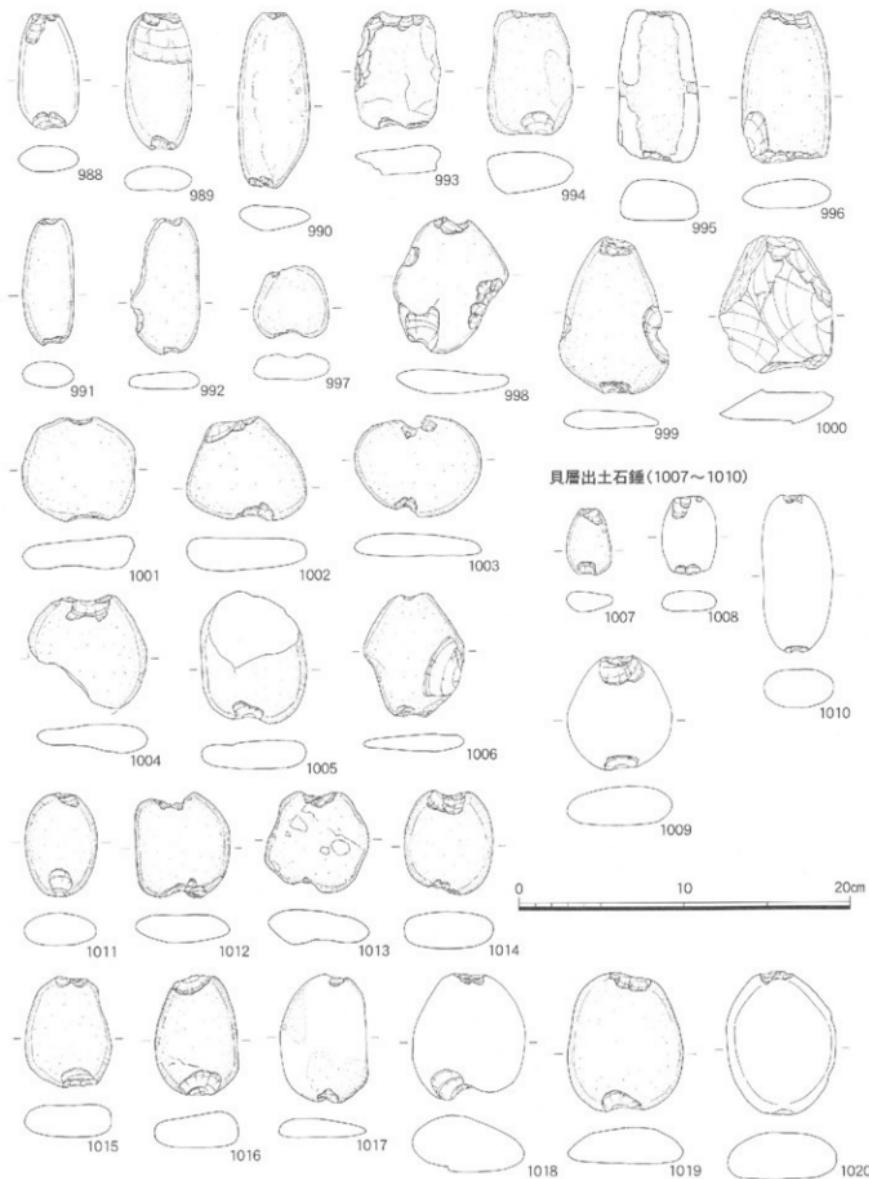
B区 図51 縄文時代遺物実測図 (40) 石錐 ($S=1/3$)



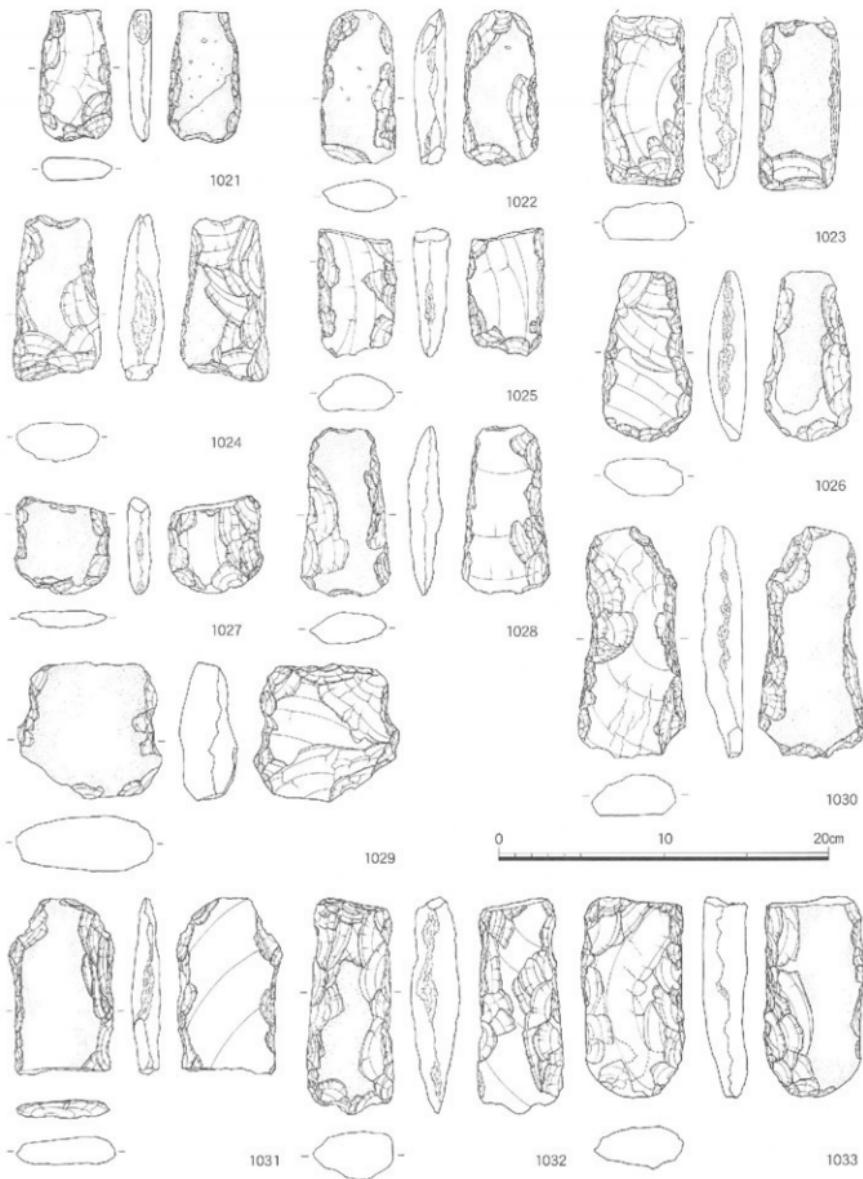
B区 図52 縄文時代遺物実測図 (41) 石錘 ($S=1/3$)



B区 図53 繩文時代遺物実測図 (42) 石錘 ($S=1/3$)



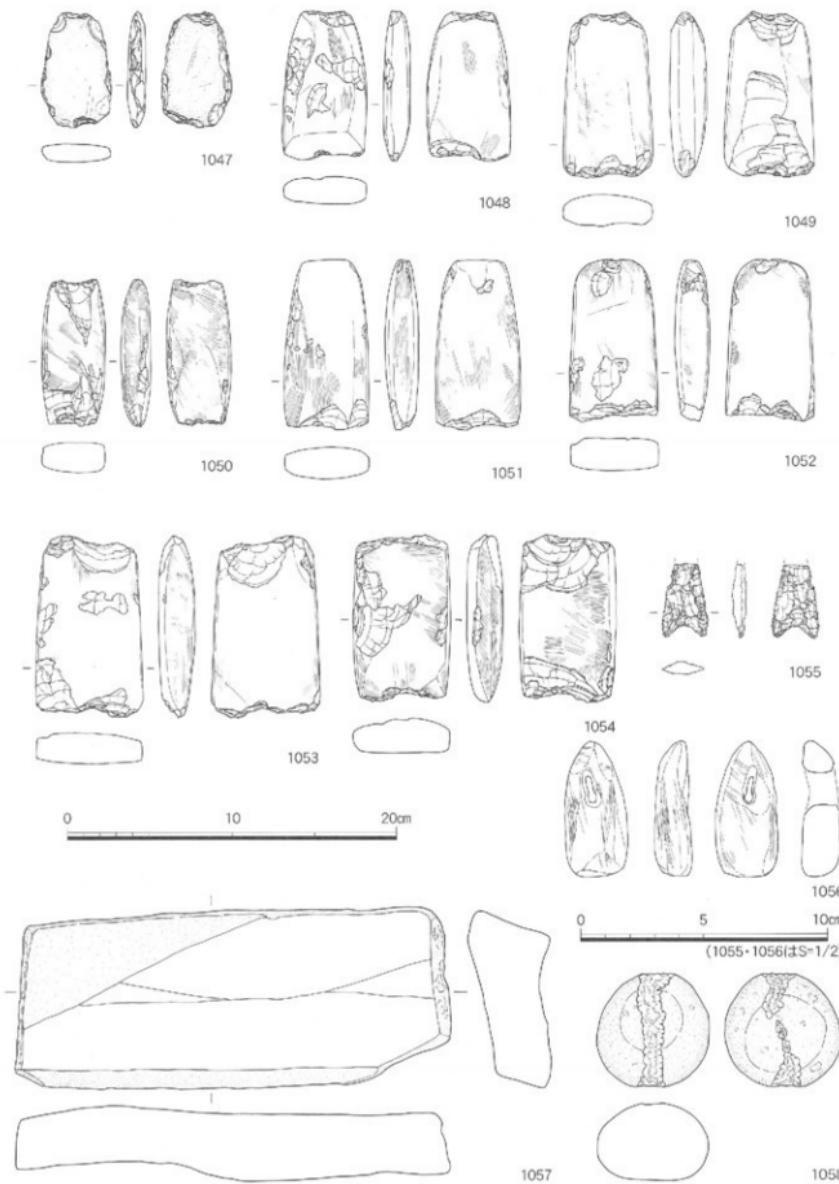
B区 図54 繩文時代遺物実測図 (43) 石錐 (S=1/3)



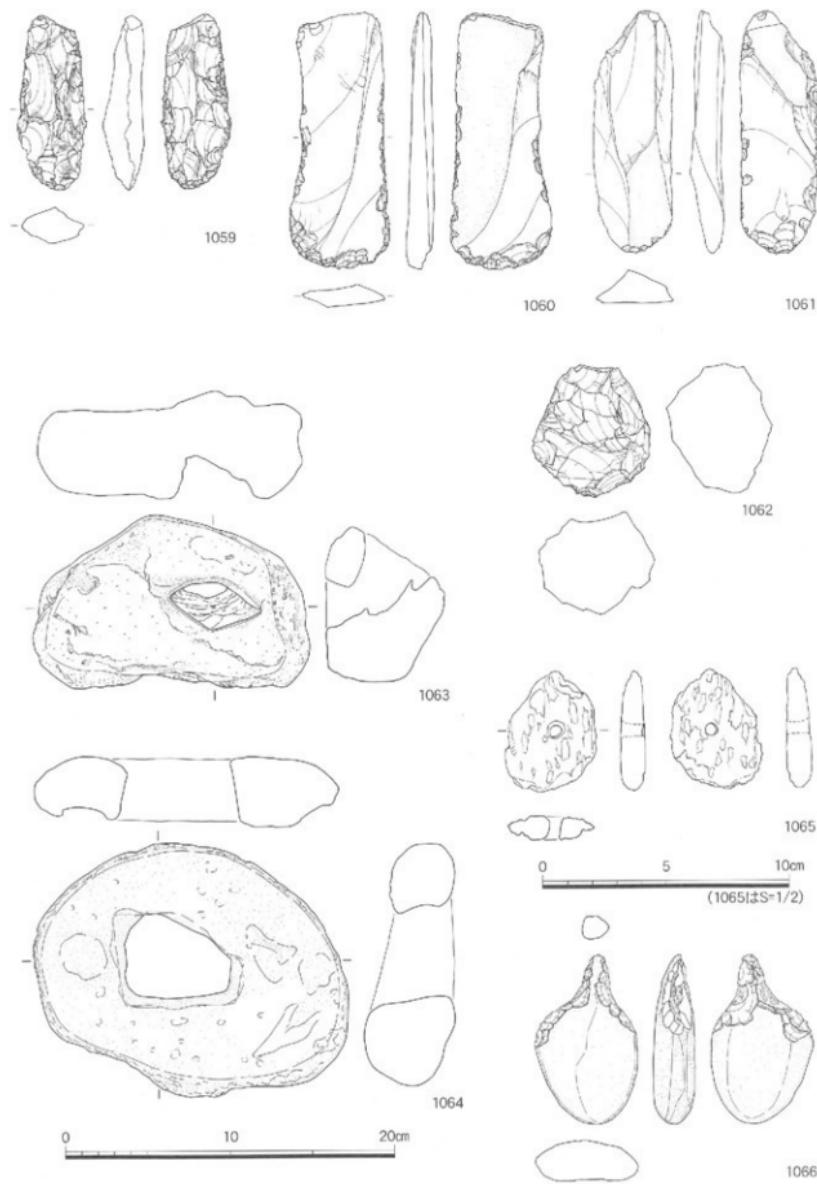
B区 図55 捺文時代遺物実測図 (44) 打製石斧 (S=1/3)



B区 図56 縄文時代遺物実測図 (45) 磨製石斧 ($S=1/3$)



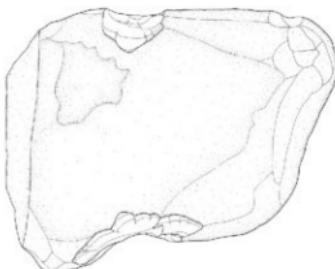
B区 図57 捺文時代遺物実測図 (46) 磨製石斧・石簇・垂飾ほか (S=1/3)



B区 図58 縄文時代遺物実測図 (47) 石器 ($S=1/3$)



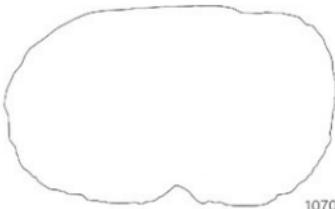
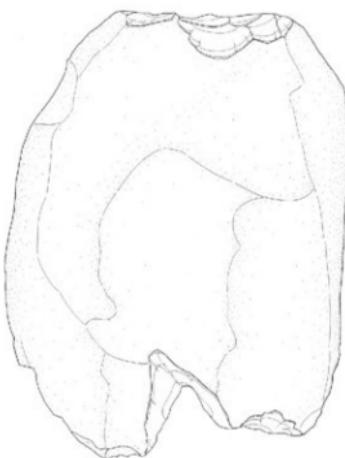
1067



1068



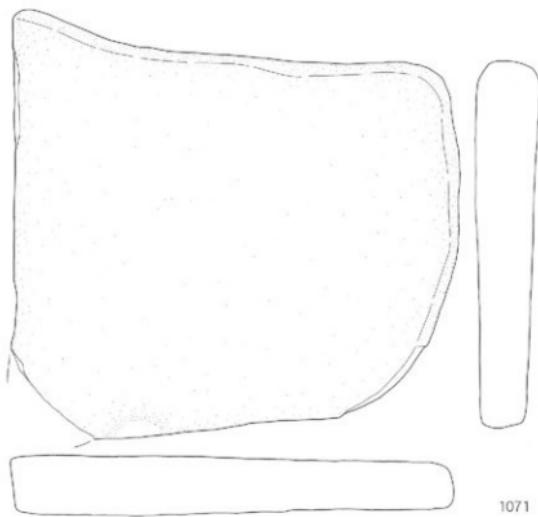
1069



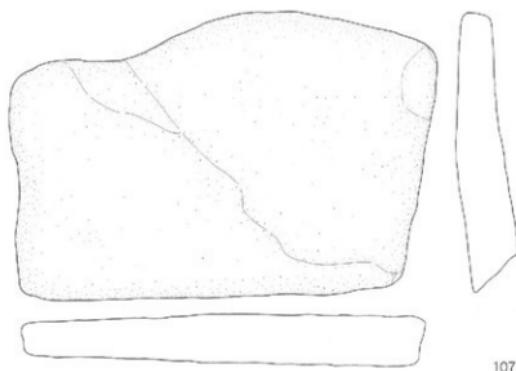
1070

0 10 20cm

B区 図59 繩文時代遺物実測図 (48) 石器 (S=1/3)



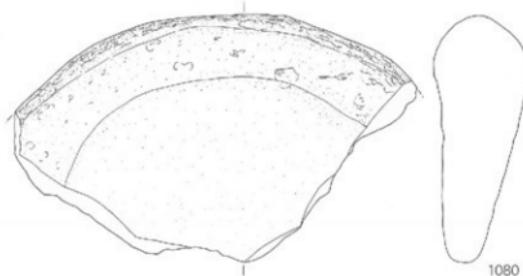
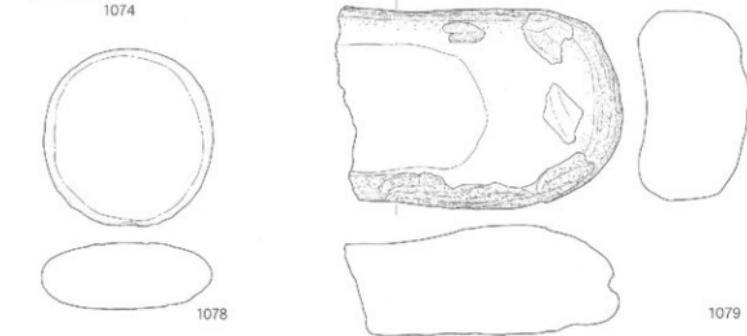
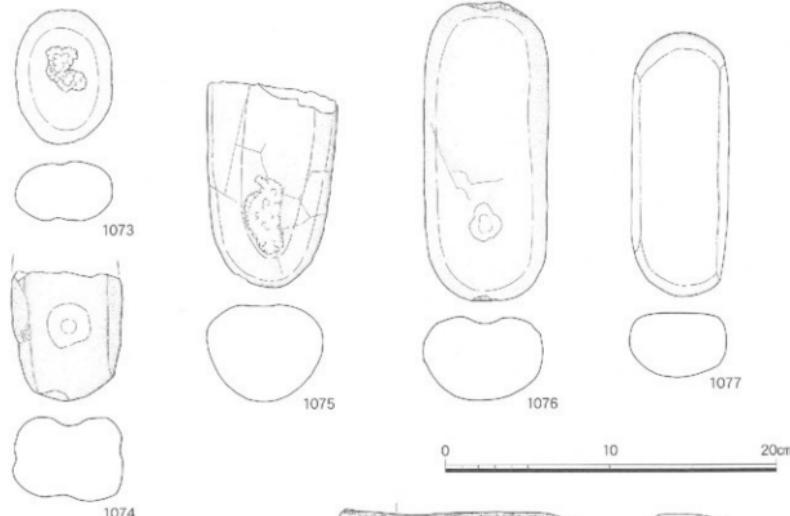
1071



1072

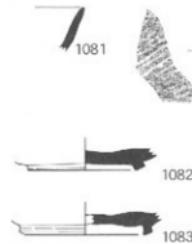
0 10 20cm

B区 図60 縄文時代遺物実測図 (49) 石器 (S=1/3)

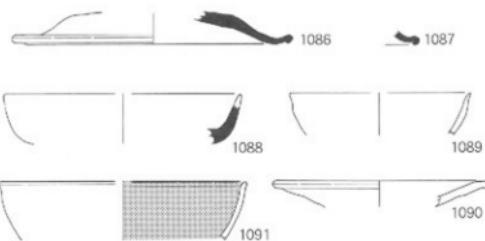


B区 図61 繩文時代遺物実測図 (50) 石器 ($S=1/3$)

SD01(1081~1085)



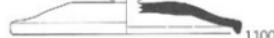
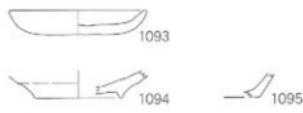
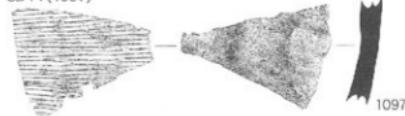
SD02・03(1086~1095)



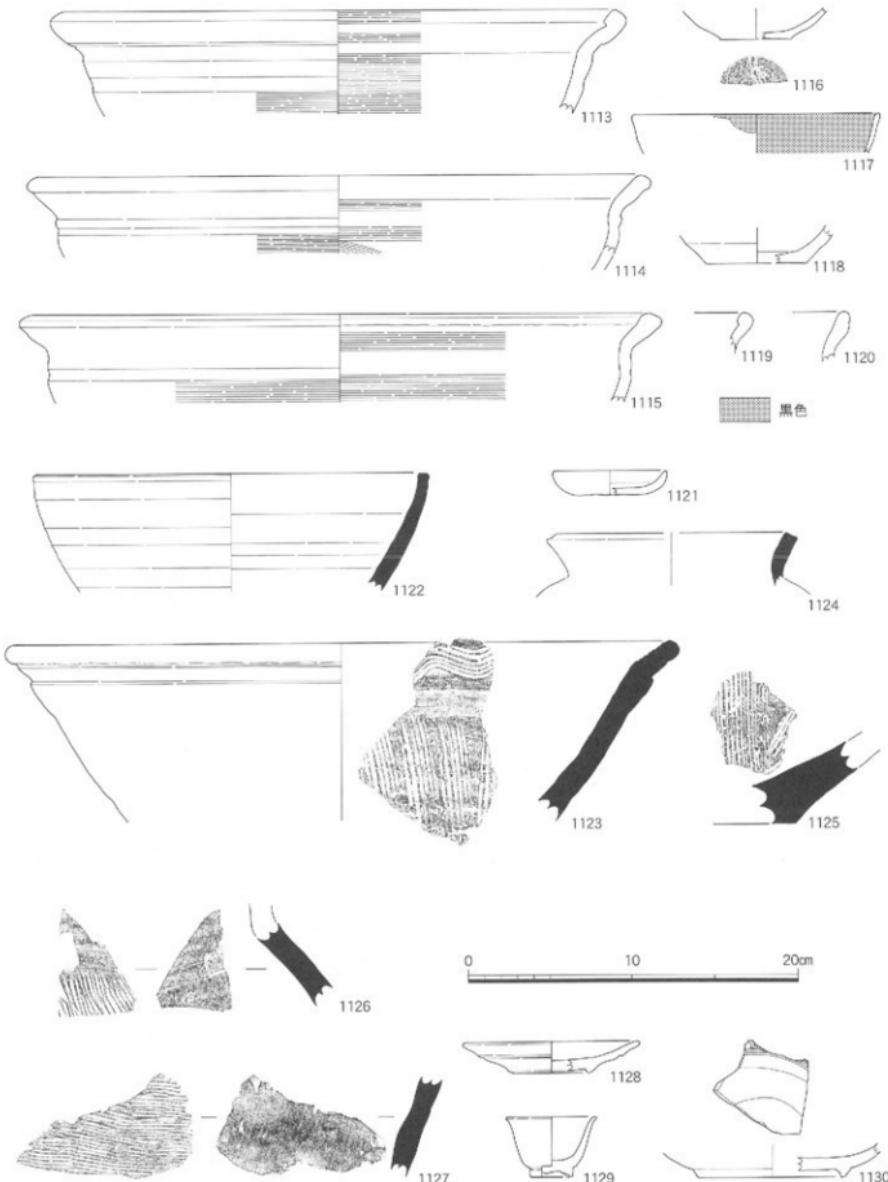
SD04(1096)



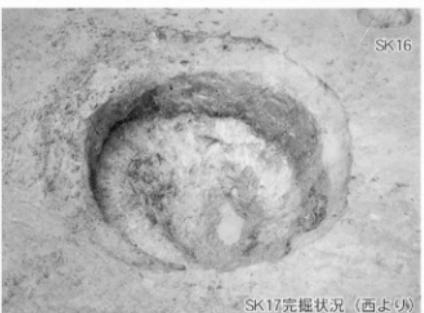
SD14(1097)

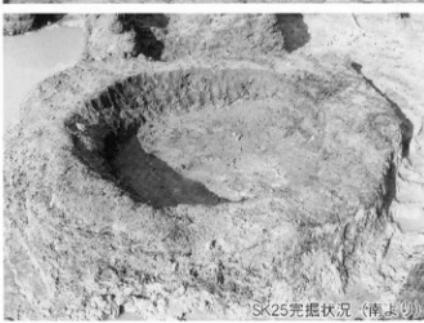
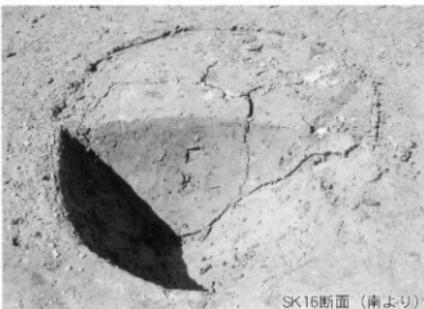
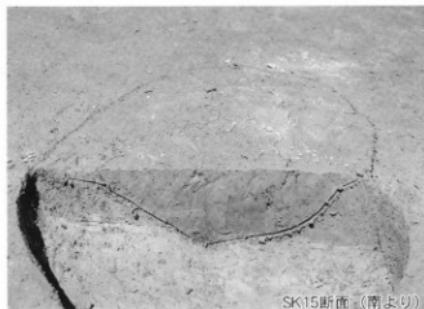


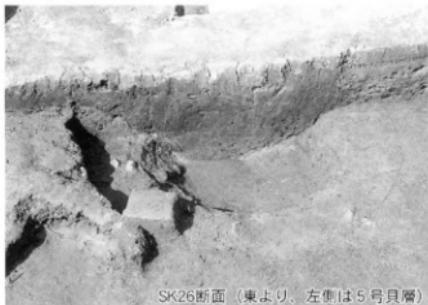
B区 図62 弥生～近世遺物実測図 (S=1/3)



B区 図63 古代～近世遺物実測図 ($S=1/3$)



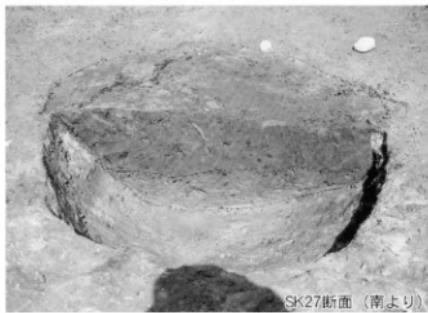




SK26断面（東より、左側は5号貝層）



SK26元堀跡（西より）



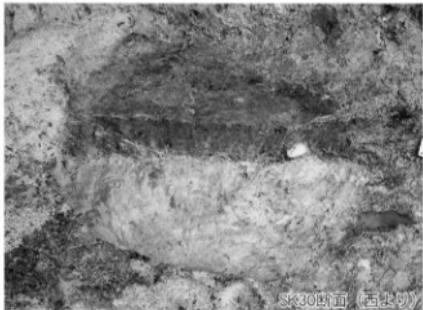
SK27断面（南より）



SK28断面（東より）



SK29断面（南より）



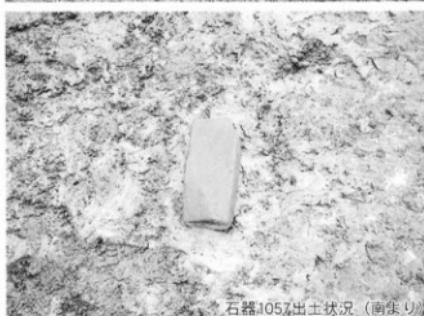
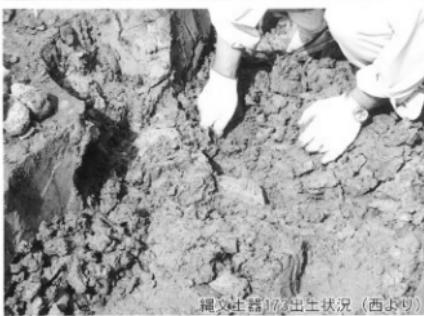
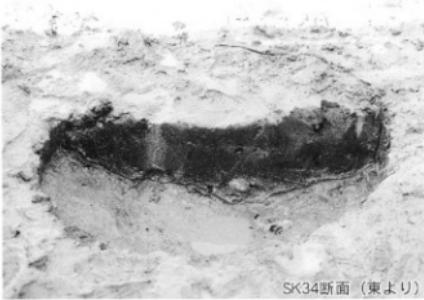
SK30断面（西より）



SK31断面（西より）

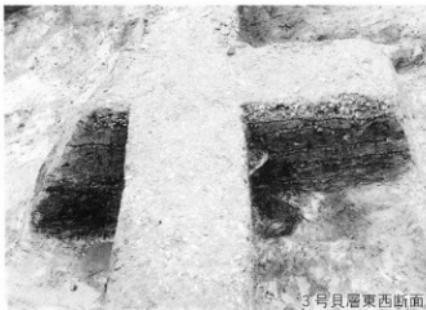


佐室園景（西より）

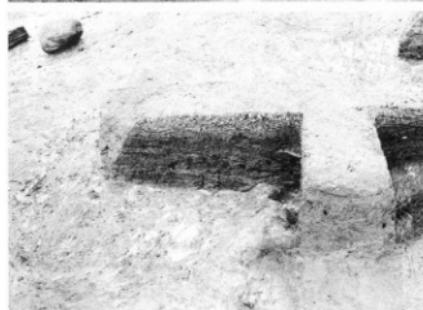




2号貝層（南より）



3号貝層東西断面



3号貝層南北断面



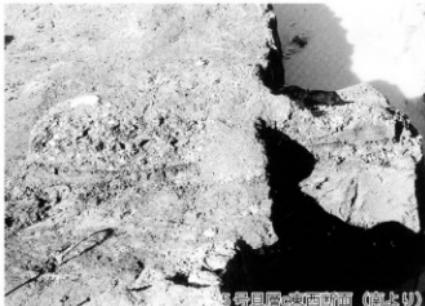
4号貝層a南北断面

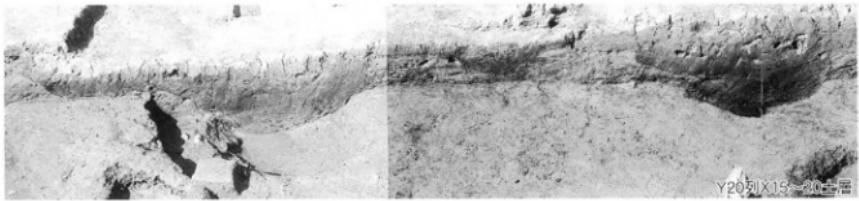


4号貝層b断面（北西より）



4号貝層c南北断面





Y20列X19~20土層



Y20列X30~35土層



Y20列X35~40土層



X35列Y12~18土層



X35列Y15~18土層



X35列Y18~20土層



土器202-03 (西より)



SD01断面 (東より)



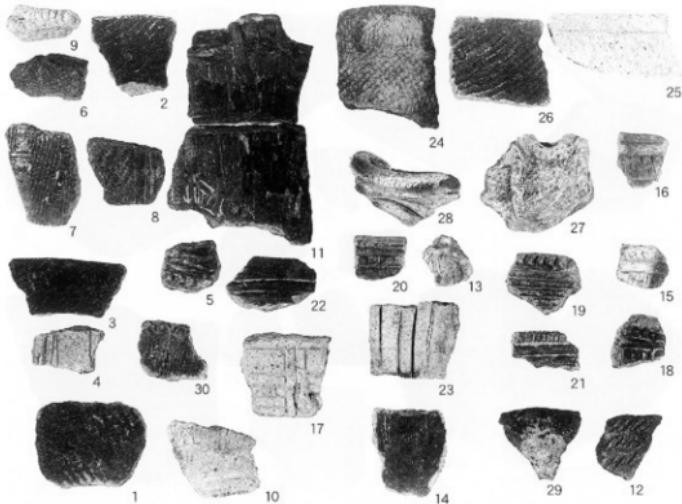
SD01元底状況 (南より)



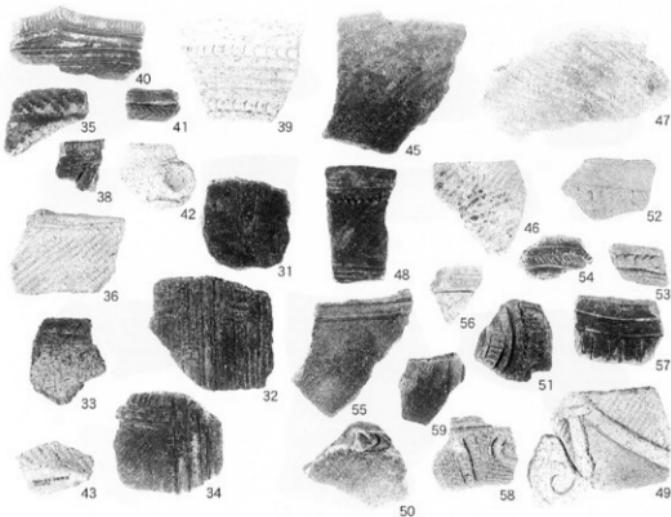
SD02断面 (西より)



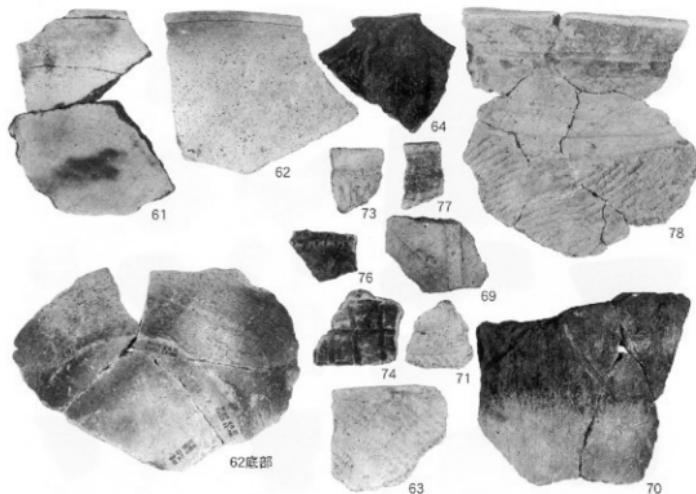
SD14断面→(西より)



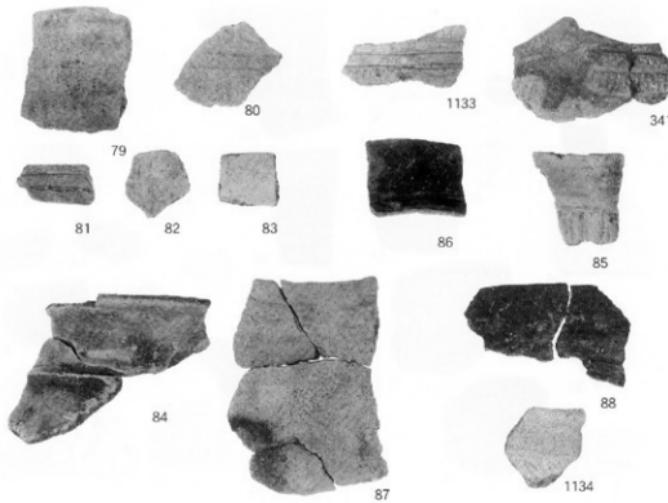
1・2号貝層出土土器



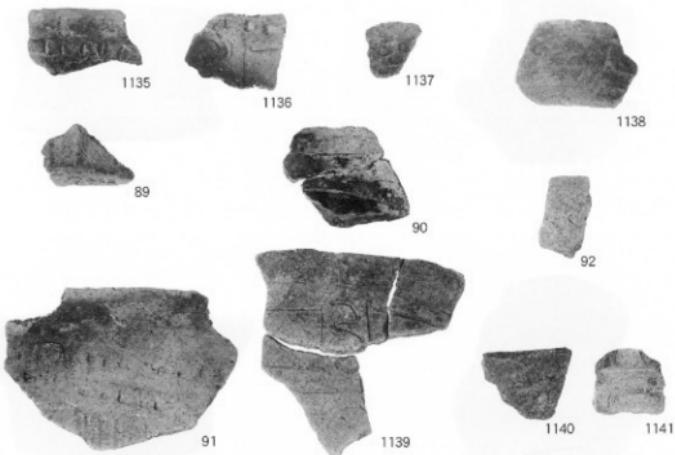
3・4号貝層出土土器



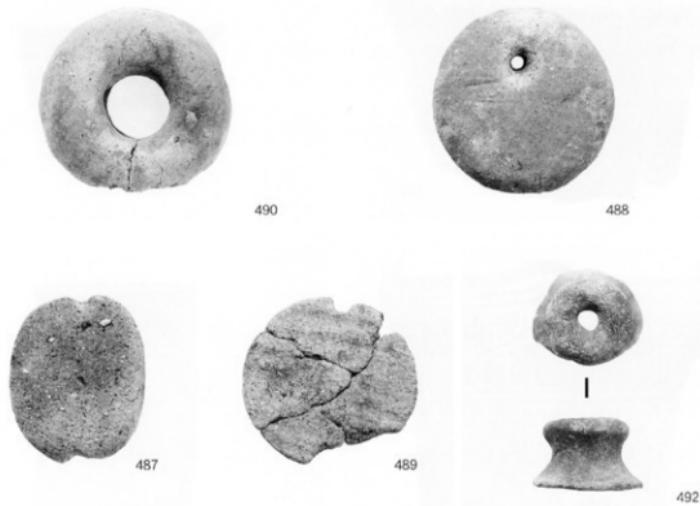
4・5号貝層出土土器



土坑出土土器



土坑出土土器





93



175



93底面



106



104



109



103



124



127



115



134



133



116



126



128



152



154



144



142



148



142



148側面



129



164



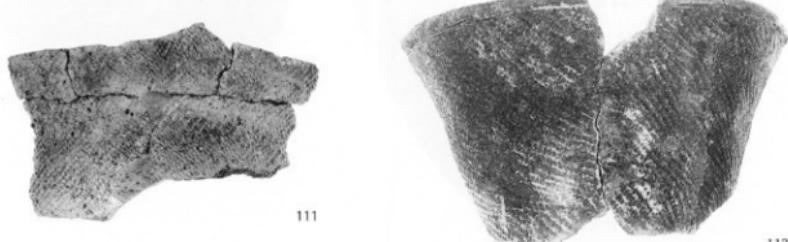
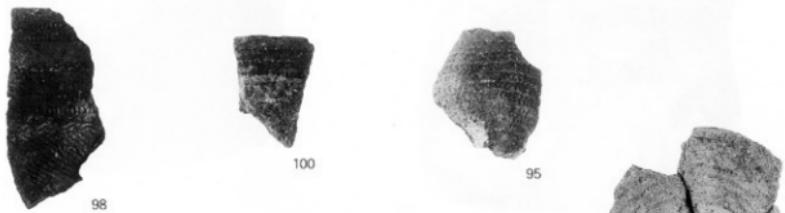
176



172

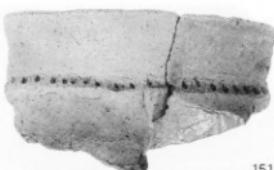


173





110



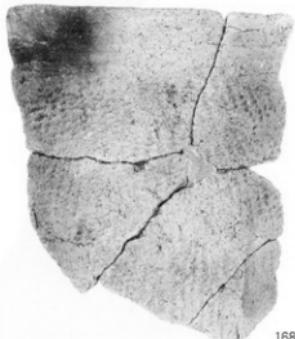
151



117



167



168



114



105



121



118



1142



119



157



125



136



145

I



143



174



131



139



141



140



123



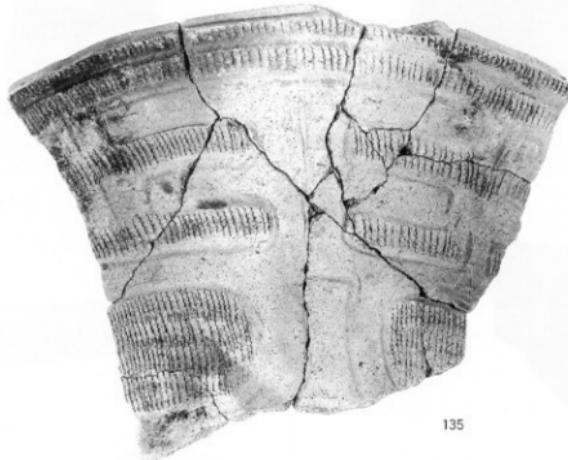
122



138



156



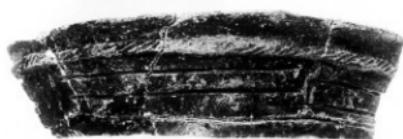
135



155



150



159



153



170



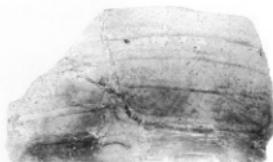
166



132



158



162



171



163



165



161



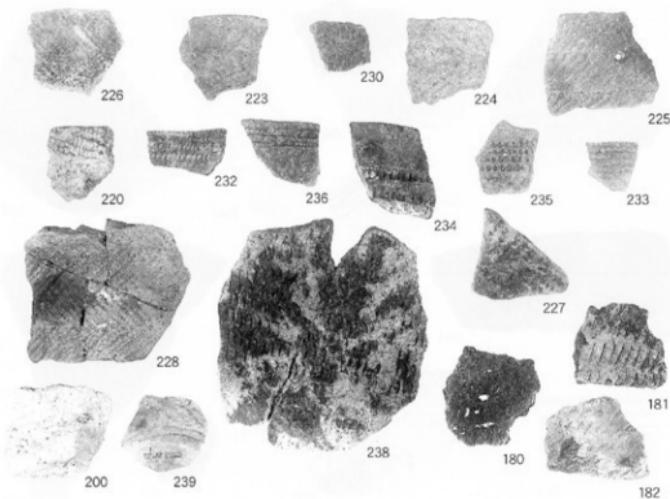
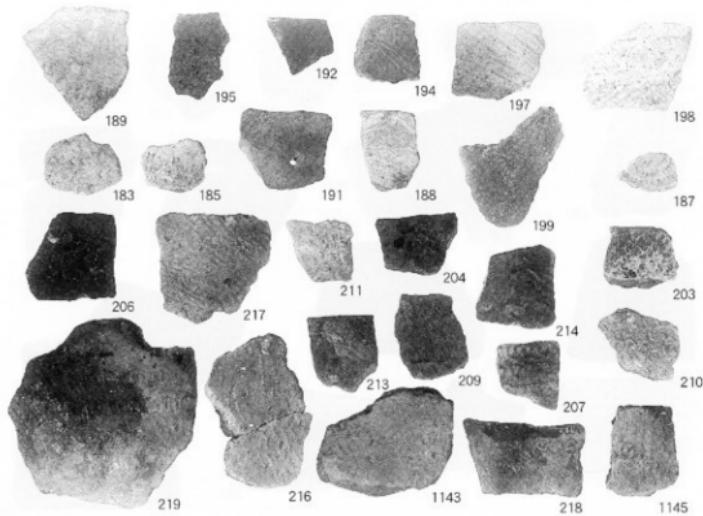
169

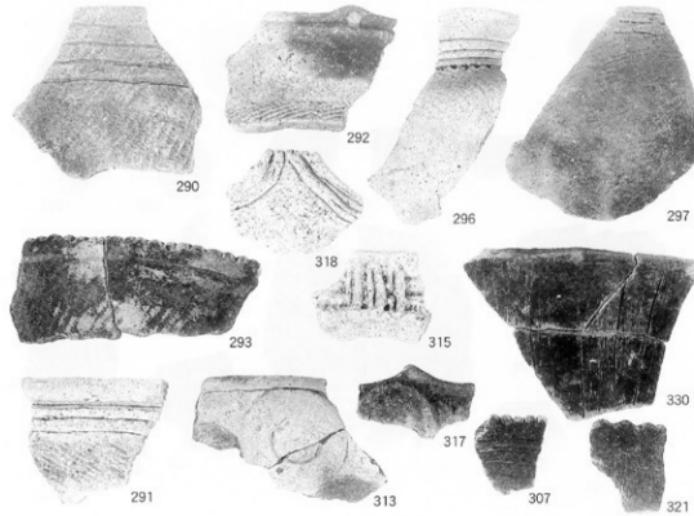
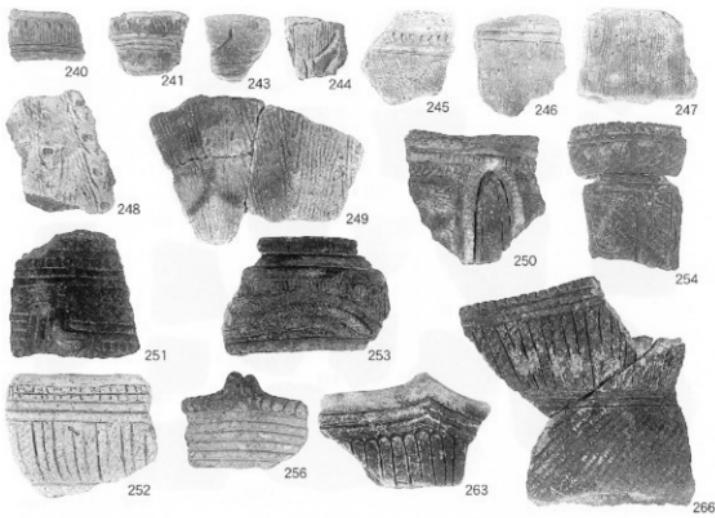


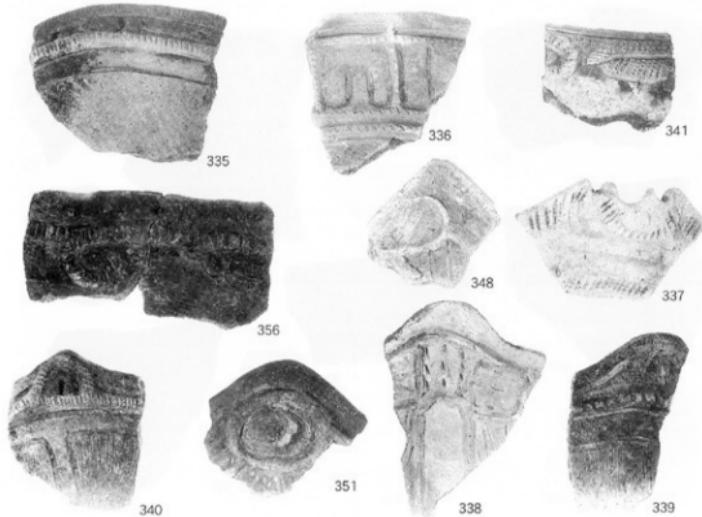
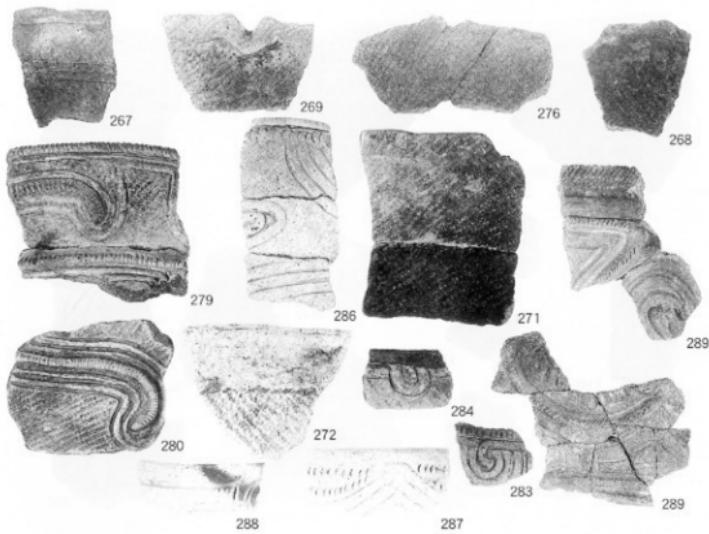
160

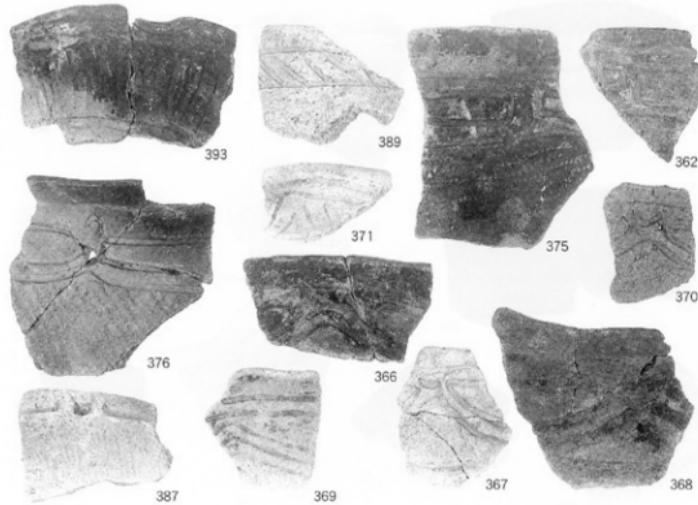
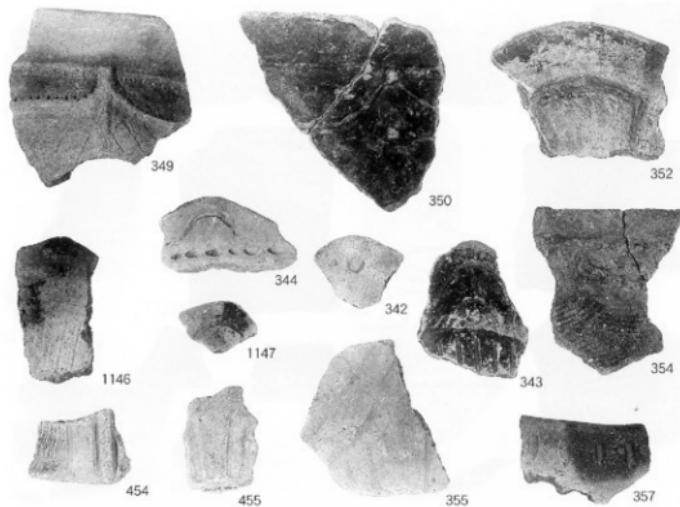


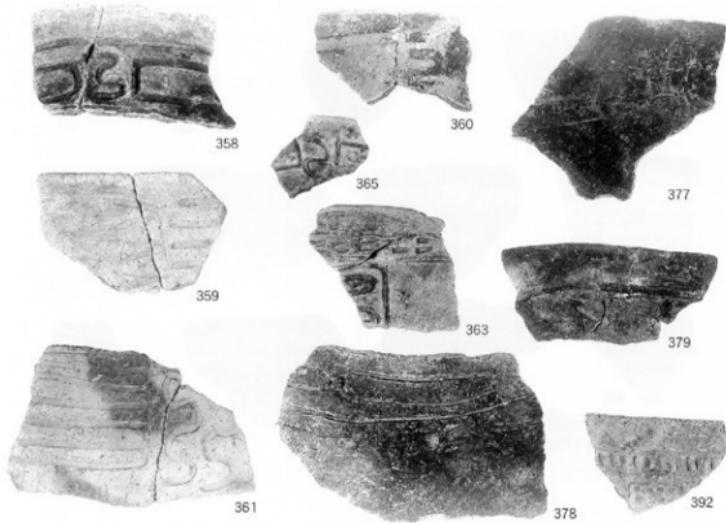
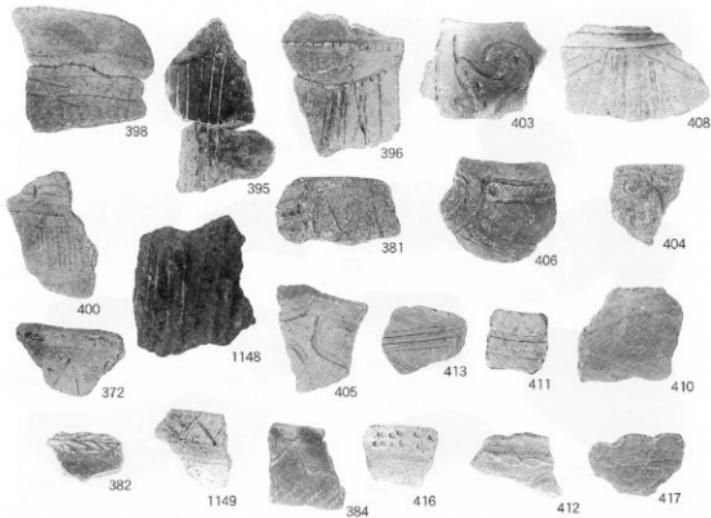
146

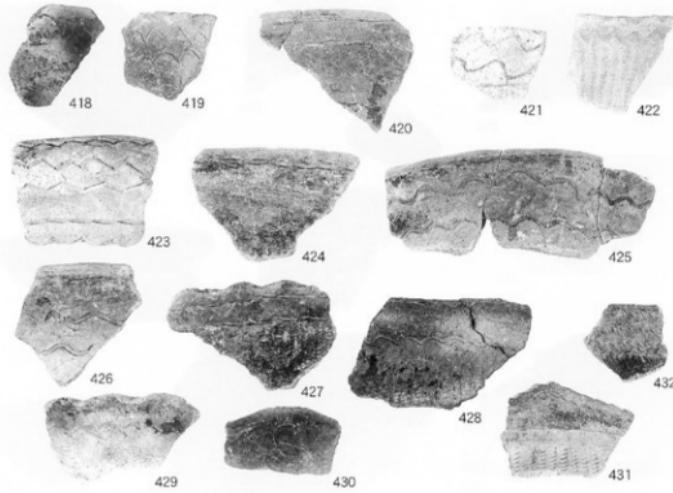
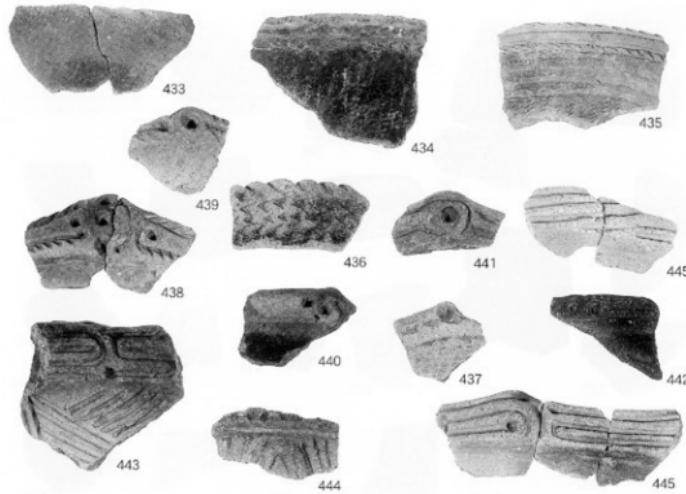


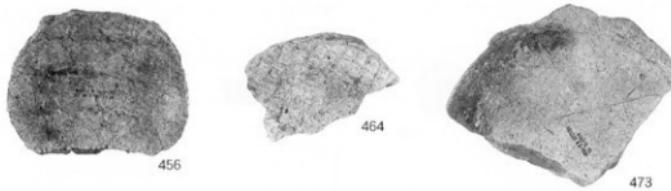
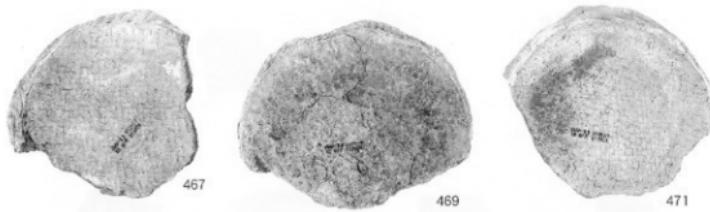


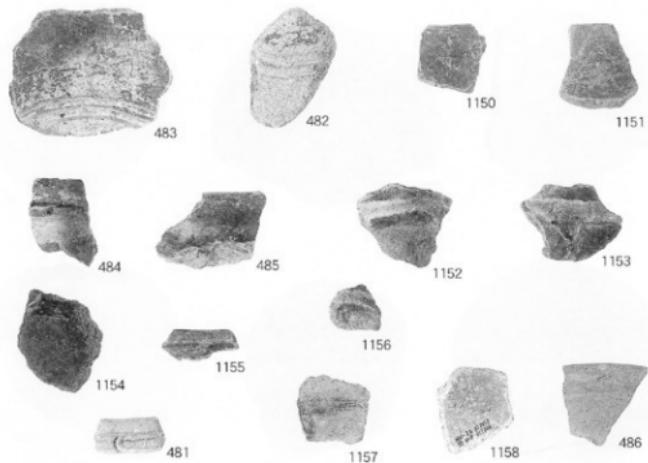












赤彩・漆塗土器



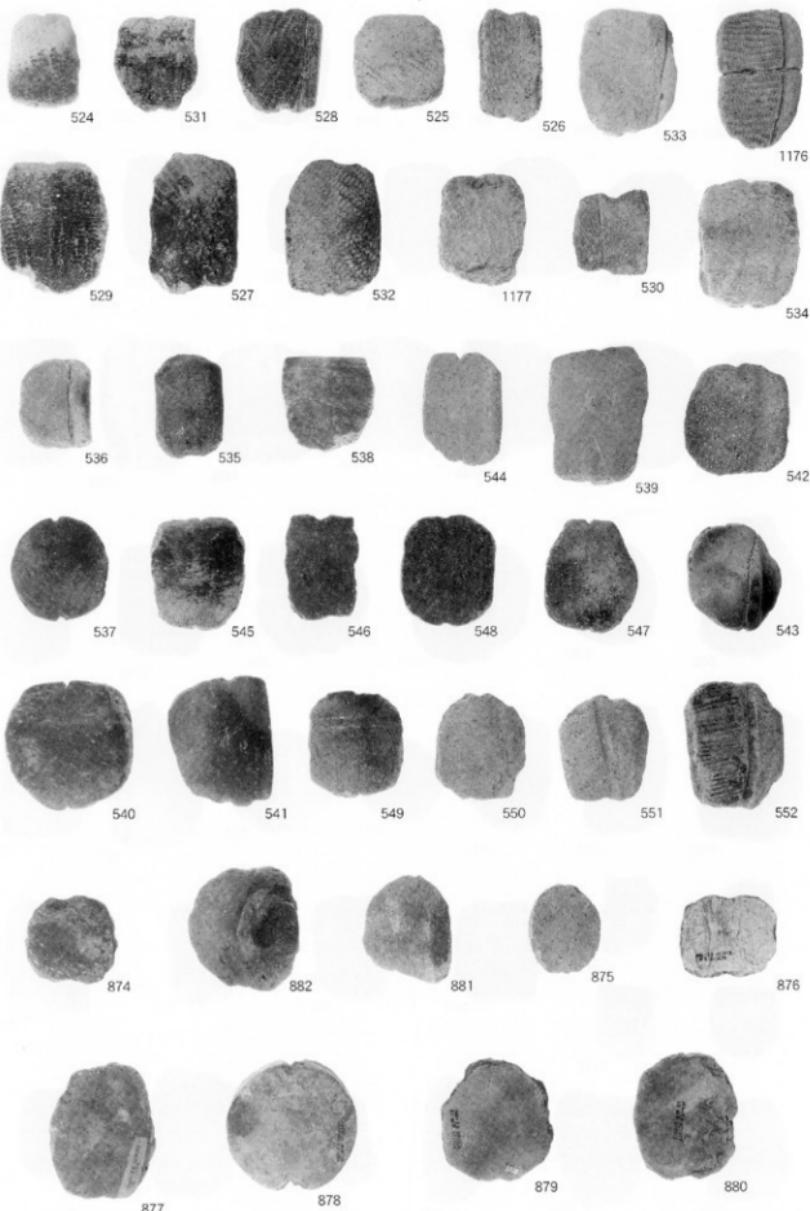
小型土器ほか

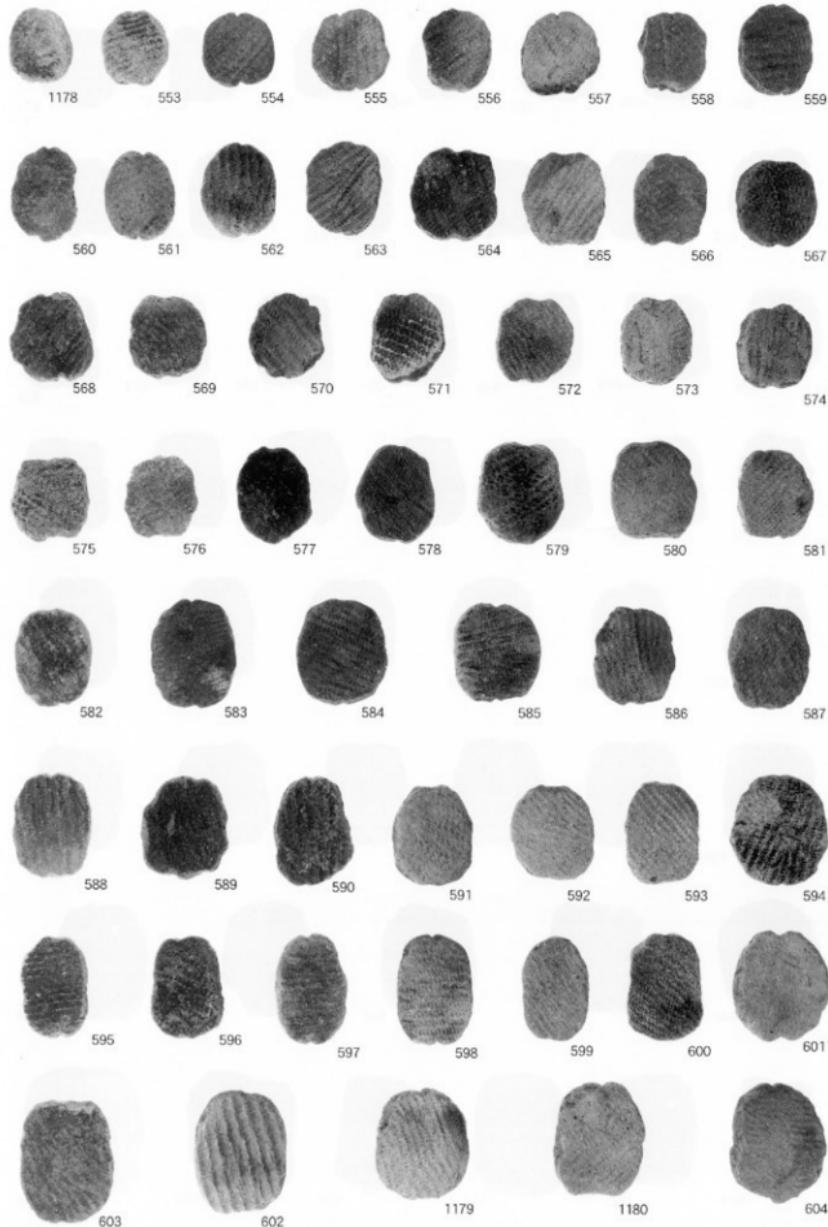


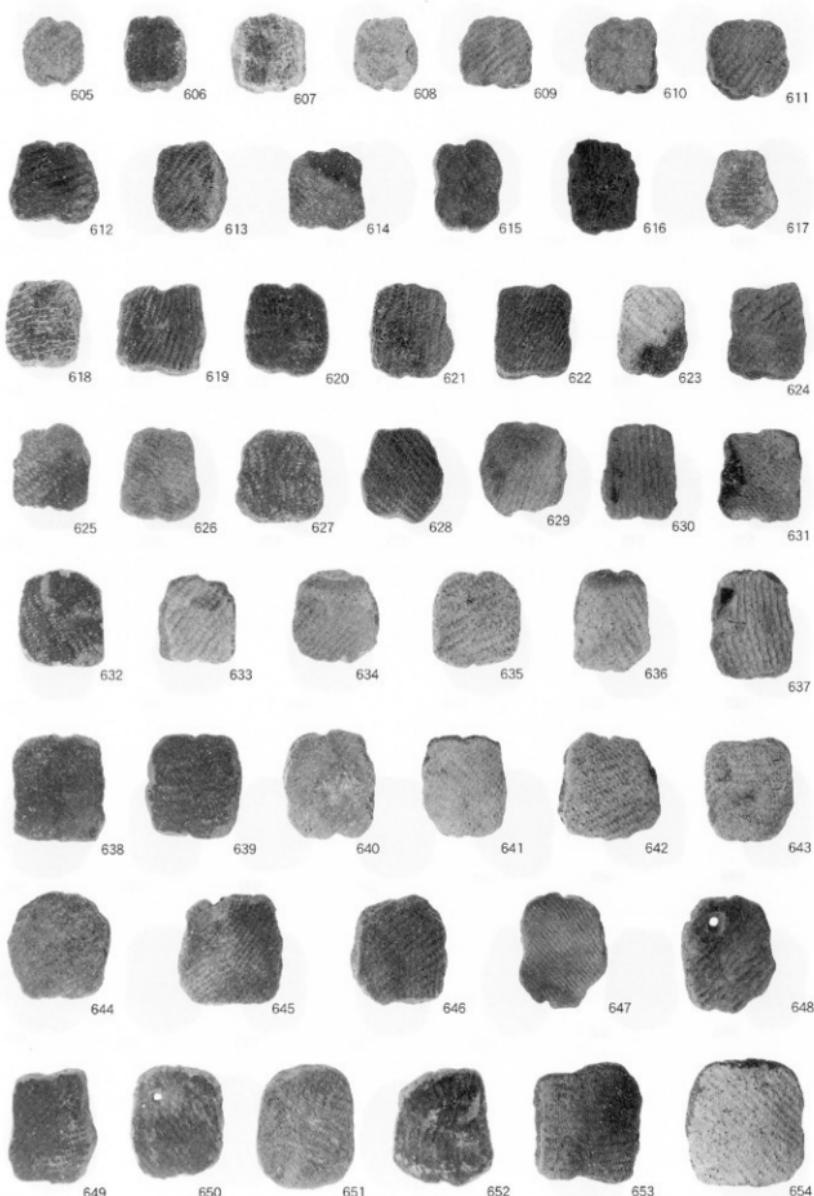
動物形（？）土製品

漆製品

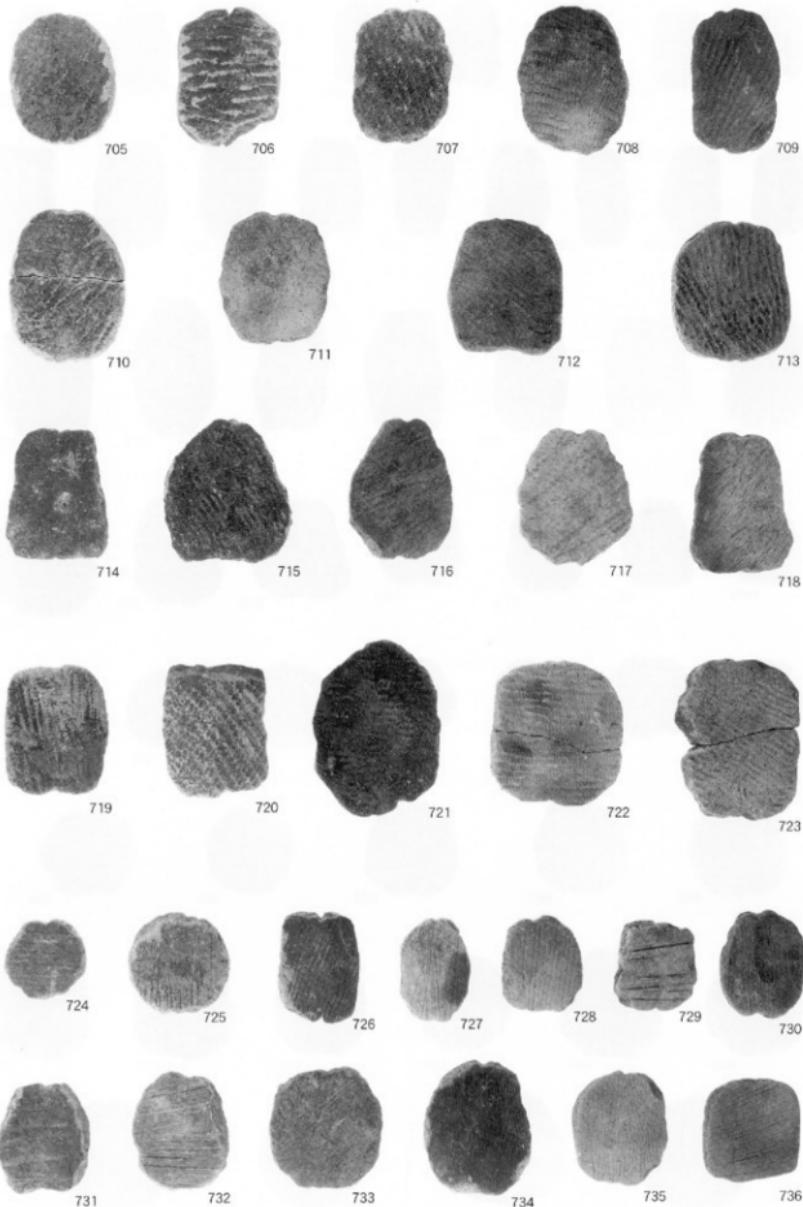






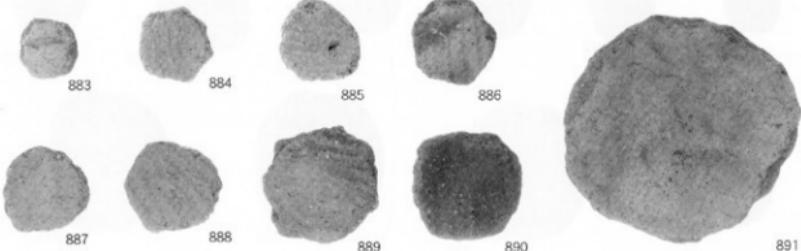
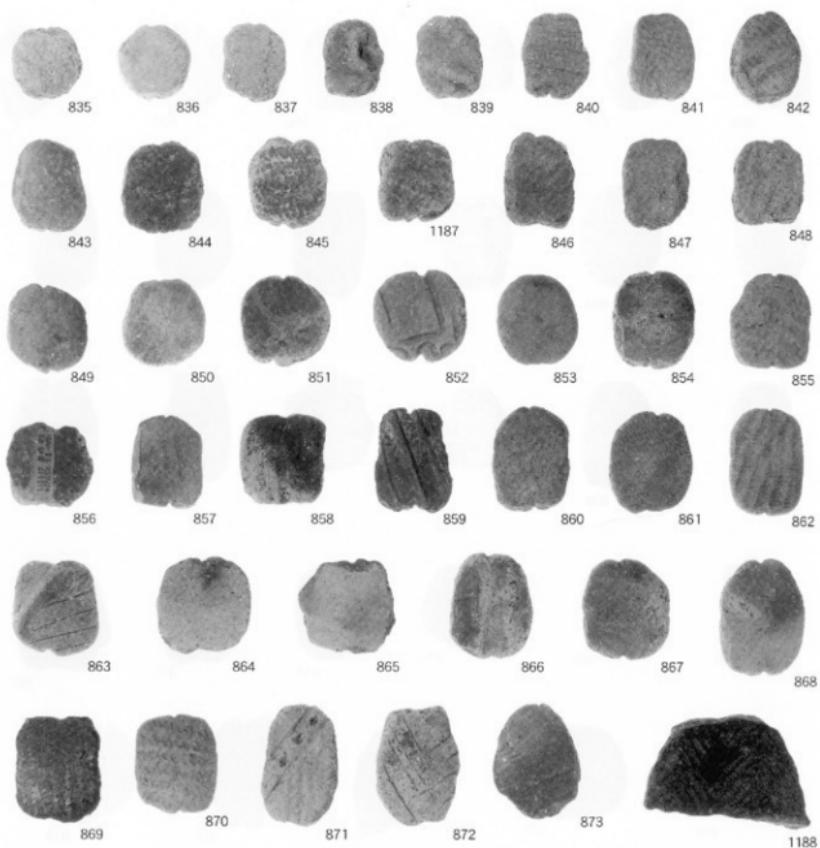


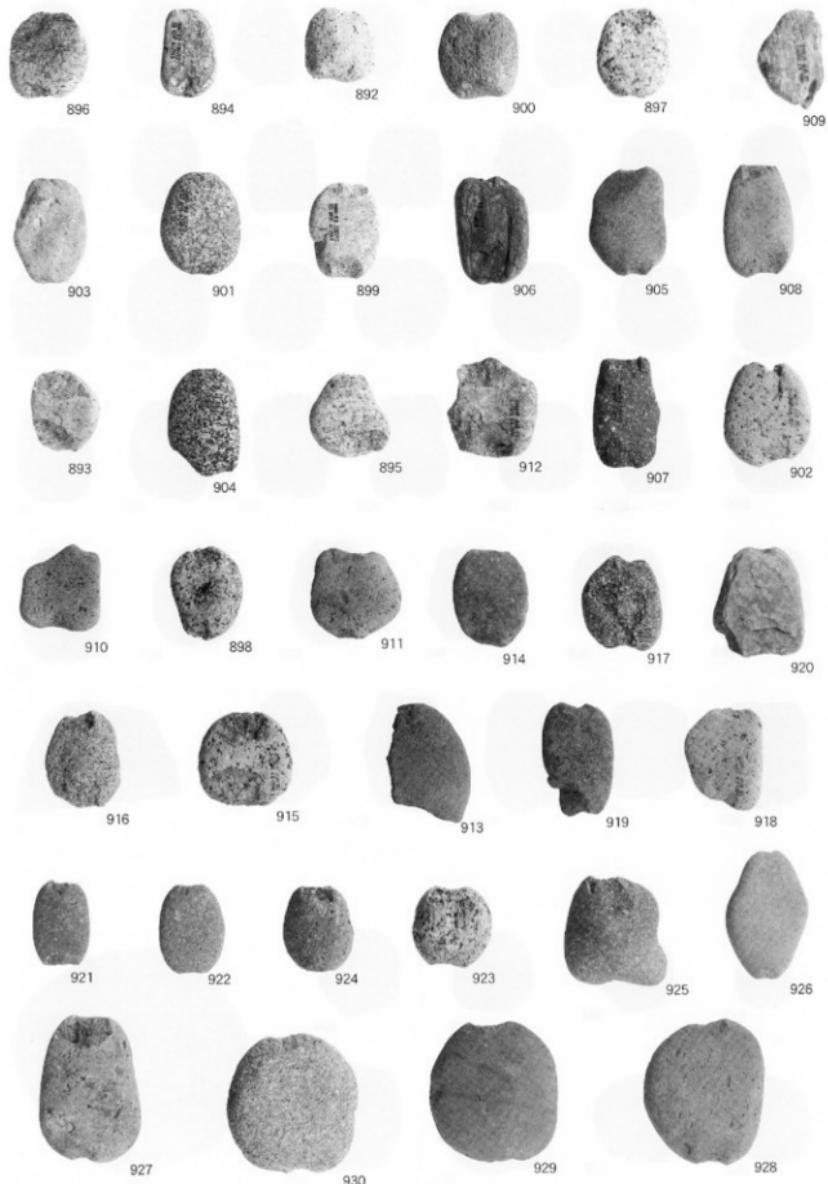


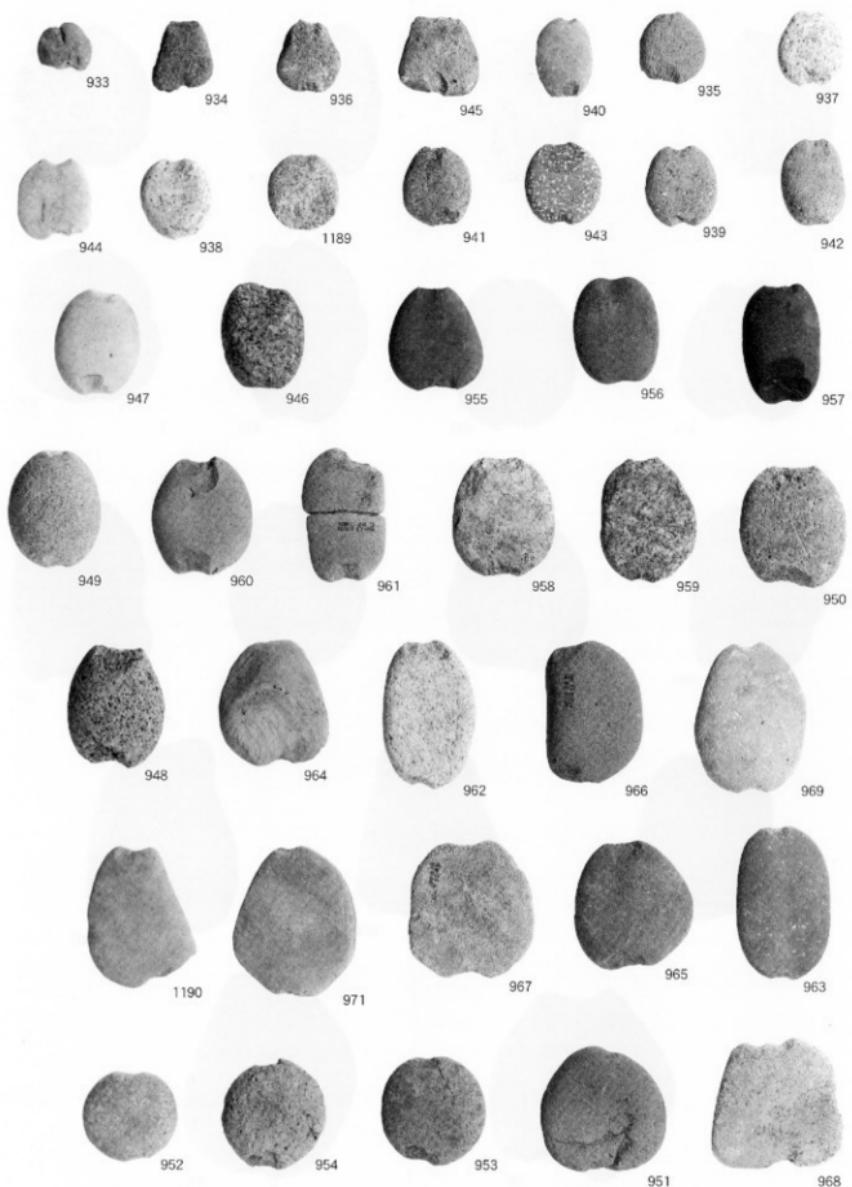














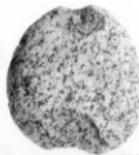
975



970



973



976



974



972



977



979



980



981



982



983



978



984



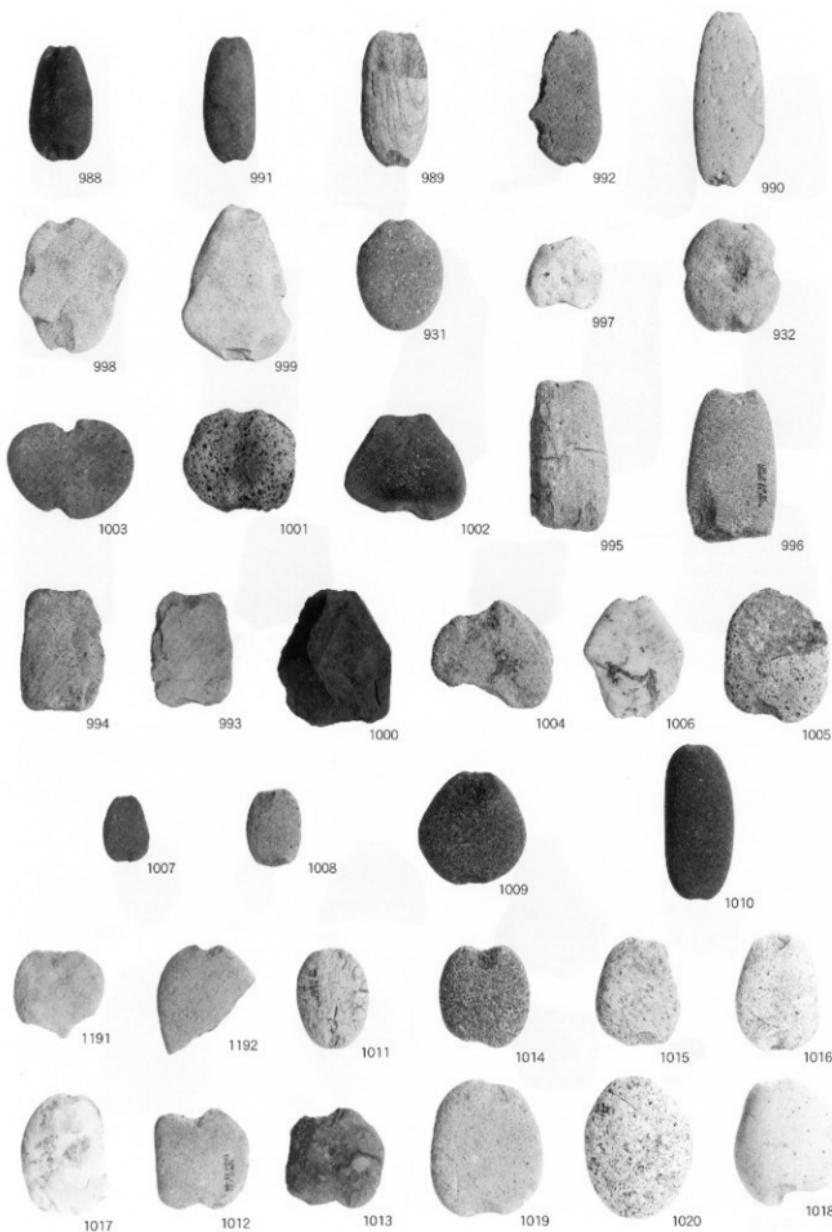
987



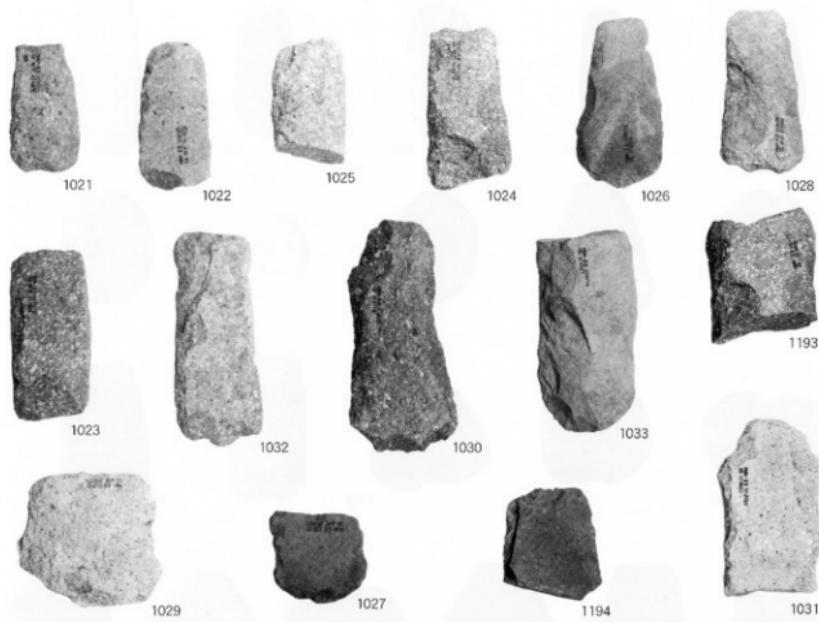
985



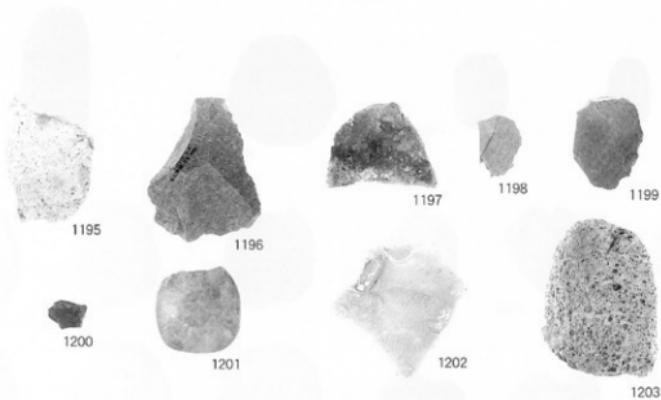
986



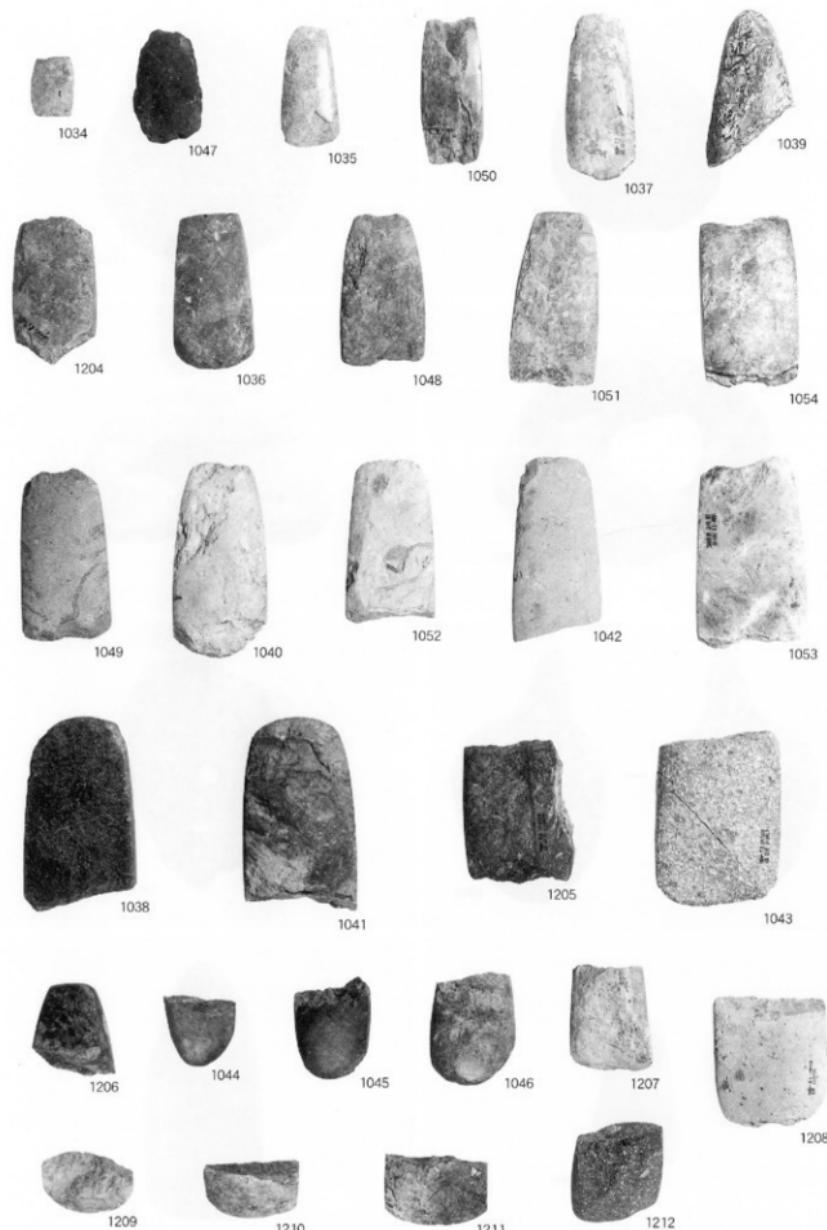
B区 図版43



打製石斧



剥片·輕石等





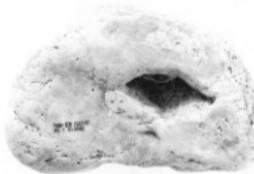
1058



1213



1064



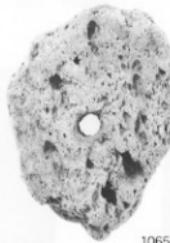
1063



—



1066



1065



1055



1056



1059



1062



1060



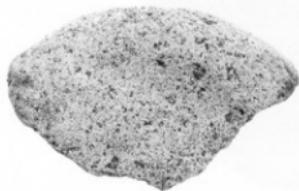
1061



1214



1057



1080



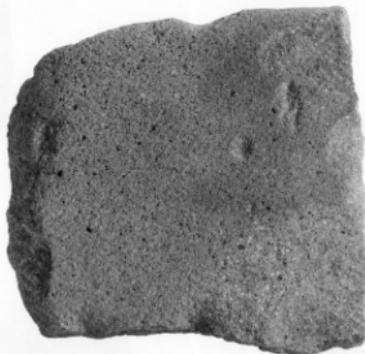
1079



1068



1067



1069



1070



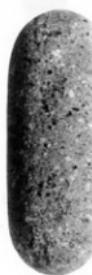
1078



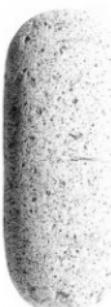
1073



1074



1077



1076



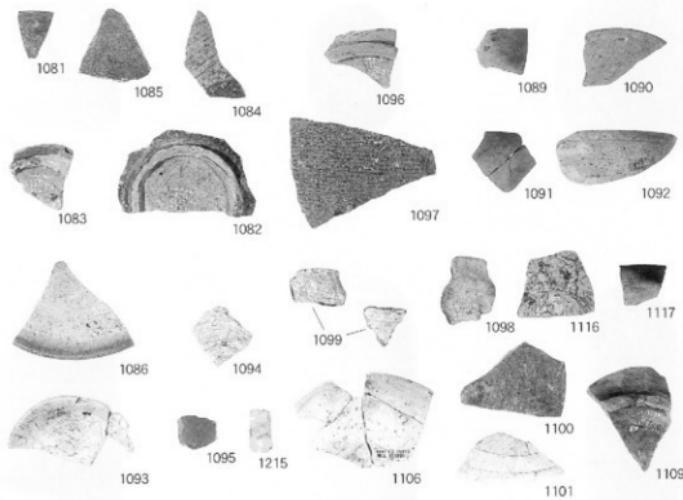
1075



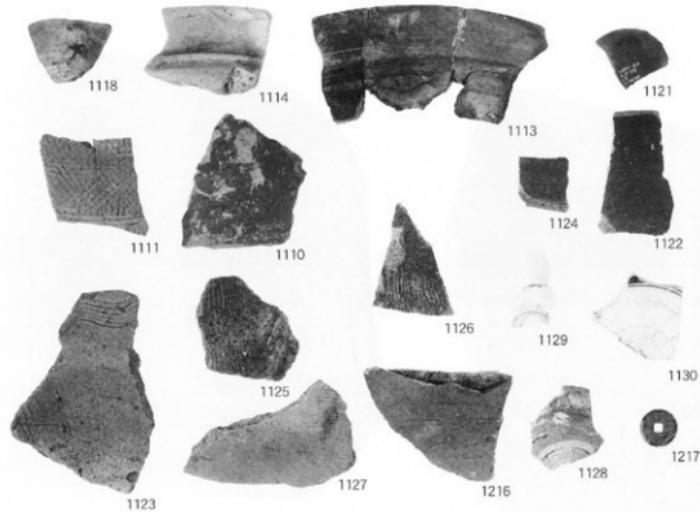
1072



1071



弥生時代～近世遺物



古代～近世遺物

第4章 針原西遺跡自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

針原西遺跡（富山県射水郡小杉町戸破字針原・黒河所在）は、射水平野南部の低湿地に所在し、北側は低位段丘化した扇状地（境野新扇状地）と接している。後背には駒羽丘陵や射水丘陵が存在し、南側には射水平野が広がる。前回の調査区では、検出された縄文時代中期の河道や、その中から検出された貝層の調査を行い、当時の古環境に関する検討を行っている。今回の調査区でも、前回調査区から連続するとみられる河道が検出され、その埋土などを中心とした分析調査を実施する。ところで今回検出された河道は、大きく3つの時期に区分される。1つは縄文時代中期もしくはそれ以前の幅の広い河道で、微高地の形成など周辺地形の元を作った河川である（河道1とする）。次は、流量の低下？に伴い河道1が埋没し、その中に作られた小規模で蛇行した河川である（河道2とする）。この河道内の埋土には縄文時代中期の遺物を含み、河道の縁には貝が投棄されている。前報では、おもにこの河道について分析調査を実施した。その後古代以降に、再び小規模な河川が形成されている（河道3）。

今回は、主に河道2と河道3の堆積物について微化石分析を実施し、埋積時の古環境に関する調査を行う。また、河道内から検出された木材や、貝層から検出された貝や種実の同定を行い、当時の動植物利用に関する検討を行う。さらには、河道の時代観を明らかにするため、河道2より出土した木材や種実、貝を用いて年代測定を実施する。一方、河道2が堆積したあと、埋土を掘り込んで縄文時代後期と思われる貯蔵穴が構築されている。これらについても年代測定、種実同定、微化石分析などを行い、植物利用や古環境に関する情報を得る。

1. 試料

試料の一覧を表1に示す。土壤試料は、貝層の断面を層位的に採取したもの（1号貝ブロック、3号貝ブロック）、貝層を採取したもの（1号～5号貝層）、河道2の種実集中部（SD）、縄文時代後期の貯蔵穴（SK25）、河川の横断ベルト（1～3地点）、地山（黒色粘土、灰白色粘土）である。微化石分析（珪藻分析・花粉分析）に関しては、協議の上、地山、河道1、河道2、河道3、貯蔵穴を網羅できるよう調査地点を選択した。この中から目的等を考慮して試料を選択し、各分析に用いた。種実や貝は、貝層や貯蔵穴覆土を水洗選別し、その際に得られた種実や貝類の同定を行った。材は主に貝層付近から検出されたもの（河道2に相当）を中心に試料を選択し、樹種同定を実施した。放射性炭素年代測定は貝層中の貝を中心に、材、種実、土壤も対象試料として選択し、測定を実施した。なお、SK25に関しては同一試料が2点あるため、水洗選別は2点ともに行ったが、種炎や貝の同定結果は一致した。

2. 分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

測定は、株式会社 加速器分析研究所の協力を得た。

(2) 硅藻分析

試料を湿重で7g前後秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法の順に物理・化学処理を施して、珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、ブリュウラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に100個体以上同定・計数する（化石の少ない試料はこの限りではない）。種の同定は、原口ほか（1998）、Krammer（1992）、Krammer and Lange-Bertalot（1986,1988,1991a,1991b）などを参照する。

同定結果は、海水生種、汽水生種、淡水～汽水生種、淡水生種の順に並べ、その中の各種類をアルファベット順に並べた一覧表で示す。なお、淡水生種はさらに細かく生態区分し、塩分・水素イオン濃度(pH)・流水に対する適応能についても示す。また、環境指標種についてはその内容を示す。そして、産出個体数100個体以上の試料については、産出率1.0%以上の主要な種類について、主要珪藻化石群集の層位分布図を作成する。また、産出化石が現地性か異地性かを判断する目安として、完形殻の出現率を求める。堆積環境の解析は、海水～汽水生種については小杉(1988)、淡水生種については安藤(1990)、陸生珪藻については伊藤・堀内(1991)、汚濁耐性については、Asai and Watanabe(1995)の環境指標種を参考とする。

(3) 花粉分析

試料約10 gについて、水酸化カリウムによる泥化、箇別、重液(奥化鉛:比重2.3)による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトトリシス(無水酢酸9:濃硫酸1の混合液)処理の順に物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作成し、光学顕微鏡下でプレパラート全体を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。

結果は、木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いたものをそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。図表中で複数の種類をハイフォンで結んだものは、種類間の区別が困難なものである。なお、木本花粉総数が100個体未満のものは、統計的に扱うと結果が歪曲する恐れがあるので、出現した種類を+で表示するにとどめておく。

(4) 樹種同定

剃刀の刃を用いて木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接続断面)の3断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレバ

表1 分析試料一覧(1)

遺構など	層位・番号等	年代	分析項目						河通区分・時代性など		
			H	C	D	P	W	I	S	K	
1号具	1 材		○								河通3(古代以前?)
	2 材		○								河通3(古代以前?)
プロック	3 材		○								河通3(古代以前?)
	4 枝		○								河通2(縄文小期)
	8 材		○								3号貝塚付近の村(縄文小期)
	9 材		○								2号貝塚付近の村(縄文小期)
	10 砂		○								3号貝塚付近の村(縄文小期)
	11 材		○								2号貝塚付近の村(縄文小期)
	13 材		○								3号貝塚付近の村(縄文小期)
	15 材		○								3号貝塚付近の村(縄文小期)
	25 材		○								3号貝塚付近の村(縄文小期)
	27 材		○								2号貝塚付近の村(縄文小期)
	35 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	43 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	47 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	52 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	53 砂		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	60 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	63 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	68 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	88 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	90 材		○								4号貝塚付近の村(縄文小期)
	106 材		○								5号貝塚付近の村(縄文小期)
	110 材		○								5号貝塚付近の村(縄文小期)
A 材			○								河通1(縄文時代中期以前?)
B 材			○								河通2(縄文中期)
C 材			○								河通2(縄文小期)
D 材			○								河通2(縄文中期)
E 材			○								河通1(縄文時代中期以前?)
F 材			○								河通1(縄文時代中期以前?)
立木1			○								
立木2			○								
朽木			○								
S003	3層	樵	○								
	1 土		○								河通3(古代以前?)
	2 土		○	○							河通3(古代以前?)
	3 土		○	○							河通3(古代以前?)
	4 土		○								河通3(古代以前?)
	5 土		○								河通2(縄文時代中期)
	6 土		○	○							河通2(縄文時代中期)
	7 土		○								河通2(縄文時代中期)
1号具	8 土		○	○							1号貝塚(縄文時代中期)
	9 土		○								河通2(縄文時代中期)
	10 土		○								河通2(縄文時代中期)
	11 土		○								河通2(縄文時代中期)
	12 土		○								河通2(縄文時代中期)
3号具	a 土		○								3号貝塚(縄文時代中期)
	b 土		○								3号貝塚(縄文時代中期)
	c 土		○								3号貝塚(縄文時代中期)
3号具	1 土		○								3号貝塚(縄文時代中期)
	2 土		○								河通2(縄文時代中期)
	3 土		○	○							河通2(縄文時代中期)
	4 土		○								河通2(縄文時代中期)
	5 土		○	○							河通2(縄文時代中期)
1号具	a 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	b 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	c 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
2号具	1 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	2 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	3 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	4 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	5 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
3号具	a 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	b 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	c 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
4号具	a 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	b 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	c 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	d 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	e 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	f 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	g 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	h 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	i 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	j 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	k 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	l 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	m 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	n 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	o 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	p 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	q 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	r 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	s 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	t 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	u 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	v 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	w 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	x 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	y 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	z 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
5号具	a 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	b 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	c 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	d 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)
	e 土		○	○	○	○	○	○	○		瓦層木体(縄文時代中期)

ラートは、生物顕微鏡で観察・同定する。

(5) 種実同定

種実同定には、土壤試料約1kgを秤量し、数%の水酸化ナトリウム水溶液を加えて放置し土壤を泥化させる。0.5mmの篩を通して水洗し、残渣を集め。残渣中から双眼立体顕微鏡を用いて、種実遺体を抽出し、同定・計数する。また貝殻が検出された場合には貝同定を行う。

(6) 貝類同定

前報では粗目の篩を用いて調査を行って單一種類であることがわかっているため、今回は細目の篩を用い、微小な骨・貝類に着目した分析を実施した。分析方法は、種実同定の前処理において抽出された骨・貝の形態的特徴を観察し、種を同定する。二枚貝綱の場合、左右を分類し、貝合わせにより同一個体を抽出する。基本的に、二枚貝綱は殻頂部を残すものを、腹足綱は全体の1/2を残すものをカウントする。なお、貝類の分類・学名は波部・小菅(1967)、および奥谷ほか(2000)に基づいた。

3. 結果

(1) 放射性炭素年代測定

結果を表2に示す。立木の年代は約2,600年前、SD03出土のトチ種実の年代値は約2,200年前である。貝層中の貝の年代値は4,400~4,900年前である。貯蔵穴から検出された木材の年代値は、3,900年前である。

表2 放射性炭素年代測定結果

試料名	性状	年代値 (同位体補正)	年代値 (未補正)	$\delta^{13}\text{C}$	Code No.
河道底	立木1	木材(トネリコ属)	2,600±30	-30.51±1.22	IAAA-10620
SD03	3層	種実(トチ)	2,210±30	-28.33±1.19	IAAA-10621
1号貝層	a	貝(シジミ類)	1,890±30	-7.06±1.10	IAAA-10622
2号貝層	a-4	貝(シジミ類)	4,800±30	9.48±1.03	IAAA-10623
3号貝層	b-4	貝(シジミ類)	4,710±30	10.33±1.16	IAAA-10624
4号貝層	a-2	貝(シジミ類)	4,650±30	-9.34±1.08	IAAA-10625
5号貝層	a-1	貝(シジミ類)	4,420±30	-7.18±0.96	IAAA-10626
SK25	土壤	木材(未同定)	3,880±30	-27.82±1.01	IAAA-10627

(2) 珪藻分析

結果を表3、図1に示す。珪藻化石の保存は全体的に悪く、珪藻化石の産出は非常に少ないかあるいは無化石であった。化石が比較的多く産出したのは、1号貝ブロックの試料番号2・3の2試料のみであり、完形殻の出現率は約30%以下であった。産出分類群数は、合計で18属50種類である。以下、地点別に珪藻化石群集の特徴を述べる。

・1号貝ブロック

試料番号2・3・6・8・9・11のうち、珪藻化石が産出したのは試料番号2・3である。2試料とも淡水域に生育する水生珪藻が優占する。淡水性種の生態性(塩分濃度、水素イオン濃度、流水に対する適応能)の特徴は、貧塩不定性種(小量の塩分には耐えられる種)と貧塩嫌塞性種(小量の塩分にも耐えることのできない種)、真+好酸性種(pH7.0以下の酸性水域に最もよく生育する種)、流水不定性種(流水域にも止水域にも普通に生育する種)と真+好止水性種(止水域に最もよく生育する種)が多くなる。試料番号2・3の主な産出種は、流水不定性で沼澤地帯付

表1 分析試料一覧(2)

遺物など	層位・番号等	性状	分析項目					河床区分・時代等など
			C	A	G	P	W	
SD	土壤	土	○	○	○	○	○	河床2(複数粘土部)
SK25	土壤	土	○	○	○	○	○	鰐歯代後葉期最次
SK25	土壤	土	○	○	○	○	○	鰐歯代後葉期最次
	1-1	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	1-2	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	1-3	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	1-4	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	1-5	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	1-6	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	2-7	土	○	○	○	○	○	河床2(鰐歯時代中期以前)
	2-8	土	○	○	○	○	○	河床2(鰐歯時代中期以前)
河床標痕	2-9	土	○	○	○	○	○	河床2(鰐歯時代中期以前)
ベルト	2-10	土	○	○	○	○	○	河床2(鰐歯時代中期以前)
	2-11	土	○	○	○	○	○	河床2(鰐歯時代中期以前)
	2-12	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	3-13	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	3-14	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	3-15	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	3-16	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
	3-17	土	○	○	○	○	○	河床1(鰐歯時代中期以前)
黒兔跡上	4-1	土	○	○	○	○	○	地山
灰白色粘土	4-2	土	○	○	○	○	○	地山

JG: 鉛鉄・錫鉄・白金鉄、D: 沈殿分鉄、P: 光輝分鉄、W: 鋼鐵鉄定
A: 鉛鉄鉄定、G: 錫鉄鉄定、S: 銀鉄鉄定、M: 銅鉄鉄定
数字: 100gを水没して浮上できた様子、1: 貝を同定する。

生種群の*Eunotia pectinalis* var.*minor*、流水不定性の*Gomphonema parvulum*、止水性の*Tabellaria flocculosa*等がある。沼沢湿地付着生種群とは、水深が1m以下で、水生植物が繁茂している沼沢や湿地で優勢な出現の見られる種類のことである（安藤、1990）。

・3号貝ブロック

試料番号3は無化石、試料番号5は淡水生種が1個体産出したに過ぎない。

・1号～5号貝層

試料番号a・b・4は、淡水～汽水生種の*Nitzschia obtusa* var. *scalpelliformis*、*N. palea*等が産出したが、試料番号a-4・a-2・a-1は無化石であった。

・SK 25

汽水生の*Thalassiosira lacustris*、淡水～汽水生種の*Nitzschia palea*等が産出した。

・河川の横断ベルト

試料番号1-2は海水生の*Thalassionema nitzschioides*、試料番号2-10は、淡水生で止水性の*Aulacoseira crassipunctata*、流水不定性で沼澤湿地付着生種群の*Eunotia incisa*、*Pinnularia* spp.等が産出した。試料番号1-3・1-5・1-6・2-12は無化石であった。

・地山（黒色粘土）

化石の産出が少なかったが、淡水～汽水生種の*Nitzschia obtusa* var. *scalpelliformis*、*N. palea*や、水域にも陸上の好気的環境にも生育する陸生珪藻B群（伊藤・堀内、1991）の*Frustulia rhomboidea* var. *saxonica* fo. *capitata*等が産出した。

（3）花粉分析

結果を表4・図2に示す。河川横断ベルトの試料番号2-12を除いて、花粉化石は多産する。木本花粉は全体的にコナラ亜属が多いが、特に地山の黒色粘土で多産し、70%近くを占める。次いでハンノキ属が多いが、その中でも河川横断ベルトの試料番号1-2では40%程度を占める。その他、マツ属、ブナ属、クリ属、ニレ属－ケヤキ属、エゴノキ属、トネリコ属が検出されるが、1号貝ブロックの試料番号6ではマツ属が、3号貝ブロックの試料番号3ではクリ属の産出が、他の試料と比べて突出している。草本花粉化石は、どの試料も總花粉・胞子全体に占める割合が低い。イネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属等が検出される。水生植物は、ガマ属、オモダカ属、ヒシ属等がみられるが、検出される試料は少なく、また出現率も低い。河川横断ベルトの試料番号1-2、1-3ではシダ類胞子の割合が非常に高い。

（4）樹種同定

樹種同定結果を表5に示す。木材は、いずれも広葉樹材で、14種類（ハンノキ属ハンノキ亜属・ハンノキ属・コナラ属コナラ亜属コナラ節・コナラ属アカガシ亜属・クリ・エノキ属・ケヤキ・ヤマグワ・モクレン属・ヤブツバキ・サクラ属・ヤマウルシ・カエデ属・トネリコ属）に同定された。このうち、ハンノキ亜属は、根材であった。各種類の主な解剖学的特徴を以下に記す。

・ハンノキ属ハンノキ亜属<根材> (*Alnus* subgen. *Alnus*) カバノキ科

散孔材で、管孔は単独または2～4個が放射方向に複合して散在する。道管の分布密度は低い。幹材と比較して木繊維および道管の細胞壁は薄い。道管は階段穿孔を有し、壁孔は対列状に配列する。放射組織は同性、單列、1～30細胞高のものと集合放射組織とがある。

・ハンノキ属 (*Alnus*) カバノキ科

散孔材で、管孔は単独または放射方向に2～4個が複合して散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は階段穿孔を有し、壁孔は対列状に配列する。放射組織は同性、單列、1～30細胞高。

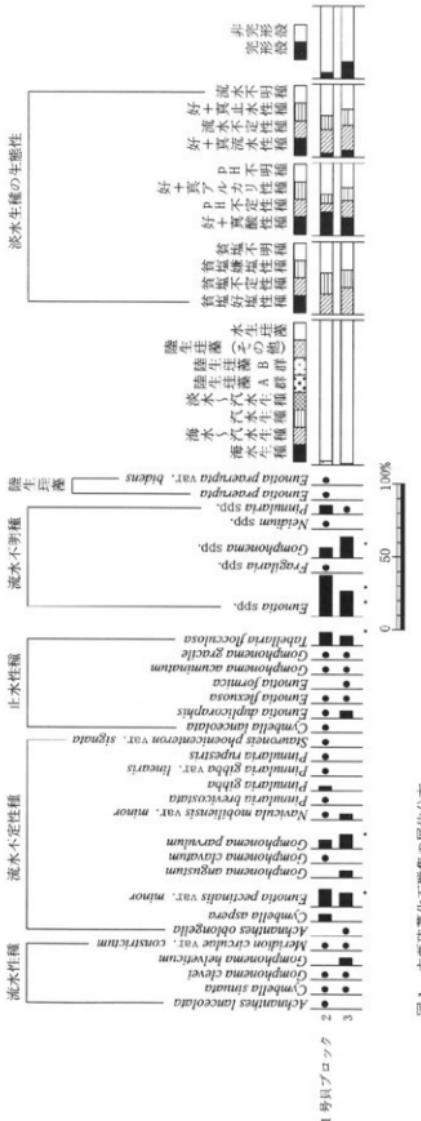


図1 主要牡蠣化石群集の層位分布
海水生種出率・各種産出率・完形殻率出率は全体基数、淡水生種の生態比は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。
いすれも100個体以上検出された試料について示す。なれど、●は1%未満を示す。

表3 珪藻分析結果(1)

種類	生長性			環境指標種	1号貝ブロック						
	腐分	pH	淡水		2	3	6	8	9	11	
Thalassionema nitzschiaoides (Grunow) Grunow	Fgh		A.B		-	-	-	-	-	-	
Nitzschia plana W.Smith	Meh				-	1	-	-	-	-	
Thalassiothea lacustris (Grun.) Hasle	Meh				-	-	-	-	-	-	
Nitzschia obtusa var. scalpelliformis Grunow	Ogh-Meh	al-l	ind	S	-	-	-	-	-	-	
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	-	-	-	-	-	-	
Achnanthes lanceolata (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ind	r-ph	K.T	1	-	-	-	-	-	
Achnanthes oblongula Ostrup	Ogh-ind	ind	ind	T	-	2	-	-	-	-	
Aulacoseira ambigua (Grun.) Simonse	Ogh-ind	al-l	l-bi	N	-	-	-	-	-	-	1
Aulacoseira crassispinosa Krammer	Ogh-ind	ac-l	l-ph		-	1	-	-	-	-	3
Aulacoseira italica (Ehr.) Simonse	Ogh-ind	al-l	l-p3	U	-	-	-	-	-	-	2
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	
Cocconchia placentula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	a-L	ind		-	-	-	-	-	-	
Cymbella aspera (Ehr.) Koerting	Ogh-ind	ind	l-ph	T	-	1	-	-	-	-	
Cymbella lancostata (Ehr.) Kirchner	Ogh-ind	al-l	l-ph	T	1	-	-	-	-	-	
Cymbella siccata Bleek	Ogh-ind	ind	ind	T	-	1	-	-	-	-	
Cymbella sinuata Gregory	Ogh-ind	ind	r-ph	K.T	2	1	-	-	-	-	
Cymbella spp.	Ogh-ind	unk	unk		-	-	-	-	-	-	
Diploctenia parva Cleve	Ogh-ind	ind	ind		-	1	-	-	-	-	
Emotia duplocarinophysis U.Kohayashi	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	
Emotia flexuosa (Freb.) Koerting	Ogh-hob	al-l	l-ph		2	5	-	-	-	-	
Emotia formica Ehrenberg	Ogh-hob	ac-l	l-ph	O	1	1	-	-	-	-	
Emotia incisa W.Smith ex Gregory	Ogh-hob	ac-l	l-bi		-	2	-	-	-	-	
Emotia pectinata var. minor (Kuetz.) Kabakov	Ogh-hob	ac-l	l-ph		-	-	-	-	-	-	
Emotia praeputia Ehrenberg	Ogh-hob	ind	l-p3	RBO,T	2	-	-	-	-	-	
Emotia praeputia var. bidens Grunow	Ogh-hob	ac-l	l-p3	RBO	1	-	-	-	-	-	
Emotia subrotundata Noerjed & Lange-Bertalot	Ogh-hob	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	
Emotia spp.	Oghom	cnx	unk		28	18	-	-	-	-	1
Fragilaria constricta (L.) Vahl	Ogh-ind	al-l	l-ph	S	-	1	-	-	-	-	
Fragilaria curta (Nitzsch.) Vahl	Ogh-ind	sil	ind		-	1	-	-	-	-	
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	1	-	-	-	-	
Frostulia rhomboides var. sauvatii (A.Mayer) H.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	r-ph	O	2	2	-	-	-	-	
Gomphonema angustum Agardh	Ogh-ind	al-l	ind		-	5	-	-	-	-	
Gomphonema clavatum Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	
Gomphonema clevei Fricker	Ogh-ind	al-bi	r-ph	T	2	3	-	-	-	-	
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	l-ph	O.U	1	2	-	-	-	-	
Gomphonema helvetica Brün	Ogh-unk	ind	r-ph	T	-	5	-	-	-	-	4
Gomphonema parvulum Koerting	Ogh-ind	ind	ind	U	6	10	-	-	-	-	
Gomphonema pumilum (Grun.) Reichardt & Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	ind		-	1	-	-	-	-	
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-p3	T	-	1	-	-	-	-	
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		7	15	-	-	-	-	1
Moridion circinale var. constrictum (Ralfs) V.Henck	Ogh-ind	a-L	r-ph	K.T	1	1	-	-	-	-	
Navicula consuta Hustedt	Ogh-unk	unk	unk		-	1	-	-	-	-	
Navicula mobilis var. minor Patrick	Ogh-ind	al-l	ind		1	4	-	-	-	-	
Navicula mutica var. ventricosa (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	sil	ind	Ri	-	-	-	-	-	-	
Navicula trivalvis Lange-Bertalot	Ogh-ind	sil	ind		-	-	-	-	-	-	1
Nodularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	-	-	-	-	-	
Nitschia breviseta Grunow	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	
Pinnularia brevicostata Cleve	Ogh-ind	ac-l	ind	RBU	-	-	-	-	-	-	
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-l	ind	O	3	-	-	-	-	-	
Pinnularia gibba var. linearis Hustedt	Ogh-hob	al-l	ind		1	-	-	-	-	-	
Pinnularia roepelii Nitzsch	Ogh-hob	ac-l	ind		1	-	-	-	-	-	
Pinnularia schoenfelderi Krammer	Ogh-ind	ind	ind	Ri	-	-	-	-	-	-	1
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		6	1	-	-	-	-	
Stauroneis phenicenteron var. signata Meister	Ogh-ind	ind	ind		1	-	-	-	-	-	
Stauroneis spp.	Ogh-ind	unk	unk		-	-	-	-	-	-	1
Tabellaria floccosa (Benth.) Koerting	Ogh-hob	al-l	l-bi	T	9	7	-	-	-	-	1
海水1種合計					0	0	0	0	0	0	0
海水+淡水1種合計					0	0	0	0	0	0	0
淡水+海水1種合計					0	1	0	0	0	0	0
淡水+海水5種合計					0	6	0	0	0	0	0
淡水+海水1種合計					100	103	1	0	0	0	17
珪藻化石地質					100	104	1	0	0	0	17

凡例

- H.R. : 濃度濃度に対する適応性 pH : 水素イオン濃度に対する適応性 C.R. : 淡水に対する適応性
- Ruh : 海水1種 al-l : 良アルカリ性種 l-bi : 鹽丘水性種
- Meh : 淡水1種 al-l : 好アルカリ性種 l-ph : 好淡水性種
- Ogh-Meh : 淡水+海水1種 ind : pH不定性種 ind : 淡水不定性種
- Ogh-ind : 淡水+海水5種 ac-l : 好酸性種 r-ph : 好海水性種
- Ogh-hob : 貧塩水性種 r-bi : 鹽水性種
- Ogh-unk : 貧塩不明確 unk : 淡水不明確

表3 珪藻分析結果(2)

種類	生長形態			環境指標種	3号以 上		1号 以降		2号 以降		3号 以降		4号 以降		5号 以降		SK25
	地分	pH	流水		3	5	a	a-1	b-4	a-2	a-1	b-3	a-2	a-1	b-3	a-2	a-1
Thalassionema nitzschiaoides (Grun.) Grunow	Fuh			A.R.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia plana W.Smith	Meh				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Thalassiosira lacustris (Grun.) Hasle	Meh				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia obtusa var. scalpelliformis Grunow	Ogh-Meh	al-l	ind	S	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia palca (Kutz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Achnatherus isaccolata (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ind	o-ph	K.T.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Achnatherus oblongella Ostrup	Ogh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aulacoseira ambigua (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-l	1bi	N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aulacoseira crassipunctata Kraemer	Ogh-ind	al-l	o-ph		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aulacoseira italica (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-l	o-ph	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cocconeis planula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-l	ind	C	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella aspern (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-l	ind	O.T.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella gracilis (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	1-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella lanceolata (Ehr.) Kirchner	Ogh-ind	al-l	1-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella stellata Eichw.	Ogh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella sinuata Gregory	Ogh-ind	ind	o-ph	K.T.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Diploneis parva Cleve	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota duplocorolla Kobayasi	Ogh-hob	ac-l	1-ph		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota fennica (Breb.) Kuetzing	Ogh-hob	ac-l	1-ph	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota formica Ehrenberg	Ogh-hob	ac-l	1-ph	RHO.T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota incisa W.Smith ex Gregory	Ogh-hob	ac-l	ind	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota pectinata var. minor (Kutz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-l	ind	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota praeceps Ehrenberg	Ogh-hob	ac-l	1-ph	RHO.T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota subarctoides Neopelt & Lange-Bertalot	Ogh-hob	ac-l	1-ph	RHO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunota spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Fragilaria constricta fo. ventricosa (Ehr.) Hustedt	Ogh-ind	al-l	ind	S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Fragilaria verna (Nitzsch.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Frustulia rhomboides var. saxonica fo. capitata (A.Mayer) H.	Ogh-unk	unk	unk	RB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	1-ph	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema angustum Agardh	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema chatham Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema clavata Ehrenberg	Ogh-ind	al-bi	o-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	1-ph	O.U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema helveticae Brun	Ogh-unk	ind	1-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema parvulum Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema pulchrum (Grun.) Reichardt & Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	1-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Meridion circulare var. cavaricicum (Ralfs) V.Hurck	Ogh-ind	al-C	o-ph	K.T.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula costata Hustedt	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula nobilissima var. minae Patrick	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula matica var. ventricosa (Kutz.) Cleve	Ogh-ind	al-l	ind	RI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula trivialis Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Neidium spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia breviseta Grunow	Ogh-ind	al-l	ind	RB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia brevirostrata Cleve	Ogh-ind	al-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	ind	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia gibba var. linearis Hostedt	Ogh-hob	ac-l	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia rupestris (Hantzsch)	Ogh-hob	ac-l	ind	RI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia schoenfelderi Kraemer	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stauroniscus phecopteran var. signata Meister	Ogh-hob	al-l	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stauroniscus spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Tabellaria foculosa (Roth) Kuetzing	Ogh-hob	al-l	1-bi	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海水生複合					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水+汽水生複合					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汽水生複合					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
淡水+汽水生複合					0	0	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
淡水生複合					0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
过塩化物耐性					0	1	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3

環境指標種群

A：外洋性種属、B：内海側種属（以上は小林、1988）

K：中～下流性河川帶種属、N：沿岸潟湖帶種属（以上は室屋、1990）

S：好汚泥性種属、T：広域適応性種属（以上はAsai, K. & Watanabe, T., 1986）

E：離生種属（RA：A群, RB：B群, RI群, 伊藤・熊内, 1991）

表3 珪藻分析結果(3)

種類	生態性		環境指標性	河川横断ベルト						黒色地上
	海	pH		淡水	1-2	1-3	1-5	1-6	2-10	
<i>Thalassiosira nitrochloides</i> (Grun.) Grunow	Esh		A,B		1	-	-	-	-	-
<i>Nitzschia plana</i> W.Smith	Mch				-	-	-	-	-	-
<i>Thalassiosira incrustans</i> (Grun.) Hasle	Mch				-	-	-	-	-	-
<i>Nitzschia obtusa</i> var. <i>scaphiformis</i> Grunow	Ogh-Mch	al-l	ind	S	-	-	-	-	-	3
<i>Nitzschia puke</i> (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Mch	ind	ind	S	-	-	-	-	-	2
<i>Achnanthus lanceolatus</i> (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	-	-	-	-	-	-
<i>Achnanthus elongella</i> Ostrup	Ogh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira ambigua</i> (Grun.) Simonsen	Ogh-ind	al-l	l-bi	N	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira crassipunctata</i> Krammer	Ogh-ind	al-l	l-ga	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira haitica</i> (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-l	l-ga	U	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira spp.</i>	Ogh-unk	unk	cak	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cocconeis plectocula</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-l	ind	U	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella aspera</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-l	ind	GT	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella gracilis</i> (Ehr.) Koertzing	Ogh-ind	ind	l-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella lanceolata</i> (Ehr.) Kirchner	Ogh-ind	al-l	l-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella silicula</i> Bleisch	Ogh-ind	ind	l-c	T	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella sinuata</i> Gregory	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	1
<i>Diploneis parva</i> Cleve	Ogh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia duplocapitata</i> ILKobayasi	Ogh-hob	ac-l	l-ph	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia hexosa</i> (Breb.) Koertzing	Ogh-hob	ac-l	-ph	O	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia formica</i> Ehrenberg	Ogh-hob	ac-l	-bi	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia incisa</i> W.Smith ex Gregory	Ogh-hob	ac-l	ind	O	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia pecularis</i> var. <i>minor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-l	ind	O	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia praenatura</i> Ehrenberg	Ogh-hob	ac-l	l-ph	RB,O,T	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia praenatura</i> var. <i>bidentata</i> Grunow	Ogh-hob	ac-l	l-ph	RB,O	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia subarcuata</i> Noerpel & Lange-Bertalot	Ogh-hob	ac-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eunotia spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pragmatia constricta</i> fo. <i>vector</i> (Ehr.) Hustedt	Ogh-ind	al-l	l-ph	S	-	-	-	-	-	-
<i>Pragmatia ulna</i> (Nitzsch.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	l-c	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pragmatia spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Prustula rhomboides</i> var. <i>saxonica</i> fo. <i>capitata</i> (A.Mayer) IL	Ogh-unk	unk	unk	RB	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema acuminatum</i> Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema angustum</i> Agardh	Ogh-ind	al-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema clavatum</i> Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema clevei</i> Fricker	Ogh-ind	al-bi	r-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema gracile</i> Ehrenberg	Ogh-ind	al-l	l-c	OU	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema selvetaceum</i> Brun	Ogh-ind	ind	r-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema parvulum</i> Kuettling	Ogh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema punctum</i> (Grun.) Reichardt & Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema truncatum</i> Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	T	-	-	-	-	-	-
<i>Gomphonema spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Meridion circulae</i> var. <i>constrictum</i> (Ralfs) V.Hurck	Ogh-ind	al-l	r-bi	K,T	-	-	-	-	-	-
<i>Navicula costata</i> Hustedt	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Navicula mobilis</i> var. <i>manoae</i> Parick	Ogh-ind	al-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Navicula rotunda</i> var. <i>ventricosa</i> (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-l	ind	RI	-	-	-	-	-	-
<i>Navicula trivalvis</i> Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Neidium spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Nitzschia brevisetosa</i> Grunow	Ogh-ind	al-l	ind	RBLU	-	-	-	-	-	-
<i>Pinnularia brevirostrata</i> Cleve	Ogh-ind	ac-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pinnularia gibba</i> Ehrenberg	Ogh-ind	ac-l	ind	O	-	-	-	-	-	1
<i>Pinnularia gibba</i> var. <i>fasciata</i> Hustedt	Ogh-ind	ac-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pinnularia rupestris</i> Hanusch	Ogh-hob	ac-l	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pinnularia schoenfeldii</i> Krammer	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	-	1
<i>Pinnularia spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Staurastrum phoenicenteron</i> var. <i>signata</i> Meister	Ogh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	-	-
<i>Staurastrum spp.</i>	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-
<i>Tabularia flexuosa</i> (Roth) Kuettling	Ogh-hob	ac-l	r-bi	T	-	-	-	-	-	-
海水生総合計					1	0	0	0	0	0
海水～淡水生総合計					0	0	0	0	0	0
淡水～海水生総合計					0	0	0	0	0	0
淡水生総合計					0	0	0	0	0	5
藻面化石総数					1	0	0	0	22	0
									0	10

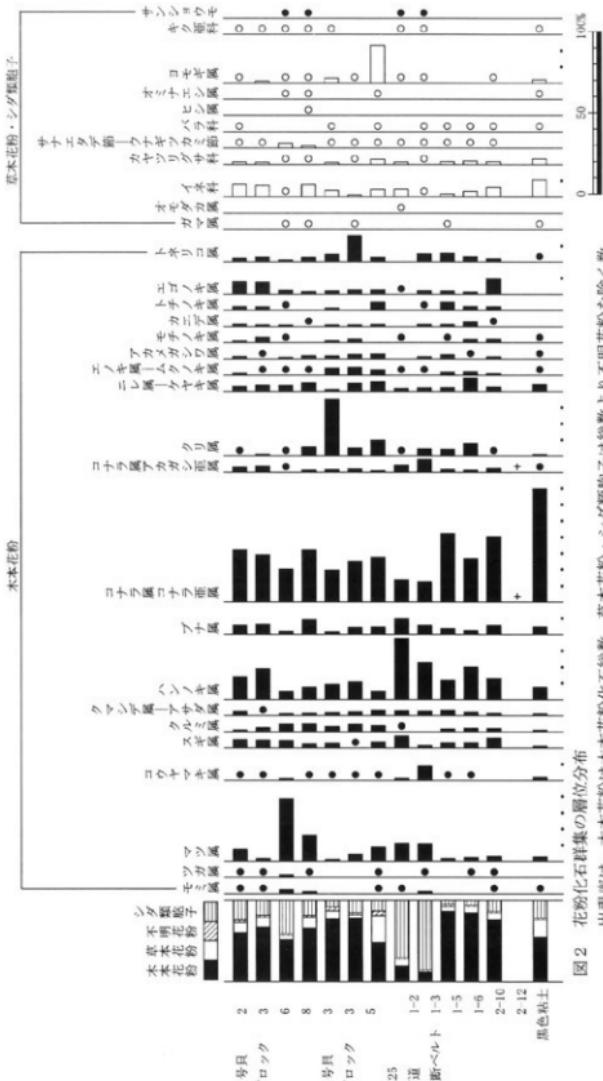


図2 花粉化石群集の層位分布
出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草木花粉・シダ類孢子は総数より不明花粉を除く数を基準として百分率で算出した。なお、●○は1%未満、+は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

表4 花粉分析結果(1)

種類	試料番号	1号Mブロック				3号Mブロック				SK25	河底種別ペルセ						黒色粘土
		2	3	6	8	3	4	5	1-2		1-3	1-5	1-6	2-10	2-12		
木本花粉		-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	2
マツ属	2	2	7	4	-	-	-	1	1	2	-	-	1	-	-	-	2
モクシ属	1	1	5	1	-	-	-	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-
トウヒ属	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
マツ属(赤檜)	2	2	14	2	-	3	4	2	-	-	-	-	3	-	-	-	1
マツ属(白樺)	23	4	86	42	2	7	20	11	6	4	4	4	6	-	-	-	2
マツ属(不明)	2	-	7	3	1	1	2	5	9	1	4	-	-	-	-	-	4
コロヤマギ属	3	1	3	1	1	1	1	2	12	2	1	-	-	-	-	-	5
スギ属	19	17	13	7	7	3	11	32	2	9	12	18	-	-	-	-	3
イチイ科-ミズガヤ科-ヒキ科	6	5	1	1	1	-	-	2	1	2	3	2	-	-	-	-	-
マツウ属	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
イチイ科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヤマガヤ属	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヤマモモ属	1	-	3	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クヌギ属	4	9	13	14	8	11	11	1	-	5	8	6	-	-	-	-	3
タムシケ属-アサダ属	10	3	3	4	5	6	10	5	4	10	8	4	-	-	-	-	3
ハバヒ属	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
カシノキ属	-	6	-	1	-	-	1	2	-	1	2	1	-	-	-	-	-
ハンノキ属	51	66	13	22	23	26	15	61	31	35	70	38	-	-	-	-	20
ブナ属	21	22	5	27	4	11	14	16	8	11	8	17	-	-	-	-	13
ココラクコナラヒキ属	117	101	56	93	49	61	82	22	17	123	93	118	2	184	-	-	-
コナラ属-アガシ属	11	12	2	4	4	5	3	7	11	5	5	7	1	1	-	-	-
クリ属	2	4	2	16	88	12	29	1	6	12	28	2	-	-	-	-	3
シノノキ属	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ニシキケヤキ属	11	13	10	15	3	12	18	3	3	7	29	8	-	-	-	-	11
エスキキ属-ムクノキ属	4	2	2	1	11	12	10	1	1	6	8	3	-	-	-	-	1
ヤマリキ属	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
フモザク属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
カカツ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-
ヤクシキ属	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヤクシキ属	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
ホコダ属	3	1	-	2	2	2	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
ユズロハ属	-	4	1	1	2	2	1	4	-	3	-	1	1	-	-	-	-
アメメジワ属	6	2	3	6	5	7	9	-	2	8	2	4	-	-	-	-	1
ウラシ属	-	-	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
モクノキ属	5	12	1	-	4	6	-	1	-	1	8	7	-	-	-	-	1
ゴボヅク属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニシキギ属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カシ属	6	4	3	2	3	3	4	-	2	4	10	1	-	-	-	-	-
トネリコ属	9	8	2	-	4	-	15	-	1	15	9	7	-	-	-	-	-
クロウメモジ科	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ブク属	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ツツジ属	-	-	-	-	1	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ノブリウ属	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シタノキ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジチロウゲ科	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
グロ属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウツギ科	1	1	2	-	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
アキ属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
ズキ属	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ツヅジ科	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハイノキ属	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エゴノキ属	28	26	7	5	5	7	8	1	3	6	5	29	-	-	-	-	-
イオノキ属	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トホリ属	9	11	3	9	12	40	9	-	7	16	12	6	-	-	-	-	2
チカラヅク属	-	-	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ムラサキシキブ属	-	2	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
ガバズモ属	-	2	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
タニカワギ属	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
スイカズラ属	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
草本花粉	-	-	1	4	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
ガマ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サツゲ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イモ科	46	36	5	33	12	4	27	38	1	6	14	22	-	-	-	-	59
カヤツリグサ科	9	7	5	4	4	5	18	12	1	6	9	7	-	-	-	-	16
ユリ属	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ユリ科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アヤメ科	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4 花粉分析結果(2)

種類	試料番号	1号貝ブロック				3号貝ブロック		SK25	河謨横断ペルト							黒色紀土
		2	3	6	8	3	5		1-2	1-3	1-5	1-6	2-10	2-12		
クワ科	-	-	-	-	1	3	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
サニユタガラ・チナギクガラ属	1	1	16	5	1	1	3	2	1	1	4	1	-	-	-	-
タマゴ属	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アカササ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
タマシソウ属	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キバガラ属	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
バワ群	4	-	-	-	-	1	-	4	-	1	1	1	1	-	-	1
マツ科	5	2	-	-	2	1	-	5	-	-	1	2	1	-	-	-
ジラフキン属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ビニ属	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アリワガラサ属	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	19
セリ科	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1
ヒメガオ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シン科	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オオバコ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
オオナエジ属	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ゴボヅル属	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヨウガオ属近似種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヨウギ属	3	6	2	3	9	1	135	5	6	-	-	3	-	-	-	10
キクサ科	3	2	2	3	1	-	-	7	5	-	-	-	-	-	-	1
ラン科が鑑定	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
不育花粉	18	15	6	10	16	7	35	13	19	8	7	6	-	-	-	6
シダ類	セイゴクシダ属	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
セイゴクシダ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゼマイ属	38	24	11	32	9	6	10	2	1	5	3	12	-	-	-	12
イノモリソウ属	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ラン科	-	-	2	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-
仙のシダ類	109	70	210	48	18	42	71	375	1040	12	23	40	3	96	-	-
合計	木本花粉	366	347	277	200	251	244	295	162	137	232	349	282	3	264	-
	草本花粉	79	57	32	58	32	13	205	68	15	22	32	35	0	103	-
	不明花粉	18	15	6	10	16	7	35	13	19	8	7	6	0	6	-
	シダ類	147	94	223	82	27	48	81	583	1043	17	26	52	3	106	-
	総計(小網を抜く)	392	498	532	430	310	305	581	813	1195	331	407	379	6	475	-

観察した範囲では、集合放射組織は確認できなかった。

- ・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus subgen. Lepidobalanus sect. Prinus*) プナ科

環孔材で、孔圓部は1~3列、孔圓外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1~20細胞高のものと複合放射組織とがある。

- ・コナラ属アカガシ亜属 (*Quercus subgen. Cyclobalanopsis*) プナ科

放射孔材で、管壁厚は中庸~厚く、横断面では梢円形、単独で放射方向に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1~20細胞高のものと複合放射組織とがある。

- ・クリ (*Castanea crenata Sieb. et Zucc.*) プナ科クリ属

環孔材で、孔圓部は1~4列、孔圓外で急激~やや急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1~15細胞高。

- ・エノキ属 (*Celtis*) ニレ科

環孔材で、孔圓部は1~3列、孔圓外での移行は比較的緩やかで、年輪界に向かって径を漸減させる。小道管は、塊状に複合して接線・斜方向の紋様をなす。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、1~15細胞幅、1~80細胞高で鞘細胞が認められる。

- ・ケヤキ (*Zelkova serrata* (Thunb.) Makino) ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圓部はほぼ1列、孔圓外で急激に管径を減じたのち漸減、塊状に複合して接線・斜方向の紋様をなす。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、1~10

細胞幅、1~60細胞高。

・ヤマグワ (*Morus australis* Poiret) クワ科

環孔材で、孔圓部は1~5列、孔圓外への移行は緩やかで、晩材部へ向かって管径を漸減させ、のち塊状に複合して、斜方向に紋様様に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅱ~Ⅲ型、1~6細胞幅、1~50細胞高で、しばしば結晶を含む。

・モクレン属 (*Magnolia*) モクレン科

散孔材で、管壁厚は中庸~薄く、横断面では角張った梢円形~多角形、単独および2~4個が複合して散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は單穿孔を有し、壁孔は階段状~対列状に配列する。放射組織は異性Ⅱ型、1~2細胞幅、1~40細胞高。

・ヤブツバキ (*Camellia japonica* L.) ツバキ科ツバキ属

散孔材で、管壁は薄く、横断面では多角形~角張った梢円形、単独および2~3個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は階段穿孔を有し、壁孔は対列~階段状に配列する。放射組織は異性Ⅱ~Ⅰ型、1~2細胞幅、1~20細胞

高で、時に上下に連続する。放射組織には、結晶細胞が顕著に認められる。

・サクラ属 (*Prunus*) バラ科

散孔材で、管壁厚は中庸、横断面では角張った梢円形、単独または2~8個が複合して、晩材部へ向かって管径を漸減させながら散在する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、1~5細胞幅、1~30細胞高。

・ヤマウルシ (*Rhus trichocarpa* Miquel) ウルシ科ウルシ属

環孔材で、孔圓部は1~4列、孔圓外への移行は緩やかで、小道管は年輪界に向かって漸減しながら単独または2~6個が生として放射方向に複合する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性Ⅲ型、1~2細胞幅、1~20細胞高で、時に上下に連続する。

・カエデ属 (*Acer*) カエデ科

散孔材で、管壁は薄く、横断面では角張った梢円形、単独および2~3個が複合して散在し、晩材部へ向かって管径を漸減させる。道管は單穿孔を有し、壁孔は対列~交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、1~5細胞幅、1~40細胞高。細胞壁の厚さが異なる2種類の木繊維が木口面において不規則な紋様をなす。

・トネリコ属 (*Fraxinus*) モクセイ科

環孔材で、孔圓部は2~3列、孔圓外でやや急激に管径を減じたのち漸減する。道管壁は厚く、横断面では円形~梢円形、単独または2個が複合、複合部はさらに厚くなる。道管は單穿孔を有し、壁孔は小型で密に交互状に配列する。放射組織は同性、1~3細胞幅、1~40細胞高。

(5) 種実同定

水洗選別によって得られた結果を表6に示す。以下に検出された種類の形態的特長を示す。

表5 樹種同定結果

部位・器官	產地	樹種
1	1号貯蔵木(河邊1)	トネリコ属
2	1号貯蔵木(河邊2)	ハンノキ属
3	1号貯蔵木(河邊3)	ヤマウルシ
4	1号貯蔵木(河邊2)	モクレン属
8	3号貯蔵木(河邊)	コナラ属コナラ葉馬コナラ節
9	3号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
10	3号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
11	3号貯蔵木(河邊)	クリ
13	3号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
15	3号貯蔵木(河邊)	エノキ属
25	3号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
27	3号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
35	4号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
43	4号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
47	4号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
52	5号貯蔵木(河邊)	コナラ属コナラ葉馬コナラ節
53	4号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
60	4号貯蔵木(河邊)	エノキ属
63	4号貯蔵木(河邊)	エノキ属
68	4号貯蔵木(河邊)	コナラ属コナラ葉馬コナラ節
88	4号貯蔵木(河邊)	コナラ属コナラ葉馬コナラ節
90	4号貯蔵木(河邊)	ケヤキ
106	4号貯蔵木(河邊)	サクラ属
110	4号貯蔵木(河邊)	トネリコ属
A	河邊1	ハンノキ属ハンノキ葉馬属<根材>
B	河邊2	ヤマウルシ
C	河邊2	広葉樹
D	河邊2	ヤマウルシ
E	河邊1	クリ
F	河邊1	カエデ属
立木1		トネリコ属
立木2		ヤブツバキ
倒木		コナラ属アカギ葉馬属

- ・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana* (Maxim.) Kitamura) クルミ科
核の破片が検出された。褐色。大きさは 2 cm 程度。側面に縫合線が発達する。木質で非常に堅く、表面は荒いしわ状となり、縦方向に溝が走っている。内部は子葉が入る 2 つの大きなくぼみがある。
- ・コナラ亜属 (*Quercus* subgen. *Lepidobalanus*) ブナ科コナラ属
幼果が検出された。果実は大きさは 1 cm 程度で縦につぶれた球形。殻斗の部分は木質で厚く、表面は絶苞片が互いに密着して瓦状になる。果皮は薄くてやや堅く、表面には光沢がある。
- ・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属
果実の破片が検出された。黒褐色で大きさは 1.5 cm 程度。表面は薄くて堅く光沢があり、裏面には維管束の筋がある。座についていた部分はざらつく。なお、果実の破片で、小片なため、コナラ亜属との判別がつきにくい個体はブナ科とした。
- ・ヤマグワ (*Morus australis* Poiret) クワ科
種子が検出された。褐色。大きさは 2 mm 程度。倒卵型、表面は平滑で側面の隅に突起がみられる。
- ・マタタビ属 (*Actinidia*) マタタビ科
種子が検出された。黒色。側面観は長橢円形。大きさは 2 mm 程度。表面は硬質で光沢があり、丸いへこみが不規則に配列しているように見える。網目は基部の付近では細かく縦長になる。
- ・サンショウウ (*Zanthoxylum*) ミカン科
果実が検出された。黒褐色、楕円形で大きさは 4 mm 程度。表面には浅い不規則な網目模様がみられる。
- ・カラスザンショウ属 (*Fagala*) ミカン科
果実が検出された。黒褐色。大きさは 3 mm 程度。楕円形。表面には粗い亀甲状の網目模様がみられる。
- ・アカメガシワ (*Mallotus japonicus* (Thunb.) Mueller-Arg.) トウダイグサ科アカメガシワ属
種子が検出された。大きさは 4 mm 程度。黒色で Y 字型の小さな「へそ」があり、表面には小さな瘤状隆起を密布する。種皮は薄く硬い。
- ・ミツバウツギ (*Staphyla Bumalda* DC.) ミツバウツギ科ミツバウツギ属
種子が検出された。倒卵型で大きさは 5 mm 程度。淡黄色で堅く、光沢がある。一端に大きな「へそ」が存在する。
- ・カエデ属 (*Acer*) カエデ科
果実が検出された。褐色で大きさは 4 mm 程度。褐色で表面はざらつく。本体部分は膨らむ。翼はほとんど残っておらず、竜骨の一部が残存しているにすぎない。
- ・トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume.) トチノキ科トチノキ属
種子の破片が検出された。大きさは 1 cm 程度。種皮は薄く堅い。表面には黒く艶のある部分と、黒褐色でざらつく部分がある。
- ・ブドウ科 (Vitaceae) ブドウ科
種子の破片が検出された。黒色。大きさは 4 mm 程度。心臓形。腹面には中央に縫筋が走り、その両脇には楕円形に深くくぼんだ穴が存在する。背面が破損していることからブドウ科とした。
- ・エゴノキ属 (*Styrax*) エゴノキ科
核が検出された。灰黒色。側面観は楕円形。上面観は円形。長さ 1 cm 程度。下端に大きな「へそ」があり、表面に 3 本の浅い溝がある。核は厚く硬い。
- ・ムラサキシキブ属 (*Callicarpa*) クマツヅラ科
核が検出された。大きさは 2 mm 程度。半月形の分果となっている。褐色で表面はざらつく。

表6 種実同定結果

試料名	1号貝殻 a 303	2号貝殻 a-4 309	3号貝殻 b-4 307	4号貝殻 a-2 303	5号貝殻 a-1 309	SD X30Y20 308	SK25 306
種類名	分析量						
木本							
オニグルミ	核	核	-	-	-	-	-
コナラ亜属(幼果)	幼果	-	1	-	-	-	-
クリ	果実	-	-	-	-	1	-
ブナ科(果実)	果皮	-	破	-	-	-	-
ヤマグワ	種子	2	1	-	1	-	-
マタタビ属	種子	-	-	-	1	-	-
サンショウ属	核	-	-	-	1	-	-
カラマツシヨウ属	核	-	1	-	-	1	-
アカガシ属	種子	1+	2	1	1	1	1
ミツマタ属	核	-	1	1	-	-	-
カエデ属	果実	-	-	-	-	2	-
トキノキ	種子	-	破	-	1	破	-
ブドウ科	種子	-	-	-	1	-	-
エブノキ属	種子	-	-	-	4	1	1
ムラサキシキブ属	板	-	-	3	1	-	-
ニワトコ	核	-	-	1	-	-	5
ガマズミ属	核	-	1	-	-	-	-
草本							
ヒルムシロ属	果実	1	1	-	-	-	-
カワツルモ	果実	-	-	-	1	-	-
白クズモ	果実	-	-	-	1	-	-
ヒゴチ節	果実	-	-	-	1	-	-
スケソウ属	果実	2+	-	2	-	-	37
カヤツリグサ科	果実	-	1	-	1	-	-
カナヅクサ	種子	-	-	-	-	-	6
クワ科	種子	1	-	-	-	1	-
カラシ属	果実	1	-	11	-	-	-
タデ属	果実	-	-	1	1	-	-
ナデコ科	種子	-	-	-	-	-	4
キジシロ属-ヘビイチゴ属-	核	-	-	-	-	-	2
オクラダイゴ属	種子	-	-	-	-	-	-
スレ属	種子	1	-	-	-	1	6
ヒシ属	果実	破	1	-	-	-	-
イヌクマウジユ属	果実	-	-	-	-	-	39
ナスク科	種子	1	-	-	-	-	16
ヌズミアリ	種子	-	-	-	-	1	-
不明種実	-	-	-	-	破	破	-
木の薪	-	2	-	-	4	3	-
材	破	破	破	-	破	破	破
農化物	-	-	-	-	-	-	-
不明農化物	-	-	-	-	破	破	-
昆蟲	-	-	-	-	破	破	-
菌類	-	-	-	3	1	1	15
土類	-	-	-	-	破	破	-

破:細かいため個体数算定が困難であるもの。
SK25は2行重複しているが、同一試料名であるため、一括して扱っている。

・ニワトコ (*Sambucus racemosa L. subsp. sieboldiana* (Miquel) Hara) スイカズラ科ニワトコ属

種子が検出された。黒色。長楕円形で、大きさは2 mm程度。下側に臍があり、表面には横軸に平行なしわ状の模様が存在する。

・ガマズミ属 (*Viburnum*) スイカズラ科

種子が検出された。黒色、楕円形で、偏平。大きさは5 mm程度。一端が突出する。種皮は堅くてやや光沢があり、表面に凹凸がある。

・ヒルムシロ属 (*Potamogeton*) ヒルムシロ科

果実が検出された。広卵形、褐色で大きさは3 mm程度。肉厚で表面はざらつく。背面ははずれやすい。背部に翼がある。

・カワツルモ (*Ruppia maritima L.*) ヒルムシロ科カワツルモ属

果実が検出された。ゆがんだ卵形、黒色で大きさは2 mm程度。先は短く尖り、嘴状になる。背面は、はずれやすい。表面は薄くて堅く、平滑である。

- ・イトクズモ (*Zannichellia palustris* L. var. *indica* (Cham.) Graebner) ヒルムシロ科イトクズモ属
半月形で長さ2mm程度。背面に突起がある。表面は薄くて柔らかくやや透き通る。両端に柄がある。
- ・ヒゴクサ節 (*Carex* sect. *extensa*)
果実が検出された。淡褐色、倒卵形で扁平。大きさ1mm程度。果皮は薄く柔らかく、表面には微細な網目模様がありざらつく。
- ・スゲ属 (*Carex*) カヤツリグサ科
果実が検出された。大きさは3mm程度。褐色、先端部は急に細くなり、曲がる。表面はやや厚くて柔らかく、彈力がありざらつく。3稜がある個体や、片凸レンズ状のものなど複数の種類が存在する。
- ・カヤツリグサ科 (Cyperaceae)
果実が検出された。褐色、広倒卵形、大きさは2mm程度。表面は薄くてやや堅く、ざらつく。先端がやや尖る。
- ・カヌムグラ (*Humulus scandens* (Lour.) Merrill) クワ科カラハナソウ属
種子が検出された。黒色で凸レンズ状、大きさは3mm程度。表面は薄くて堅く、ざらつく。一端に心形のへそがみられる。
- ・クワ科 (Moraceae)
カナムグラに似るが、全体の形状が楕円形に近く、へそが楕円形をしている個体をクワ科とした。
- ・カラムシ属 (*Boehmeria*) イラクサ科
果実が検出された。淡黄褐色、非対称な広倒卵形で扁平。径1mm程度。中央部は凸レンズ形。果皮は薄く表面はざらつく。
- ・タデ属 (*Polygonum*)
果実が検出された。大きさは2mm程度。3稜形で表面は薄くて堅く、ざらつく。
- ・ナデシコ科 (Caryophyllaceae)
種子が検出された。黒色で、大きさは1mm程度。表面には荒い突起が密に配列している。
- ・キジムシロ属—ヘビイチゴ属—オランダイチゴ属 (*Potentilla-Duchesnea-Fragaria*) バラ科
種子が検出された。褐色。大きさは、2mm程度。半月形で、一端に「へそ」が存在する。表面全体はすじ状の模様があるが、不鮮明である。
- ・スミレ属 (*Viola*) スミレ科
種子が検出された。淡黄～淡灰褐色、広倒卵形。長さ1.5mm、径1mm程度。基部は尖り、頂部には円形の溝がある。種皮表面は細い縦筋が走りざらつく。内面は横長の細胞が配列する。
- ・ヒシ属 (*Trapa*) アカバナ科
果実が検出された。褐色、偏平な倒三角形で大きさは4cm程度。三角形の端に刺があり、刺はこぶ状にふくれる。果皮は厚い。
- ・イスコウジュ属 (*Mosla*) シソ科
果実が検出された。茶褐色、卵円形。径1.2mm程度。下端は舌状にわずかに突出する。果皮はやや厚く硬く、表面には大きく不規則な網目模様がうっすらとある。
- ・ナス科 (Solanaceae)
種子が検出された。大きさは3mm程度。楕円形で扁平。側面の一端に「へそ」がある。「へそ」を中心に同心円上の網目模様が存在する。
- ・スズメウリ (*Melothria japonica* Maxim.) ウリ科スズメウリ属

種子が検出された。大きさは5mm程度。梢円形で扁平。側面に大きな「へそ」がある。中央部はへこみ、膜が薄くなっている。

(6) 貝類同定

同定の結果を表7に示す。1~5号貝層のいずれの貝層からも、シジミ類が検出された。シジミ類には、淡水に棲むマシジミや汽水域に棲むヤマトシジミなどがあるが、形態による種の同定が困難である。このため、本試料もシジミ類と分類した。ただし、黒色の殻皮の一部を残す個体があることや、後述するようにカキ類と見られる貝殻が共存することから、ヤマトシジミ *Corbicula japonica* の可能性が高いと考えている。5号貝層は、現地調査の際にカキ類と見られる貝が混在していたことが確認されている。このため、不明貝類とした光沢のある殻破片は、カキ類の可能性がある。

4. 考察

(1) 河道形成期の古環境

現地所見によれば、今回の調査区内の河道は大きく3つの時期に区分されると考えられており、河道の消長が、本遺跡の古環境変遷の中で大きな位置を占めている。そこで、河道形成時期を中心とし、時代を追って当時の古環境を検討する。

・河道1

遺跡を縦断する川幅の広い川で、広い谷を作っている。河川の横断ベルトの1地点や3地点は、河道2の底部より下位で試料が採取されており、河道1に相当する試料であると考えられる。また遺構の地山となっている「黒色粘土」についても、層位関係よりほぼ同時期であると考えられる。前報の結果をみると、谷内には、縄文時代前期~後期の遺物を含み、木材の年代測定結果では約4500~6000年前の値が得られている。藤井(1992, 2000)の古地理図によれば、縄文海進の最盛期に本遺跡付近は海城であったと考えられ、この時期の遺跡は、射水平野を囲む丘陵上に分布する。その後海がやや後退すると、砂州や砂嘴が発達するようになり、射水平野は潟湖になる。そして、自然堤防や砂州などを中心に、低地部にも人間活動の痕跡が認められるようになる(藤井, 2000)。河道1が形成されたのはこの時期に相当すると考えられ、これより古い遺物は周辺からの流れ込みであると思われる。

花粉化石では、黒色粘土層も含めてコナラ亜属の割合が高く、ハンノキ属も検出される。また、木材ではハンノキ属をはじめ、カエデ属やクリが検出されている。おそらく、ハンノキは海退後に生じた低地に湿地林を作っていたものとみられ、コナラ亜属やカエデ属、クリなどは後背山地との林縁に生育していたものに由来すると思われる。周辺では、大門町の小泉遺跡(安田, 1982a; 1982b)・布目沢遺跡(パリノ・サーヴェイ株式会社, 1991)などで、同様な花粉化石群集が得られている。

・河道2

縄文時代中期頃に当たると考えられており、河道の堆積が進行してきたころ、河道内に貝層が形成されている。この時期には帆ヶ森貝塚や小竹貝塚などの貝塚が形成されるようになるが、貝の構成種はヤマトシジミ、マルクニシなど汽水~淡水性のものが多く、貝の放射性炭素年代は約4800年前を示している(藤井, 1992)。今回検出された貝層は大部分が汽水性のヤマトシジミで、年代測定値もこれに近い。また、塩性湿地に生育するカワツルモの種実も検出

表7 貝類同定結果

試料名	分類群	部位	左右	被熱	数量	備考
1号貝層 a	シジミ類	殻	右	3		
	シジミ類	殻 破片				
	シジミ類	殻 破片		塊		
	シジミ類	殻	左		2	
2号貝層 a-4	シジミ類	殻	右		1	
	シジミ類	殻 破片				
	シジミ類	殻 破片				
	シジミ類	殻 破片			1	
3号貝層 b-4	シジミ類	殻	左		11	
	シジミ類	殻	右		12	
	シジミ類	殻 破片				
	シジミ類	殻	左		1	
4号貝層 a-2	シジミ類	殻	右		2	
	シジミ類	殻 破片				
	シジミ類	殻	左		2	
	シジミ類	殻 破片			4	被復元ものあり
5号貝層 a-1	不明貝類	殻				光沢あり

被熱部の丸をカウント

されているほか、前報とあわせると、ガマ属、ミクリ属、ヒルムシロ属、イトクズモ、ヒシ、オニバスなど水生植物由来の花粉化石・種実遺体も多くみられる。のことから、当時の本遺跡周辺の景観として、基本的には河川の影響を受ける淡水域で、近くには水生植物が生育するような淡水・汽水域の潟湖も存在していたと考えられる。また、自然堤防などには、スゲ属などのカヤツリグサ科、タデ属、ナデシコ科、ナス科、カナムグラなど開けた場所に先駆的に侵入して草地を作る種類が生育していたとみられる。射水平野における縄文時代中期の遺跡は、平野内の砂堤や自然堤防などの微高地や、山地の縁辺部などを中心に分布している（藤井、1992）。藤井（2000）の古地理図によれば、本遺跡も自然堤防帯にあたり、河道2の内部や周辺には、貝塚や土坑など生活の痕跡が認められている。

花粉化石・種実遺体・木材をみると、落葉広葉樹を中心とする種類構成となっている。その中でも山地縁辺部や渓谷など明るい林地を好む種類は多く、前報結果とあわせてみると、カヤ、オニグルミ、ハンノキ属、ナラ類、クリ、ニレ属、ケヤキ属、エノキ属、ムクノキ属、ヤマグワ、コブシ、マタタビ属、サクラ属、カラスザンショウ属、キハダ、アカメガシワ、ミツバウツギ、カエデ類、トチノキ、ツバキ、クマノミズキ、ノブドウ、ウコギ科、タラノキ、ミズキ、エゴノキ属、ハクウンボク、クサギ、ムラサキシキブ属、トネリコ属、ニワトコ、ガマズミ属など豊富な樹種構成が想定される。これらは、主に丘陵と低地の境界付近に生育したものと考えられる。また、射水平野で行われた同時期の花粉分析結果をみると、大門町小泉遺跡（安田、1982a）、富山市小竹貝塚や氷見市十二潟遺跡（安田、1982b）などではハンノキ属が多産しており、低地を中心にハンノキ湿地林が分布していたと考えられている。本遺跡でも、ハンノキ属の花粉化石は多く、河道付近にハンノキ湿地林が成立していた可能性は高い。その他、トネリコ属、ニレ属、ケヤキ属、エノキ属、ムクノキ属など湿地林を構成する種類が多く見られるが、中でもトネリコ属の木材が多産しており、低地や林縁などに多数生育していたことが伺われる。なお、河道2の花粉分析結果をみると、マツ属やクリ属が多産する試料がみられる。これらは連続性がなく、1試料のみの産出であることから、局地的な植生（近くに母植物が生育していた等）を反映していると考えられる。

このように、検出された花粉化石・木材・種実遺体をみると、山地に安定した森林を作る種類は少なく、谷斜面や山地縁辺部・湿地など明るい林地を好む種類が多い。山地に安定した森林を作る種類は、ミズナラなどのナラ類やブナ属がある。これらは花粉化石で検出されているが木材や種実遺体では顕著でないことから、後背の山地や丘陵上を中心に分布していたと考えられる。現在の丘陵上はカシ類が中心であるが、花粉分析結果をみると、当時の周辺域ではカシ類が卓越していなかった可能性がある。なお、このような傾向は、前述した小泉遺跡の分析調査結果などにも現れている。またほとんどの試料において、珪藻化石がほとんど検出されなかった。植物珪酸体や珪藻化石の風化のメカニズムに関しては、まだ不明な点が多く断定はできないが、土壤中の珪酸分の溶脱、沈殿や再結晶化（千木良、1995）などの作用により、珪酸分の風化が進んだ可能性がある。

・貯蔵穴

貯蔵穴から得られた木材の年代値は、約3,900年前を示す。これは河道2の貝塚よりも新しい年代だが、層位的にみて、貯蔵穴は河道内の貝塚が埋積した後に構築されたと考えられていることから、年代誤差は大きく矛盾しない。貯蔵されていた種実は確認されず、スゲ属、イヌコウジュ属など草本類を主体とした種実が検出されている。花粉化石をみると、木本類では大きな変化がみられないが、草本類ではヨモギ属をはじめ草本類の割合が高くなっている。水生植物に由来する種類が減り、ヨモギ属など比較的乾燥したところに草地を作る種類が増加することから、付近では水の影響を受けにくくなった可能性がある。

・河道3

分析試料では、1号貝ブロックの上部層にあたる。試料番号2・3からは珪藻化石がやや多く検出されたものの、保存状態が極めて悪く、溶解したり壊れたものが殆どであった。得られた珪藻化石は般の丈夫な種類だけが選択的に

検出された可能性や、二次的に搬入されたものが多く含まれている可能性が高いため、当時の堆積環境を正しく反映していないと思われる。おそらく、再び河川の影響を強く受けるようになり、河道が形成され、河道内には多量の土砂が堆積したと考えられる。花粉化石をみると、河道 2 や貯蔵穴と大きな変化はないことから、同様な植生が引き続き存在していたと思われる。

(2) 動植物利用状況

今回および前回の分析結果のなかで、花粉化石や種実遺体で推定された植物相の中には、食用となる種類が多く含まれている。カヤ、オニグルミ、ナラ類、ブナ、クリ、ヤマグワ、マタタビ、サクラ属、トチノキ、ニワトコ、ガマズミなどが該当する。特に、カヤ、ナラ類、ブナ、クリ、トチノキなどの堅果類は、収量が多く保存も利くことから、多く利用されていたと考えられる。今回検出された種実は、大部分が河道 2 に伴うものである。人為的な加工が無く、幼果も含まれていることから、大部分が自然に堆積したものである。しかし、これらの種類を当時利用していた可能性は高い。後背の丘陵部に立地する南太閤山 I 遺跡では、縄文時代前期の遺構からオニグルミをはじめ、クリ、カヤ、トチノキ、ヒシなどの破片が集中して検出されており、利用後の残渣を捨てたと考えられている（吉井、1986）。なお、ナラ類やトチノキなどあくぬきが必要な堅果類の利用は縄文時代後期以降さかんになったとみられ、低湿地にはこれらの加工場と思われる水場遺構が各地で検出されるようになる（渡辺、2000）。今回調査対象とした貯蔵穴からは、貯蔵品と見なせるような種実などの内容物は検出されていないが、他の貯蔵穴では発掘調査中に種実が検出された事例もあり、ナラ類やトチなどの貯蔵や加工などに利用されていた可能性はある。今後本分析の試料についても調査を継続し、その実態を明らかにしたい。

なお、貝殻から検出されたヤマトシジミは、河口の汽水域の砂底に棲息する（奥谷ほか、2000）。金子（1973）によれば、宮山湾汽水域の貝塚はヤマトシジミを主体貝類とする汽水系貝塚が多く、その主な採集場所は入江や河口に形成された潟湖であったと考えられる。本遺跡のシジミ類は、放射性炭素年代測定の結果により縄文時代中期頃と考えられる。藤井（1992）によれば、この頃の射水平野は、海面低下に伴い汀線付近に砂丘が形成され、内陸部に池沼が形成されたとされている。本遺跡の場合も、検出されたシジミ類をヤマトシジミと仮定すれば、海退に伴い形成されたラグーンなどの汽水域環境を利用し採集していたと考えられる。また、5号貝塚において観察されたカキ類と考えられる貝については、マガキであれば汽水性内湾の潮間帯から潮下帯の砂底、泥底に棲む貝であることから（奥谷ほか、2000）、内湾域で採取された可能性がある。今後、保存状態の良好な試料が得られれば、種レベルの同定も可能と期待される。

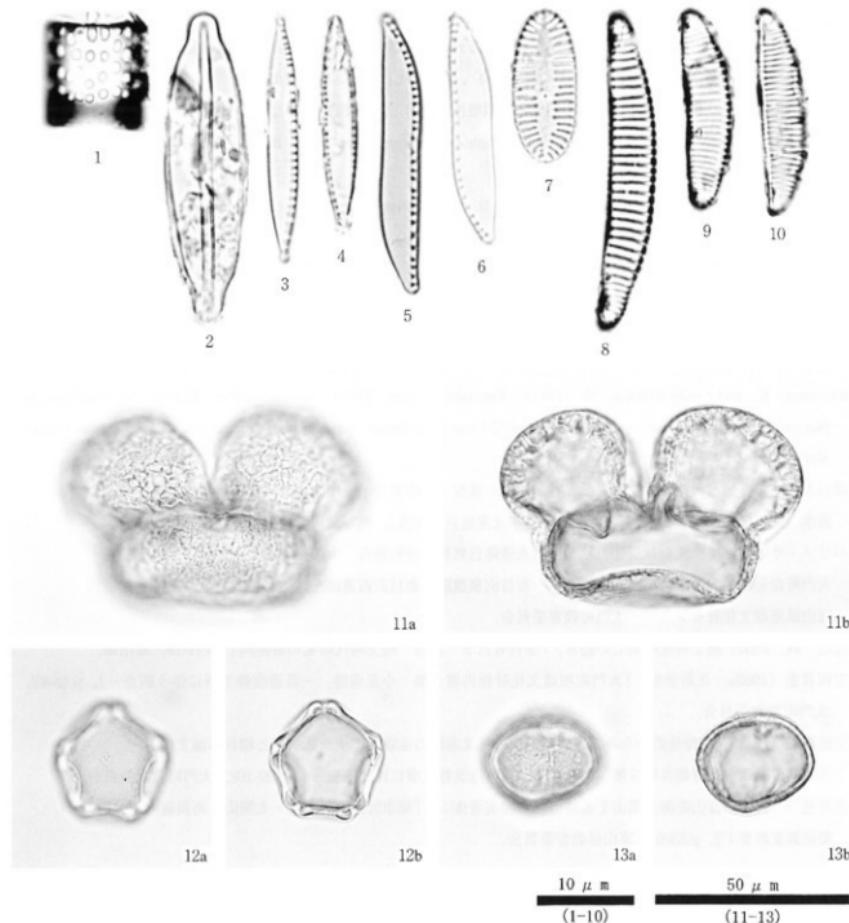
なお、今回の分析調査では、微小貝類は検出されなかった。微小貝類は、珪藻化石などとともに遺跡の堆積環境（特に水域環境）に関する重要な情報となり得る。そのため、貝殻などが検出された場合は、今後とも微小貝類の検出を想定した丹念な選別調査を行うことが望まれる。

引用文献

- 安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用。東北地理, 42, p.73-88.
- Asai, K. and Watanabe, T. (1995) Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophytous and saproxenous taxa. Diatom, 10, p.35-47.
- 千木良雅弘（1995）風化と崩壊, 204p., 近未来社.
- 藤井昭二（1992）宮山平野、「アーバンクボタ31 北陸の丘陵と平野」, p.38-47, 株式会社クボタ.
- 藤井昭二（2000）大地の記憶 富山の自然史, 197p., 桂書房.
- 原口和夫・三友 清・小林 弘（1998）埼玉の藻類 硅藻類. 埼玉県植物誌, 埼玉県教育委員会, p.527-600.

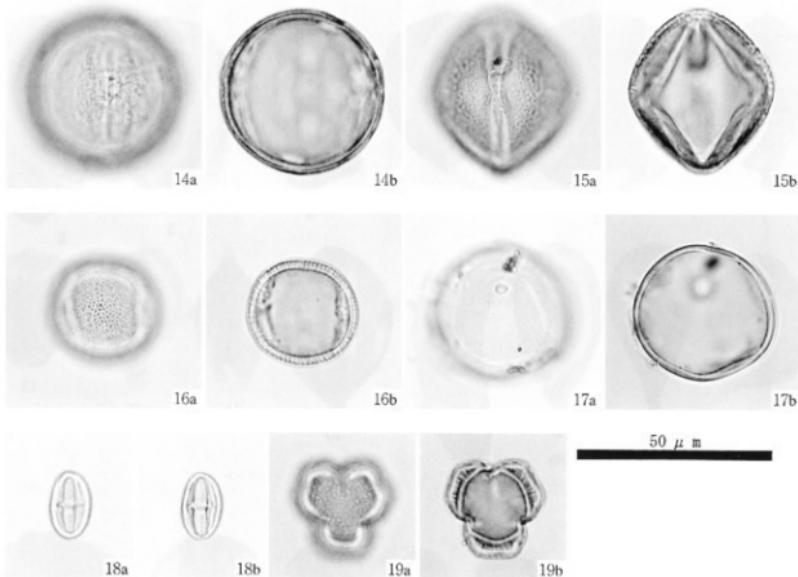
- 波部忠重・小曾貞男（1967）「標準原色図鑑全集3 貝」、223p., 保育社。
- 伊藤良永・梶内誠示（1991）陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用. 珍藻学会誌, 6, p.23-45.
- 金子浩昌（1973）貝塚と食料資源. 「日本の考古学Ⅱ 繩文時代」, p.372-398., 河出書房。
- 小杉正人（1988）珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 第四紀研究, 27, p.1-20.
- Krammer, K. (1992) PINNULARIA, eine Monographie der europäischen Taxa. BIBLIOTHECA DIATOMOLOGICA, BAND 26, p.1-353., BERLIN · STUTTGART.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1986) Bacillariophyceae, Teil 1, Naviculaceae. Band 2/1 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 876p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1988) Bacillariophyceae, Teil 2, Epithemiaceae, Bacillariaceae, Suricellaceae. Band 2/2 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 536p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1991a) Bacillariophyceae, Teil 3, Centrales, Fragilariaeae, Eunotiaceae. Band 2/3 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 230p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1991b) Bacillariophyceae, Teil 4, Achanthaceae, Kritische Ergänzungen zu Navicula (Lineolatae) und Gomphonema. Band 2/4 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 218p., Gustav Fischer Verlag.
- 奥谷喬司・鶴寺恒己・黒住耐二・斎藤 寛・佐々木猛智・土田英治・土屋光太郎・長谷川和範・濱谷 崑・速水 格・堀 成夫・松隈明彦（2000）「日本近海産貝類図鑑」。奥谷喬司編, 1173p., 東海大学出版会。
- パリノ・サーヴェイ株式会社（1991）布日沢東遺跡自然科学研究報告. 大門町埋蔵文化財調査報告第7集
大門町企業団地内遺跡発掘調査報告(1) 一布日沢東遺跡・布日沢西遺跡-, p.81-118.,
富山県埋蔵文化財センター・大門町教育委員会。
- 渡辺 誠（2000）縄文研究の新しい動き、「季刊考古学 73号 縄文時代研究の新動向」, p.14-16, 雄山閣。
- 安田喜憲（1982a）花粉分析. 「大門町埋蔵文化財報告第5集 小泉遺跡 一県道改修工事に伴う調査-」, p.48-62,
大門町教育委員会。
- 安田喜憲（1982b）花粉分析からみた富山湾沿岸の縄文前期の遺跡 一ナラ林文化と環日本海文化圏-。
「大門町埋蔵文化財報告第5集 小泉遺跡 一県道改修工事に伴う調査-」, p.99-108, 大門町教育委員会。
- 吉井亮一（1986）富山県南太閤山 I 遺跡出土の種実遺体(2). 「都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群
発掘調査概要(4)」, p.53-60, 富山県教育委員会。

图版1 硅藻化石・花粉化石(1)



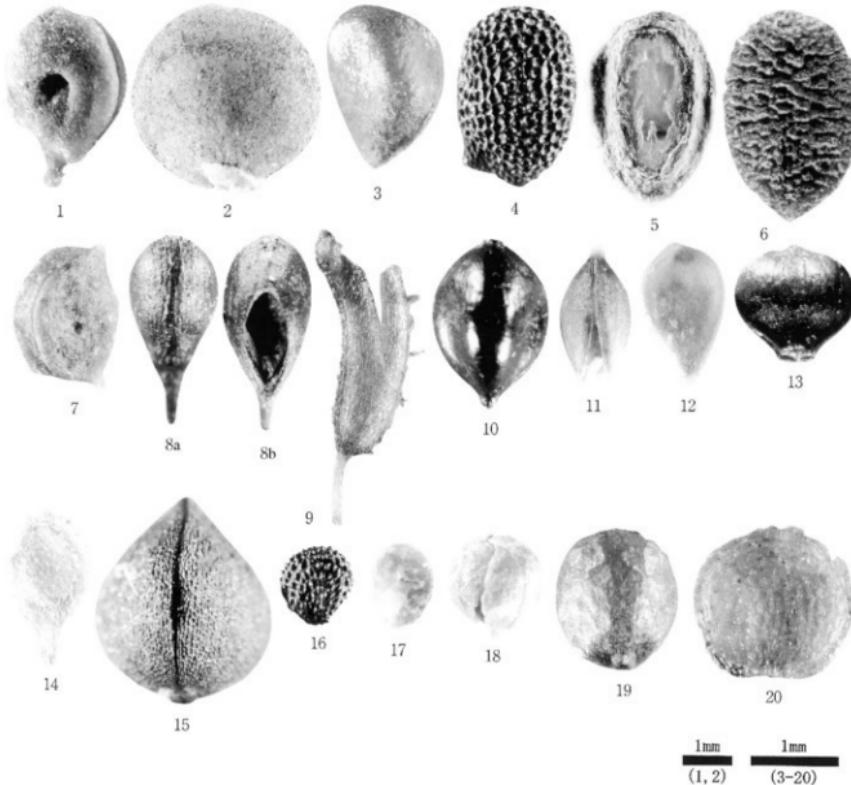
1. *Aulacoseira crassipunctata* Krammer (河道横断ベルト; 2-10)
2. *Frustulia rhomboidea* var. *saxonica* fo. *capitata* (A. Mayer) Huste (黑色粘土)
3. *Nitzschia palea* (Kuetz.) W. Smith (黑色粘土)
4. *Nitzschia palea* (Kuetz.) W. Smith (黑色粘土)
5. *Nitzschia obtusa* var. *scalpelliformis* Grunow (黑色粘土)
6. *Nitzschia obtusa* var. *scalpelliformis* Grunow (1号貝層;a)
7. *Achnanthes oblongella* Ostrup (1号貝ブロック;3)
8. *Eunotia duplicitaphis* H. Kobayasi (1号貝ブロック;3)
9. *Eunotia pectinalis* var. *minor* (Kuetz.) Rabenhorst (1号貝ブロック;3)
10. *Eunotia incisa* W. Smith ex Gregory (河道横断ベルト; 2-10)
11. マツ属 (1号貝ブロック; 2)
12. ハンノキ属 (1号貝ブロック; 2)
13. コナラ属 コナラ亜属 (1号貝ブロック; 2)

図版2 花粉化石(2)



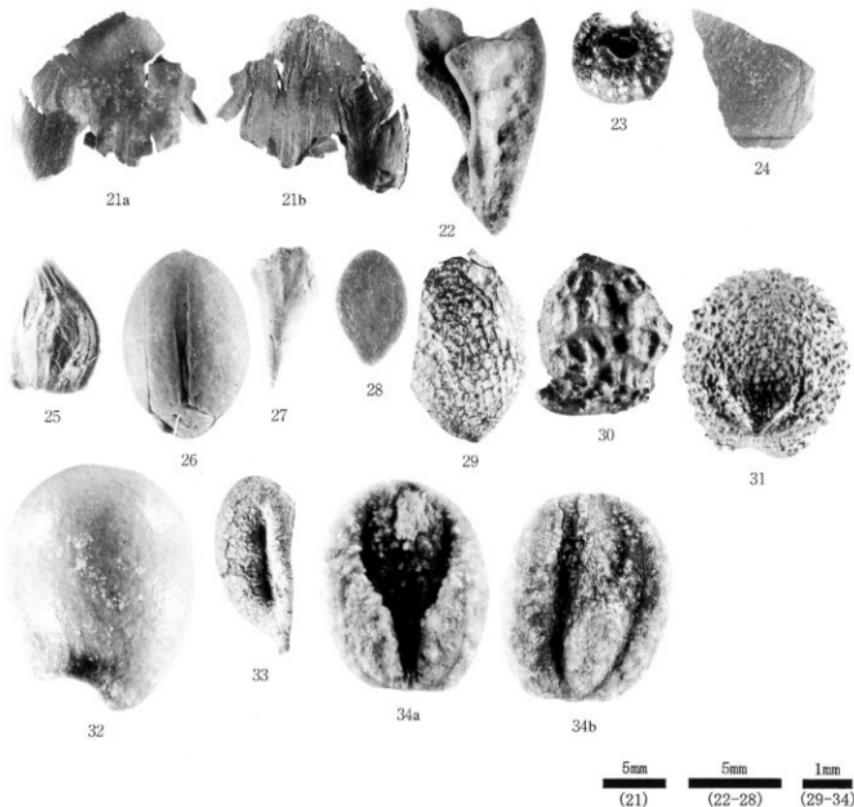
14. ブナ属(1号貝ブロック;2)
15. エゴノキ属(1号貝ブロック;2)
16. トネリコ属(1号貝ブロック;2)
17. イネ科(1号貝ブロック;2)
18. クリ属(河道横断ベルト;1-6)
19. ヨモギ属(1号貝ブロック;2)

図版3 種実遺体(1)



- 1. ヒルムシロ属(2号貝層;a-4)
- 2. カナムグラ(SK25)
- 3. ヤマグワ(1号貝層;a)
- 4. マタタビ属(5号貝層;a-1)
- 5. ムラサキシキブ属(4号貝層;a-2)
- 6. ニワトコ(SK25)
- 7. ヒルムシロ属(1号貝層;a)
- 8. カワツルモ(5号貝層;a-1)
- 9. イトクズモ(5号貝層;a-1)
- 10. ヒゴクサ節(5号貝層;a-1)
- 11. スゲ属(SK25)
- 12. スゲ属(SK25)
- 13. スゲ属(1号貝層;a)
- 14. カヤツリグサ科(1号貝層;a)
- 15. タデ属(5号貝層;a-1)
- 16. ナデシコ科(5号貝層;a-1)
- 17. キジムシロ属-ヘビイチゴ属-オランダイチゴ属(5号貝層;a-1)
- 18. スミレ属(5号貝層;a-1)
- 19. イヌコウジュ属(5号貝層;a-1)
- 20. ナス科(1号貝層;a)

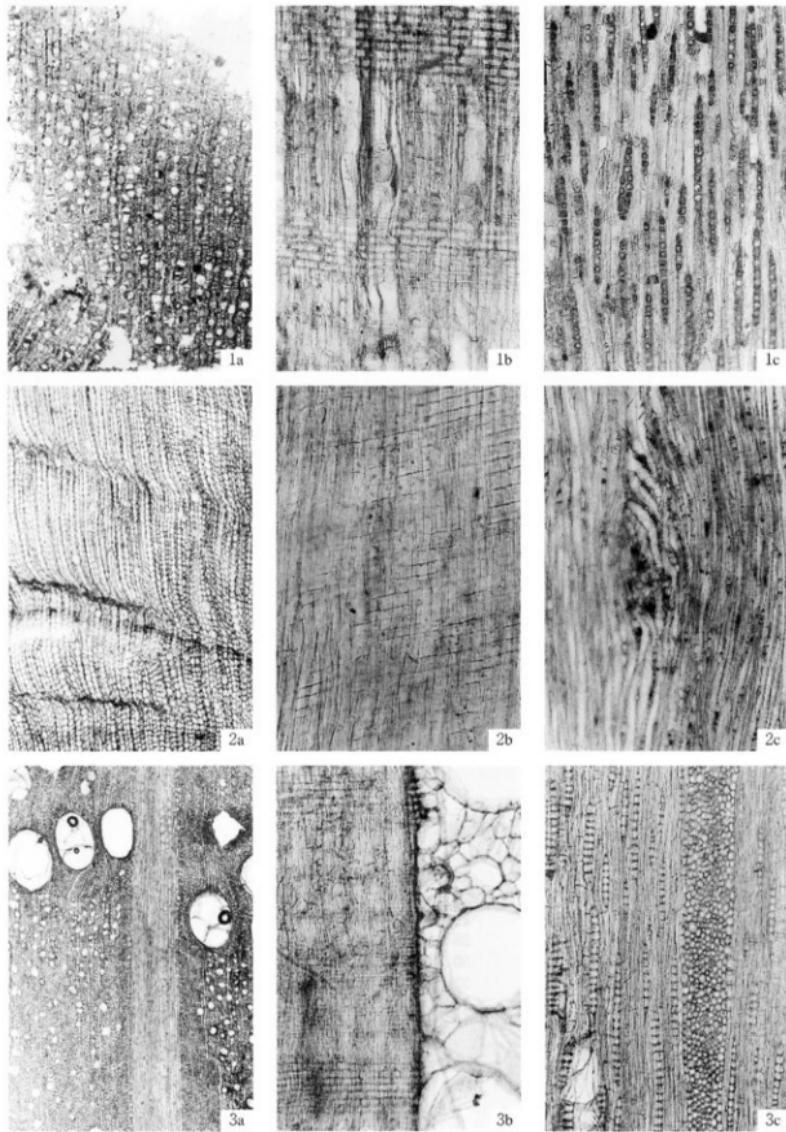
図版4 種実遺体(2)



- 21. クリ (SD; X20Y20)
- 23. コナラ属コナラ亜属 (3号貝層; b-4)
- 25. カエデ属 (SD; X20Y20)
- 27. ヒシ属 (2号貝層; a-4)
- 29. サンショウ属 (4号貝層; a-2)
- 31. アカメガシワ (2号貝層; a-4)
- 33. ブドウ科 (4号貝層; a-2)

- 22. オニグルミ (2号貝層; a-4)
- 24. トチノキ (4号貝層; a-2)
- 26. エゴノキ属 (SD; X20Y20)
- 28. スズメウリ (SD; X20Y20)
- 30. カラザンショウ属 (SD; X20Y20)
- 32. ミツバウツギ (2号貝層; a-4)
- 34. ガマズミ属 (2号貝層; a-4)

図版5 木材(1)



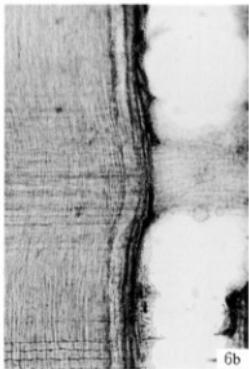
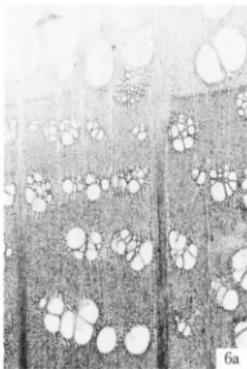
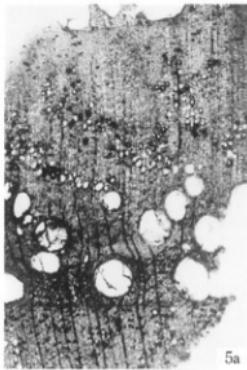
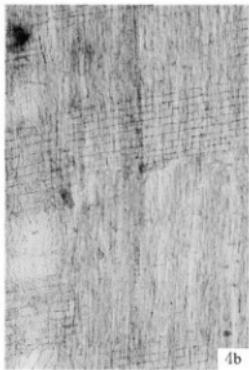
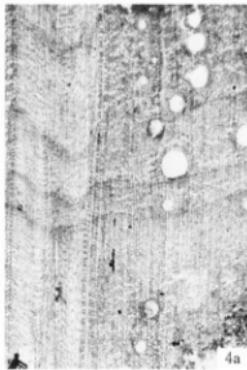
1. ハンノキ属 (試料番号2)
2. ハンノキ属ハンノキ亜属 (根材) (試料番号A)

3. コナラ属コナラ亜属コナラ節 (試料番号88)

a : 木口, b : 桟目, c : 板目

— 200 μ m : a
— 200 μ m : b, c

図版6 木材(2)



4. コナラ属アカガシ亜属 (倒木)

5. クリ (試料番号11)

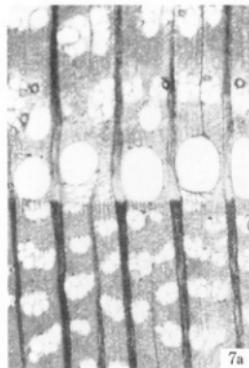
6. エノキ属 (試料番号15)

a : 木口, b : 柱目, c : 板目

— 200 μ m : a

— 200 μ m : b, c

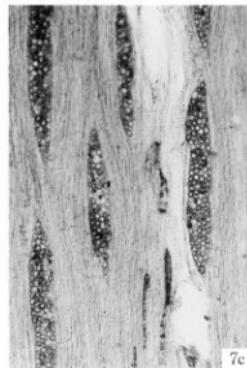
図版7 木材(3)



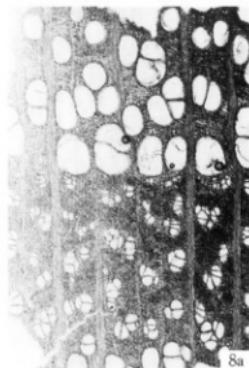
7a



7b



7c



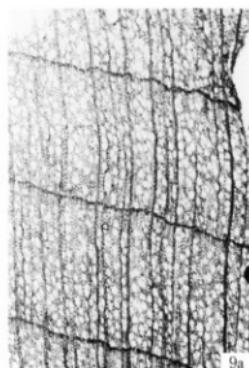
8a



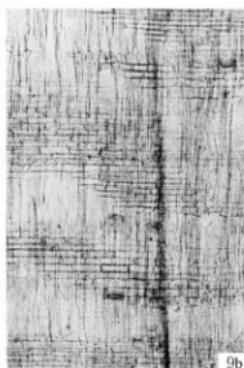
8b



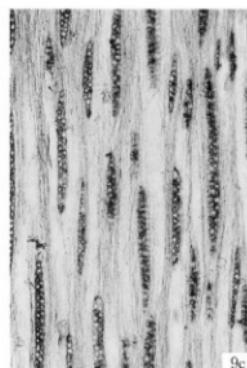
8c



9a



9b



9c

7. ケヤキ (試料番号90)

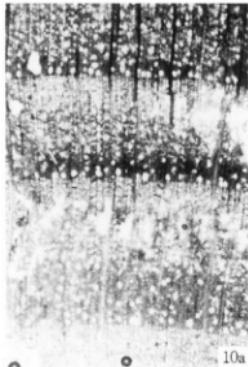
8. ヤマグワ (試料番号B)

9. モクレン属 (試料番号4)

a : 木口, b : 横目, c : 板目

— 200 μ m:a
— 200 μ m:b, c

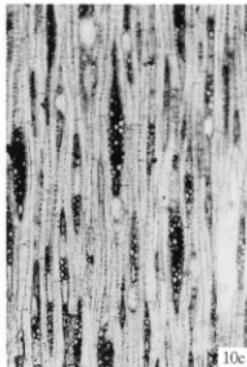
図版8 木材(4)



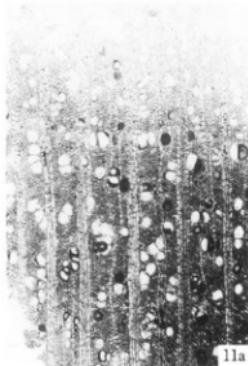
10a



10b



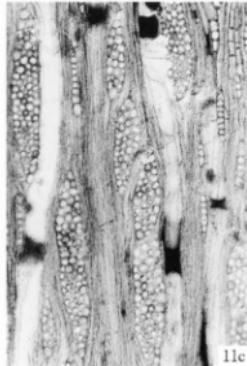
10c



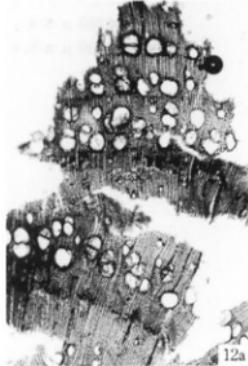
11a



11b



11c



12a



12b



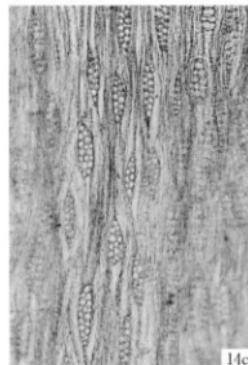
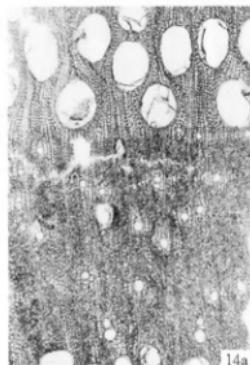
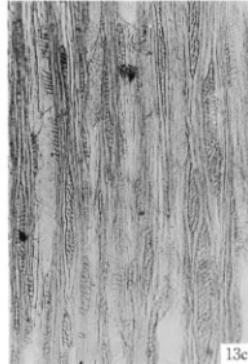
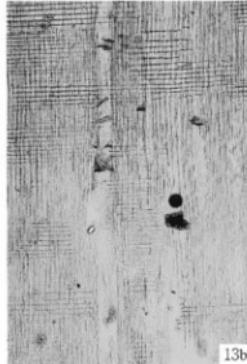
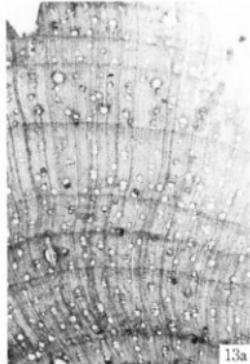
12c

10. ヤブツバキ (立木2)
 11. サクラ属 (試料番号106)
 12. ヤマウルシ (試料番号3)

a : 木口, b : 横目, c : 板目

— 200 μ m : a
 — 200 μ m : b, c

図版9 木材(5)



13. カエデ属 (試料番号F)

14. トネリコ属 (試料番号9)
a : 木口, b : 横目, c : 板目

— 200 μ m:a
— 200 μ m:b, c

報告書抄録

ふりがな	はりわらにしいせきはくつちょうきほうこくしょ				
書名	針原西遺跡発掘調査報告書				
副書名	—主要地方道小杉姫中線臨時道路交付金事業(B)に伴う埋蔵文化財発掘調査—				
発着者名	斎藤 隆・境 洋子(富山県埋蔵文化財センター)(B区)、稲垣尚美(小杉町教育委員会)(A区)				
編集機関	富山県埋蔵文化財センター、小杉町教育委員会				
発行機関	小杉町教育委員会				
所在地	富山県富山市茶屋町206番地3号 富山県射水郡小杉町戸破1,511	TEL 076-434-2814 TEL 0766-56-1511			
発行年月日	2004年2月27日				

ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号				
はりわらにし 針原西	たやまけんいみずぐんこすまちら 富山県射水郡小杉町 黒河	16381	030	36度 137度 41分 06分 34秒 58秒	20010604~ 20011029	4.050m ²	主要地方道小杉 姫中線建設に先 立つ本発掘調査

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
針原西	散布地	縄文時代	川跡1	打製石斧・磨製石斧 敲石・磨石・石礫	川跡内に5箇所の貝層
		前期~後期	溝 土坑 貝層	環状石製品・块状耳飾・石錘 縄文土器・土偶・土器片錐 土製品	を検出
		弥生		弥生土器	
		古代	溝	土師器・須恵器・鉄滓	
		中世		土師器皿・珠洲・越前	
		近世		越中漬戸・磁器 寛永通宝	

針原西遺跡発掘調査報告書

平成16年2月27日

富山県埋蔵文化財センター
編集 小杉町教育委員会

発行 小杉町教育委員会

印刷 とうざわ印刷工芸株式会社

針原西遺跡発掘調査報告

付 図

縄文時代遺構全体図（B区）

